



SICAT IMPLANT バージョン 2.0.40

取扱説明書 | 日本語 | Standalone

目次

1 目的と効能.....	8
2 臨床上の有益性	9
3 バージョン履歴	10
4 システム要件	11
5 安全に関する情報.....	14
5.1 危険レベルの定義	15
5.2 オペレーターの資格	16
6 使用するアイコンおよび強調.....	17
7 取扱説明書の概要.....	18
8 SICAT Suiteの概要	19
9 インストールの概要	21
10 SICAT Suiteのセットアップを開始する	22
10.1 シングルユーザーのインストールとしてのローカルな患者データ管理を使用したインストール.....	24
10.2 サーバーおよびワークステーションのインストールとしてのサーバーに基づく患者データバンクを使用したインストール	26
10.3 SICAT Suite患者データベースをインストールする	30
10.3.1 シングルユーザーのインストールとしてのローカルな患者データ管理を使用したインストール	31
10.3.2 サーバーのインストールとしてのサーバーに基づく患者データバンクを使用したインストール	34
10.4 SICAT Suiteのインストール	39
10.5 SICAT Implantデータベースのインストール	42
11 OSアップデートの確認手順を実行する	44
12 SICAT Suiteの更新、修復.....	47
13 SICAT Implantデータベースの更新、修復.....	48
14 このバージョンでの特徴.....	50
15 次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します	53
16 SICAT Implantの標準ワークフロー	56
17 SICAT Suite をスタートする	60
18 SICAT Suiteのユーザーインターフェース.....	61
18.1 「SICAT Suiteホーム」 ウィンドウの概要.....	63

19 SICATのアプリケーションを相互に切り替える	65
20 取扱説明書を開く	66
21 ライセンス	67
21.1 「ライセンス」のウィンドウを開く	70
21.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする	71
21.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする	73
21.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する	75
21.5 ネットワークライセンスを有効にする.....	77
22 患者データバンク	79
22.1 「患者データバンク」ウィンドウを開く	81
22.2 患者データバンクへの接続を追加する	82
22.2.1 ローカル接続を追加する.....	84
22.2.2 サーバーへの接続を追加する	85
22.3 別の患者データバンクを有効にする	87
22.4 患者データバンクへの接続を削除する.....	89
22.5 SICAT Suiteバージョン2.0.20以前からの患者ファイルの適用	90
23 データインポート	92
23.1 対応しているDICOMフォーマット	95
23.2 インポートするデータを選択する	96
23.3 インポートオプションの選択	98
23.4 データインポートによる新しい患者ファイルの作成	99
23.5 既存の患者ファイルにデータを割り当てる	100
24 患者ファイル	103
24.1 「患者ファイル概要」ウィンドウを開く	104
24.2 患者ファイルを検索して並べ替える	105
24.3 患者ファイルを扱う	107
24.4 患者ファイルの特性を変更する	109
24.5 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く	111
24.6 SICAT SuiteでのSICAT Implant検討	114
24.7 患者ファイルを閉じ、それに含まれる計画プロジェクトを保存する	117
24.8 患者ファイルを削除する	118
24.9 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除.....	120
24.10Abgelaufene Sperre einer Patientenakte aufheben	122
25 SICAT Implantのユーザーインターフェース	123
25.1 ワークフローのツールバー	125
25.2 オブジェクトバー	128

25.3	計画の切替えと管理	130
25.4	オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理	131
25.5	オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理	133
25.6	SICAT Implantオブジェクト	135
26	ワークスペース	137
26.1	パノラマワークスペースの概要	138
26.2	インプラントアライン済みワークスペースの概要	140
26.3	MPR/放射性ワークスペースの概要	141
26.4	ワークスペースを切り替える	142
26.5	アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット	143
26.6	ワークスペースのスクリーンショットを作成する	144
27	ビュー	145
27.1	ビューの調整	146
27.2	アクティブなビューの切り替え	148
27.3	ビューの最大化および復元	149
27.4	2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット	150
27.5	ビューのズームおよび切り抜きの移動	152
27.6	レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール	153
27.7	十字線およびフレームの移動、非表示、表示	154
27.8	検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化	155
27.9	ビューの傾斜	157
27.10	ビューの回転	158
27.11	ビューをアクティブなインプラントの回りに回す	159
27.12	光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする	161
27.13	ビューをリセットする	162
27.14	画像のスクリーンショットを作成する	163
28	3Dビューの調整	164
28.1	3Dビューの目線を変更する	165
28.2	3Dビューの表示タイプを切り替える	167
28.3	3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する	168
28.4	3Dビューの切り抜きモードの切り替え	170
28.5	クリッピング領域の固定	172
28.6	ボリュームの自動回転	173
29	計画の管理	174
29.1	計画を開く	176
29.2	計画のブロック/ブロック解除	177

29.3	計画名の変更	178
29.4	計画説明の追加と変更	179
29.5	新規計画の作成	180
29.6	計画の複製	181
29.7	計画の削除	182
29.8	計画のエクスポート	183
29.9	計画のインポート	186
30	グレースケール値	187
30.1	グレースケール値を調整する	189
31	ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する	191
31.1	ボリュームの配置を調整する	193
31.2	パノラマエリアを調整する	198
32	距離/角度測定	202
32.1	距離測定を追加する	203
32.2	角度測定を追加する	204
32.3	測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する	206
33	光学印象	208
33.1	光学印象をインポートする	210
33.1.1	Hubから光学印象をダウンロードする	211
33.1.2	ファイルから光学印象をインポートする	215
33.1.3	SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する	218
33.2	光学印象の記録と確認	220
34	下顎神経のマーキングと調整	224
34.1	下顎神経のマーキング	225
34.2	神経点の移動、追加、削除	227
34.3	神経直径の変更	228
35	インプラントの計画	229
35.1	インプラントの追加	231
35.2	インプラントの移動とアライン	234
35.3	インプラントを軸の回りに回転する	236
35.4	インプラント寸法とインプラントモデルの変更	237
35.5	インプラント固有のアライン	239
35.6	名称（歯の位置）の変更	240
35.7	安全範囲の非表示/表示	241
35.8	孔の非表示/表示	242
35.9	距離警告	243

36	アバットメントの計画	244
36.1	アバットメントの追加.....	245
36.2	アバットメントをインプラント軸の周りに回す.....	247
36.3	角度、アバットメント寸法、アバットメントモデルの変更.....	248
36.4	アバットメントの非表示/表示.....	250
37	スリーブの計画	251
37.1	スリーブの追加.....	253
37.2	ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更.....	256
37.3	スリーブモデルの変更.....	258
37.4	スリーブ位置の変更.....	259
37.5	スリーブの非表示/表示.....	261
38	注文プロセス	262
38.1	SICATドリルテンプレートをカートに入れる.....	263
38.2	カートを開く.....	266
38.3	カートをチェックして、注文プロセスを完了する.....	267
38.4	インターネット接続を使用した注文の終了.....	268
38.5	SICATポータルでの注文手順.....	269
38.6	SICAT WebConnector.....	270
38.7	インターネット接続を使用しない注文の終了.....	272
39	CEREC Guide用にエクスポート	276
39.1	CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする.....	277
39.2	CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする.....	280
40	計画レポートの作成	282
41	データエクスポート	287
41.1	「データの転送」ウィンドウを開く.....	288
41.2	データのエクスポート.....	289
42	設定	291
42.1	一般設定の使用.....	292
42.2	SMPTEテスト画像によるモニターのカリブレーション.....	294
42.3	歯科医院情報の使用.....	296
42.4	Hubの使用を有効または無効にする.....	297
42.5	可視化設定の変更.....	299
42.6	SICAT Implant設定の変更.....	301
42.6.1	優先インプラントシリーズの指定.....	302
42.6.2	安全範囲の設定.....	304
42.6.3	孔の設定.....	305

43 サポート	307
43.1 サポート態勢のページを開く	308
43.2 連絡先情報およびサポートツール.....	309
43.3 インフォメーション	310
44 データを書き込み禁止で開く	311
45 SICAT Implantを終了する.....	312
46 SICAT Suiteを閉じる	313
47 ショートカットキー	314
48 SICAT Implantデータベースのアンインストール.....	315
49 SICAT Suiteのアンインストール.....	316
50 SICAT Suite患者データベースをアンインストールする	317
51 安全に関する注意事項.....	319
52 精度	327
用語集.....	328
索引	330
記号の説明.....	335

1 目的と効能

SICAT Implant は、顎顔面領域の画像情報を可視化するためのソフトウェアです。画像データは医療用スキャナ(CT/CBCTスキャナなど)で取得します。SICAT Implantは、歯科インプラントの計画と口腔外科手術の計画において、資格のある歯科医を支援するための計画およびシミュレーション用ソフトウェアです。インプラントデザインはSICAT Implantからエクスポートし、CAD(Computer-Aided Design)およびラピッドプロトタイピングシステムへの入力情報として使用されます。

SICAT Implantは、歯科インプラントの計画をサポートします。そのため、適応症/診断/治療される状態は、歯科インプラントの適応症と同じです：

- 単一の歯の欠損
- 部分的に顎に歯が無い場合
- 顎に歯が無い場合

禁忌

禁忌はありません。

ただし、SICAT Implantは、さまざまな医療用製品の使用を必要とする完全な治療ワークフロー内で使用されます。これらの製品については、製造元の取扱説明書に従った禁忌を遵守する必要があります。

患者の対象グループ

患者の対象グループの除外基準はありません。

ただし、SICAT Implantは、さまざまな医療用製品の使用を必要とする完全な治療ワークフロー内で使用されます。これらの製品については、製造元の取扱説明書に従った患者の対象グループを含む適応症を遵守する必要があります。

対象ユーザー

対象ユーザーは専門知識のある有資格者です。SICAT Implantでは、これらは歯科医です。

2 臨床上の有益性

SICAT Implantの使用により、CTデータと光学印象データの統合に基づいて、口腔顎顔面領域の診断/治療をサポートできます。歯科インプラントのさまざまな寸法、位置、配列などの診断/治療関連のパラメータを、治療のためにプランニングし、エクスポートすることができます。

用途に即したSICAT Implantの使用によって、患者様が、最先端の精度の3D X線撮影画像に基づき計画された治療を受けられることを保証します。

3 バージョン履歴

バージョン2.0.40

- SICAT Suiteは、ローカルまたはサーバーに基づく患者データバンク（スタンドアロンバージョン）で操作できます。

バージョン2.0.20

- 自動データインポートによるパラメータ経由の呼出し（スタンドアロンバージョン）

バージョン2.0

- 初版発行

4 システム要件



お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

プロセッサ	クアッドコア 2.3 GHz (x64) 以上
メインメモリ	8 GB
グラフィックカード	専用* DirectX 11以上 ビデオメモリ：2 GB 現行のドライバで、ウィンドウズ・ディスプレイ・ドライバ・メモリWDDM1.0以降のバージョンを使用できること
ディスプレイ	画面解像度：画素密度が100%～125%のとき、1920×1080ドット以上** 画面解像度：画素密度が100%～200%のとき、3840×2160ドット以下**
ハードディスクの空き容量	40 GB
記憶媒体	インストールファイルが保存された外部記憶媒体へのアクセス
入力装置	キーボード、マウス
ネットワーク	イーサネット、1 Gbit/s
患者教化用プリンター	300 dpi以上 紙形式はDIN A4またはUSレターサイズ
オペレーティングシステム	Windows 10 (64ビット版、デスクトップ) Windows 11以上 (アップデートを含む) これらのオペレーティングシステムは、マイクロソフト社がサポートを継続する期間内でサポートされます。

ウェブブラウザ	Microsoft Edge Mozilla Firefox Google Chrome JavaScriptが有効になっていること。 標準のブラウザに設定しておいてください。
PDFビューア	例えば、Adobe Reader DC以降のバージョン
Hub	バージョン2.X、バージョン2.1以降
データバンクサーバー	SQL Server Express 2019
ハードディスクの空き容量（サーバーに基づく患者データバンク）	1 TB、SSDを推奨
ハードディスクの空き容量（ローカルな患者データ管理）	100 GB



*SICAT Suiteでご使用いただけるグラフィックカードは、パフォーマンスレベルがNVIDIA GeForce 960 GTXと同等か、または、それを上回る専用のものに限りです。統合グラフィックカードには対応していません。

**画面を低解像度にして画素密度を大きくすると、それが原因で、ユーザーインターフェースのある一部で、ソフトウェアの表示が不完全になることがあります。

ディスプレイは、SMPTEテスト画像が正確に表示されるように調整する必要があります。この調整に関する内容は、SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーションをご覧ください。

ソフトウェア要件

SICAT Suiteは、以下のソフトウェア・コンポーネントを必要としますが、これらコンポーネントが未インストールのときは、SICAT Suiteがインストールを行います：

- CodeMeterライセンス管理ソフト7.21a
- SQL Server Compact Edition 4.0
- SICAT WebConnector

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。このポートはファイアウォール内でも有効にされている必要があります。

プロトコル	接続方向	ポート
HTTP	送信	80
HTTPS	送信	443

プロトコル	接続方向	ポート
FTPS管理	送信	21
FTPSデータ転送	送信	49152~65534



SICAT WebConnectorがなくても注文を実行することができます。これに関する情報は注文プロセス [▶ ページ 262]を参照してください。

5 安全に関する情報

安全関連の章節を以下に挙げますが、お読みいただくことが大切です。

- 危険レベルの定義 [▶ ページ 15]
- オペレーターの資格 [▶ ページ 16]
- 安全に関する注意事項 [▶ ページ 319]

本製品に関連して重大な事故（重傷など）が発生した場合は、製造元および管轄当局に報告する必要があります。

5.1 危険レベルの定義

この取扱説明書では、オペレータ要員の皆様や患者様が負傷しないようにすること、および、物的損害を予防することの両者を目的として、安全にかかわる識別表示として以下のものを使用しています。



注意

この表示は、回避しなかった場合に、比較的、軽度の負傷を招く原因になりうる、危険な状況であることを示します。

注記

重要であるが、安全に関連していると思なされない情報を示しています。

5.2 オペレーターの資格



資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

ソフトウェアの使用には、以下の条件が揃っている必要があります。

- 本取扱説明書を読んでいること。
- ソフトウェアの基本構造および機能に習熟していること。

6 使用するアイコンおよび強調

アイコン

この取扱説明書では、以下の記号を使用しています。



この注意アイコンは、例えば代替手順のような追加情報を示しています。

強調

SICAT Suiteに表示される要素のテキストおよび記号は、**太字**で強調されています。これに含まれるユーザーインターフェースのオブジェクト：

- 範囲の記号
- ボタンの記号
- アイコンの記号
- 画面に表示される注意およびメッセージのテキスト

取扱説明

取扱説明は番号付きリストで記載されています。

☑ 前提条件にはこのアイコンが付けられています。

1. 手順には番号が付けられています。

▶ 中間結果はこのアイコンが付けられ、挿入されています。

2. 中間結果の後、それ以降の手順が続きます。

3. **オプションまたは条件付きステップ**：オプションまたは条件付きステップでは、ステップの目標または条件の前にコロンが付きます。

▶ 最終条件にはこのアイコンが付けられています。

- 一つの手順のみで構成される指示にはこのアイコンが付けられています。

患者情報

表示されている例の患者名は架空のものです。したがって、実在の人物との類似点はまったく偶然の一致です。特に、例の患者名と表示された患者データとの間に相関関係はありません。

7 取扱説明書の概要

SICAT Implantは、他の各種アプリケーションとともに、SICAT Suiteの一部を構成します。SICAT Suiteは、SICATの各種アプリケーションを実行させる環境を提供します。したがって、各種アプリケーションのインストールは、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 39]を参照してください。

インストール後、SICAT Suiteは二つの方法で使用できます：

- スタンドアロン版
- SIDEXIS 4のモジュールを追加

SICAT Suiteをインストールすると、1つのバージョンのみを使用する場合でも、両方のバージョンが常にインストールされます。

一部の操作手順がバージョンによって異なるため、2つのバージョンには個別の取扱説明書が用意されています。使用するSICAT Suiteバージョンの使用に適切な取扱説明書を必ず使用してください。

各種アプリケーションのアンインストールも同様に、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suite*のアンインストール [▶ ページ 316]を参照してください。

8 SICAT SUITEの概要

SICAT Suiteは以下のアプリケーションを含みます。

- SICAT Implant - SICAT Implantの使用目的については、SICAT Implantの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Function - SICAT Functionの使用目的については、SICAT Functionの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Air - SICAT Airの使用目的については、SICAT Airの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Endo - SICAT Endoの使用目的については、SICAT Endoの取扱説明書をご参照ください。

言語

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは以下の言語に対応しています。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ロシア語
- デンマーク語
- スウェーデン語

ライセンス認証

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。



お住まいの国でSuite製品のサブスクリプションが利用できる場合は、その設定方法や利用方法に関する個別の情報を入手できます。

フルバージョンおよびビューアモード

SICAT Suiteは2種類のモードでスタートすることができます。

- 少なくとも一つのSICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを有効にしている場合、SICAT Suiteはフルバージョンで起動します。
- SICATアプリケーションのライセンスまたはビューアライセンスがアクティベートされていない場合、SICAT Suiteがビューアモードで起動します。

原則として以下のルールを適用しています。

- SICAT Suiteをインストールするときに、1つのモードに決定する必要はありません。
- 有効なフルバージョンライセンスのあるアプリケーションはフルバージョンでスタートします。
- ライセンスがなく、有効なビューアライセンスのあるアプリケーションはビューアモードでスタートします。

9 インストールの概要

SICAT Suiteは、使用場所の要件とインフラストラクチャに応じて、単一のワークステーションでのさまざまなアプリケーションシナリオ、または複数のワークステーションと共有患者データ管理を備えたネットワーク環境で使用できます。

選択したインストールのタイプに応じて、SICAT Suiteセットアップは、必要なすべてのソフトウェアコンポーネントを備えたSICAT Suiteを、単一のワークステーションまたはサーバー上のネットワーク環境とネットワーク内のそれぞれのワークステーションにインストールします。

SICAT Suiteセットアップは、それぞれのソフトウェアコンポーネントに必要なインストーラーを自動的に次々と呼び出します。

- SICAT Suite患者データベース
- すべてのアプリケーション（SICAT Implant、SICAT Function、SICAT Air、SICAT Endo）を備えたSICAT Suite
- SICAT Implantデータベース

患者データは、インストールタイプの選択に応じて、ローカルコンピュータまたは別のサーバー上のSICAT Suite患者データベースに保存されます。



SICAT Suiteのバージョン2.0.40以降、既存のデータをさらに使用する場合は、以前の患者ファイリングをSICAT Suite患者データベースに転送する必要があります。これに関する情報は患者データバンク [▶ ページ 79]を参照してください。

アプリケーションシナリオ：ローカルな患者データ管理

SICAT Suiteを単一のワークステーションで使用する場合、すべてのコンポーネントがワークステーションにインストールされます。患者データは、ワークステーション上でローカルにSICAT Suite患者データベースで管理されます。ワークステーションは、1人または複数のユーザーがそれぞれの設定で使用することができます。

アプリケーションシナリオ：サーバーに基づく患者データバンク

SICAT Suiteをネットワーク内の複数のワークステーションで使用する場合は、SICAT Suite患者データベースを搭載したサーバーコンポーネントをサーバーに、SICAT Suiteをそれぞれのワークステーションにインストールする必要があります。患者データはサーバー上のSICAT Suite患者データベースで管理され、ワークステーションはネットワークを介して一元管理された患者データにまとめてアクセスします。複数のユーザーが、共有患者データ管理を使って同時に作業することができます。利用可能なライセンス（フルバージョンまたはビューア）に応じて、ワークステーションは患者データの編集または閲覧のいずれかに使用できます。これに関する情報はライセンス [▶ ページ 67]を参照してください。



SICAT Implantデータベースは、各ワークステーションのサーバー環境にもローカルにインストールされます。

10 SICATSUITEのセットアップを開始する



注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。



注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

SICAT Suiteのセットアップは、必要なすべてのソフトウェアコンポーネントを次々にインストールします。

- ☑ お手元のコンピュータでは、システムの要件が満たされているようにしておいてください。これに関する情報はシステム要件 [▶ ページ 11]を参照してください。
- ☑ SICAT Suiteは、SICATのウェブサイトからダウンロードできます。

1. SICATのウェブサイトからZIPファイルをダウンロードしてください。
2. SICAT SuiteをインストールするコンピュータでZIPファイルを解凍します。
3. 解凍したSICAT SuiteのフォルダをWindowsのエクスプローラで開きます。
4. **Setup.exe**ファイルを起動します。



- ▶ SICAT Suiteのセットアップが起動し、はじめにのウィンドウが開きます。



5. SICAT Suiteのセットアップで使用する言語は、お好みのものを、はじめにウィンドウの右上隅から選択したら、次へをクリックします。

- ▶ 選択された言語は、インストール全体で使用されます。アンインストールの種類

のウィンドウが開きます。

セットアップでは、SICAT Suiteをさらにインストールするために次のオプションが提供され

- シングルユーザーのインストールとしてのローカルな患者データ管理を使用したインストール [▶ ページ 24]
- サーバーおよびワークステーションのインストールとしてのサーバーに基づく患者データバンクを使用したインストール [▶ ページ 26]

10.1 シングルユーザーのインストールとしてのローカルな患者データ管理を使用したインストール

ローカルで患者データが管理されたSICAT Suiteをシングルユーザーのセットアップとしてインストールするには、インストールの際にシングルユーザーを選択します。

- ☑ SICAT Suiteは、単一のワークステーションにインストールされます。
- ☑ SICAT Suiteのセットアップが開始されました。これに関する情報はSICAT Suiteのセットアップを開始する [▶ ページ 22]を参照してください。



1. アンインストールの種類ウィンドウで、シングルユーザーのインストールオプション欄をローカルな患者データ管理エリアで選択し、次へをクリックします。

- ▶ 進捗状況のウィンドウが開きます。



- ▶ インストールするソフトウェアコンポーネントが表示されます。

2. インストールするのボタンをクリックします。

- ▶ インストールプロセスが開始されます。インストール中は、▶アイコンが表示されま
す。
- ▶ シングルユーザーのインストールに必要なソフトウェアコンポーネントのそれぞれのイ
ンストーラーが、次々と呼び出されます。
SICAT Suite患者データベースをインストールする [▶ ページ 30]
SICAT Suiteのインストール [▶ ページ 39]
SICAT Implantデータベースのインストール [▶ ページ 42]
- ▶ インストールが完了すると、**要約**のウィンドウが開きます：
- ▶ ソフトウェアコンポーネントが正常にインストールされると、✓アイコンが表示されま
す。

3. 終了するのボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteのセットアップが終了します。SICAT Suiteを初めて起動すると、ローカルの
患者データバンクへの接続が自動的に確立されます。

10.2 サーバーおよびワークステーションのインストールとしてのサーバーに基づく患者データバンクを使用したインストール

複数のワークステーションが存在するネットワーク環境にSICAT Suiteをインストールするには、サーバーと各ワークステーションでSICAT Suiteのセットアップを起動し、適切なインストールを選択する必要があります。

- SICAT Suite患者データベースをインストールするためのサーバーのインストールは、サーバー上で実行する必要があります。
- ワークステーションのインストールは、SICAT Suiteを使用するすべてのワークステーションで行う必要があります。

サーバーのインストール

- ☑ SICAT Suiteはサーバー環境にインストールされます。
- ☑ SICAT Suite患者データベースは、サーバーコンピュータにインストールされます。
- ☑ SICAT Suiteのセットアップが開始されました。これに関する情報はSICAT Suiteのセットアップを開始する [▶ ページ 22]を参照してください。



1. アンインストールの種類ウィンドウで、サーバーのインストールオプション欄をサーバーに基づく患者データバンクエリアで選択し、次へをクリックします。

- ▶ 進捗状況のウィンドウが開きます。



- ▶ インストールするソフトウェアコンポーネントが表示されます。
2. **インストールする**のボタンをクリックします。
 - ▶ インストールプロセスが開始されます。インストール中は、▶アイコンが表示されま
 - ▶ サーバーのインストールのインストーラーが呼び出されます：
SICAT Suite患者データベースをインストールする [▶ ページ 30]
 - ▶ インストールが完了すると、**要約**のウィンドウが開きます。
 - ▶ インストールが正常に行われると、✓アイコンが表示されます。
 3. **終了する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteのセットアップが終了します。

ワークステーションのインストール

- ☑ SICAT Suiteはサーバー環境にインストールされます。
- ☑ SICAT Suiteは、ワークステーションにインストールされます。

- ☑ SICAT Suiteのセットアップが開始されました。これに関する情報はSICAT Suiteのセットアップを開始する [▶ ページ 22]を参照してください。



1. アンインストールの種類ウィンドウで、ワークステーションのインストールオプション欄をサーバーに基づく患者データバンクエリアで選択し、次へをクリックします。

- ▶ 進捗状況のウィンドウが開きます。



- ▶ インストールするソフトウェアコンポーネントが表示されます。
2. **インストールする**のボタンをクリックします。
 - ▶ インストールプロセスが開始されます。インストール中は、▶アイコンが表示されま
 - ▶ ワークステーションのインストールに必要なソフトウェアコンポーネントのそれぞれのインストーラーが、次々と呼び出されます。
SICAT Suiteのインストール [▶ ページ 39]
SICAT Implantデータベースのインストール [▶ ページ 42]
 - ▶ インストールが完了すると、**要約**のウィンドウが開きます。
 - ▶ ソフトウェアコンポーネントが正常にインストールされると、✔アイコンが表示されま
 3. **終了する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteのセットアップが終了します。

10.3 SICAT SUITE患者データベースをインストールする

SICAT Suite患者データベースのインストールは、SICAT Suiteのセットアップ中に自動的に開始されます。

SICAT Suiteのセットアップで選択したインストールの種類に応じて、SICAT Suite患者データベースは次のようにインストールされます。

- シングルユーザーのインストールとしてのローカルな患者データ管理を使用したインストール [▶ ページ 31]
- サーバーのインストールとしてのサーバーに基づく患者データバンクを使用したインストール [▶ ページ 34]

10.3.1 シングルのユーザーのインストールとしてのローカルな患者データ管理を使用したインストール

- ☑ SICAT Suite患者データベースがインストールされていません。
- ☑ SICAT Suite患者データベースインストーラーは、シングルのユーザーのインストールとしてSICAT Suiteのセットアップによって開始されました。

注記

標準のインストールパスを変更すると、SICAT Suite患者データベースが意図したとおりに機能しなくなる可能性があります。

SQLデータベースのインストールに精通していない場合、インストールパスを変更しないでください。インストールパスのカスタマイズの詳細については、サポートにお問い合わせください。



1. SICAT Suite患者データベースインストーラーで使用する言語は、お好みのものを、**はじめ**にウィンドウの右上隅から選択したら、**次へ**をクリックします。

▶ オプションのウィンドウが開きます。



▶ データルートディレクトリ欄には、患者データを含むデータバンクが作成されるパスが表示されます。

- 別の場所を選択したい場合は、データルートディレクトリ欄の横にあるのボタンをクリックします。選択した保管場所に十分な空き容量があることを確認してください。これに関する情報はシステム要件 [▶ ページ 11]を参照してください。

▶ フォルダを選択するのウィンドウが開きます。

- SICAT Suite患者データベースインストーラーに「Microsoft SQL Server」ディレクトリを作成させたいフォルダを参照し、OKをクリックしてください。

▶ フォルダを選択すると、SICAT Suite患者データベースインストーラーが、そのフォルダへのパスをデータルートディレクトリボックス内に貼り付けます。

- SICAT Suite患者データベースをインストールするための個々のパスを選択する場合は、SQL Serverの拡張オプションを表示しますボタンをクリックして詳細オプションを表示し、それぞれのSQLデータに必要なディレクトリを選択します。

- ▶ 個々のパスとデータベースプロパティの詳細オプションが表示されます。



- データベースのプロパティを変更する場合は、**インスタンス**および**データベース**入力欄の内容に注意してください。
- インストールする**のボタンをクリックします。
 - ▶ インストールドライブの空き容量が不足している場合は、実際のおよび推奨される空き容量の情報を表示するのウィンドウが開きます。この場合、**それにもかかわらず、インストールします**をクリックしてインストールを続行するか、**中止する**をクリックしてキャンセルできます。
 - ▶ **進捗状況**のウィンドウが開きます。
 - ▶ SICAT Suite患者データベースがインストールされます。
 - ▶ インストールが完了すると、**要約**のウィンドウが開きます。
- 終了する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suite患者データベースインストーラーが閉じます。

10.3.2 サーバーのインストールとしてのサーバーに基づく患者データバンクを使用したインストール

- ☑ SICAT Suite患者データベースがインストールされていません。
- ☑ SICAT Suite患者データベースインストーラーは、サーバーのインストールとしてSICAT Suiteのセットアップによって開始されました。

注記

標準のインストールパスを変更すると、SICAT Suite患者データベースが意図したとおりに機能しなくなる可能性があります。

SQLデータベースのインストールに精通していない場合、インストールパスを変更しないでください。インストールパスのカスタマイズの詳細については、サポートにお問い合わせください。

注記

患者データバンクは、自分で選択したパスワードで保護する必要があります。パスワードを忘れると、患者データバンクに接続して患者ファイルにアクセスできなくなります。

患者データバンクに接続するためのパスワードは慎重に保管し、いつでも見つけれられるようにしてください。



1. SICAT Suite患者データベースインストーラーで使用する言語は、お好みのものを、**はじめ**にウィンドウの右上隅から選択したら、**次へ**をクリックします。

- ▶ オプションのウィンドウが開きます。



- ▶ データールートディレクトリ欄には、患者データを含むデータバンクが作成されるパスが表示されます。
2. 別の場所を選択したい場合は、データールートディレクトリ欄の横にあるのボタンをクリックします。選択した保管場所に十分な空き容量があることを確認してください。これに関する情報はシステム要件 [▶ ページ 11]を参照してください。
- ▶ フォルダを選択するのウィンドウが開きます。
3. SICAT Suite患者データベースインストーラーに「Microsoft SQL Server」ディレクトリを作成させたいフォルダを参照し、OKをクリックしてください。
- ▶ フォルダを選択すると、SICAT Suite患者データベースインストーラーが、そのフォルダへのパスをデータールートディレクトリボックス内に貼り付けます。
4. SICAT Suite患者データベースをインストールするための個々のパスを選択する場合は、SQL Serverの拡張オプションを表示しますボタンをクリックして詳細オプションを表示し、それぞれのSQLデータに必要なディレクトリを選択します。

- ▶ 個々のパスとデータベースプロパティの詳細オプションが表示されます。



SICATSUITE
PATIENT DATABASE

デフォルトの復元

オプション

データルートディレクトリ
C:\ProgramData\Microsoft SQL Server ...

SQL Serverの拡張オプション

インスタンス SICAT_SQLEXPRESS
ポート 41943
データバンク SicatSuite

インスタンスルートディレクトリ
C:\Program Files\Microsoft SQL Server ...

ユーザーデータバンクディレクトリ
C:\ProgramData\Microsoft SQL Server\MSSQL15.SICAT_SQLEXPRESS\MSSQL\DATA ...

ユーザーデータバンクプロトコルのディレクトリ
C:\ProgramData\Microsoft SQL Server\MSSQL15.SICAT_SQLEXPRESS\MSSQL\DATA ...

Filestreamのディレクトリ
C:\ProgramData\Microsoft SQL Server\MSSQL15.SICAT_SQLEXPRESS\MSSQL\DATA ...

中止する 戻る 次へ

5. データベースのプロパティを変更する場合は、**インスタンス**、**ポート**および**データバンク**入力欄の内容に注意してください。
6. **次へ**のボタンをクリックします。

- ▶ **接続設定**のウィンドウが開きます。

- ▶ データベースのプロパティを変更した場合は、変更されたデータベースのプロパティが一覧表示されます。

7. パスワード入力欄に、SICAT Suite患者データベースへの接続に使用される安全なパスワードを入力します。
8. 選択したパスワードをパスワードを繰り返します入力欄に再度入力します。チェックボックスプレーンテキストの表示を有効にして、割り当てられたパスワードを表示します。
9. パスワードをメモします。ワークステーション上のSICAT Suite患者データベースに接続するために必要です。パスワードがないと患者データバンクにアクセスできません。
10. **インストールする**のボタンをクリックします。
 - ▶ インストールドライブの空き容量が不足している場合は、実際のおよび推奨される空き容量の情報を表示するのウィンドウが開きます。この場合、**それにもかかわらず、インストールします**をクリックしてインストールを続行するか、**中止する**をクリックしてキャンセルできます。
 - ▶ **進捗状況**のウィンドウが開きます。
 - ▶ SICAT Suite患者データベースがインストールされます。

- ▶ インストールが完了すると、**要約**のウィンドウが開きます：



- ▶ SICAT Suite患者データベースのアクセスデータは、下部のウィンドウ領域に表示されま
- す。

11. **プレーンテキストの表示**のチェックボックスを有効にします。

- ▶ パスワードが表示されます。

12. **サーバー**項目の背後にあるサーバーの名前と**パスワード**項目の背後にあるパスワードをメモし、両方とも安全に保管し、権限のない人がアクセスできないようにしてください。

13. **私は、この情報を保存しました。** チェックボックスを有効にして、アクセスデータを書き留めたことを確認します。

14. **終了する**のボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suite患者データベースインストーラーが閉じます。

10.4 SICAT SUITEのインストール

SICAT Suiteのインストールは、SICAT Suiteのセットアップ中に自動的に開始されます。

- ☑ SICAT Suiteがインストールされていません。
- ☑ SICAT Suiteのインストーラーは、SICAT Suiteのセットアップによって開始されました。



1. SICAT Suiteのインストーラーで使用する言語は、お好みのものを、**はじめに**ウィンドウの右上隅から選択したら、**次へ**をクリックします。

▶ 使用許諾契約書のウィンドウが開きます。



2. エンドユーザー使用許諾契約書をもれなく通読し、**使用許諾契約書に同意します**。オプション欄を選択して、**次へ**をクリックします。

- ▶ オプションのウィンドウが開きます。



3. SICAT Suiteのインストーラーにより、SICAT Suiteをインストールする先のフォルダが、ハードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、**検索する**のボタンをクリックします。

- ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。

4. ご希望のフォルダが見つかったら、**OK**をクリックします。

- ▶ フォルダを選択すると、SICAT Suiteインストーラーが、そのフォルダへのパスをソフトウェアをどこにインストールしますか？ボックス内に貼り付けます。

5. 入力が可能な場合は、**デスクトップにショートカットを作成します**チェックボックスにチェックマークを入れるか外すかのいずれかを行います。

6. **インストールする**のボタンをクリックします。

- ▶ **進捗状況**のウィンドウが開きます。
- ▶ SICAT Suiteと残りのソフトウェア要件をインストールします。
- ▶ インストールが完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。

7. **終了する**のボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteインストーラーが閉じます。

10.5 SICAT IMPLANTデータベースのインストール



注意

SICAT Implantデータベースを変更するとSICAT Implantが仕様通りに機能しなくなる可能性があります。

1. SICAT Implantデータベースに変更を加えないでください。
2. SICAT Implantデータベースのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



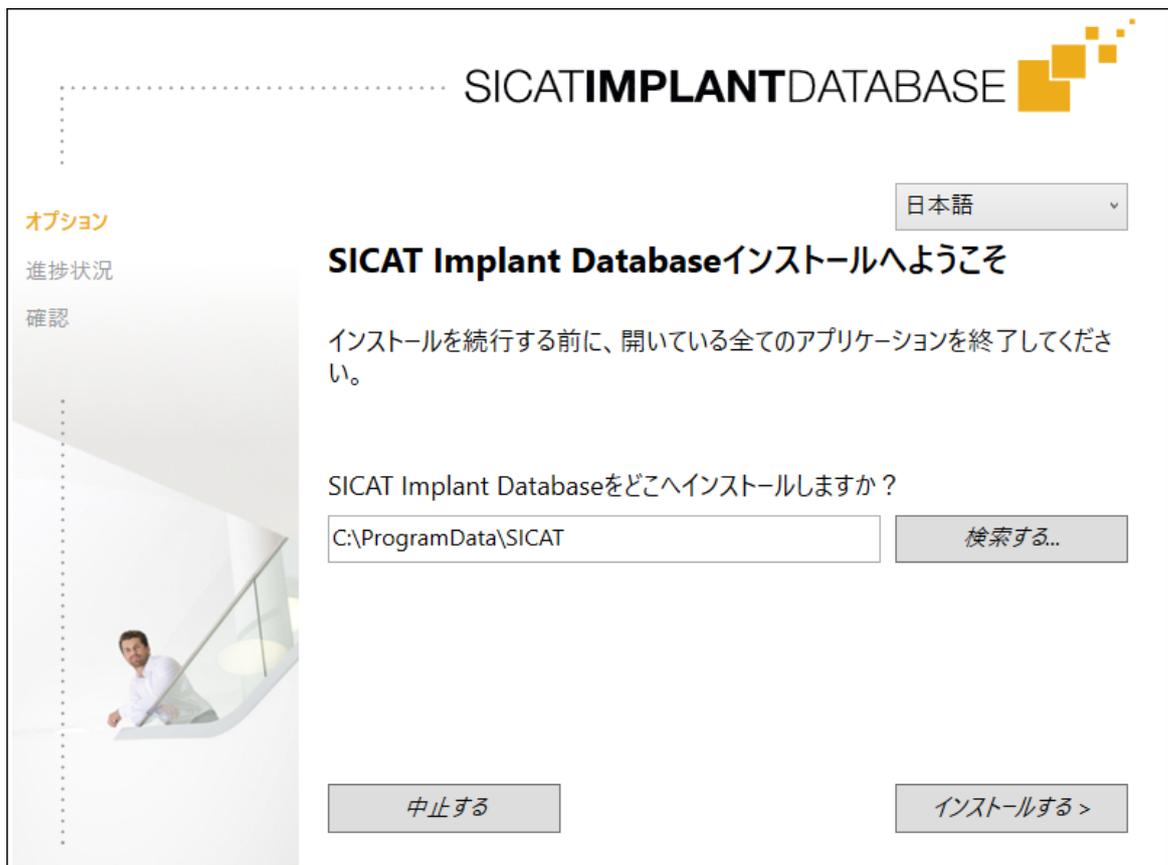
注意

承認不足の場合、SICAT Implant データベースのインストールまたはアップデートが失敗する場合があります。

SICAT Implant データベースをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な権限があることを確認してください。

SICAT ImplantデータベースのインストールはSICAT Suiteのインストールに引き続き自動的に起動します。

- ☑ SICAT Suiteはすでにインストールされています。
- ☑ SICAT Implantデータベースはインストールされていません。
- ☑ SICAT Implantデータベースインストーラーは、SICAT Suiteのセットアップによって開始されました。



1. ウィンドウ右上にある**オプション**でSICAT Implantデータベースインストーラーの希望する言語を選択します。

2. SICAT Implantデータベースインストーラーにより、SICAT Implantデータベースをインストールする先のフォルダが、ハードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、**検索する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。
3. ご希望のフォルダが見つかったら、**OK**をクリックします。
 - ▶ フォルダを選択すると、SICAT Implantデータベースインストーラーが、そのフォルダへのパスを入力欄内に貼り付けます。
4. **インストールする**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantデータベースがインストールされます。
 - ▶ インストールが完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。
5. **終了する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantデータベースインストーラーが閉じます。

11 OSアップデートの確認手順を実行する



注意

OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

お使いのコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムがインストールされている場合、SICAT Implantが正常に動作しているか確認します。適切な点検手順を実行してください。点検中に異常を発見した場合は影響を受けるコンピュータ上のSICAT Implantの使用を中止し、SICATサポートまでお問い合わせください。

準備

- ☑ SICAT Suite患者データベースがインストールされます。
 - ☑ 患者データバンクへの接続が追加され、有効になっています。これに関する情報は患者データバンクへの接続を追加する [▶ ページ 82]を参照してください。
1. **Windows**ボタンを押し、**SICAT Suite**と入力して、**SICAT Suite**アイコンをクリックすることによって、SICAT Suiteをスタンドアロンバージョンでスタートします。
 2. ファイル「SICATSuite_ReferenceDataset_2.0.40.zip」から基準データセットをインポートします。データセットは、インストールに使用したSICAT SuiteのZIPファイルに含まれています。これに関する情報はデータインポート [▶ ページ 92]を参照してください。
 3. 患者ファイル「Patient Axx」をSICAT Implantで開きます。

設定

1. FDI歯型図が有効であることを確認してください。これに関する情報は**一般設定の使用** [▶ ページ 292]を参照してください。
2. 見ている方向の「PR」がアクティブであることを確認してください。これに関する情報は**可視化設定の変更** [▶ ページ 299]を参照してください。

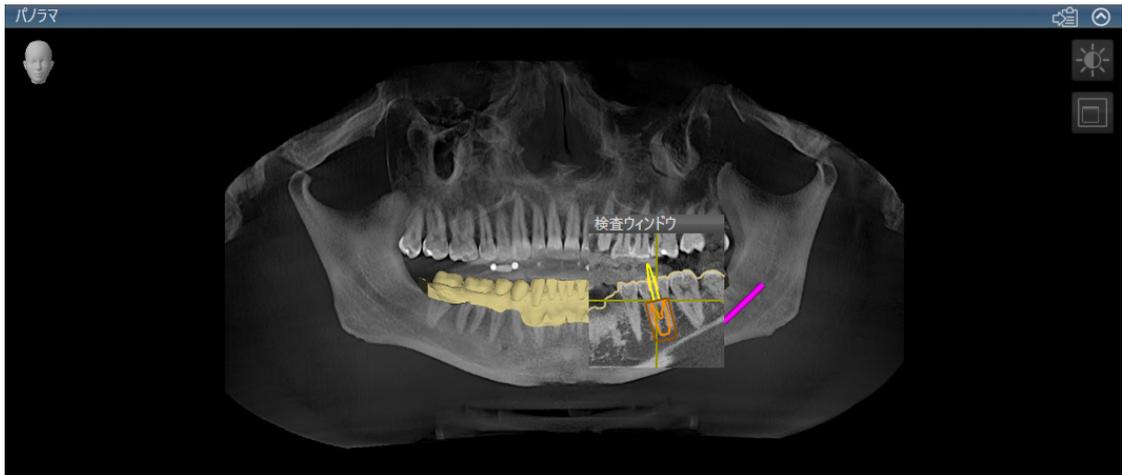


3. インプラント周囲の安全範囲が次の指示通りに設定されていることを確認してください。これに関する情報は**安全範囲の設定** [▶ ページ 304]を参照してください。
 - 横方向の最小距離：1.5 mm
 - 先端からの最小距離：2.0 mm
4. インプラントのパイロットボアチャンネルが下記の指定の通り設定されていることを確認してください。これに関する情報は**孔の設定** [▶ ページ 305]を参照してください。
 - パイロットドリル孔の孔径：2.0 mm
 - 長さ：15.0 mm
5. クロスヘアとフレームが表示されていることを確認してください。これに関する情報は**十字線およびフレームの移動、非表示、表示** [▶ ページ 154]を参照してください。

パノラマワークスペース

1. ワークスペース**パノラマ**へ切り替えてください。これに関する情報は**ワークスペースを切り替える** [▶ ページ 142]を参照してください。
2. ワークスペースのレイアウトをリセットしてください。これに関する情報は**アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット** [▶ ページ 143]を参照してください。
3. 表示をリセットしてください。これに関する情報は**ビューをリセットする** [▶ ページ 162]を参照してください。
4. **パノラマビューで、検査ウィンドウを標準サイズで表示**の表示モードに設定されていることを確認します。これに関する情報は**検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化** [▶ ページ 155]を参照してください。
5. **パノラマビューで輝度値とコントラスト値がそれぞれ基準値50%に一致している**ことを確認してください。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 150]を参照してください。
6. **オブジェクトブラウザでグループインプラントを開きます。**
7. **オブジェクトブラウザで対応するエントリをダブルクリックしてインプラント36にフォーカスします。**

8. 以下のスクリーンショットでパノラマビューを比較してください。



ワークスペース インプラントアライン済

1. ワークスペースアライメント済みインプラントへ切り替えてください。これに関する情報はワークスペースを切り替える [▶ ページ 142]を参照してください。
2. ワークスペースのレイアウトをリセットしてください。これに関する情報はアクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ ページ 143]を参照してください。
3. 表示をリセットしてください。これに関する情報はビューをリセットする [▶ ページ 162]を参照してください。
4. 縦と横断さらに軸方向のビューで輝度値とコントラスト値がそれぞれ基準値50%に一致していることを確認してください。これに関する情報は2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ ページ 150]を参照してください。
5. オブジェクトブラウザでまたはビュー上でインプラントをクリックしてインプラント 36を有効にします。
6. 以下のスクリーンショットで縦、横断、軸方向ビューを比較してください。特に長さ測定値、角度測定値、画像データを基準とした以下のオブジェクトの姿勢を確認してください。距離測定、角度測定、光学印象、下顎神経、インプラント、安全領域、パイロットドリル孔、スリーブ



12 SICAT SUITEの更新、修復

SICAT SUITEの更新



注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

SICAT Suiteインストーラーを起動し、**更新する**をクリックすると、SICAT Suiteを更新できます。更新にあたって、インストーラーは、最初にSICAT Suiteの旧バージョンをアンインストールします。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。



SICAT Suiteのバージョン2.0.40以降、既存のデータをさらに使用する場合は、以前の患者ファイリングをSICAT Suite患者データベースに転送する必要があります。接続の設定時に、患者ファイリングからのデータを患者データベースに転送できます。患者ファイリングをSICAT Suite患者データベースに転送する方法に関する情報は、対応する個別のクイックガイドに記載されています。

SICAT SUITEを修理する

SICAT Suiteを修理することができます。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

- SICAT Suiteはすでにインストールされています。
- SICAT Suiteは起動していません。

1. Windowsコントロールパネルで**プログラムおよび機能**をクリックします。
 - ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**項目をクリックします。
3. **変更**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteインストーラーが起動します。
 - ▶ **オプション**のウィンドウが開きます。
4. **修理する**のボタンをクリックします。
 - ▶ 修理が完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。
5. **終了する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteインストーラーが閉じます。

13 SICAT IMPLANTデータベースの更新、修復

SICAT IMPLANTデータベースの更新



注意

承認不足の場合、SICAT Implant データベースのインストールまたはアップデートが失敗する場合があります。

SICAT Implant データベースをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な権限があることを確認してください。

- ☑ SICAT Suiteはすでにインストールされています。
 - ☑ SICAT Implantデータベースの前バージョンはすでにインストールされています。
 - ☑ SICAT Suiteは起動していません。
1. SICAT ImplantV2.0以降用の最新バージョンSICAT ImplantデータベースをSICATのウェブサイトwww.sicat.comからダウンロードします。SICAT Implantデータベースはサービス>ダウンロードの下のメニューにあります。



2. ダウンロードしたファイルSICATImplantDatabaseInstaller.exeを起動します。ここで、ファイル名にSICAT Implantデータベースバージョンが含まれています。
 - ▶ オプションのウィンドウが開きます。
3. **更新する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantデータベースが更新されます。
 - ▶ 更新が完了すると、**確認**ウィンドウが開きます。
4. **終了する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantデータベースインストーラーが閉じます。

SICAT IMPLANTデータベースの修復

- ☑ SICAT Suiteはすでにインストールされています。
 - ☑ SICAT Implantデータベースはすでにインストールされています。
 - ☑ SICAT Suiteは起動していません。
1. Windowsコントロールパネルで**プログラムおよび機能**をクリックします。
 - ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
 2. **SICAT Implantデータベース**項目をクリックします。
 3. **変更**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantデータベースインストーラーが起動します。
 - ▶ **オプション**のウィンドウが開きます。
 4. **修理する**のボタンをクリックします。

- ▶ 修復が完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。
5. **終了する**のボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Implantデータベースインストーラーが閉じます。

14 このバージョンでの特徴

SICAT Implantを単独で使用するか、他のソフトウェアと併用するかに応じて、特定のエリアに違いがあります。

患者データ、立体画像のデータ

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンには、ポリウムデータおよび患者の固有の中央管理が含まれます。SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンの患者ファイルのコンセプトは、標準的な患者ファイルに例えることができます。

- 患者ファイルは、書類保管庫に例えることのできる患者データバンクに保存されます。
- 患者ファイルの選択は、患者ファイルを書類保管庫から取り出してテーブルに置くことに例えることができます。
- 患者ファイルからの患者データをSICATアプリケーションで開くことは、患者ファイルから書類を取り出すことに例えることができます。
- 3D X線撮影画像を患者ファイルに追加することは、標準的な患者ファイルの2D X線撮影画像を追加することに例えることができます。
- 3D X線撮影画像は、複数のプロジェクトの基礎となり得ます。プロジェクトは患者ファイルの一部でもあります。
- 付属のプロジェクトを含む3D X線撮影画像はスタディと呼ばれます。

患者データバンクへの接続を管理する方法については、[患者データバンク](#) [▶ ページ 79]をご覧ください。患者ファイルの管理に関する内容は、[患者ファイル](#) [▶ ページ 103]をご覧ください。



SICAT Suite患者データベースに患者ファイルを保存する方法については、別途用意されている説明書を参照してください。



患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに `%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG` と `%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG` を入力してください。

設定

スタンドアロン版では、SICAT Suite自体が設定内容のすべてを管理します。これに関する情報は [設定](#) [▶ ページ 291]を参照してください。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

スタディで、書込権限のあるものとなないものを開く

SICAT Implantスタディに対して変更を行い、その変更内容を保存するときは、以下の各条件を満たしておいてください。

- SICAT Implantフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了してください。
- 患者データバンクへの接続が有効になっている必要があります。
- サーバーに基づく患者データバンクを備えたネットワーク環境では、患者ファイルを他のユーザーが編集することはできません。

ライセンスのアクティベーションが完了していなければ、SICAT Implantスタディでは、変更と変更内容の保存がいずれもできません。SICAT Implantビューアライセンスをアクティベーション済みの場合、3D X線撮影画像およびSICAT Implantスタディを表示することができます。

次の表は、患者データバンクへの接続が有効になっているときに、ライセンスに応じてどのような機能が利用できるかを示しています。

機能	アプリケーションのフルバージョンライセンス	アプリケーションのビューアライセンス	アプリケーションライセンスなし
サポート領域	有	有	有
一般設定	有	有	有
データエクスポート	有	無	無
患者データバンクへの接続を管理する	有	有	有
患者ファイルの管理	有	有	有
データインポート	有	有	有
ヘルプ	有	有	有

次の表は、患者データバンクへの接続が有効になっているときに、SICAT Implantライセンスに応じてどのような機能が利用できるかを示しています。

機能	SICAT IMPLANTフルバージョンライセンス	SICAT IMPLANTアプリケーションのビューアライセンス	SICAT IMPLANTライセンスなし
SICAT Implant設定	有	有	無
SICAT Implantスタディに変更を加える	有	無	無
データをビューアモードで開く	有、患者記録がロックされている場合	有	有、SICATデータ用

アプリケーションのライセンスに対して、アクティベーションが完了していても、条件によっては、SICAT Implantのスタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれもできない場合があります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

スタンドアロンバージョンでは、ライセンスステータスは **SICAT Suite**ホームウインドウで使用できる機能にも影響します。これに関する情報は「*SICAT Suite*ホーム」ウインドウの概要 [▶ ページ 63]を参照してください。

詳細はデータを書き込み禁止で開く [▶ ページ 311]を参照してください。

15 次のドリルテンプレートとスリーブシステム に対応します

SICAT Implantは以下のドリルテンプレートに対応します。

ドリルテンプレート	説明	詳細
SICAT CLASSICガイド	患者が3D X線撮影画像の際身につけるレントゲンテンプレートに基づくドリルテンプレート。レントゲンテンプレートを石膏モデルに固定してSICATへ送ってください。SICATでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	詳細説明、適応症、禁忌、共通ワークフロー： https://www.sicat.com/ (「インプラントロジードリルテンプレート」メニュー項目)
SICAT OPTIガイド	SICAT Implant に3Dレントゲンデータとともに登録する光学印象に基づくドリルテンプレート。SICATでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	
SICAT OPTIガイド 石膏モデル撮影画像付き	SICATで石膏モデルを基に作成する光学印象に基づくドリルテンプレート。このためには石膏モデルをSICATまでお送りください。SICATでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	
SICAT DIGITALガイド	SICAT Implant に3Dレントゲンデータとともに登録する光学印象に基づくデジタルドリルテンプレートモデル。ドリルテンプレートモデルのデザインはSICATが行います。ドリルテンプレートの作成はクリニックでまたは提携先ラボで行ってください。	
SICAT DIGITALガイド 石膏モデル撮影画像付き	SICATで石膏モデルから作成する光学印象に基づくデジタルドリルテンプレートモデル。このためには石膏モデルをSICATまでお送りください。ドリルテンプレートモデルのデザインはSICATが行います。ドリルテンプレートの作成はクリニックでまたは提携先ラボで行ってください。	

ドリルテンプレート	説明	詳細
CEREC ガイド 2と CEREC ガイド 3	SICAT Implant に3Dレントゲンデータとともに登録する光学印象に基づくドリルテンプレート。クリニックでドリルテンプレートの設計と製造を行います。	詳細説明、適応症、禁忌、共通ワークフロー： https://www.dentsplysirona.com (「CERECインプラントロジー」メニュー項目)

SICAT Implantは以下のスリーブシステムの計画に対応しています。

スリーブシステム	説明	詳細
異なるメーカーの一貫ガイド付き外科システム	初期ドリルからインプラント挿入まで一貫ガイド付きの手術が可能になります。	SICAT Implantでは各マスタースリーブが各インプラントメーカーの規定に従ってのみ（「メーカー処置要綱に従う」）計画可能なようになっています。このことは各インプラントスリーブの組み合わせについて対応するインプラントとの互換性及び可能な離間スリーブ位置に該当します。 SICATドリルテンプレートが当面对応している一貫ガイド外科システム： https://www.sicat.com/ (「ダウンロード - インプラントロジー」メニュー項目) CERECガイドが当面对応している一貫ガイド外科システム： https://www.dentsplysirona.com (「CERECインプラントロジー」メニュー項目) メーカーの特定一貫ガイド外科システムについての詳細： メーカーのウェブサイト
SICATスリーブインスリーブ	外径 5 mm、内径3.5 mmの外部スリーブ及び、1.6 mm～2.9 mmの異なる内径を持つ内部スリーブから選択して組み合わせて構成するスリーブシステム。パイロットボア及び少なくとも1つの拡張ボアを顎に通して開けることができます。	外部スリーブにはそれぞれ1つの内部スリーブを嵌めることができます。外部スリーブはどの所望の高さにも計画できます。ご注文の際は1つまたは2つの内部スリーブを選択することができます。

スリーブシステム	説明	詳細
SICATパイロットスリーブ	SICATパイロットスリーブは外径が3 mm、1.1 mm～2.3 mmの異なる内径があります。パイロットボアを顎に通して開けることができます。	SICATパイロットスリーブはどんな所望の高さにも計画できます。
CERECガイドドリルキー	対応するCERECガイドドリルキーにホルダーの高さ1 mmを差し引いて一致する計画に合う異なる直径の仮想スリーブ3つで構成するスリーブシステムCERECガイドドリルキーでパイロットボア及び拡張ボアを顎に通して開けることができます。	スリーブはどんな高さにも計画できます。 特に対応するインプラントシステム/外科キット及び設定対象の計画パラメータ(スリーブモデルとスリーブ位置)についての詳細情報入手先： https://www.dentsplysirona.com (「CERECインプラントロジー」メニュー項目)

次表にスリーブシステムとドリルテンプレートの基本的対応関係を示します。

スリーブシステム	SICAT CLASSICGUIDE SICAT OPTIGUIDE SICAT DIGITALGUIDE	CERECガイド
異なるメーカーの一貫ガイド付き 外科システム	有	有 (CERECガイド3、特定メーカーに限る)
SICATスリーブインスリーブ	有	無
SICATパイロットスリーブ	有	無
CERECガイドドリルキー	有	有 (CERECガイド2)

16 SICAT IMPLANTの標準ワークフロー



注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。



注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。



注意

情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。



ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

インストール

SICAT SuiteとSICAT Implantデータベースをインストールする場合、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 39]と*SICAT Implant*データベースのインストール [▶ ページ 42]にあります。

フルバージョンで使用可能にする

1. SICAT Implantのライセンスが取得済みのときは、ライセンスのアクティベーションを行って、フルバージョンで使用できるようにします。これに関する情報は **ライセンス** [▶ ページ 67]を参照してください。
2. データを保存できるようにするには、患者データバンクへの接続を少なくとも1つ作成し、それを有効にします。これに関する情報は **患者データバンク** [▶ ページ 79]を参照してください。



SICAT Implantのライセンスを取得していない場合は、3D X線撮影画像をビューアモードで個別に開いてください。ビューアモードに関する内容は、**データを書き込み禁止で開く** [▶ ページ 311]の節をご覧ください。

開始

SICAT Suiteの起動手順は、*SICAT Suite* をスタートする [▶ ページ 60]の節をご覧ください。

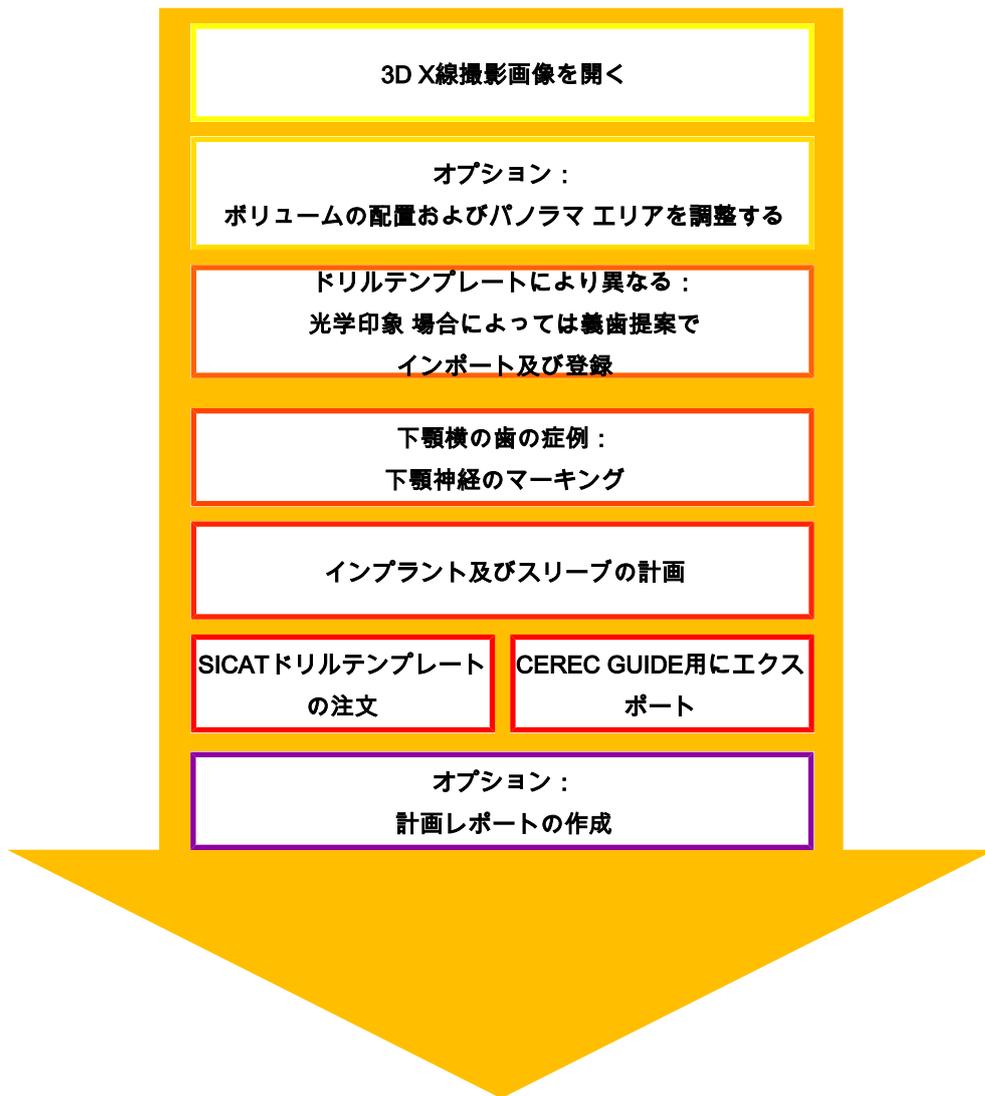
設定

各種設定について、お好みの内容に変更するときは、**設定**のコーナーから行ってください。これに関する情報は **設定** [▶ ページ 291]を参照してください。

データセットを開く

1. 3D X線撮影画像を患者データバンクにインポートします。これに関する情報は **データインポート** [▶ ページ 92]を参照してください。
2. 患者ファイルを検索し、インポートしたデータを管理する手順は、**患者ファイル** [▶ ページ 103]に記載の手順に従ってください。
3. 患者ファイルのデータで作業するには、SICAT Implantで患者ファイルを開きます。これに関する情報は **患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く** [▶ ページ 111]を参照してください。

SICAT IMPLANTの作業手順



1. 必要に応じて、ボリユームの配置とパノラマ エリアを調整します。これに関する情報はボリユームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ ページ 191]を参照してください。
2. 所望のドリルテンプレートのために必要（次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ ページ 53]を参照）またはインプラント計画の際に所望の場合、場合によっては3Dレントゲンデータとともに義歯提案を含め、光学印象をインポートして登録してください。これに関する情報は光学印象 [▶ ページ 208]を参照してください。
3. 下顎横の歯の症例の場合、対応する下顎神経にマークします。これに関する情報は下顎神経のマーキングと調整 [▶ ページ 224]を参照してください。
4. インプラント、場合によってはアバットメント及びスリーブの計画を行ってください。その際希望のドリルテンプレートを選び、望みのスリーブシステムを選択してください。これに関する情報はインプラントの計画 [▶ ページ 229]、アバットメントの計画 [▶ ページ 244]およびスリーブの計画 [▶ ページ 251]を参照してください。

5. SICAT ドリルテンプレートをご注文ください、またはCEREC ガイドの独自生産用計画をエクスポートしてください。患者との練習に関する情報は[注文プロセス \[▶ ページ 262\]](#)と [CEREC Guide用にエクスポート \[▶ ページ 276\]](#)を参照してください。
6. お望みなら独自の文書またはOP用の計画レポートを作成してください。これに関する情報は[計画レポートの作成 \[▶ ページ 282\]](#)を参照してください。



お望みなら、セカンドオピニオンを求める場合などのためにデータをエクスポートします。患者との練習に関する情報は[計画の管理 \[▶ ページ 174\]](#)と [データエクスポート \[▶ ページ 287\]](#)を参照してください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- 作業を終了または中断する時は、アクティブな患者ファイルを閉じて、これを保存してください。これに関する情報は[SICAT Suiteを閉じる \[▶ ページ 313\]](#)を参照してください。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、**SICAT Suite ヘルプ**のウィンドウからご覧ください。これに関する情報は[取扱説明書を開く \[▶ ページ 66\]](#)を参照してください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。これに関する情報は[サポート \[▶ ページ 307\]](#)を参照してください。

17 SICAT SUITE をスタートする

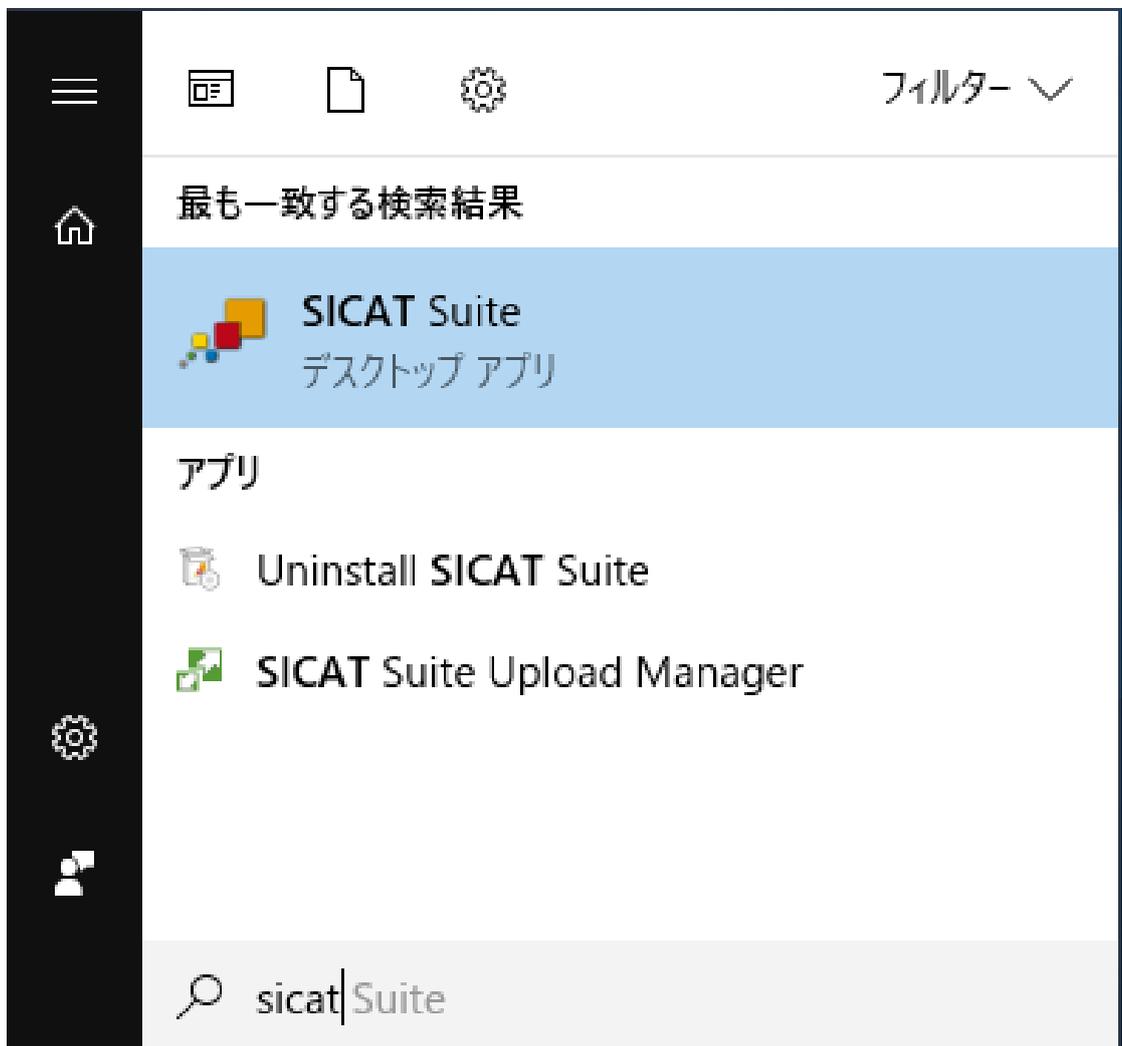
SICAT Suiteを起動するには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報はSICAT Suiteのインストール [▶ ページ 39]を参照してください。



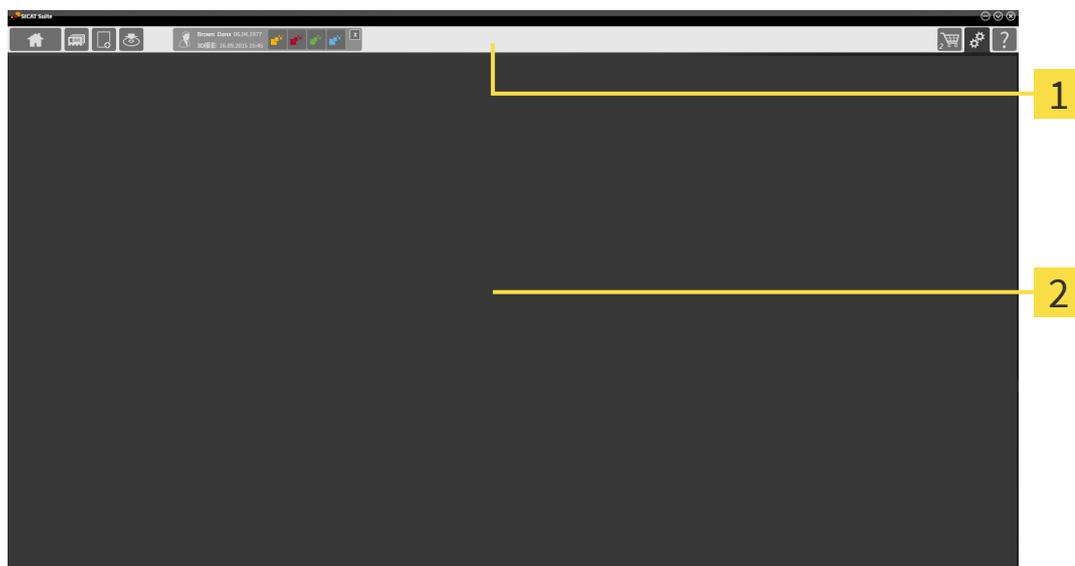
- インストール時にデスクトップアイコンを作成した場合、WindowsのデスクトップにあるSICAT Suiteアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteがスタートし、SICAT Suiteホームウィンドウが開きます。これに関する情報は「SICAT Suiteホーム」ウィンドウの概要 [▶ ページ 63]を参照してください。

Windowsボタンを押し、SICAT Suiteと入力して、SICAT SuiteアイコンをクリックすることによってSICAT Suiteをスタートすることもできます。



18 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



1 ナビゲーションバー

2 アプリケーション領域

- SICAT Suite 上端のナビゲーションバーは、各種ウインドウとアプリケーション間で切り替えるためのタブが表示されます。
- **アプリケーション領域**は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

ナビゲーションバーは3つのエリアで構成されています。左側のエリアと右側のエリアは常に表示されています。SICAT Suiteでは、一つの患者ファイルがアクティブになっている場合のみ、そのエリアが中央に表示されます。

左側のエリアには次のタブがあります。



- **SICAT Suiteホーム** - これに関する情報は「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要 [▶ ページ 63]を参照してください。



- **患者ファイル** - これに関する情報は患者ファイル [▶ ページ 103]を参照してください。



- **新規データを追加する** - これに関する情報はデータインポート [▶ ページ 92]を参照してください。



- **データを共有する** - これに関する情報はデータエクスポート [▶ ページ 287]を参照してください。

中央のエリアには次のタブがあります。



- **患者ファイルの管理** - これに関する情報は患者ファイルを扱う [▶ ページ 107]を参照してください。

- **アプリケーション** - これに関する情報はSICATのアプリケーションを相互に切り替える [▶ ページ 65]を参照してください。



右側のエリアには次のタブがあります。



- **カート** - これに関する情報は注文プロセス [▶ ページ 262]を参照してください。



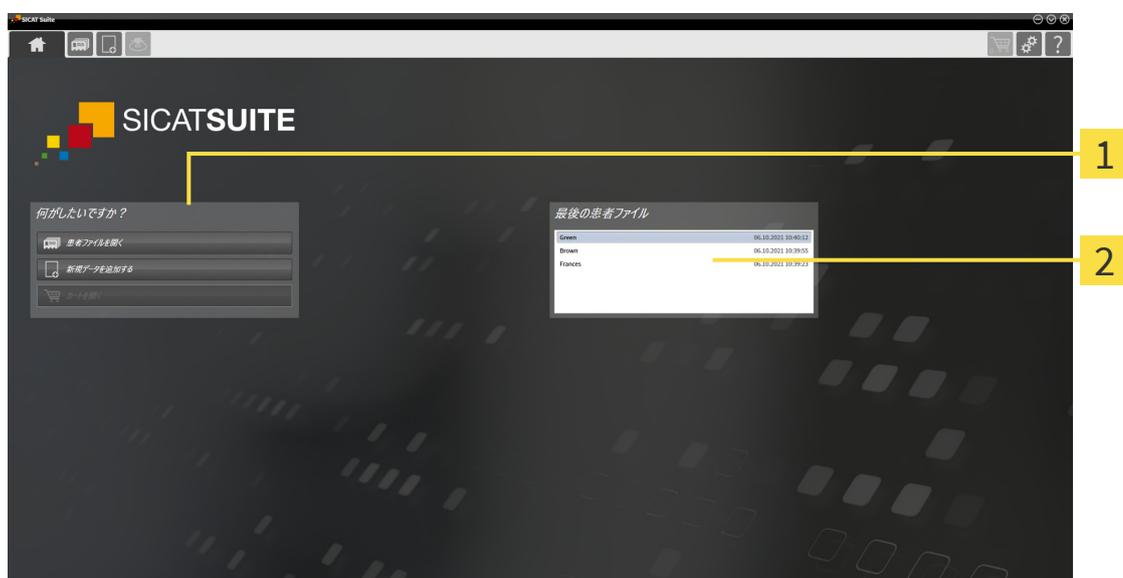
- **設定** - これに関する情報は設定 [▶ ページ 291]を参照してください。



- **サポート** - これに関する情報はサポート [▶ ページ 307]を参照してください。

18.1 「SICAT SUITEホーム」 ウィンドウの概要

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンを起動すると、SICAT Suiteホームウィンドウが表示されます。



1 何がしたいですか？エリア

2 最後の患者ファイルエリア



SICAT Suiteホームアイコンをクリックすると、いつでもこのウィンドウに戻ることができます。SICAT Suiteホームウィンドウの内容は、以下のパラメータによって異なります。

- アクティベーションの状態とライセンスの種類
- 患者データバンクへの接続

SICAT Suiteを使用できるようにするには、患者データバンクへの接続を設定する必要があります。これに関する情報は[患者データバンク](#) [▶ ページ 79]を参照してください。

アクティベート済みのライセンスがない場合、メッセージとボタン**ライセンスを有効にする**だけのSICAT Suiteホームウィンドウが表示されます。

最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効で、SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスがない場合はSICAT Suiteがビューアモードで起動します。このモードでは、患者データを編集および保存する機能は使用できません。

フルバージョンライセンスがアクティブで、SICAT Suiteで患者ファイリングが作成され、アクティブになっている場合、**SICAT Suiteホーム**ウィンドウの領域何がしたいですか？ に次のボタンが表示されます。



- **開く** - これに関する情報は**患者ファイル** [▶ ページ 103]を参照してください。



- **新規データを追加する** - これに関する情報は**データインポート** [▶ ページ 92]を参照してください。



- **カート** - これに関する情報は**注文プロセス** [▶ ページ 262]を参照してください。

- さらに、**最後の患者ファイル**エリアに、直近に開いた患者ファイルのリストが表示されます。これらの患者ファイルをダブルクリックすると、**患者ファイルの概要**ウィンドウに切り替わり、患者ファイルを表示することができます。



患者情報を匿名で表示するがアクティブになっている場合、**SICAT Suiteホーム**ウィンドウに**最後の患者ファイル**エリアが表示されます。

を参照してください

- ▶ データエクスポート [▶ 287]

19 SICATのアプリケーションを相互に切り替える

SICATアプリケーションを相互に切り替えるには、次のように行います。



- ナビゲーションバーから、SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されている方のボタンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

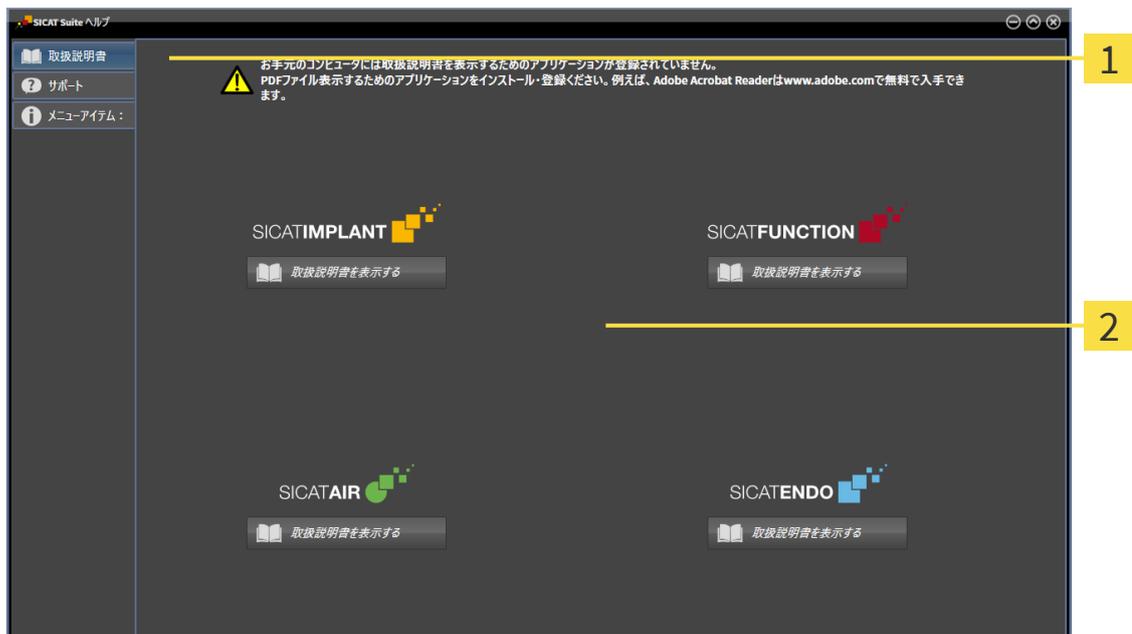
20 取扱説明書を開く

SICAT Suite ヘルプウィンドウを経由することで、SICATアプリケーションの取扱説明書をPDFファイル形式で参照可能です。



SICAT Suite ヘルプウィンドウは、サポートのアイコンをナビゲーションバーでクリック、またはF1ボタンを押すことによって開くことができます。

SICAT Suite ヘルプウィンドウは、以下に示す外観です。



1 取扱説明書のタブ

2 取扱説明書のウィンドウ

取扱説明書タブをクリックして、目的の**取扱説明書を表示する**ボタンをクリックすると、取扱説明書を開くことができます。

21 ライセンス

SICAT Suiteはライセンスが有効化済みのSICATアプリケーションのみ表示します。



SICAT Suiteで機能 **新規データを追加する** または **新規データを見る** が有効なライセンスに基づき使用できる場合、以前エクスポートしたデータセットを有効なSICAT Implantライセンスなしで表示することができます。



ネットワークライセンスを使用するには、まずローカルクリニックネットワークにライセンスサーバーをセットアップし、SICAT Suiteをライセンスサーバーに接続する必要があります。



練習用ネットワークでのライセンスサーバーの設定方法については、製造元であるWIBU-SYSTEMS AG社のライセンス管理ソフトウェア「CodeMeter」の取扱説明書と、*SICAT Suite Version 2.0* ライセンスサーバーをインストールするに関するクイックガイドを参照してください。

以下の種類のライセンスがあります。

- ビューライセンスがあればアプリケーションをビューモードで無期限使用することができます。
- デモライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。
- フルバージョンライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに無期限でアクセスすることができます。

これらのライセンスは、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスの両方として取得できます。

- ワークステーションライセンスを使うと、定義済みのコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。
- ネットワークライセンスを使えば、ローカルクリニックネットワーク内の複数のコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。

ライセンスを取得する

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。



お住まいの国でSuite製品のサブスクリプションが利用できる場合は、その設定方法や利用方法に関する個別の情報を入手できます。

ライセンスの有効化と無効化

以下は、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスに適用されます。

- お客様が受け取るSICATアプリケーションのライセンスキーはお使いの国で許可されているものだけです。
- フルバージョンライセンスを有効化すると、自動的にお使いの国で許可されている全てのアプリケーション用のビューアライセンスを受け取ります。
- SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを返却した場合、お使いの国で許可されている限り、自動的にビューアライセンスを受け取ります。

以下はワークステーションライセンスにのみ適用されます。

- ワークステーションライセンスのアクティベーションキーを1台のコンピュータで有効にすると、含まれているライセンスはそのコンピュータに割り当てられ、別のコンピュータでのアクティベーションには使用できなくなります。アクティベーションキーには、SICATのアプリケーションまたは機能に対する複数のライセンスが含まれる場合があります。
- ワークステーションライセンスは、各SICATアプリケーションまたは各機能ごとに無効化することができます。ワークステーションライセンスを返却すると、そのライセンスは同一または別のコンピュータで再度アクティベーションすることができます。

以下はネットワークライセンスにのみ適用されます。

- ネットワークライセンスを使用すると、SICAT Suiteを使用している間、付属のSICATアプリケーションまたは付属の機能の各ネットワークライセンスをコンピュータ上のユーザーが利用できます。ネットワークライセンスは現在他のユーザーによる使用のためにロックされています。
- ネットワークライセンスを使用している場合、SICAT Suiteを終了すると、ネットワークライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- ネットワークライセンスからワークステーションライセンスに切り替えると、ネットワークライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- SICAT Suiteを正しく終了せずにクリニックネットワーク内のライセンスサーバーへの接続が失われた場合、ネットワークライセンスは一定期間後に他のユーザーが使用するために自動的に解放されます。

次に続くアクション

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンス**のウィンドウで概要をご覧ください。デモライセンス使用時はSICAT Suiteは有効期限を表示します。これに関する情報は「**ライセンス**」のウィンドウを開く [▶ ページ 70]を参照してください。

ワークステーションライセンスは次の2通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。これに関する情報はインターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ ページ 71]を参照してください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。これに関する情報はワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ ページ 73]を参照してください。

各アプリケーションまたは機能のワークステーションライセンスを個別に無効にすることができます。ワークステーションライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたワークステーションライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。これに関する情報はワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 75]を参照してください。

ネットワークライセンスを有効にする方法は、**ネットワークライセンスを有効にする** [▶ ページ 77]をご覧ください。

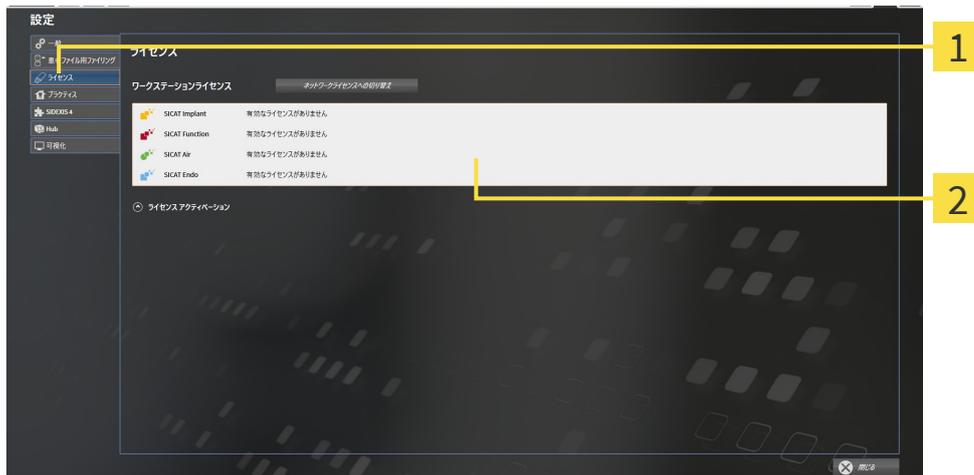
21.1 「ライセンス」のウィンドウを開く



1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **ライセンス**のタブをクリックします。
▶ **ライセンス**のウィンドウが開きます。



1 ライセンスのタブ

2 ライセンスのウィンドウ

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ ページ 71]
- ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ ページ 73]
- ネットワークライセンスを有効にする [▶ ページ 77]
- ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 75]

21.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする

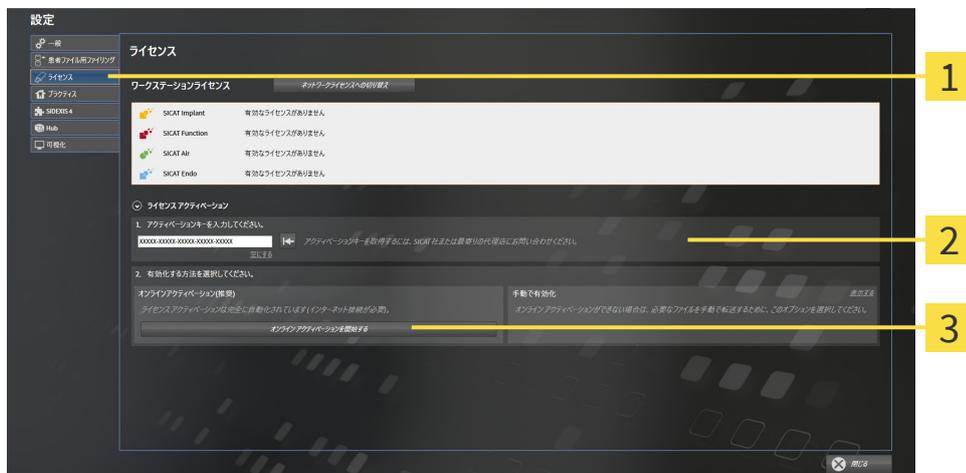
注記 患者ファイルが閉じている必要があります
ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記 カートが空になっている必要があります
ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「**ライセンス**」のウィンドウを開く [▶ ページ 70]を参照してください。

1. **ライセンス**のウィンドウで、**ライセンス アクティベーション**のボタンをクリックします。
▶ **ライセンス アクティベーション**エリアが開きます。



- 1 **ライセンス アクティベーション**のボタン
- 2 エリア
- 3 **オンライン アクティベーションを開始する**のボタン

2. 欄にアクティベーションキーを入力します。
3. **オンライン アクティベーションを開始する**のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォール**のウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。
- ▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**



SICATアプリケーションのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、エリアにあるボタン**顧客のアクティベーションキーを使用する**をクリックすると、アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、ボタン**空にする**をクリックしてください。

21.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする

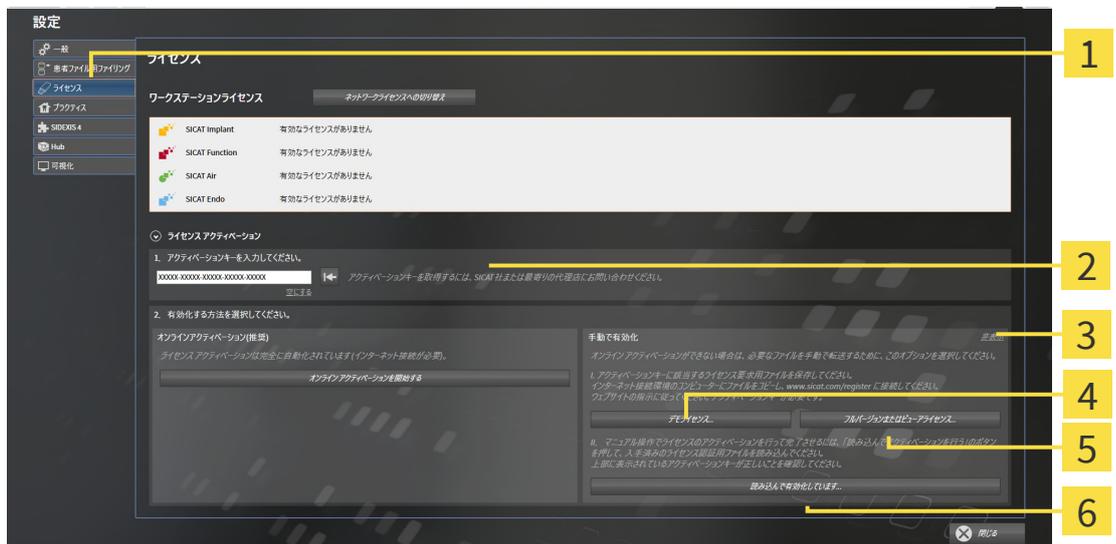
注記 患者ファイルが閉じている必要があります
ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記 カートが空になっている必要があります
ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

ライセンスを手動、またはアクションなインターネット接続なしで有効にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。
- ☑ ライセンスのウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ ページ 70]を参照してください。

1. ライセンスウィンドウの**ライセンス アクティベーション**をクリックします。
▶ **ライセンス アクティベーション**エリアが開きます。
2. **手動アクティブ化**エリアの**表示する**をクリックします。
▶ **手動アクティブ化**エリアが開きます。



- 1 ライセンス アクティベーション
- 2 エリア
- 3 表示する
- 4 デモライセンスのボタン
- 5 フルバージョンまたはビューアライセンスのボタン
- 6 読み込んで有効化していますのボタン

3. フルバージョンライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、**フルバージョンまたはビューアライセンス**のボタンをクリックします。
4. デモライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、**デモライセンス**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。
 - ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。
6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターにライセンス要求ファイルをコピーします。
7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com/register>を開きます。
8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。
 - ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。
 - ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピューターへダウンロードしてください。
9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピューターにコピーします。
10. アクティベーションキーが正確に欄に入力されていることをチェックします。
11. **ライセンス**のウィンドウで、**読み込んで有効化しています**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。
 - ▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピューターにインストールされます。
 - ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**

21.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する

注記

患者ファイルが閉じている必要があります

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

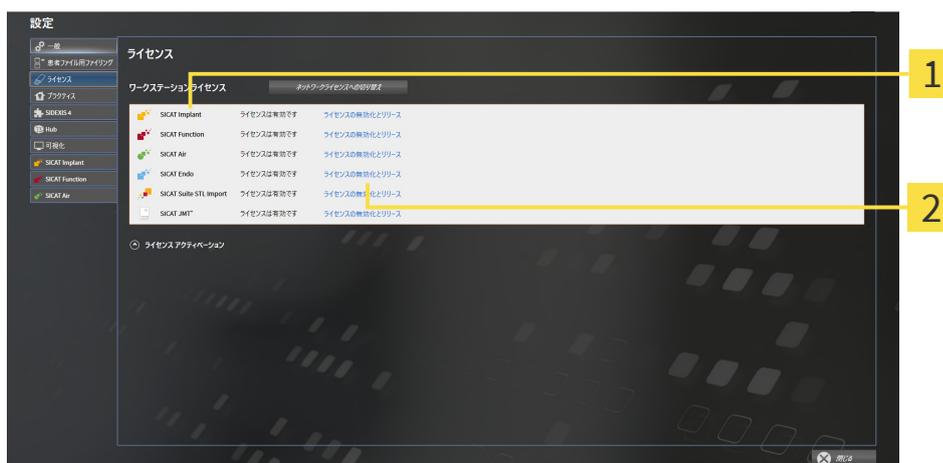
注記

カートが空になっている必要があります

ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

フルバージョンライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールに返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスはすでに有効になっています。
- SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ライセンスのウィンドウはすでに開いています。**これに関する情報は「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ ページ 70]を参照してください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 ライセンスの無効化とリリースのボタン

- **ライセンス**のウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスの無効化とリリース**のボタンをクリックします。
- ▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**
- ▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。



インターネット接続のないコンピューターでライセンスを無効化したい場合はSICATサポートまでお問い合わせください。

21.5 ネットワークライセンスを有効にする

注記

患者ファイルが閉じている必要があります

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記

カートが空になっている必要があります

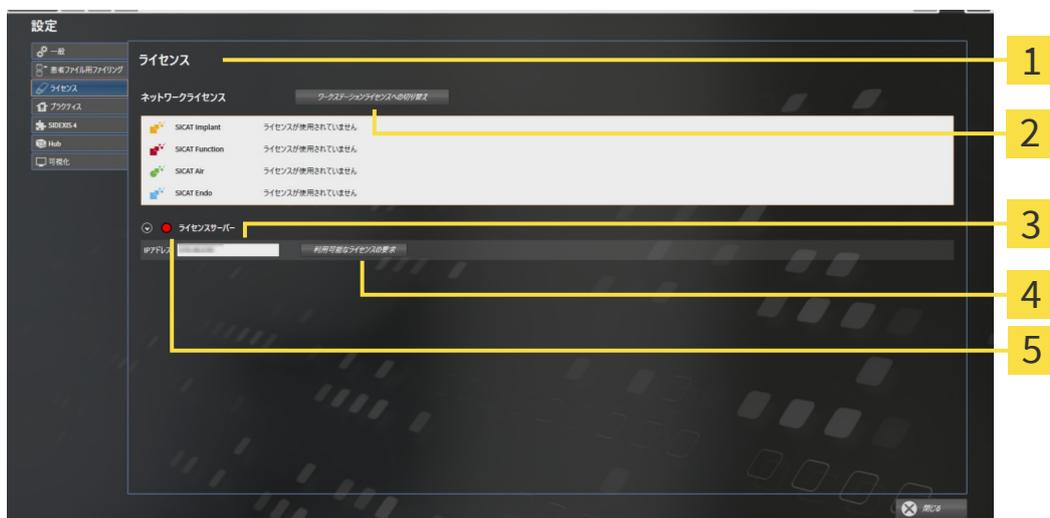
ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- 少なくとも1つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なネットワークライセンスが欠けています。
- ライセンスサーバーを設定しました。
- SICAT Suiteを実行しているコンピューターは、ライセンスサーバーが存在するネットワークへのアクティブなネットワーク接続を行っています。
- ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「**ライセンス**」のウィンドウを開く [▶ ページ 70]を参照してください。

1. **ライセンス**のウィンドウで、**ネットワークライセンス**への切り替えのボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Implant はネットワークライセンスに関する情報を表示し、**ライセンスサーバー**エリアが開きます。



1 ライセンスのウィンドウ

4 利用可能なライセンスの要求のボタン

2 ワークステーションライセンスへの切り替えのボタン

5 状態表示

3 IPアドレスエリア

2. **IPアドレス**エリアに、クリニックネットワーク内のライセンスサーバーのIPアドレスを入力します。
3. **利用可能なライセンスの要求**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteはライセンスサーバーに接続します。
 - ▶ アプリケーション用または個々の機能用に取得されたライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで使用されます。
 - ▶ ステータス表示が赤から緑に変わります。
 - ▶ **ライセンスサーバー**エリアが閉じます。

22 患者データバンク

ヒューズ



注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

選択したインストールの種類に応じて、患者データはローカルまたはサーバーに基づいてSICAT Suite患者データベースに保存されます。患者データを保護する責任はユーザー自身にあります。



患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに %appdata%\SICAT GmbH & Co. KGと %localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG を入力してください。

データのセキュリティ



注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

一般的なお知らせ



患者データバンクの管理は、SICAT Suiteでアプリケーションのライセンスが有効になっている場合にのみ完全に利用できます。



SICAT Suiteのバージョン2.0.40以降、既存のデータをさらに使用する場合は、以前の患者ファイリングをSICAT Suite患者データベースに転送する必要があります。接続の設定時に、患者ファイリングからのデータを患者データバンクに転送できます。患者ファイリングをSICAT Suite患者データベースに転送する方法に関する情報は、対応する個別のクイックガイドに記載されています。

SICAT Suiteは患者データを次のように管理します。

- 一人の患者の全3D撮影画像と付属する全ての計画プロジェクトが患者ファイルに整理されています。
- 患者ファイルは、ローカルまたはSICAT Suite患者データベースのサーバーに保存されます。

SICAT Suiteをフルバージョンとして実行するには、患者データバンクへの接続が少なくとも1つ必要です。患者データバンクへの複数の接続を管理できます。ただし、ある時点で有効にできる患者データバンクは、常に一つだけです。

患者ファイルは特定のアクション中にブロックされ、サーバーに基づく患者データバンクを備えたネットワーク環境でブロックされている間のみ他のユーザーが表示できます。これに関する情報は患者ファイル [\[▶ ページ 103\]](#)を参照してください。



サーバーに基づく患者データバンクの場合、特定の最小帯域幅のネットワーク接続が必要です。これに関する情報はシステム要件 [\[▶ ページ 11\]](#)を参照してください。

患者データバンクへの接続を確立するには、次のアクションを使用できます。

- 「患者データバンク」ウィンドウを開く [\[▶ ページ 81\]](#)
- 患者データバンクへの接続を追加する [\[▶ ページ 82\]](#)
- 別の患者データバンクを有効にする [\[▶ ページ 87\]](#)
- 患者データバンクへの接続を削除する [\[▶ ページ 89\]](#)

22.1 「患者データバンク」ウィンドウを開く

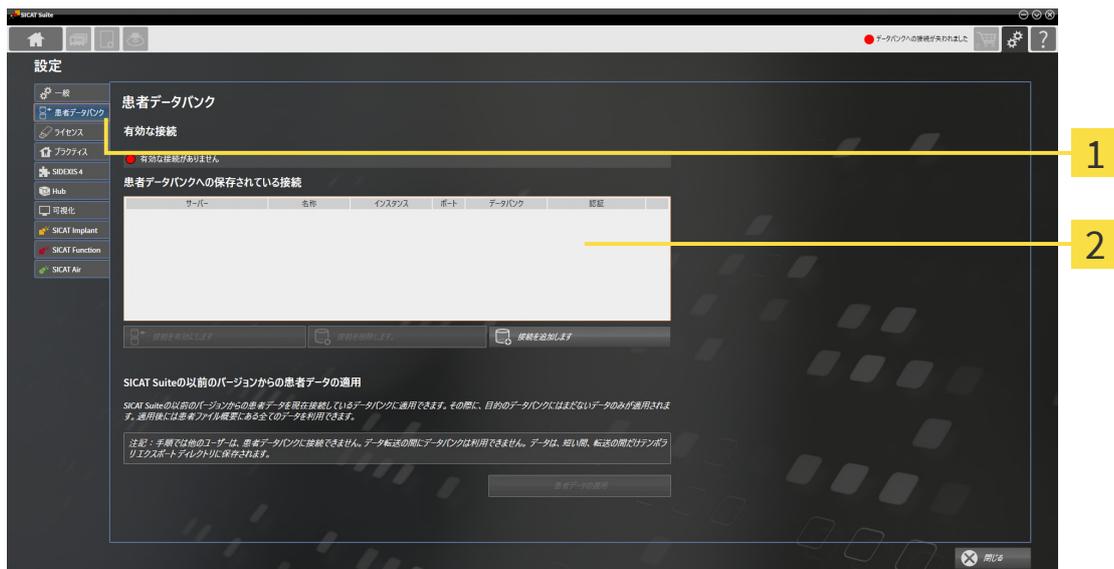
患者データバンクウィンドウを開くには、次の手順で行います。



1. ナビゲーションバーで、**設定**アイコンをクリックします。
▶ 設定のウィンドウが開きます。



2. **患者データバンク**のタブをクリックします。
▶ 患者データバンクのウィンドウが開きます。



1 患者データバンクのタブ

2 患者データバンクへの保存されている接続のリスト

以下の操作を続行します：

- 患者データバンクへの接続を追加する [▶ ページ 82]
- 別の患者データバンクを有効にする [▶ ページ 87]
- 患者データバンクへの接続を削除する [▶ ページ 89]

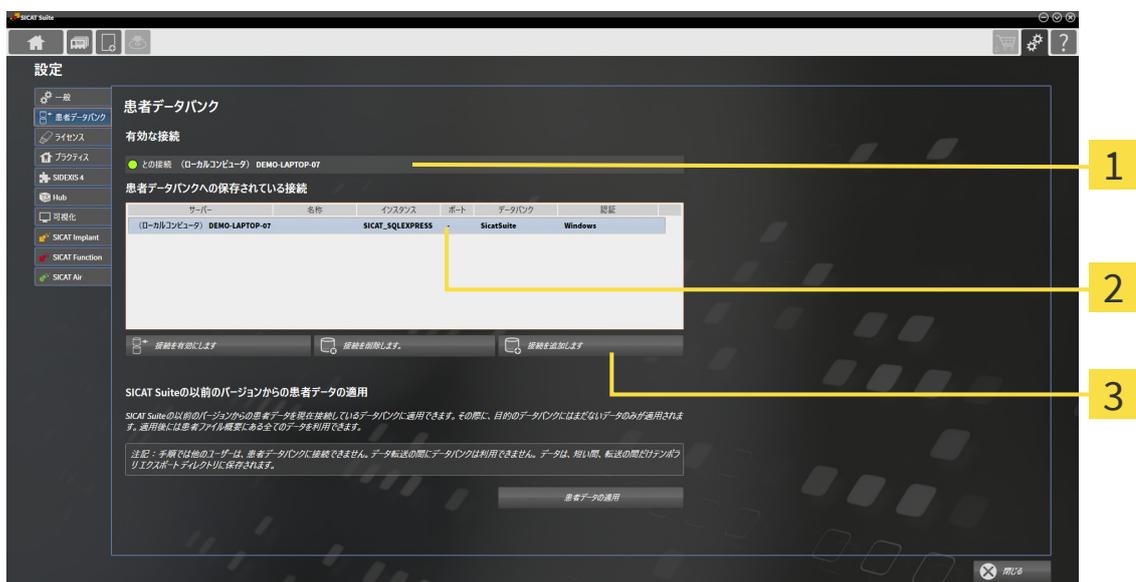
22.2 患者データバンクへの接続を追加する

患者データバンクを使用するためには、SICAT Suite患者データベースへの接続を確立する必要があります。単一のワークステーションのローカル接続、またはネットワーク内のワークステーションのサーバーへの接続を追加できます。

SICAT Suiteがローカルな患者データ管理とともにインストールされている場合、ローカルな患者データバンクへの接続はすでに設定され、有効になっています。

患者データバンクに接続を追加するには、次の手順で行います：

- ☑ SICAT Suite患者データベースは、ローカルまたはサーバーにインストールされます。これに関する情報はSICAT Suite患者データベースをインストールする [▶ ページ 30]を参照してください。
- ☑ 患者データバンクのウィンドウはすでに開いています。



- 1** 有効な接続
- 2** 患者データバンクへの保存されている接続のリスト
- 3** 接続を追加しますのボタン



1. 患者データバンクのウィンドウで、**接続を追加しますのボタン**をクリックします。
▶ 患者データバンクへの**接続を追加しますのウィンドウ**が開きます。



2. インストールの種類に応じて接続の種類を選択します。

接続を追加するには、次のオプションを使用できます：

- ローカル接続を追加する [▶ ページ 84]
- サーバーへの接続を追加する [▶ ページ 85]

22.2.1 ローカル接続を追加する

シングルユーザーコンピュータのSICAT Suite患者データベースへのローカル接続を確立するには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Suite患者データベースは、シングルユーザーコンピュータにローカルにインストールされ、シングルユーザーのインストールとしてのローカルな患者データ管理を使用したインストール [▶ ページ 31]。



1. 患者データバンクへの接続を追加しますウィンドウでローカルな接続オプション欄を選択します。
 - ▶ 接続の詳細が表示されます。
 - ▶ 入力欄には、インストール中に使用される標準値が事前に入力されています。
 2. SICAT Suite患者データベースのインストール時に異なる名前を割り当てた場合は、インスタンスおよびデータバンク入力欄に割り当てた名前を入力してください。
 3. 接続 (オプション) の名称入力欄に、接続用に選択した名前を入力して、後で複数の患者データバンクを使用してそれらを切り替えた場合に接続を明確に識別できるようにします。
 4. 保存と接続のボタンをクリックします。
 - ▶ 接続が追加されます。
 - ▶ 以前、別の接続が有効になっていた場合は、患者データバンクへの接続を有効にします確認メッセージが開きます。
 5. 確認メッセージにある接続を有効にしますのボタンをクリックします。
 - ▶ 新しい接続が有効になります。
 - ▶ 患者データバンクウィンドウでは、追加された接続が患者データバンクへの保存されている接続エリアに太字のフォントスタイルで表示されます。
- ▶ SICAT Suiteは、ローカルな患者データバンクに接続されています。有効な接続は、有効な接続エリアに表示されます。

22.2.2 サーバーへの接続を追加する

ワークステーションのSICAT Suite患者データベースへのローカル接続を確立するには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Suite患者データベースは、ネットワーク内のサーバーにインストールされ、サーバーのインストールとしてのサーバーに基づく患者データバンクを使用したインストール[▶ ページ 34]。
- ☑ ワークステーションとサーバーにはネットワーク接続があります。



1. 患者データバンクへの接続を追加しますウィンドウでオプション欄**サーバーへの接続**を選択します。
 - ▶ サーバー接続の詳細が表示されます。
2. **サーバー**および**パスワード**入力欄に、インストール時に表示されたサーバー名と、選択したパスワードを入力します。
3. インストール時にデフォルト値を変更した場合は、**拡張オプションを表示**のボタンをクリックします。

- ▶ 詳細オプションが表示されます。

- インストール時に使用したパラメータを入力欄に入力してください。
 - 保存と接続**のボタンをクリックします。
 - ▶ 接続が追加されます。
 - ▶ 以前、別の接続が有効になっていた場合は、**患者データバンクへの接続を有効にします**確認メッセージが開きます。
 - 確認メッセージにある**接続を有効にします**のボタンをクリックします。
 - ▶ 新しい接続が有効になります。
 - ▶ **患者データバンク**ウィンドウでは、追加された接続が**患者データバンクへの保存**されている**接続**エリアに太字のフォントスタイルで表示されます。他の接続では、フォントスタイルが通常のものに変わります。
- ▶ SICAT Suiteは、サーバー上の患者データバンクに接続されています。有効な接続は、**有効な接続**エリアに表示されます。

22.3 別の患者データバンクを有効にする

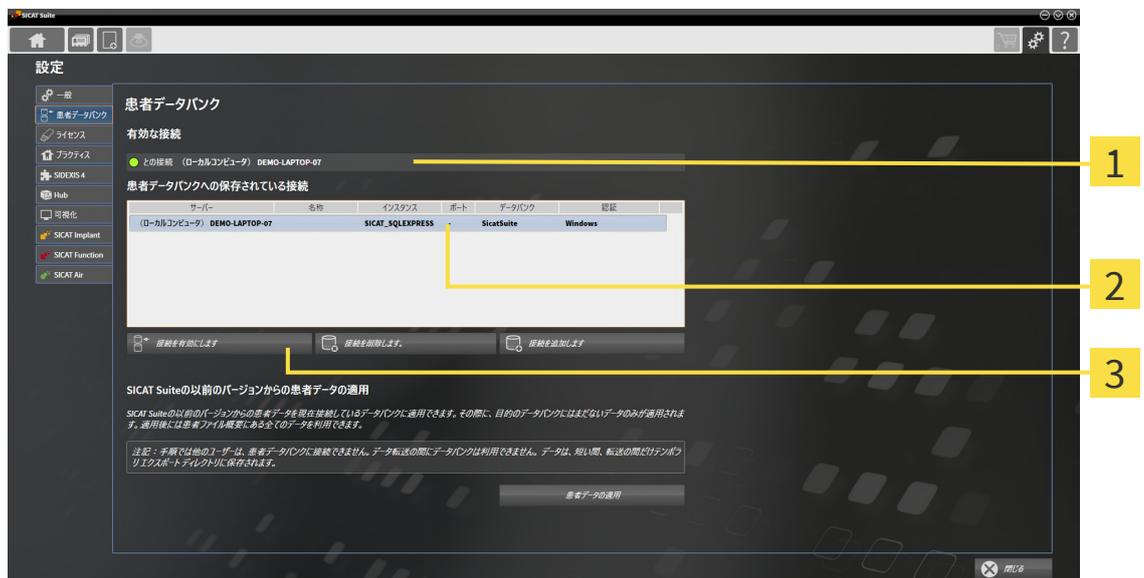
患者データバンクへの有効な接続を変更すると、次のような場合に役立ちます：



- 施設のネットワーク内の患者データバンクとノートブック上のローカル患者データバンクを切り替えたい場合。
- 別の患者データバンクに匿名で保存されている患者データを、たとえば、研修などの目的で公開したい場合。

別の患者データバンクを開くときは、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Suite患者データベースは、ローカルまたはサーバーにインストールされます。
- ☑ 必要な患者データバンクへの接続はすでに追加されています。これに関する情報は患者データバンクへの接続を追加する [▶ ページ 82]を参照してください。
- ☑ 患者データバンクのウィンドウはすでに開いています。



1 有効な接続

3 接続を有効にしますのボタン

2 患者データバンクへの保存されている接続のリスト

1. 患者データバンクウィンドウの患者データバンクへの保存されている接続エリアで、リスト内の希望する患者データバンクがある行をクリックします。



2. 接続を有効にしますのボタンをクリックします。
 - ▶ 以前、別の接続が有効になっていた場合は、患者データバンクへの接続を有効にします確認メッセージが開きます。
3. 確認メッセージにある接続を有効にしますのボタンをクリックします。
 - ▶ 選択した接続が有効になります。

- ▶ **患者データバンク**ウィンドウでは、追加された接続が**患者データバンクへの保存されている接続**エリアに太字のフォントスタイルで表示されます。他の接続では、フォントスタイルが通常のものに変わります。
- ▶ SICAT Suiteは選択した患者データバンクを有効にします。有効な接続は、**有効な接続**エリアに表示されます。

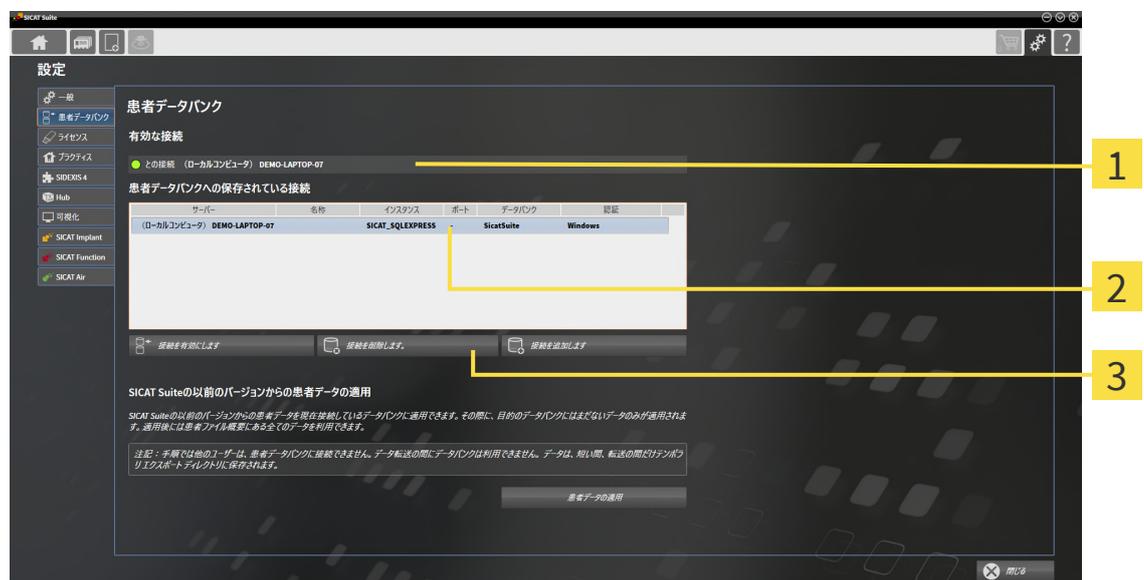
22.4 患者データバンクへの接続を削除する



SICAT Suiteは、患者データバンクへの保存されている接続接続リストから患者データバンクのみを削除します。患者データバンクは削除されません。患者データベースへの接続を再度追加できます。これに関する情報は患者データバンクへの接続を追加する [▶ ページ 82]を参照してください。

患者データバンクへの保存されている接続接続リストから患者データバンクを削除するには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Suite患者データベースは、ローカルまたはサーバーにインストールされます。
- ☑ 患者データバンクへの保存されている接続エリアには、患者データバンクへの少なくとも1つの接続が表示されます。
- ☑ 患者データバンクのウィンドウはすでに開いています。



1 有効な接続

3 接続を削除します。のボタン

2 患者データバンクへの保存されている接続のリスト

1. 患者データバンクウィンドウの患者データバンクへの保存されている接続エリアで、リスト内の希望する患者データバンクがある行をクリックします。



2. 接続を削除します。のボタンをクリックします。

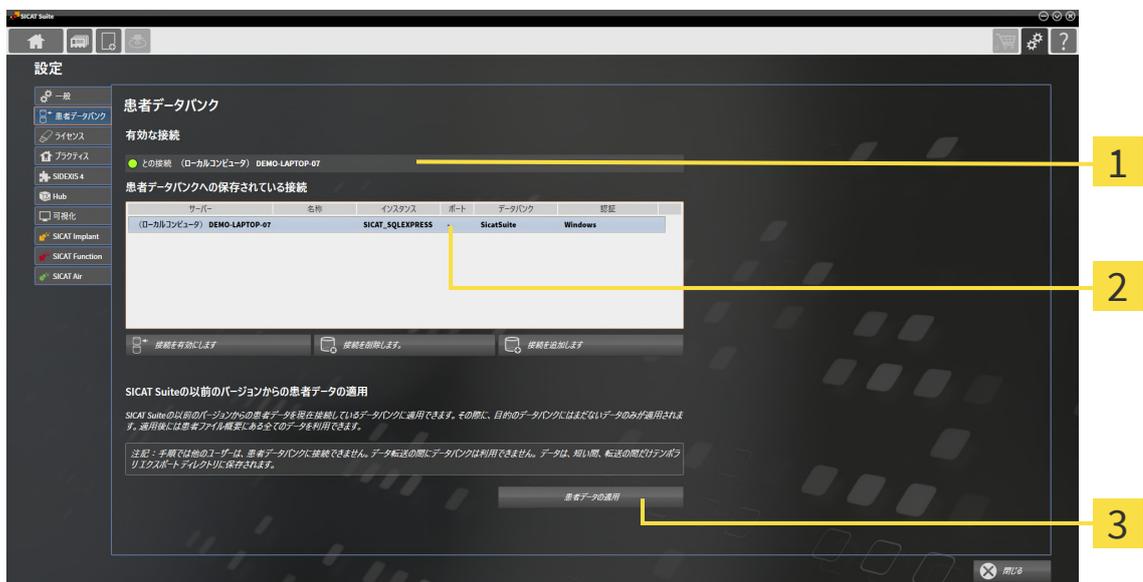
- ▶ SICAT Suiteは、患者データバンクへの保存されている接続エリアで選択された患者データバンクがリストから削除されます。

22.5 SICAT SUITEバージョン2.0.20以前からの患者ファイルの適用

SICAT Suiteの以前バージョンでは、患者ファイルをワークステーションのファイルシステムやネットワークに保存していました。旧バージョンの患者データを引き続き使用する場合は、それらをSICAT Suite患者データベースに転送する必要があります。転送時は、患者データバンクでまだ利用できない患者データのみが転送されます。

以前のSICAT Suiteバージョンから患者データバンクに患者データを適用するには、次の手順に従います。

- ☑ SICAT Suite患者データベースは、ローカルまたはサーバーにインストールされます。
- ☑ 患者データバンクへの接続が追加され、有効になっています。これに関する情報は患者データバンクへの接続を追加する [▶ ページ 82]を参照してください。
- ☑ 他のユーザーはアクティブな患者データバンクに接続されていません。
- ☑ 患者データバンクのウィンドウはすでに開いています。



1 有効な接続

3 患者データの適用のボタン

2 患者データバンクへの保存されている接続のリスト

1. 複数の患者データバンクを使用している場合は、以前のSICAT Suiteバージョンから患者ファイリングを適用したい目的の患者データバンクを有効にします。これに関する情報は別の患者データバンクを有効にする [▶ ページ 87]を参照してください。
2. 患者データバンクのウィンドウで、患者データの適用のボタンをクリックします。

- ▶ **患者データの適用**のウィンドウが開きます。



3. **検索する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。
 4. 患者ファイリングがある目的のフォルダを参照します。
 5. 目的のファイルを選択し、**開く**をクリックします。
 - ▶ 選択されたファイルのパスは、**名称欄**に表示されます。
 6. **患者データの適用**のボタンをクリックします。
 - ▶ 進捗状況のウィンドウが開きます。
 - ▶ 患者ファイリングは、有効な患者データバンクに保存されます。
 - ▶ 転送中、他のユーザーは患者データバンクを利用できません。
- ▶ 患者ファイルが正常に適用されると、**データ適用が成功しました**。確認メッセージが表示されます。データの適用が完了しました。

23 データインポート



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



注意

オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。

SICAT Suiteは、以下のデータフォーマットの3D X線撮影画像をインポートすることができます。

- SICAT Suite DICOMデータ
- 3D X線撮影画像（DICOM、これに関する情報は対応しているDICOMフォーマット [▶ ページ 95]を参照してください）
- SICATインプラントデータ
- SICATドリルテンプレート注文データ
- GALILEOS Wrap&Goデータ

次の二つの設定で、SICAT Suite 3D X線撮影画像を使用中の患者データバンクにインポートする方法を規定します。

- インポート設定は、SICAT Suiteが3D X線撮影画像をインポートするか、インポートしないか、既存の3D X線撮影画像に上書きするか、コピーを作成するか規定します。
- 割り当て設定は、SICAT Suiteがインポートした3D X線撮影画像を割り当てる患者ファイルを規定します。

1件のデータセットに、SICATのアプリケーションで作成した3D治療計画スタディが複数、含まれているときは、SICAT Suiteでは、3D治療計画スタディを、それら含まれる3D X線撮影画像と併せてインポートを行います。

3D X線撮影画像のインポートに適用する設定内容

アクティブな患者データバンクに患者ファイルが含まれている場合、3D X線撮影画像用に異なるインポート設定を選択することができます。使用可能なインポート設定は、インポートするデータのIDがアクティブな患者データバンク内の患者ファイルのIDと一致するかどうかによって異なります。

各3D X線撮影画像に対して、それぞれインポート設定を選択することができます。

データタイプ	IDが一致する	IDが一致しない	常に使用可能
SICAT Suite DICOMデータ SICATインプラントデータ SICATドリルテンプレート注文データ	既存に上書きする – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートし、同じIDを持つ既存のデータセットに上書きします。	追加する – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートし、同じIDを持つ既存のデータセットに上書きします。	追加しないでください – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートしません。
第三者のDICOMデータ Galileos Wrap&Goデータ	さらに追加する – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を既存のデータセットのコピーとしてインポートします。	追加する – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートし、同じIDを持つ既存のデータセットに上書きします。	追加しないでください – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートしません。

患者ファイル割り当て用の特性比較

SICAT Suiteはインポートするデータの様々な特性を分析します。特性の種類：

- 姓
- 名
- 誕生日
- 患者ID、社会保険番号、施設の内部患者IDなど

患者ファイル割り当て用の設定

次のリストは、SICAT Suiteが特性比較に基づいて提案するインポートオプションを示しています。

- インポートするデータの全特性がアクティブな患者データバンクにある患者ファイルの特性と一致しています。SICAT Suiteは、**既存の患者ファイルに追加する**オプションと対応する患者ファイルを提案します。
- インポートするデータの特性の一部がアクティブな患者データバンクにある患者ファイルの特性と一致しています。SICAT Suiteは、**新規患者ファイルを作成する**オプションを提案します。

どちらの場合も、データを手動で別の患者ファイルに割り当てることができます。

データをインポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- **インポートするデータを選択する** [▶ ページ 96]
- **インポートオプションの選択** [▶ ページ 98]
- **既存の患者ファイルにデータを割り当てる** [▶ ページ 100]

あるいは

- データインポートによる新しい患者ファイルの作成 [[▶ ページ 99](#)]

23.1 対応しているDICOMフォーマット

DICOMデータセットをインポートする場合、SICAT Suiteは次の基準を満たしているデータセットに対応しています。

- データセットのフォーマットがDICOM 3.0である。
- データセットにパラレルレイヤーしか含まれない。
- データセットが圧縮されていない、JPEG形式またはJPEG 2000形式で圧縮されている。
- データセットが次のリストの対応しているタイプのいずれかと一致する。

対応しているデータセットタイプ：

- CT画像
- デジタルX線画像
- デジタル口内X線画像
- X線3D頭蓋顔面画像
- セカンダリーキャプチャー画像（グレースケール）（モダリティCT用のみ）
- マルチフレームグレースケールワードセカンダリーキャプチャー画像（モダリティCT用のみ）

その他の基準については、DICOM適合性宣言を参照してください。この宣言書は、ご要望に応じてSICATからご提供させていただきます。お問い合わせ先が必要のときは、裏面をご覧ください。

23.2 インポートするデータを選択する



不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

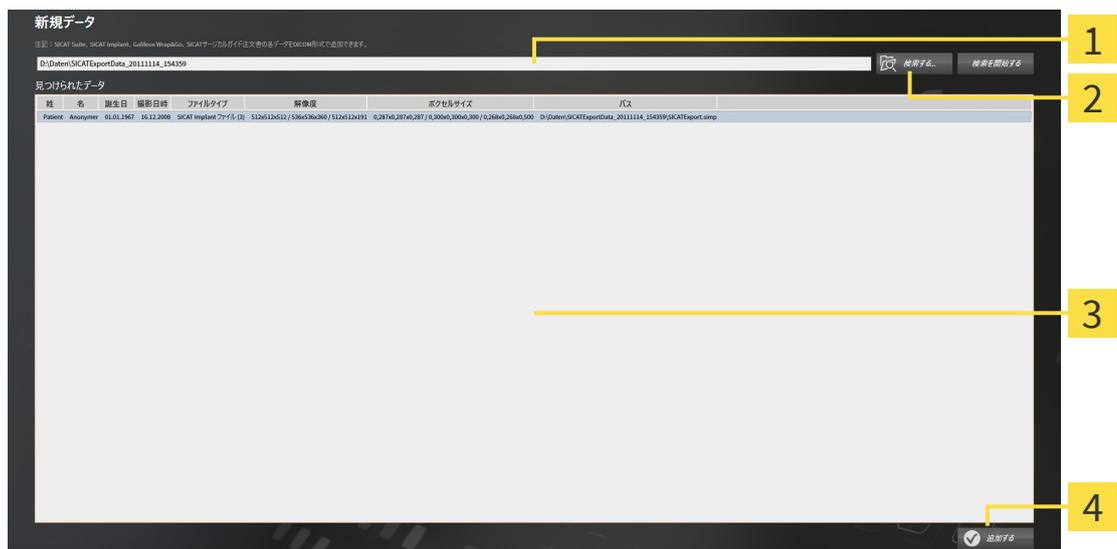
利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

アクティブな患者データバンクのデータをインポートするには、次の手順で行います。



1. ナビゲーションバーで、新規データアイコンをクリックします。

▶ 新規データのウィンドウが開きます。



1 データはどこにあるのですか？欄

3 見つめられたデータのリスト

2 検索するのボタン

4 追加するのボタン



2. 検索するのボタンをクリックします。

▶ ファイルまたはディレクトリを選択するのウィンドウが開きます。

3. **ファイルまたはディレクトリを選択する** ウィンドウで任意のファイルまたはフォルダを選択し、**OK**をクリックします。
- ▶ SICAT Suiteは**ファイルまたはディレクトリを選択する**ウィンドウが閉じ、ファイルかフォルダで選択したもののパスを**データはどこにあるのですか？**欄に転記します。
 - ▶ SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを見つけられたデータリストにファイルの内容を表示します。
 - ▶ フォルダを選択した場合、SICAT Suiteはそのフォルダおよび全てのサブフォルダを検索します。SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを見つけられたデータリストに表示します。



SICAT Suiteにデータをインポートする際に、ドラッグ&ドロップを利用することもできます。



説明されている手順を利用する場合、検索は自動で開始します。検索は、**検索を停止する**ボタンをクリックして中断することができます。ファイルまたはフォルダへのパスを手動で**データはどこにあるのですか？**欄に入力する場合、**検索を開始する**ボタンをクリックします。フォルダの内容が変わった、または誤って検索を終了した場合、検索を新たに開始するには、これが役に立つこともあります。



互換性があるにもかかわらず、SICAT Suiteが特定のファイルを検出しない場合、そのファイルへのパスが長過ぎることが原因の可能性があります。それらのファイルをファイルシステムの一つ上の階層にコピーし、改めて検索を開始してください。

インポートオプションの選択 [▶ ページ 98]で続行してください。

23.3 インポートオプションの選択

各スタディのインポートオプションを選択するには、次の手順で行います。



1. 見つかったデータリストから希望のスタディを選択し、**追加する**ボタンをクリックします。

▶ **追加する** のウィンドウが開きます。



1 列 アクション

2. **追加する** ウィンドウで **アクション** 列から各スタディ用に以下のエントリを選択します。**追加しない**、**さらに追加する**、**追加する** または **既存に上書きする**。オプションに関する詳細な説明は、**データインポート** [▶ ページ 92] の節をご覧ください。

▶ これらをインポートするかどうかについては、全てのスタディに対して個別に設定します。

以下の操作を続行します：

- **既存の患者ファイルにデータを割り当てる** [▶ ページ 100]
- **データインポートによる新しい患者ファイルの作成** [▶ ページ 99]

23.4 データインポートによる新しい患者ファイルの作成



アクティブな患者データバンクに同じ特性の組み合わせを持つ患者ファイルがない場合、データインポートによって新しい患者ファイルを作成することができます。



1 オプション **新規患者ファイルを作成する**

2 ボタン **続行する**

インポートするデータを新しい患者ファイルに割り当てるには、次の手順で行います。

- **患者リストへの割り当てエリアで新規患者ファイルを作成するオプションを選択し、続行するボタンをクリックします。**
- ▶ SICAT Suiteは、選択したデータの特性を持つ新しい患者ファイルを作成します。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したデータをインポートし、これらを新しい患者ファイルに割り当てます。
- ▶ **患者ファイルの概要**ウィンドウが開き、SICAT Suiteでインポートされた患者ファイルが**患者ファイルリスト**内で強調されます。この表示に関する内容は、[患者ファイル](#) [▶ ページ 103] の節をご覧ください。

23.5 既存の患者ファイルにデータを割り当てる



注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



SICAT Suiteでは、次の条件に該当する場合、**既存の患者ファイルに追加する**オプションが、対応する患者ファイルとともに自動的に選択されます：インポートするデータのすべての属性が、アクティブな患者データバンクの患者ファイルの属性に対応しています。



1 既存の患者ファイルに追加するオプション

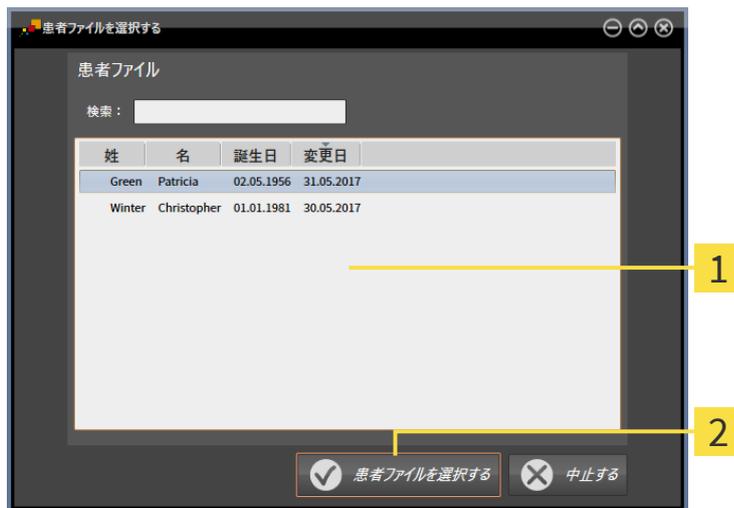
2 患者ファイルを選択するのボタン

インポートするデータを既存の患者ファイルに手動で割り当てるには、次の手順で行います。

☑ アクティブな患者データバンクには、最低一つの患者ファイルが含まれます。

1. 患者リストへの割り当てエリアで**既存の患者ファイルに追加する**オプションを選択し、**患者ファイルを選択する**のボタンをクリックします。

- ▶ **患者ファイルを選択する**のウィンドウが開き、既存の患者ファイルのリストが表示されます。



1 患者ファイルのリスト

2 患者ファイルを選択するのボタン

2. 希望する患者ファイルをクリックし、**患者ファイルを選択する**のボタンをクリックします。

- ▶ **患者ファイルを選択する**のウィンドウが閉じます。
▶ **追加する**のウィンドウに選択した患者ファイルの特性が表示されます。

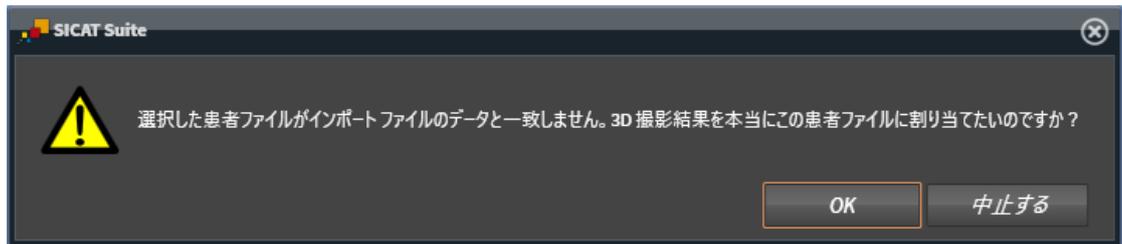


1 選択した患者ファイルの特性

2 続行するのボタン

3. **追加する**のウィンドウで、**続行する**のボタンをクリックします。

- インポートするデータの特性が選択した患者ファイルの特性と一致しない場合、次の警告メッセージが表示されます。



- それでもデータをインポートする場合、**OK**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、選択したデータをインポートし、これらを既存の患者ファイルに割り当てます。
 - ▶ **患者ファイルの概要**ウインドウが開き、SICAT Suiteでインポートされた患者ファイルが**患者ファイルリスト**で強調されます。これに関する情報は**患者ファイル** [▶ ページ 103]を参照してください。

24 患者ファイル

患者ファイルには複数の3D撮影結果が含まれる可能性があります。スタディは3D X線撮影画像と付属の計画プロジェクトで構成されています。さらに、患者ファイルには計画中に作成された文書が含まれる場合があります。

ネットワーク内の複数のユーザーによる患者ファイルへのアクセス

患者ファイルは、SICAT Suite患者データベースに保存されます。患者ファイルは、ユーザーが編集できるように開くとロックされます。ロックされた患者ファイルは、サーバーに基づく患者データバンクを備えたネットワーク環境で他のユーザーが表示するためにのみ開くことができ、計画のために変更したり開いたりすることはできません。

ロックは、患者ファイルが次の目的でユーザーによって使用されている期間に適用されます。

- 計画プロジェクトの編集
- 患者ファイルの属性の変更
- 患者ファイルに新しい患者データを追加する
- ショッピングカートの編集
- 患者データのエクスポート (Export)
- 患者ファイルの削除

患者ファイルが閉じられるとすぐにロックは解除され、患者ファイルは再び別のユーザーが処理できるようになります。

ロックされた患者ファイルは、**患者ファイルの概要**ウィンドウにロックアイコンが表示されます。患者ファイルを編集するためのボタンはグレーアウトされています。

患者ファイルを管理するために使用できる操作：

- 「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 104]
- 患者ファイルを検索して並べ替える [▶ ページ 105]
- 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ ページ 111]
- 患者ファイルを扱う [▶ ページ 107]
- 患者ファイルの特性を変更する [▶ ページ 109]
- 患者ファイルを削除する [▶ ページ 118]
- 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ ページ 120]
- *Abgelaufene Sperre einer Patientenakte aufheben* [▶ ページ 122]

さらに、患者ファイルへのデータのインポートおよび患者ファイルからのデータのエクスポートを行うことができます。

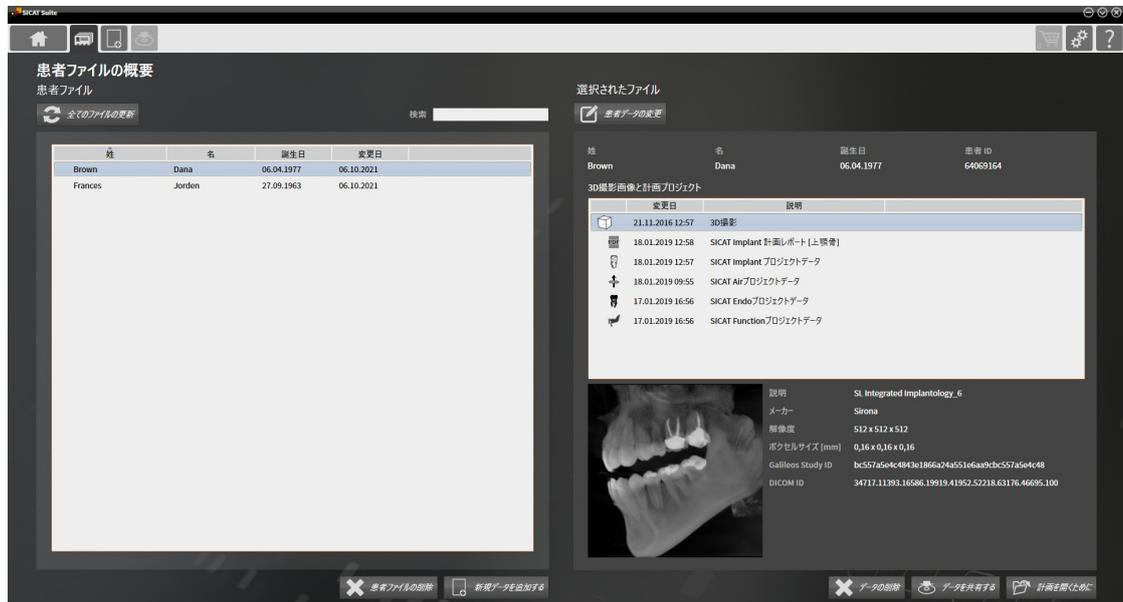
- データインポート [▶ ページ 92]
- データエクスポート [▶ ページ 287]

24.1 「患者ファイル概要」ウインドウを開く

患者ファイルの概要ウインドウを開くには、次の手順で行います。



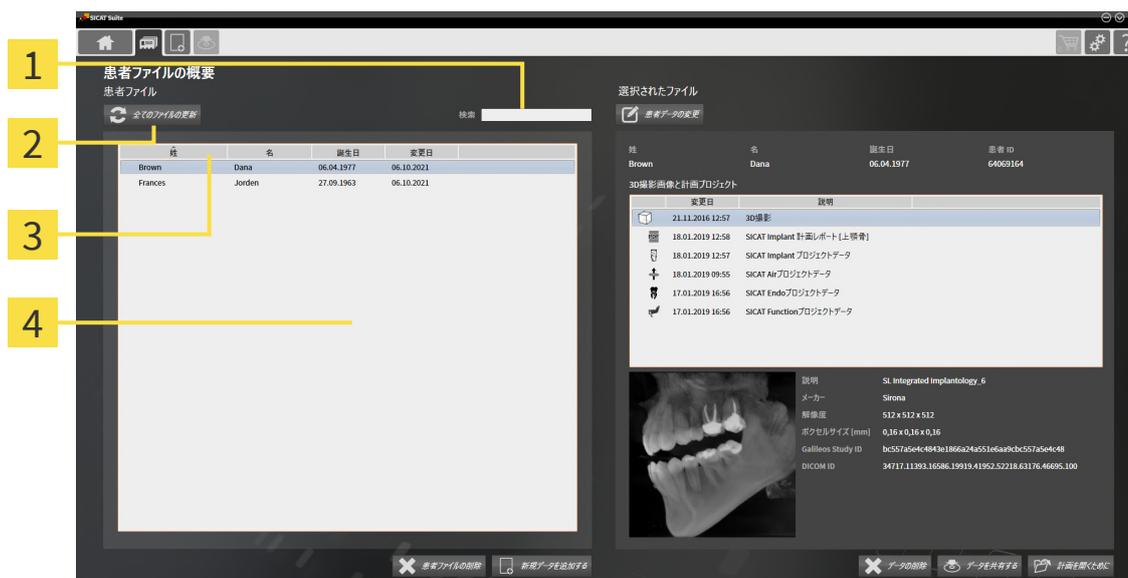
- ナビゲーションバーで、患者ファイルアイコンをクリックします。
- ▶ 患者ファイルの概要のウインドウが開きます。



以下の操作を続行します：

- 患者ファイルを検索して並べ替える [▶ ページ 105]
- 患者ファイルを扱う [▶ ページ 107]
- 患者ファイルの特性を変更する [▶ ページ 109]
- 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ ページ 111]
- 患者ファイルを削除する [▶ ページ 118]
- 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ ページ 120]
- Abgelaufene Sperre einer Patientenakte aufheben [▶ ページ 122]

24.2 患者ファイルを検索して並べ替える



1 検索欄

3 列のタイトル（特性を含む）

2 全てのファイルの更新のボタン

4 患者ファイルのリスト

患者ファイルの概要ウィンドウで患者の記録を選択して管理できます。

患者ファイルリストには、患者データバンクに保存されているすべての患者ファイルが表示されます。



他のユーザーによってブロックされた患者ファイルには、ロックアイコンが表示されています。詳細は患者ファイル [▶ ページ 103] を参照してください。

患者ファイルを更新する

複数のユーザーが患者データバンクにアクセスできるため、他のユーザーによって新しく作成または変更された患者ファイルが、患者ファイルリストにまだ表示されていない可能性があります。

患者ファイルを更新するには、次の手順で行います：

- ☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 104] を参照してください。



- **全てのファイルの更新**のボタンをクリックします。

- ▶ **患者ファイルリスト**が更新され、患者データバンクに存在するすべての患者ファイルが表示されます。



サーバーに基づく患者データバンクを備えたネットワーク環境で、ネットワークの問題のために患者ファイルへのアクセスが制限されたり、または患者ファイルのロックステータスを更新する必要がある場合は、患者ファイルリストを更新することで、ネットワークの問題が解決した後にSICAT Suiteと患者データバンク間の適切な通信を回復することができます。

患者ファイルの検索

SICAT Suiteは、入力した検索テキストに従って全ての患者ファイルの特性を検索します。

患者ファイルを検索するには、次のように行います。

☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 104]を参照してください。

- **検索欄**に目的の検索テキストを入力します。
- ▶ **患者ファイルリスト**に、入力した検索テキストが特性に含まれる全患者ファイルが表示されます。

SICAT Suiteは、入力を始めると直ちに検索を開始します。

特性に基づく患者ファイルの並べ替え

以下の特性に基づいて、患者ファイルを並べ替えることができます。

- 姓
- 名
- 誕生日
- 変更日

患者ファイルを特性に基づいて並べ替えるには、次のように行います。

☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 104]を参照してください。



1. **患者ファイルリスト**で希望の特性の列のタイトルをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、**患者ファイルリスト**を目的の属性の順序で並べ替えます。
2. **患者ファイルリスト**で希望の特性の列のタイトルをもう一度クリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、**患者ファイルリスト**を希望の特性で逆の順序に並べ替えます。



通常、患者ファイルは変更日の降順に並べ替えられています。

24.3 患者ファイルを扱う



注意

削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



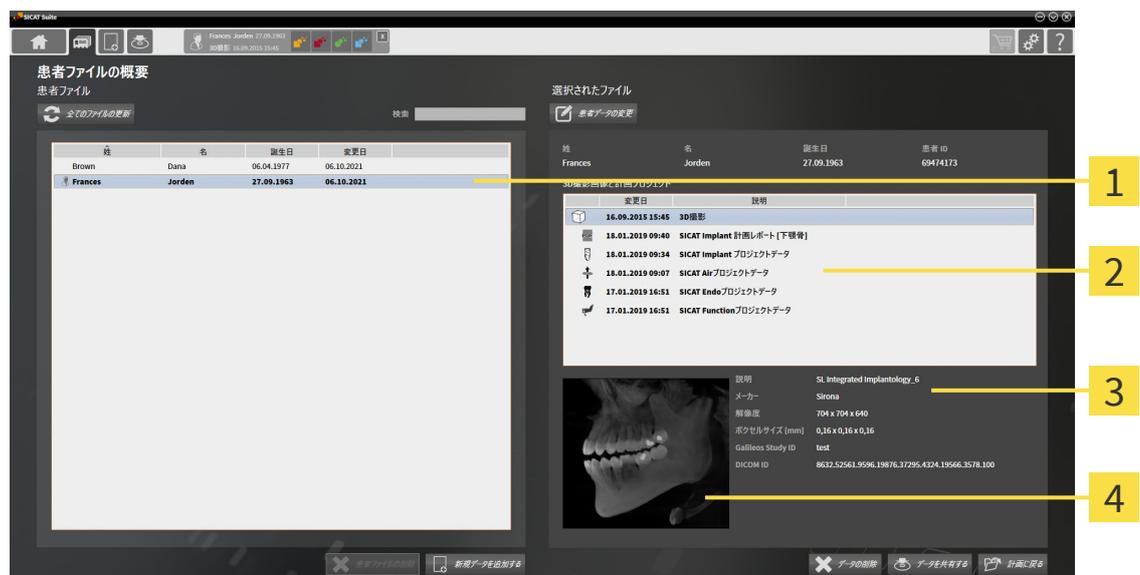
注意

3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

患者ファイルを扱うには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 104]を参照してください。



1 患者ファイルのリスト

3 詳細エリア

2 3D撮影図と計画プロジェクトのリスト

4 概要エリア

- 患者ファイルの概要ウィンドウで患者ファイルリストから希望の患者ファイルを選択します。
 - ▶ **選択されたファイル**エリアで**3D撮影図**と**計画プロジェクト**リストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが表示されます。
- 3D撮影図**と**計画プロジェクト**リストから希望の3D X線撮影画像または希望の計画プロジェクトまたは希望の計画プロジェクトを選択します。
 - ▶ **概要**エリアに、選択した3D X線撮影画像または選択した計画プロジェクトのプレビューが表示されます。

- ▶ **詳細エリア**に、DICOMメタデータや計画データの詳細など、選択した3D X線撮影画像または選択した計画プロジェクトの詳細が表示されます。



他のユーザーによってブロックされた患者ファイルには、ロックアイコンが表示されています。これに関する情報は**患者ファイル** [▶ ページ 103]を参照してください。



自分で編集した患者ファイルには、人物のアイコンが付いています。

患者ファイルを扱う際に、次のオプションが利用できるようになりました。

- **患者ファイルの特性を変更する** [▶ ページ 109]
- **患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除** [▶ ページ 120]
- **患者ファイルを削除する** [▶ ページ 118]
- **データエクスポート** [▶ ページ 287]
- **Abgelaufene Sperre einer Patientenakte aufheben** [▶ ページ 122]

24.4 患者ファイルの特性を変更する



アクティブな患者データバンク内にある各患者ファイルの特性の組み合わせは明確である必要があります。

患者ファイルの以下の特性を変更することができます。

- 姓
- 名
- 誕生日
- 患者 ID

患者ファイルの特性を変更するには、次の手順で行います。

- 患者ファイルの概要**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 104]を参照してください
- 患者ファイルは他のユーザーによってロックされていません。

1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。



2. **患者データの変更**のボタンをクリックします。

▶ **編集する**のウィンドウが開きます。

The screenshot shows a window titled '編集する' (Edit) with a close button in the top right corner. It contains four input fields: '姓' (Last Name) with 'Brown', '名' (First Name) with 'Dana', '誕生日' (Date of Birth) with '06.04.1977', and '患者 ID' (Patient ID) with '64069164'. At the bottom, there are two buttons: '変更を保存する' (Save Changes) with a checkmark icon and '中止する' (Cancel) with an 'X' icon. Yellow callout boxes with numbers 1 and 2 point to the top-right corner and the '変更を保存する' button, respectively.

1 特性欄

2 変更を保存するのボタン

3. **編集する**ウインドウで特性欄に希望の値を入力します。

4. **変更を保存する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteが変更内容を保存します。



患者データが匿名化されていても、患者IDは表示されたままであり、いつでも患者を識別するために使用できます。



患者IDはDICOM IDと一致しません。任意の各IDを患者IDとして入力することができます（社会保険番号、施設の内部患者IDなど）。

24.5 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く



患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

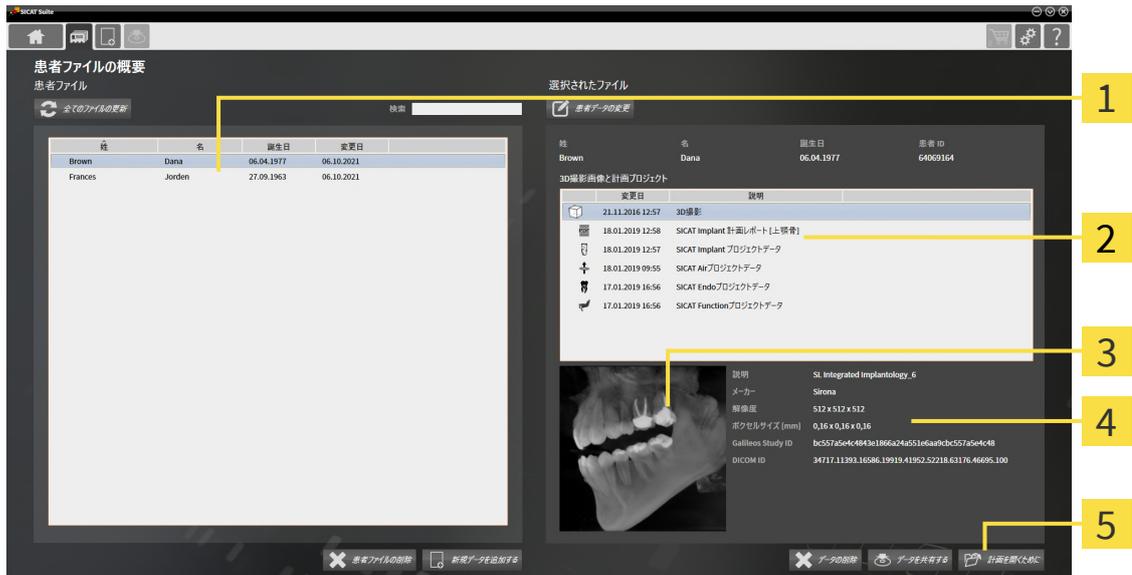
使用するライセンスと患者ファイルのロック状態に応じて、3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開いて表示または計画することができます。



3D X線撮影画像または計画プロジェクトを計画用を開くことができるか、または単に表示するために開くことができるかは、使用しているライセンスと、患者ファイルが他のユーザーによってブロックされているかどうかによって異なります。これに関する情報は、[データを書き込み禁止で開く](#) [▶ ページ 311]、[患者ファイル](#) [▶ ページ 103]および[患者ファイルを扱う](#) [▶ ページ 107]を参照してください。

3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開くには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 104]を参照してください。



1 患者ファイルのリスト

4 詳細エリア

2 3D撮影図と計画プロジェクトのリスト

5 計画を開くためにまたはビューを開くためにボタン

3 概要エリア

- 患者ファイルの概要ウィンドウで患者ファイルリストから希望の患者ファイルを選択します。
 - ▶ 選択されたファイルエリアで3D撮影図と計画プロジェクトリストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが表示されます。
- 3D撮影図と計画プロジェクトリストから希望するデータセットまたは希望するドキュメントを選択します。
 - ▶ 概要エリアと詳細エリアに、選択したデータセットまたはドキュメントに関する情報が表示されます。



- 計画を開くためにまたはビューを開くためにボタンをクリックして、選択したデータセットを開きます。
 - ▶ 選択したデータセットは、計画または表示のためにSICATアプリケーションで開かれます。



- データを共有するボタンをクリックして、選択したPDFを保存します。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラウィンドウが開き、そのドキュメントを任意のディレクトリに保存できます。その後、デフォルトのPDFビューアでドキュメントを表示できます。



3D X線撮影画像を、それが関係するスタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数のスタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。

24.6 SICAT SUITEでのSICAT IMPLANT検討



DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

3D撮影図と計画プロジェクトメニュー項目からSICAT Implantスタディを選択した場合、患者ファイルの概要はSICAT Implantスタディについての情報を表示します。

選択されたファイル

患者データの変更

姓	名	誕生日	患者 ID
Frances	Jorden	27.09.1963	69474173

3D撮影画像と計画プロジェクト

変更日	説明
16.09.2015 15:45	3D撮影
18.01.2019 09:40	SICAT Implant 計画レポート (下顎骨)
18.01.2019 09:34	SICAT Implant プロジェクトデータ
18.01.2019 09:07	SICAT Airプロジェクトデータ
17.01.2019 16:51	SICAT Endoプロジェクトデータ
17.01.2019 16:51	SICAT Functionプロジェクトデータ

計画	1 処理中
最後に開いた計画	Plan 17.01.2019 16:51
顎	下顎骨
光学印象	1 CAD/CAM症例 (単一)
インプラント	46
ドリルテンプレート	SICAT OPTIGUIDE
スリーブシステム	Dentsply Sirona - EV Guided Surgery

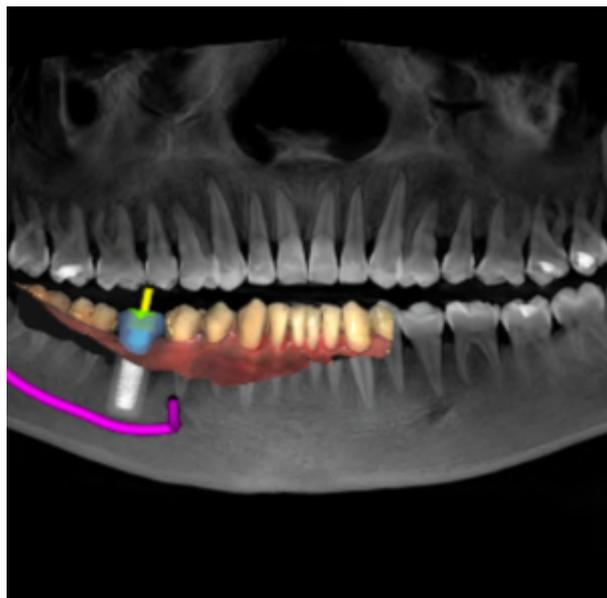
データの削除 | データを共有する | 計画を開くために

1 選択したSICAT Implantスタディ

2 概要エリア

3 詳細エリア

概要メニュー項目はパノラマビューを表示します。



詳細エリアに次の情報が表示されます。

- 計画数と状態
- 最後に開いた計画の情報
 - 氏名
 - 顎
 - インポートしたCAD/CAM事例数
 - 計画したインプラント歯の位置
 - 計画したドリルテンプレート
 - 計画したスリーブシステム

24.7 患者ファイルを閉じ、それに含まれる計画プロジェクトを保存する



編集用に開いた患者ファイルを閉じるために、それに含まれる計画プロジェクトを保存するには、次の手順で行います。

-  ■ 開いている患者ファイルエリアで**閉じる**のボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteは患者ファイルを閉じ、計画プロジェクトで実行した変更内容を保存します。患者ファイルのロックが解除されます。

24.8 患者ファイルを削除する



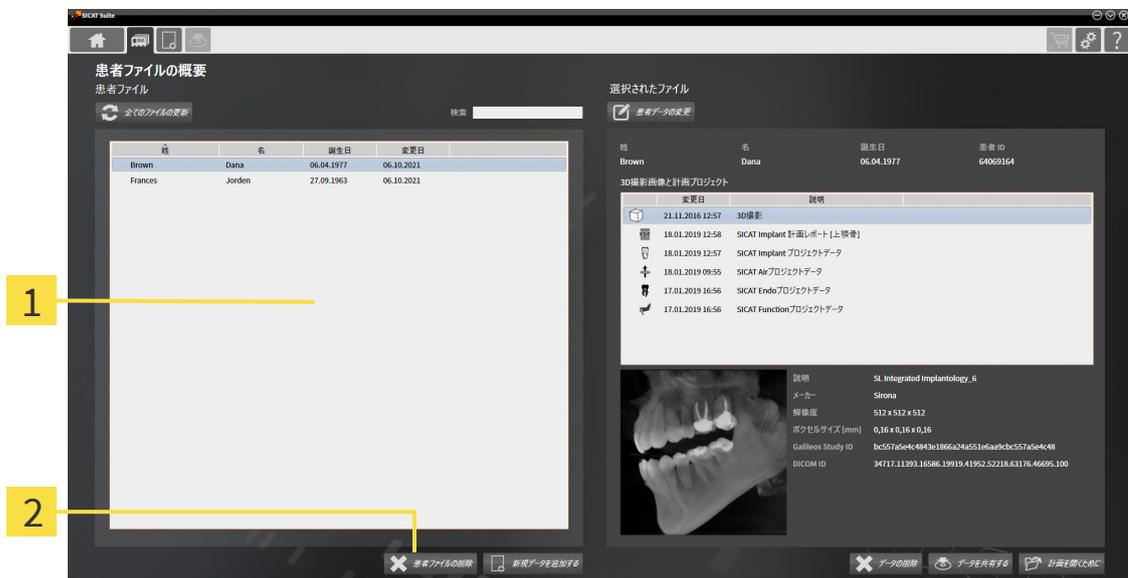
注意

患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

患者ファイルおよびそれに含まれる全ての3D X線撮影画像および計画プロジェクトを削除するには、次の手順で行います。

- ☑ 患者ファイルの概要のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 104]を参照してください。
- ☑ 患者ファイルは他のユーザーによってロックされていません。



1 患者ファイルのリスト

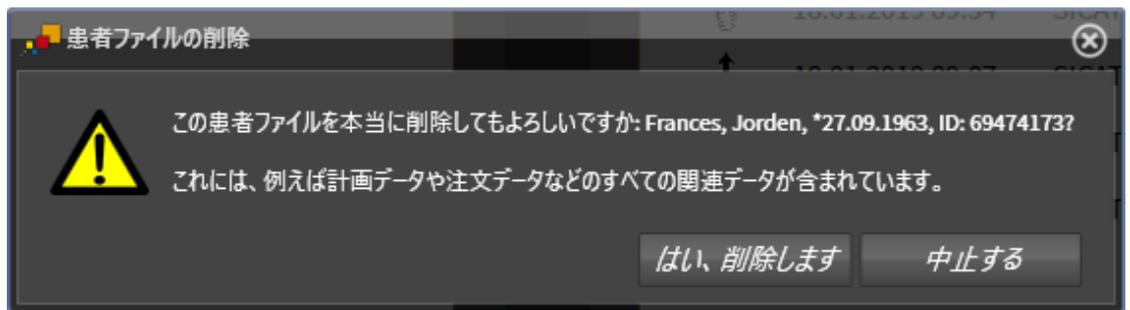
2 患者ファイルの削除のボタン

1. 患者ファイルの概要ウィンドウで患者ファイルリストから希望の患者ファイルを選択します。



2. 患者ファイルの削除のボタンをクリックします。

- ▶ 確認メッセージが開きます。



3. 選択したデータを削除する場合、**はい、削除します**確認メッセージをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイル、それに含まれる全ての3D X線撮影画像および計画プロジェクトをアクティブな患者データバンクから削除し、**患者ファイル**リストから除去します。

24.9 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除



注意

削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



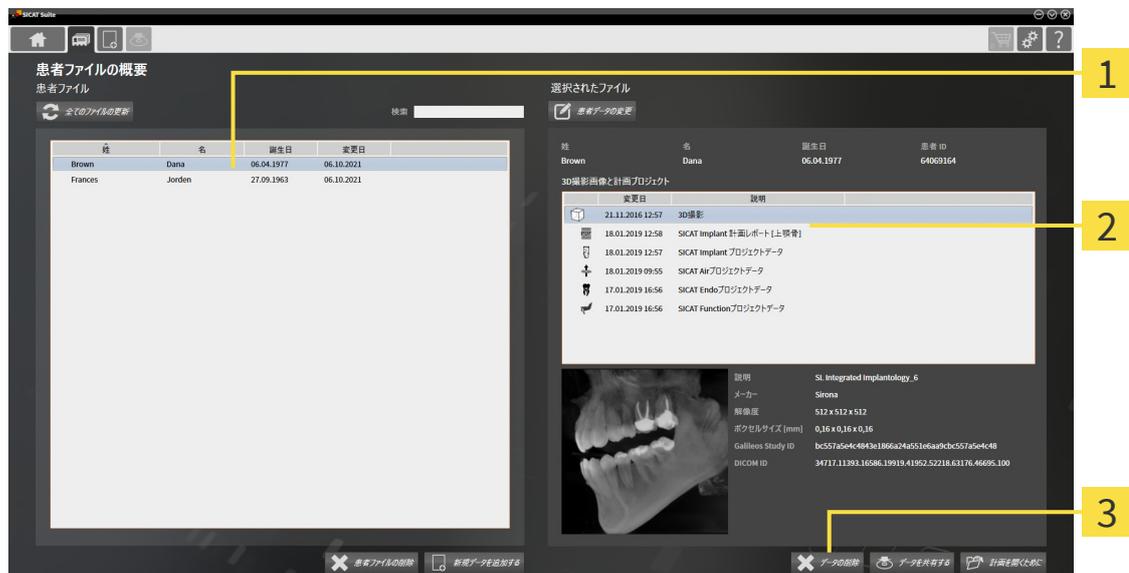
注意

3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

3D X線撮影画像および計画プロジェクトを患者ファイルから削除するには、次の手順で行います。

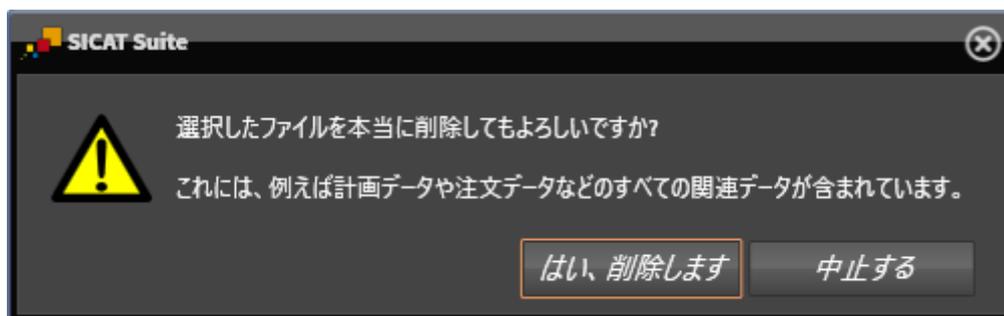
- ☑ 患者ファイルの概要のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 104] を参照してください。
- ☑ 患者ファイルは他のユーザーによってロックされていません。



- 1 患者ファイルのリスト
- 2 3D撮影図と計画プロジェクトのリスト
- 3 データの削除のボタン

1. 患者ファイルの概要ウィンドウで患者ファイルリストから希望の患者ファイルを選択します。

- ▶ 選択されたファイルエリアで3D撮影図と計画プロジェクトリストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが表示されます。
2. 3D撮影図と計画プロジェクトリストから希望するデータセットまたは希望するドキュメントを選択します。
 3. データの削除のボタンをクリックします。
 - ▶ 確認メッセージが開きます。



4. 選択したデータを削除する場合、**はい、削除します**確認メッセージをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteは、選択した3D X線撮影画像または計画プロジェクトを患者ファイルおよび**3D撮影図と計画プロジェクトリスト**から削除します。

24.10 ABGELAUFENE SPERRE EINER PATIENTENAKTE AUFHEBEN

ネットワークの問題により、まれに、ネットワーク内のユーザーが患者ファイルを適切に閉じず、ユーザーが患者ファイルを開いていなくてもロックされている可能性があります。

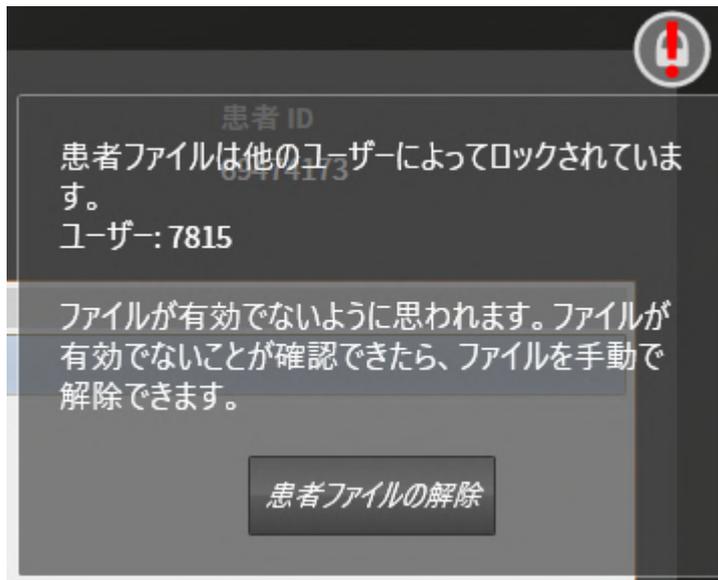


長期間更新されていないロックされた患者ファイルは、**選択されたファイル**エリアにロックアイコンと感嘆符が表示されます。

開いていないロックされた患者ファイルのロックを解除するには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 104]を参照してください
- ☑ 患者レコードはロックされたものとして表示され、表示用のみ開くことができます。

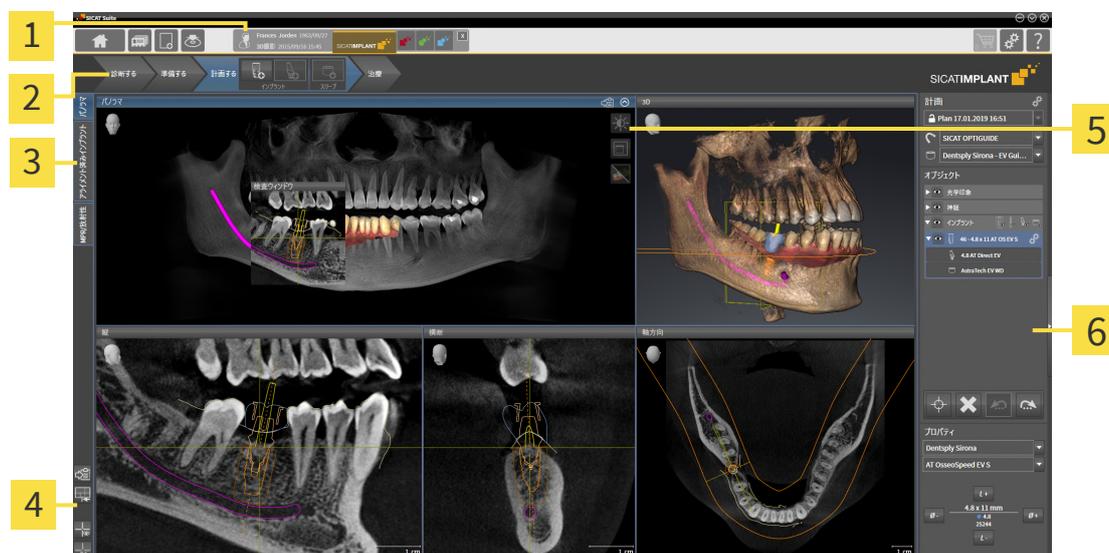
1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストからロックされた患者ファイルを選択します。
 - ▶ **選択されたファイル**エリアで**3D撮影図**と**計画プロジェクト**リストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが表示されます。
2. マウスポインタをロックアイコンに合わせます。
 - ▶ 情報のウィンドウが開きます：



- ▶ 現在、患者ファイルをブロックしているユーザーの名前が表示されます。
3. ユーザーに連絡して、実際にまだ患者ファイルを開いているかどうかを尋ねます。
 4. 指定されたユーザーが患者記録を開いていないことが確認されたら、**患者ファイルの解除**のボタンをクリックします。
 - ▶ 患者ファイルのロックが解除されます。

25 SICAT IMPLANTのユーザーインターフェース

SICAT Implantのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



- 1 3D X線撮影画像とSICATアプリケーションの選択用ボタンについての情報が記載された開いた患者ファイル
- 2 ワークフローのツールバー
- 3 ワークスペースの切替用ボタン
- 4 ワークスペースのツールバー
- 5 画像のツールバー
- 6 オブジェクトバー

- ワークフローのツールバーは、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。ワークフローステップに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 125]の節をご覧ください。
- ワークスペースエリアはワークフローのツールバーの下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Implantで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。これに関する情報は[ワークスペース](#) [▶ ページ 137]を参照してください。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。患者との練習に関する情報は[ビューの調整](#) [▶ ページ 146]と[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 164]を参照してください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のオブジェクトを管理するための各種ツールが用意されています。患者との練習に関する情報は[オブジェクトバー](#) [▶ ページ 128]と[SICAT Implantオブジェクト](#) [▶ ページ 135]を参照してください。

- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。これに関する情報は**十字線およびフレームの移動、非表示、表示** [▶ ページ 154]、**ビューをリセットする** [▶ ページ 162]、**アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット** [▶ ページ 143]および**ワークスペースのスクリーンショットを作成する** [▶ ページ 144]を参照してください。

25.1 ワークフローのツールバー

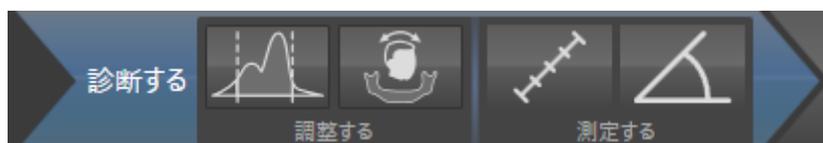
SICAT Implantでは、ワークフローのツールバーは4つのワークフローステップで構成されています。

1. 診断する
2. 準備する
3. 計画する
4. 治療

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1. 「診断」ワークフローステップ



ワークフロー・ステップ**診断する**では、以下のツールを使用できます。



- **グレースケール値を調整する** - これに関する情報は**グレースケール値を調整する** [▶ ページ 189]を参照してください。このツールが使用でき、また、必要になるのは、シロナ社製以外の機器で表示するボリュームに限ります。



- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します** - これに関する情報は**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 193]と**パノラマ エリアを調整する** [▶ ページ 198]を参照してください。



- **距離測定を追加する(D)** - これに関する情報は**距離測定を追加する** [▶ ページ 203]を参照してください。



- **角度測定を追加する(A)** - これに関する情報は**角度測定を追加する** [▶ ページ 204]を参照してください。

2. 「準備」ワークフローステップ



ワークフロー・ステップ**準備する**では、以下のツールを使用できます。



- **光学印象をインポートし記録する** - これに関する情報は**光学印象** [▶ ページ 208]を参照してください。



- **下顎神経のマーキング** - これに関する情報は**下顎神経のマーキングと調整** [▶ ページ 224]を参照してください

3. 「計画」ワークフローステップ



ワークフロー・ステップ**計画する**では、以下のツールを使用できます。



- **インプラントの追加** - これに関する情報は**インプラントの追加** [▶ ページ 231]を参照してください。



- **アバットメントを(アクティブな)インプラントに追加する** - これに関する情報は**アバットメントの追加** [▶ ページ 245]を参照してください



- **スリーブを(アクティブな)インプラントに追加する** - これに関する情報は**スリーブの追加** [▶ ページ 253]を参照してください

4. 「治療」ワークフローステップ



ワークフロー・ステップ治療では、以下のツールを使用できます。



- **SICATドリルテンプレートを注文する** - これに関する情報はSICATドリルテンプレートをカートに入れる [▶ ページ 263]を参照してください。



- **CEREC Guide用にエクスポート** - これに関する情報はCEREC Guide用にエクスポート [▶ ページ 276]を参照してください。



- **計画レポートの作成** - これに関する情報は計画レポートの作成 [▶ ページ 282]を参照してください。

25.2 オブジェクトバー



1 計画エリア

2 オブジェクトブラウザ

3 オブジェクトバーを非表示にするのボタンまたはオブジェクトバーを表示するのボタン

4 オブジェクトツールバー

5 プロパティエリア

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- SICAT Implantは計画内の診断オブジェクトと計画オブジェクトを管理します。計画エリアでは、現在開いている計画のドリルテンプレートとスリーブシステムを変更するだけでなく、計画を変更して管理することができます。これに関する情報は[計画の切替えと管理](#) [▶ ページ 130]および[ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更](#) [▶ ページ 256]を参照してください。
- オブジェクトブラウザは、診断や治療計画の対象 (オブジェクト) として、現在開いている計画に追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。オブジェクトブラウザは、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

る、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。オブジェクトブラウザに関する内容は、 [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 131\]](#)の節をご覧ください。

- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトへの合焦、オブジェクトやオブジェクトグループの削除、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作の取り消し、再度実行などができます。これに関する情報は [オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 133\]](#)を参照してください。
- **プロパティエリア**では、アクティブなオブジェクトの最も重要なプロパティを表示したり、特定のオブジェクト用にそれらを変更したりできます。

オブジェクトバーの視点をオブジェクトバーの右側の2つのボタンで変更することができます。
オブジェクトバーを非表示にするおよびオブジェクトバーを表示する

SICAT Implantで作業対象として選択可能なオブジェクトは、 [SICAT Implantオブジェクト \[▶ ページ 135\]](#)をご覧ください。

25.3 計画の切替えと管理

治療計画は診断オブジェクトと計画オブジェクトを含む計画に常に基づいています。現在開いている計画は**計画エリア**に表示されます。



1 開いた計画の状態と名前

2 計画の管理アイコン

3 計画の切替えボタン

計画の切替え

☑ スタディには2つかそれ以上の計画があります。

1. **計画切替え**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantが計画リストを表示します。

2. 開きたい計画をクリックします。

▶ SICAT Implantはそれまで開いていた計画をバックアップして閉じます。

▶ SICAT Implantは所望の計画を開きます。

計画の管理

計画の管理アイコンをクリックすると**計画の管理**ウィンドウを呼び出せます。詳細は**計画の管理** [▶ ページ 174]を参照してください。



ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更

ドリルテンプレート及びスリーブシステムの変更についての情報はドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ ページ 256]をご参照ください。

25.4 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。



☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。



1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを閉じる**のアイコンをクリックします。

▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。



2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを開く**のアイコンをクリックします。

▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

- 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Implant は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。
 - ▶ SICAT Implant は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。
 - ▶ SICAT Implant は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。



オブジェクトをクリックすることによって、ビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。



1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**表示**のアイコンか、または**一部表示**のアイコンをクリックします。



- ▶ SICAT Implantはオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。
- ▶ SICAT Implantでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**非表示**アイコンが表示されます。



2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**非表示**アイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Implantはオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。
- ▶ SICAT Implantでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**表示**アイコンが表示されます。



セキュリティエリア、チャンネル、アバットメント、およびスリーブの非表示および表示については、以下を参照してください。

- [安全範囲の非表示/表示](#) [▶ ページ 241]
- [孔の非表示/表示](#) [▶ ページ 242]
- [アバットメントの非表示/表示](#) [▶ ページ 250]
- [スリーブの非表示/表示](#) [▶ ページ 261]

25.5 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせる時は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。オブジェクトブラウザに関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 131\]](#)の節をご覧ください。
- ☑ オブジェクトに焦点を合わせることができます。



- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantは、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。

▶ SICAT Implantには、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。



オブジェクトブラウザをダブルクリックして、オブジェクトに焦点を合わせることもできます。ビュー内で特定のオブジェクトをダブルクリックしても、それらに焦点を合わせることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。オブジェクトブラウザに関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 131\]](#)の節をご覧ください。



- **アクティブ オブジェクト/アクティブグループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantはオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. **前回のオブジェクト アクションを元に戻す (Ctrl+Z)** のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Implantは、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。



2. オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y) のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Implantは、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。



SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

25.6 SICAT IMPLANTオブジェクト

オブジェクトブラウザではSICAT Implantが以下のようにアプリケーション固有オブジェクトグループとオブジェクトをグループ化しています。

- 修復を伴う光学印象
- 神経
- アバットメントとスリーブ付きインプラント

オブジェクトグループ「光学印象」



SICAT Implantでは複数のCAD/CAM事例をインポートできます。インポートした各CAD/CAM事例ごとにSICAT Implantはオブジェクトグループ**光学印象**内の**オブジェクトブラウザ**に対応する歯の位置とともに下位オブジェクトグループ**CAD/CAM事例**を表示します。オブジェクトグループ**CAD/CAM事例**には以下のオブジェクトを含むことができます。

- 光学印象 上顎骨
- 光学印象 下顎骨
- 対応する歯の位置とともに1つまたは複数の **修復**オブジェクト

アクティブなCAD/CAM事例に対して SICAT Implant は**プロパティエリア**にインポート日及びフォーマットを表示します。アクティブな光学印象に関しては **プロパティエリア**に撮影日と撮影システムが表示されます。

CAD/CAM事例オブジェクトを1つ削除するとSICAT Implantが対応するCAD/CAM事例を削除します。CAD/CAM事例を削除すると復元できなくなります。

「神経」オブジェクトグループ



下顎神経をマークすると、SICAT Implantは**オブジェクトブラウザ**にオブジェクトグループ**神経**を表示します。オブジェクトグループ**神経**は以下のオブジェクトを含むことができます。

- 左下顎神経
- 右下顎神経

神経にフォーカスすると前回にアクティブだった神経上のポイントに焦点が行きます。



神経が表示されていないと、神経の計画機能の一部は無効になっています。機能を再度有効にするには神経を再び表示してください。

「インプラント」オブジェクトグループ



計画したインプラントごとに、SICAT Implantは**オブジェクトブラウザ**にオブジェクトグループ**インプラント**にある下位オブジェクトグループ**インプラント**を歯の位置、インプラント直径(mm)、インプラントの長さ(mm)、インプラントシリーズとともに表示します。オブジェクトグループ**インプラント**には以下のオブジェクトを含むことができます。

- 角度付きアバットメント用角度 (°) ありのアバットメント、プラットフォーム、アバットメントシリーズ
- スリーブ

インプラント及びアバットメントにフォーカスするとインプラントの咬合点に焦点が合います。スリーブにフォーカスするとスリーブの中心に焦点が合います。



インプラントが表示されていないときは、インプラントやアバットメント、スリーブの計画機能の一部は無効になっています。機能を再度有効にするにはインプラントを再び表示してください。

26 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

SICAT Implantでは、異なる3種類のワークスペースが用意されています。

パノラマ

アライメント済みインプラント

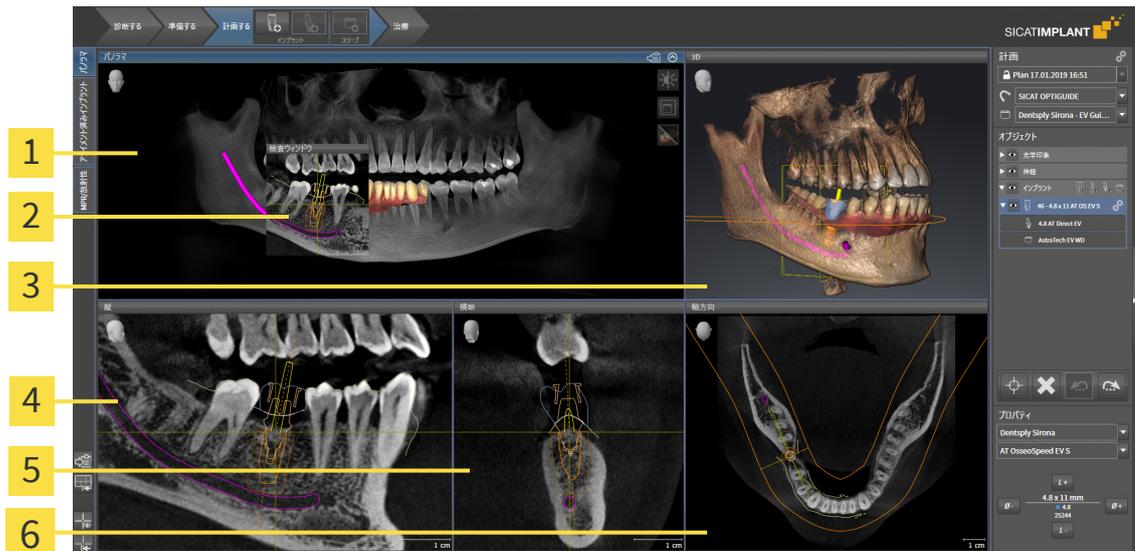
MPR/放射性

- パノラマワークスペースに関する情報はパノラマワークスペースの概要 [▶ ページ 138]を参照してください。
- アライメント済みインプラントワークスペースに関する情報はインプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ ページ 140]を参照してください
- MPR/放射性ワークスペースに関する情報はMPR/放射性ワークスペースの概要 [▶ ページ 141]を参照してください。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- ワークスペースを切り替える [▶ ページ 142]。
- アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ ページ 143]。
- ビューの調整 [▶ ページ 146]。
- 3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は3Dビューの調整 [▶ ページ 164]を参照してください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。これに関する情報はワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ ページ 144]を参照してください。

26.1 パノラマワークスペースの概要



1 パノラマビュー

2 検査ウィンドウ

3 3Dビュー

4 縦ビュー

5 横断ビュー

6 軸方向ビュー

パノラマビュー

パノラマビューは、仮想的なオルソパントモグラフィ（OPG）に相当します。これは、正射影を特定の太さのパノラマ曲線上に表示します。パノラマ曲線および太さを両顎に調整することができます。この調整に関する内容は、[パノラマエリアを調整する](#) [▶ ページ 198]の節をご覧ください。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、パノラマビューに埋め込まれています。レイヤーをパノラマ曲線に対して平行にすることによって、パノラマビューに、3次元の画像が追加されることになります。**検査ウィンドウ**を移動、非表示、表示および最大化できます。これに関する情報は[検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化](#) [▶ ページ 155]を参照してください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

縦ビュー

縦ビューには、パノラマ歯列弓に対して接線をなすレイヤーを表示します。

横断ビュー

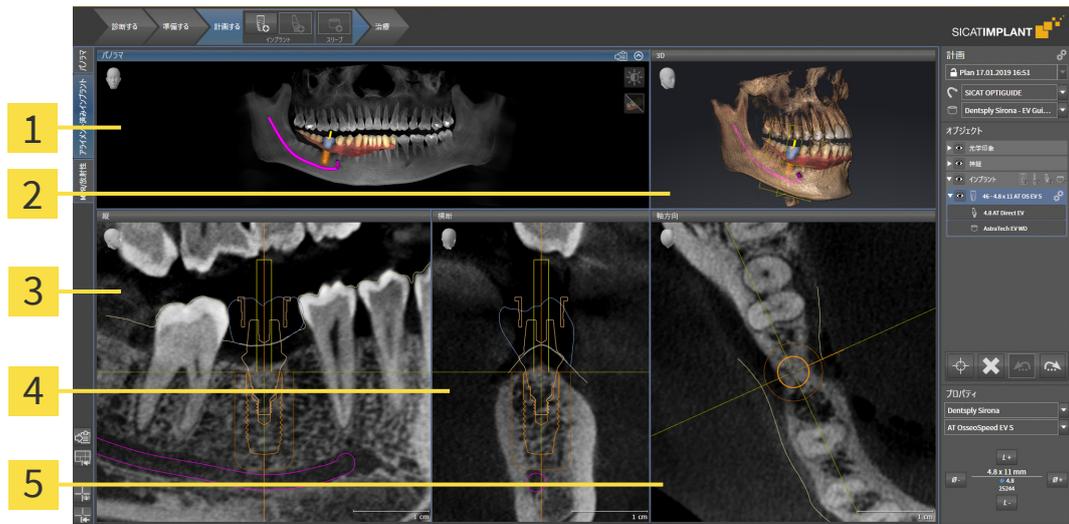
横断ビューには、パノラマ歯列弓に対して矢状断のレイヤーを表示します。

軸方向ビュー

デフォルトの軸方向ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。軸方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 299]の節をご覧ください。

ビューの機能に関しては、[ビューの調整](#) [▶ ページ 146]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 164]をご参照ください。

26.2 インプラントアライン済みワークスペースの概要



1 パノラマビュー

4 横断ビュー

2 3Dビュー

5 軸方向ビュー

3 縦ビュー

ワークスペースアライメント済みインプラントではインプラントを正確に位置決めし、アライメントを調節し、計画を最終的に確認します。詳細はインプラントの移動とアライン【▶ ページ 234】を参照してください。

ワークスペースアライメント済みインプラントにはワークスペースパノラマと同じビューが表示されます。しかしレイヤービューは常にアクティブなインプラントにアラインされています。アクティブなインプラントの位置や向きを変更したりアクティブなインプラントを入れ替えるやいなや、SICAT Implantがレイヤービューを3つの寸法全てにおいて常に最適なインプラント断面を視野に把握できるように適切に調整します。

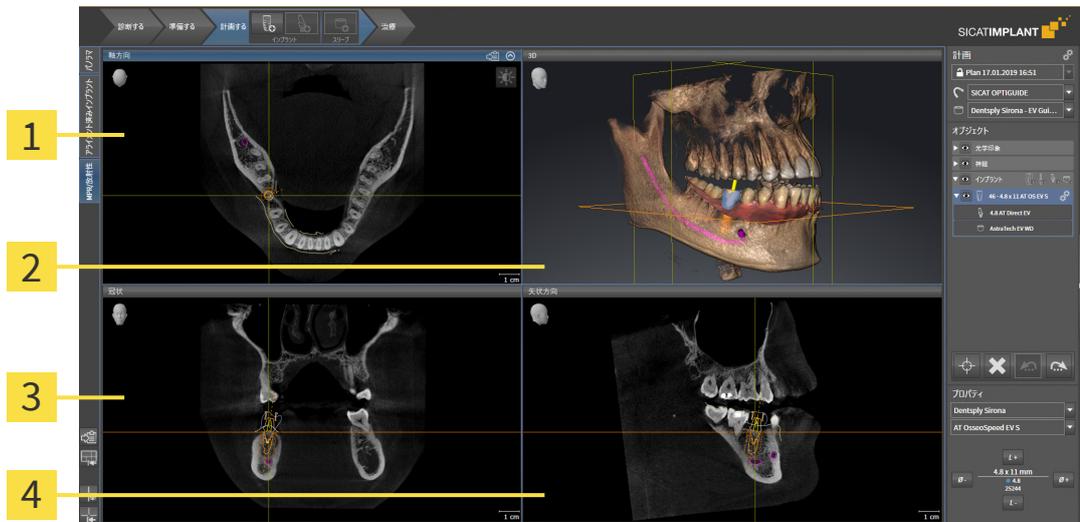
さらに、ワークスペースアライメント済みインプラントでは、縦ビューと横断をアクティブなインプラントの回りに回転させ、計画をどの向きからも最適に判断し、必要な場合には調整できません。詳細はビューをアクティブなインプラントの回りに回す【▶ ページ 159】を参照してください。

ビューの機能についてはビューの調整【▶ ページ 146】と3Dビューの調整【▶ ページ 164】をご覧ください。



ボリュームの配置とパノラマカーブを正確に調整してあればあるほど、インプラントの計画をワークスペースアライメント済みインプラントで容易にできるようになります。詳細はボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する【▶ ページ 191】を参照してください。

26.3 MPR/放射性ワークスペースの概要



1 軸方向-ビュー

3 冠状-ビュー

2 3D-ビュー

4 矢状方向-ビュー

軸方向ビュー

デフォルトの軸方向ビューでは、上方から見たレイヤーを表示します。軸方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 299]の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

冠状ビュー

冠状ビューには、前方から見たレイヤーを表示します。

矢状方向ビュー

デフォルトの矢状方向ビューでは、右側から見たレイヤーを表示します。矢状方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 299]の節をご覧ください。

ビューの機能については以下をご覧ください。 [ビューの調整](#) [▶ ページ 146] および [3Dビューの調整](#) [▶ ページ 164]。

26.4 ワークスペースを切り替える

ワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

パノラマ

アライメント済みインプラント

MPR/放射性

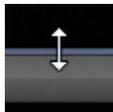
- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。
- ▶ 選択したワークスペースが開きます。

26.5 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
 - ▶ マウスポインタの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 境界線の位置が変わります。
 - ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Implant では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットするのアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Implant は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

26.6 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報はワークスペースを切り替える [▶ ページ 142]を参照してください。



- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Implant では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl +V」を使用します。

27 ビュー

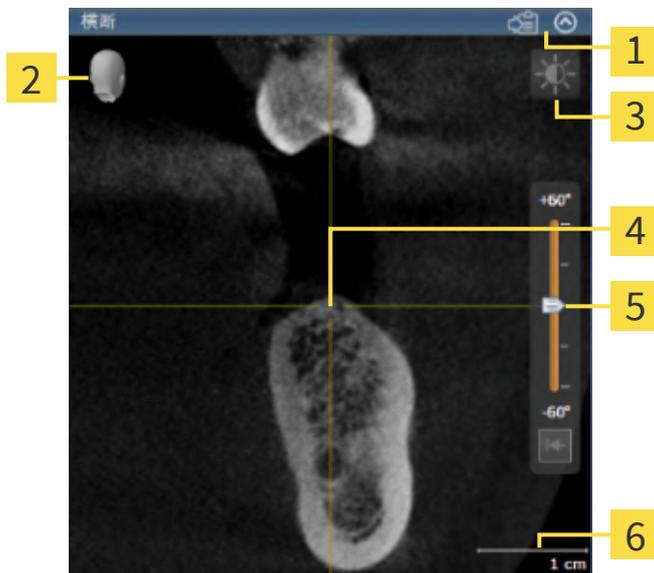
ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は以下の節をご覧ください。 [ワークスペース](#) [▶ ページ 137]。

ビューを調整することができます。これに関する情報は[ビューの調整](#) [▶ ページ 146]と [3Dビューの調整](#) [▶ ページ 164]を参照してください。

27.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールによっては、アクティブな画像以外では、使用できないものが、いくらかあります。ビューを作業対象として選択する手順は、[アクティブなビューの切り替え \[▶ ページ 148\]](#)の節をご覧ください。

アクティブなビューに含まれる要素：



1 タイトルバー

2 オリエンテーションヘッド

3 画像のツールバー

4 十字線

5 傾きを調整するためのスライダー

6 尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Implantは全てのレイヤービューを互いに同期させます。これは、全ての十字線が3D X線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 148]
- ビューの最大化および復元 [▶ ページ 149]
- 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ ページ 150]
- ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ ページ 152]
- レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ ページ 153]
- 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ ページ 154]
- 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ ページ 155]
- ビューの傾斜 [▶ ページ 157]
- ビューの回転 [▶ ページ 158]
- ビューをアクティブなインプラントの回りに回す [▶ ページ 159]
- 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [▶ ページ 161]
- ビューをリセットする [▶ ページ 162]

3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は3Dビューの調整 [▶ ページ 164]を参照してください。

アクティブなビューの内容を記録することができます。これに関する情報は画像のスクリーンショットを作成する [▶ ページ 163]を参照してください。

27.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

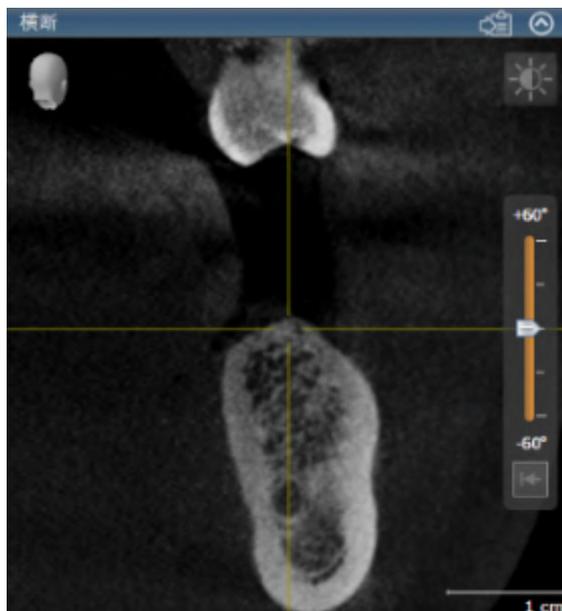
ビューをアクティブにするには、次のように行います。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。



2. 希望のビューをクリックします。

▶ SICAT Implantがビューを有効にします。



作業対象として選択したビューは、タイトルバーが青色になりますので、それとわかります。

27.3 ビューの最大化および復元

ビューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください [アクティブなビューの切り替え \[▶ ページ 148\]](#)。
- ☑ 希望のビューは最大化していません。



1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implant がビューを最大化します。



2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implant では、ビューが元のサイズに戻ります。



ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

27.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

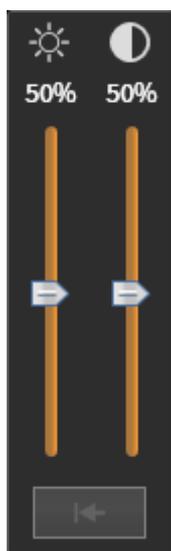
2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 148]を参照してください。



1. 2Dビューの画像のツールバーに**輝度およびコントラストの調整**のアイコンがありますので、それにマウスポインタを重ねます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。



2. マウスポインタを**輝度**のスライダーに重ねます。
3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Implant では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。

4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Implant は2Dビューの現在の輝度を保持します。



5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。
6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Implant では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。

7. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Implant は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

- マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが閉じます。

2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。



全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

27.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズームするときには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。
▶ ビューがズームアウトします。



上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。
▶ SICAT Implant では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

27.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

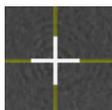
1. マウスポインタを希望の2Dレイヤービュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
 - ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
 - ▶ SICAT Implant は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Implant では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Implant では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

27.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。
- 1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。
 - ▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスを動かします。
 - ▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Implant は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Implant では、3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Implant では、十字線が移動後の位置を維持します。



十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

- ☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。



- 1. ワークスペースのツールバーで、**十字線とフレームを非表示にするのアイコン**をクリックします。
 - ▶ SICAT Implant では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。
 - ▶ SICAT Implant では、3Dビューでフレームが隠れます。



- 2. **十字線とフレームを表示するのアイコン**をクリックします。
 - ▶ SICAT Implant では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。
 - ▶ SICAT Implant では、3Dビューでフレームが表示されます。

27.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化

検査ウィンドウの移動

検査ウィンドウを移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ パノラマワークスペースはすでに開いています。この切替に関する内容は、[アクティブなワークスペースの切り替え \[▶ ページ 142\]](#)の節をご覧ください。
- ☑ 検査ウィンドウは、隠さずに表示しておきます。



1. パノラマビューで、**検査ウィンドウ**のタイトルバーにマウスポインタを重ねます。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスを動かします。
 - ▶ **検査ウィンドウ**は、マウスポインタの動きに追随します。
 - ▶ SICAT Implantは別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Implantでは、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Implantでは、**検査ウィンドウ**が移動後の位置を維持します。

検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化する



シンボル**検査ウィンドウ**を設定するは、同時にステータス表示とスイッチです。

検査ウィンドウを非表示、表示、最大化するときには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ パノラマワークスペースはすでに開いています。これに関する情報はワークスペースを切り替える [\[▶ ページ 142\]](#)を参照してください。
- ☑ 検査ウィンドウは、隠さずに表示しておきます。

1. 画像のツールバーのパノラマビューで**検査ウィンドウを設定する**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ SICAT Implantは検査ウィンドウを設定するためのアイコンを表示します。



2. **検査ウィンドウを非表示にする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantでは、**検査ウィンドウ**が非表示になります。



3. **検査ウィンドウを標準サイズで表示**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantでは、**検査ウィンドウ**が表示されます。

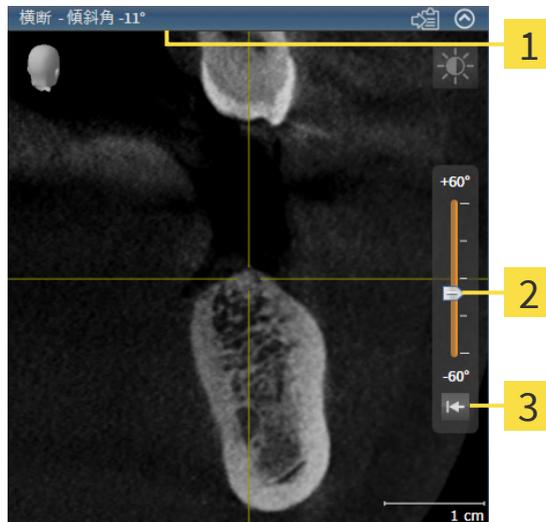


4. **検査ウィンドウの最大化**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantは、**検査ウィンドウ**を最大化します。

27.9 ビューの傾斜

パノラマワークスペースで縦ビュー、および横断を傾けることができます。これにより、特定の解剖学的構造(歯など)または計画オブジェクトを表示するために、両方のビューで配置を最適化することができます。



1 現在設定されている傾斜

3 傾斜をリセットするのボタン

2 傾きを調整するためのスライダー

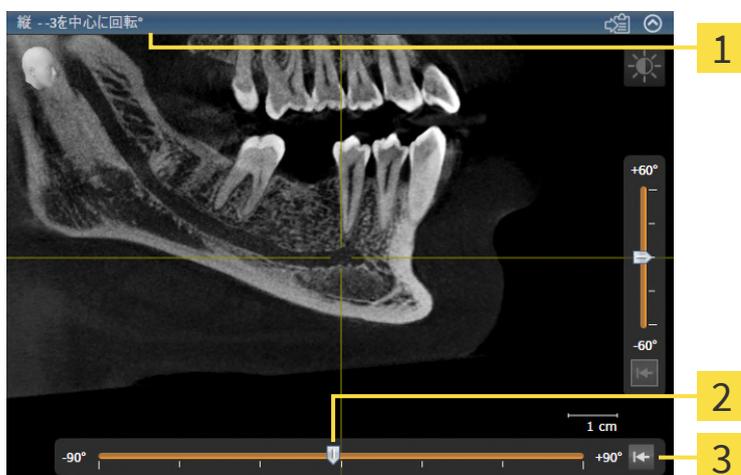
- ☑ パノラマワークスペースはすでに開いています。これに関する情報はワークスペースを切り替える [▶ ページ 142]を参照してください。
- ☑ 縦ビュー、もしくは横断ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 148]を参照してください。
 - 傾斜を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する傾斜まで上下に動かします。スライダーをクリックして矢印キーをアップとダウンすることにより、傾斜を変更することもできます。
- ▶ SICAT Implantアクティブビューを傾斜させ、現在設定されている傾斜をアクティブビューのタイトルバーに表示します。
- ▶ SICAT Implantは縦もしくは横断ビュー内の十字線を更新します。
- ▶ SICAT Implantは3Dビュー内の対応するフレームを傾けます。



傾斜をリセットするのボタンをクリックすることにより、傾斜を0°に戻すことができます。

27.10 ビューの回転

ワークスペースパノラマで縦ビューを回せます。例として下顎神経のマーキングのために、下顎神経の上昇幹が一つのレイヤーに見えるようにビューを回すことができます。



1 現在設定されている回転

3 回転のリセットのボタン

2 起点調整スライダー

☑ パノラマワークスペースはすでに開いています。これに関する情報はワークスペースを切り替える [▶ ページ 142] を参照してください。

☑ 縦ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 148] を参照してください。

- 回転を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する回転状態まで左右に動かします。スライダーをクリックして矢印キーを右と左に動かすことにより、回転を変更することもできます。

▶ SICAT Implantはアクティブビューを回し、現在設定されている回転をアクティブビューのタイトルバーに表示します。

▶ SICAT Implantはクロスヘアの対応する線をビュー 横断と軸方向で回転します。

▶ SICAT Implantは3Dビュー内の対応するフレームを回します。



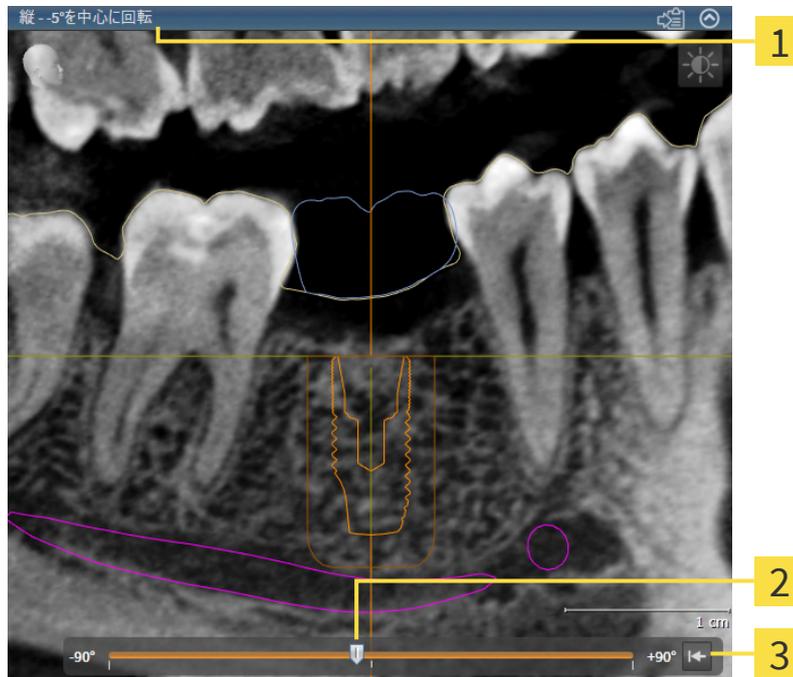
回転はクロスヘアの現在位置の回りに実行されます。ビューを他の位置に回すには、まずその位置にフォーカスします。



回転のリセットのボタンをクリックすることにより、回転を0°に戻すことができます。

27.11 ビューをアクティブなインプラントの回りに回す

ワークスペースアライメント済みインプラントではビュー **縦**と**横断** をアクティブなインプラントの回りに回転させ、計画を全方位から最適に見極めて、必要な場合には調整することができます。



1 現在設定されている回転

3 回転のリセットのボタン

2 起点調整スライダー

アライメント済みインプラントワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は **ワークスペースを切り替える** [▶ ページ 142]を参照してください。

1. **オブジェクト**からまたは表示でインプラントをクリックし表示を変更したいインプラメントを有効にします。
2. ビューアクティブなインプラントを回転させたい**縦**ビューまたは**横断**ビューを有効にします。
3. 回転を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する回転状態まで左右に動かします。スライダーをクリックして矢印キーを**右**と**左**に動かすことにより、回転を変更することもできます。

▶ SICAT Implant は**縦**と**横断**ビューを同時に回し、現在設定されている回転を両方のビューのタイトルバーに表示します。

▶ SICAT Implant は十字線を**軸方向**ビューの中で回転します。

▶ SICAT Implantは**3D**ビュー内の対応するフレームを回します。



回転のリセットのボタンをクリックすることにより、回転を0°に戻すことができます。

27.12 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする

光学印象は、カラーの光学印象を以前にインポートしており、カラーが有効になっている場合は、パノラマおよび3Dビューで自動的にカラーで表示されます。

形状とジオメトリの正確な認識だけが重要な場合は、光学印象のカラー表示をモノクロ表示に切り替えることができます。

- ☑ **パノラマビュー**、もしくは**3Dビュー**はすでにアクティブになっています。これに関する情報は **アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 148]を参照してください。



1. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオフにする**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantはカラー表示をモノクロ表示に切り替えます。



2. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオンにする**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantはモノクロ表示をカラー表示に切り替えます。



光学印象のカラー表示を3Dビューで切り替えるとき、表示は同時にパノラマビューでも切り替わります。これは逆にも当てはまります。

27.13 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Implantでは、すべてのビューで、ズーム、トリミング部分の移動、スクロール、十字線の移動、**検査ウィンドウ**の移動のそれぞれがデフォルト値に復元されます。
- ▶ SICAT Implantでは、**3Dビュー**で視線方向がデフォルト値に復元されます。
- ▶ SICAT Implantはビューの傾きと回転を0°にリセットします。

27.14 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用することができます。

- Windowsのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 148]を参照してください。



- ビューのタイトルバーから、スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Implant では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl+V」を使用します。

28 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。視線方向の変更に関する内容は、[3Dビューで視線方向を変更する \[▶ ページ 165\]](#)の節をご覧ください。

3Dビューの構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- [3Dビューの表示タイプを切り替える \[▶ ページ 167\]](#)
- [3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する \[▶ ページ 168\]](#)
- [3Dビューの切り抜きモードの切り替え \[▶ ページ 170\]](#)
- [クリッピング領域の固定 \[▶ ページ 172\]](#)

さらに、音量を自動的に回転させることもできます。これに関する情報は[ボリユームの自動回転 \[▶ ページ 173\]](#)を参照してください。

28.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向を変更するには2つの方法があります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向をインタラクティブ方式により変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを**3Dビュー**に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Implantでは、**3Dビュー**で変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. **3Dビュー**で左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
 - ▶ **目線の透明なウィンドウが開きます。**



- ▶ **目線の透明なウィンドウ中央部でオリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。**
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

- ▶ 3Dビューの視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。
3. マウスポインタを、**目線**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。
- ▶ **目線**の透明なウィンドウが閉じます。

28.2 3Dビューの表示タイプを切り替える



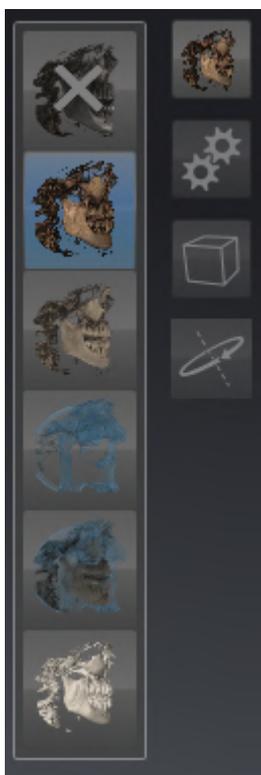
いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は以下を参照してください [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 148]。

1. 3Dビューの画像のツールバーで、**表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

28.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する



アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウで表示される設定内容は、選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 3Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 148]を参照してください。
- ☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。これに関する情報は3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ ページ 167]を参照してください。



1. 3Dビューの画像のツールバーのアクティブな表示モードを設定するアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウが開きます。



2. 希望のスライダーを動かします。

▶ SICAT Implantでは、3Dビューに対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

3. マウスポインタを、アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウが閉じます。



現在の設定内容は、現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットするのボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

28.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューでボリュームの一部を一時的にトリミングして、残りの部分を良く調べたり、ボリューム内の計画オブジェクトの位置を評価したりできます（「クリッピング」）。

各ワークスペースの2Dスライスビューおよび/またはフォーカスポイント周辺のエリアに沿ってボリュームをトリミングできます。クリッピングエリアは通常他のビューと同期しています。設定したクリッピングエリアを修正することもできます。詳細はクリッピング領域の固定 [▶ ページ 172] を参照してください。

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 3Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 148] を参照してください。

1. 3Dビューの画像のツールバーの切り抜きモードを切り替えるアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ 切り抜きモードを切り替えるの透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantは任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、切り抜きモードを切り替えるの透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ 切り抜きモードを切り替えるの透明なウィンドウが閉じます。



視線方向でクリッピングエリアを調整する

各ワークスペースの2Dレイヤービューに沿ってボリュームをトリミングする場合は、3Dビューで視線方向を変更することで行うことができ、両方のボリューム部分のうちの1つがトリミングされます。設定したクリッピングエリアを修正することもできます。詳細はクリッピング領域の固定 [▶ ページ 172]を参照してください。



顎を解除する

顎を解除するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. 現在の軸方向レイヤーでクリッピング切り抜きモードを選択してください。



2. 咬合方向から目的の顎を見られるように3Dビューで視線方向を変更します。
3. 咬合平面に達するまで軸方向のビューをスクロールします。
4. 現在設定されているクリッピングエリアを修正します。詳細はクリッピング領域の固定 [▶ ページ 172]を参照してください。

28.5 クリッピング領域の固定

3Dビューで現在設定されているクリッピング領域を固定するには次の手順で行います。

- ☑ 3Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 148]を参照してください。
- ☑ ボリュームの一部が一時的に切り抜かれる切り抜きモードが選択されています。これに関する情報は3Dビューの切り抜きモードの切り替え [▶ ページ 170]を参照してください。



1. **画像のツールバー**で横のピンをクリックしてください。
▶ SICAT Implantは現在のクリッピング領域を固定します。



2. **画像のツールバー**で横のピンをクリックしてください。
▶ SICAT Implantは現在のクリッピング領域の固定を解除します。



他の切り抜きモードを選択するとクリッピング領域の固定が自動的に解除されます。

28.6 ボリュームの自動回転

ボリュームを全ワークスペースの3Dビュー内で自動回転させるには次の手順で行います。

- ☑ 開いたワークスペースの3Dビューはすでにアクティブです。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 148]を参照してください。



1. **自動回転**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantはボリュームを主軸の回りに自動回転させ始めます。
2. 自動回転を終了するには **自動回転**ボタンまたは3Dビューの任意の個所を再度クリックします。

29 計画の管理

一人の患者について複数の代替治療計画をスタディ一件で作成できます。これらの計画の間で迅速に切り替えて計画を相互に比較し、最終的計画を手術のために指定できます。さらに、SICAT Implant はSICAT ドリルテンプレートの発注やCEREC ガイドへのエクスポート、計画のエクスポート時には開いた計画のコピーを「完了」状態で保存します。「完了」状態ではそれ以上変更できなくなります。

治療計画のどの時点でも一つの計画が常に開いています。一件のスタディを最初に開くと日付と時刻表記付きで一つの計画が名前に作成されます。全計画機能は開いた計画に関しています。例えば距離測定を追加すると、測定が開いているプランに追加されます。後に再度開きたいまたはすでにインポートした計画は計画を閉じたまたはエクスポートした時と同じ状態になっています。

計画管理は次のアクションを含みます。

- 計画切替え [▶ ページ 130]及び計画を開く [▶ ページ 176]
- 計画のブロック/ブロック解除 [▶ ページ 177]
- 計画名の変更 [▶ ページ 178]
- 計画説明の追加と変更 [▶ ページ 179]
- 新規計画の作成 [▶ ページ 180]
- 計画の複製 [▶ ページ 181]
- 計画の削除 [▶ ページ 182]
- 計画のエクスポート [▶ ページ 183]とインポート [▶ ページ 186]

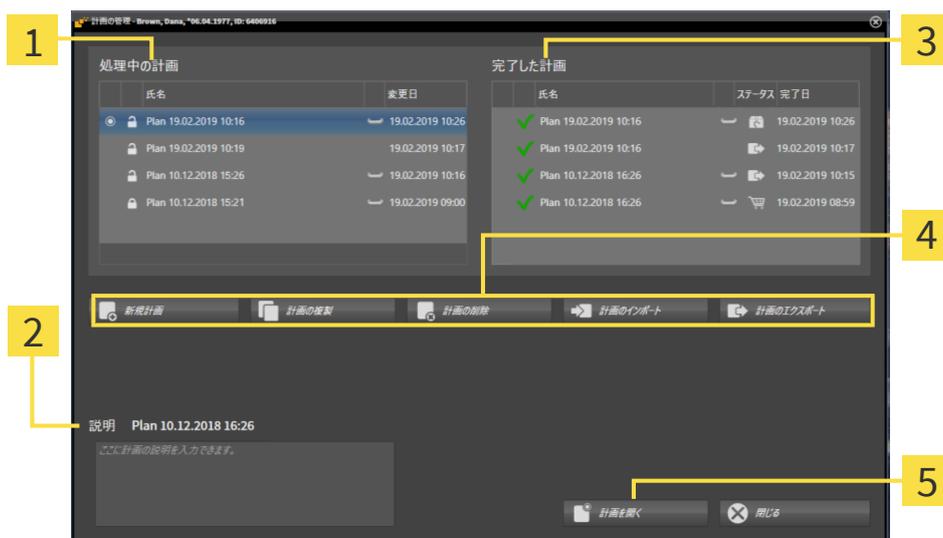
オブジェクトバーにある計画領域について詳しくは**計画の切替えと管理** [▶ ページ 130]をご覧ください。

「計画の管理」ウィンドウを呼び出す



- 計画エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

▶ SICAT Implantに**計画の管理**ウィンドウが開きます。



1 処理中の計画エリア

2 計画の説明

3 完了した計画エリア

4 計画管理用ボタン

5 計画を開くのボタン

開いた計画は選択済みであり、アイコンが強調表示されます。上顎および下顎のアイコンが表示されここに両顎のインプラント計画が出ます。

計画は**処理中の計画**エリアで変更日別にソートされています。編集中の計画は「ブロック」または「ブロック解除」状態のどちらかです。

計画は**完了した計画**エリアで**完了日**別にソートされています。完了した計画はアイコンでわかります。完了した計画は次のうちいずれかの状態になります。

-  「カートにある」
-  「発注済」 / 「CEREC ガイド用にエクスポート済」
-  「エクスポート済」 (計画のエクスポートボタンで)

29.1 計画を開く



1. 計画エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
 - ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアで選択済みであり、アイコンにより強調表示されていません。
2. 開きたい計画をクリックします。



3. **計画を開く**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantはそれまで開いていた計画をバックアップして閉じます。
 - ▶ SICAT Implant は所望の計画を開き、**計画の管理**ウィンドウは閉じます。



計画は計画をワークスペースで**計画**エリアに切り替えるだけですぐに開きます。これに関する情報は**計画の切替えと管理** [▶ ページ 130]を参照してください

29.2 計画のブロック/ブロック解除

計画をブロックし、計画を不慮の編集や削除から保護できます。



1. 計画エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですすでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。



2. 所望の計画行で**処理中の計画**エリアで横のアイコンをクリックしてください。

▶ SICAT Implantは計画をブロックします。

▶ アイコンがに変わります。



3. 所望の計画行で**処理中の計画**エリアで横のアイコンをクリックしてください。

▶ SICAT Implantが計画をブロック解除します。

▶ アイコンがに変わります。

29.3 計画名の変更



1. 計画エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
 - ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですすでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。
2. **処理中の計画**エリアで名前を変更したい計画をクリックします。ブロック解除された計画のみ名前を変更できます。
3. 計画行で名前をクリックします。
 - ▶ 計画名は編集可能です。
4. 名前を入力し、名前を確定します。名前が空であってはなりません。
 - ▶ 名前欄を出るとSICAT Implantが変更後の名前を適用します。

29.4 計画説明の追加と変更



1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。
 - ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですすでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。
2. 希望の計画をクリックします。ブロックされていない計画の説明のみ追加または変更できます。
3. **説明欄**をクリックし、説明を入力してください。
 - ▶ 説明欄を終えるとSICAT Implantが説明を適用します。

29.5 新規計画の作成

診断オブジェクトまたは計画オブジェクトがまだない新規計画を作成します。



1. **計画**エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。



2. **新規計画**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantが新規計画を今日の日付を作成日として**処理中の計画**エリアに追加し、計画を選択します。



3. **新規計画を開く: 計画を開く**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Implant が新規計画を開き、**計画の管理**ウィンドウは閉じます。

29.6 計画の複製

既存の計画を全診断オブジェクトまたは計画オブジェクトごと複製もできます。この機能では例えば完了した計画に基づいて変更を行うことができます。複製したい計画はブロック、ブロック解除、完了のいずれかの状態です。複製は常にブロックされていません。



1. **計画エリアにあるアイコン計画の管理**をクリックします。
 - ▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。

2. 複製したい計画をクリックします。



3. **計画の複製**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implant が複製計画を**処理中の計画**エリアに追加し、選択します。複製計画は**完了した計画**エリアからも**処理中の計画**エリアに保存されます。



4. **複製を開く: 計画を開く**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implant が複製を開きます。

29.7 計画の削除



1. 計画エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアで選択済みであり、アイコンにより強調表示されていません。

2. 削除したい計画をクリックします。ブロックされているか完了した計画を削除することはできません。



3. **計画の削除** ボタンをクリックし、確認メッセージを確認してください。

▶ SICAT Implant が計画を削除します。スタディの**前回計画**を削除すると、SICAT Implant は自動的に新規計画を作成します。

29.8 計画のエクスポート



注意

不正計画は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

正しい計画をエクスポート用を選択するようにしてください。

計画をエクスポートして例えば計画を転送し、セコンドオピニオンを取得するか訂正した計画をSICATサポートに送信します。この機能を使用できるのは同一3Dレントゲンデータが送信側にも受信側にもある場合のみです。



受信者のSICAT Suiteにまだ同じ3Dレントゲンデータがなければ、最初を送る側のSICAT Suiteでデータエクスポートを利用して3Dレントゲンデータをエクスポートしてください。これに関する詳細はデータエクスポート [▶ ページ287]を参照してください。送り先のSICAT Suiteでデータインポートを利用する必要があります。

3Dレントゲンデータのデータエクスポートによりプランが自動的にエクスポートされます。このためデータエクスポートの利用時におけるプランの以下のエクスポート手順は不要になります。ここに説明してある機能は後にその他のプランをSICAT Suiteと送り先のSICAT Suiteにある既存の同じ3Dレントゲンデータを基にエクスポートするとき使用できます。



1. 計画エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

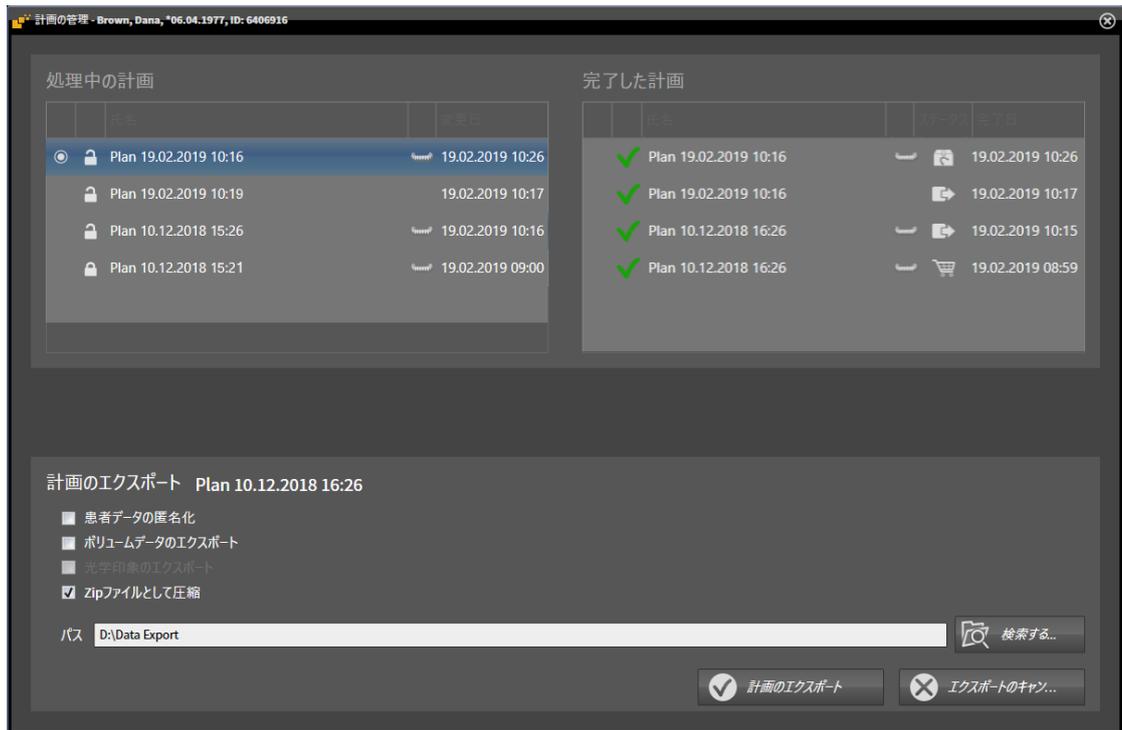
▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。現在開いている計画は**処理中の計画**または**完了した計画**エリアですすでに選択されており、アイコンにより強調表示されています。

2. エクスポートしたい計画をクリックします。



3. **計画のエクスポート**のボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Implantの**計画管理**ウィンドウ下部にはエクスポートの設定を行う**計画のエクスポート**エリアが表示されます。



4. 必要な場合に以下のオプションの一つまたは複数をも有効にします。
 - **患者データの匿名化**、患者データをエクスポート後のプランで匿名化する。
 - **ポリウムデータのエクスポート**、3Dレントゲンデータを計画とともにエクスポートする。
 - **光学印象のエクスポート**、計画の光学印象もともにエクスポートする。
 - **Zipファイルとして圧縮**、エクスポートデータをサイズの小さいファイルに圧縮する。



5. パス欄に計画のエクスポート先ディレクトリを指定します。これは **検索する** ボタンをクリックしてディレクトリを選んでもできます。



6. **計画のエクスポート**をクリックします。
 - ▶ SICAT Implant はポリウムデータをエクスポートしない場合はエクスポートした計画をSIMPPファイルとして他のエクスポートファイルとともに保存します。
 - ▶ SICAT Implant はポリウムデータをエクスポートする場合は、エクスポートした計画をSIMPDファイルとして他のエクスポートファイルとともに保存します。
 - ▶ オプション**Zipファイルとして圧縮**にチェックが入っているときはSICAT Implant は選択されたデータをZIPファイルに圧縮して保存します。
 - ▶ SICAT Implant はエクスポートのために選択した元の計画のコピーを**完了した計画**エリアのステータス「エクスポート済み」に作成しません。
 - ▶ SICAT Implantはエクスポート後にメッセージを表示します。



ボリュームデータのエクスポートオプションを有効にし、これで計画を3Dレントゲンデータと共にSIMPファイルにエクスポートする場合、この方法でエクスポートした3Dレントゲンデータを計画のインポート機能によって受信者のSICAT Suiteにインポートすることは技術的にできなくなります。しかし受信者は計画を3DレントゲンデータとともにインポートするためにSICAT Suiteのデータインポートを利用することはできます。



エクスポート用にコピーされており、完了した計画エリアに保存されている計画を複製できます。エクスポートした計画に基づいて処置を後のために再計画できます。

29.9 計画のインポート

SICAT Implant で以前にエクスポートした計画をインポートすることができます。SICAT Implant は全光学印象をまだ手元のシステムにはないインポートする計画にインポートします。



この機能によりインポート対象計画のSIMPDPファイルにある3Dレントゲンデータをインポートすることはできません。

インポート対象計画の3Dレントゲンデータも含めてインポートする場合、データインポートをご利用ください。詳細はデータインポート [▶ ページ 92]を参照してください。

データインポートでは計画もインポートされます。このためデータインポートの利用時における計画の以下のインポート手順は不要になります。ここに説明してある機能は後にその他のプランをSICAT Suiteと送り先のSICAT Suiteにある既存の同じ3Dレントゲンデータを基にインポートするとき使用できます。



1. 計画エリアにあるアイコン**計画の管理**をクリックします。

▶ SICAT Implantの**計画の管理**ウィンドウが開きます。



2. **計画のインポート**のボタンをクリックします。

▶ SICAT ImplantはWindowsファイルエクスプローラーウィンドウを開きます。

3. インポートするSIMPDPファイルまたはZIPファイルのあるディレクトリに切替え、ファイルを選択したら、**開く**をクリックします。

▶ インポートした計画は**処理中の計画**エリアに追加されます。同名の計画がすでにあればインポートした計画には(2)等の括弧入り数字が付記されます。

▶ SICAT Implant が計画をインポートできなければ、SICAT Implant はエラーメッセージを追加情報とともに表示します。



4. インポートした**計画を開く**。**計画を開く**のボタンをクリックします。

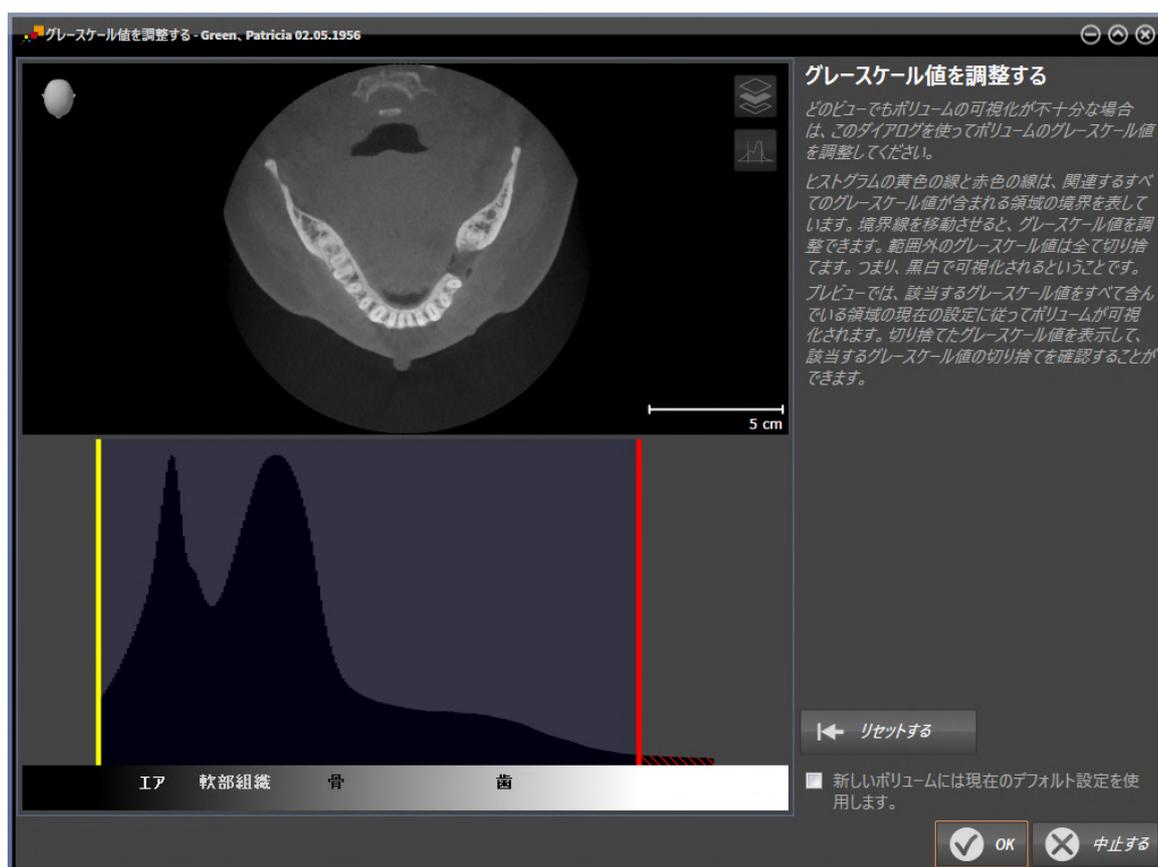
▶ SICAT Implantはインポートした計画を開きます。

30 グレースケール値



グレースケール値を他社製3D X線機器によって作成されたボリューム用としてのみ調整することができます。

ボリュームの表示が不十分な場合、ボリュームのグレースケール値をグレースケール値を調整するウィンドウで調整することができます。



グレースケール値を調整するウィンドウは二つの部分で構成されています。

- 上側は軸方向レイヤービューまたは冠状投影ビューを示しています。
- 下側は、グレースケール値の度数分布を含むヒストグラムを示しています。

ヒストグラムでは黄色い線と赤い線が、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの境界を表しています。境界を移動することによって、グレースケール値を調整することができます。SICAT Implant エリア外のグレースケール値を全て切り捨てます。これは、ソフトウェアがこれらを黒または白で表示することを意味しています。

SICAT Implant ボリュームを軸方向レイヤービューまたは冠状投影ビューで、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアに応じて表示します。SICAT Implantに関連するビュー情報が隠れていないことを確認するために、ソフトウェアは切り捨てたグレースケール値を表示することができます。

軸方向レイヤービューでは、レイヤーをスクロールし、これらを個別に切り捨てたグレースケール値でチェックすることができます。

冠状投影ビューでは、全てのレイヤーを一度に切り捨てたグレースケール値でチェックすることができます。

グレースケール値の調整は、全てのビューでボリュームの表示が不十分な場合にのみ行います。これに関する情報は**グレースケール値を調整する** [▶ ページ 189]を参照してください。

例えば、特定の解剖学的組織をハイライト表示するときは、2Dビューの明るさやコントラストを調整して、一時的に変更することができます。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 150]を参照してください。

その他、**3Dビュー**の表示を調整することができます。これに関する情報は**3Dビューの表示タイプを切り替える** [▶ ページ 167]、**3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する** [▶ ページ 168]と**3Dビューの切り抜きモードの切り替え** [▶ ページ 170]を参照してください。

30.1 グレースケール値を調整する

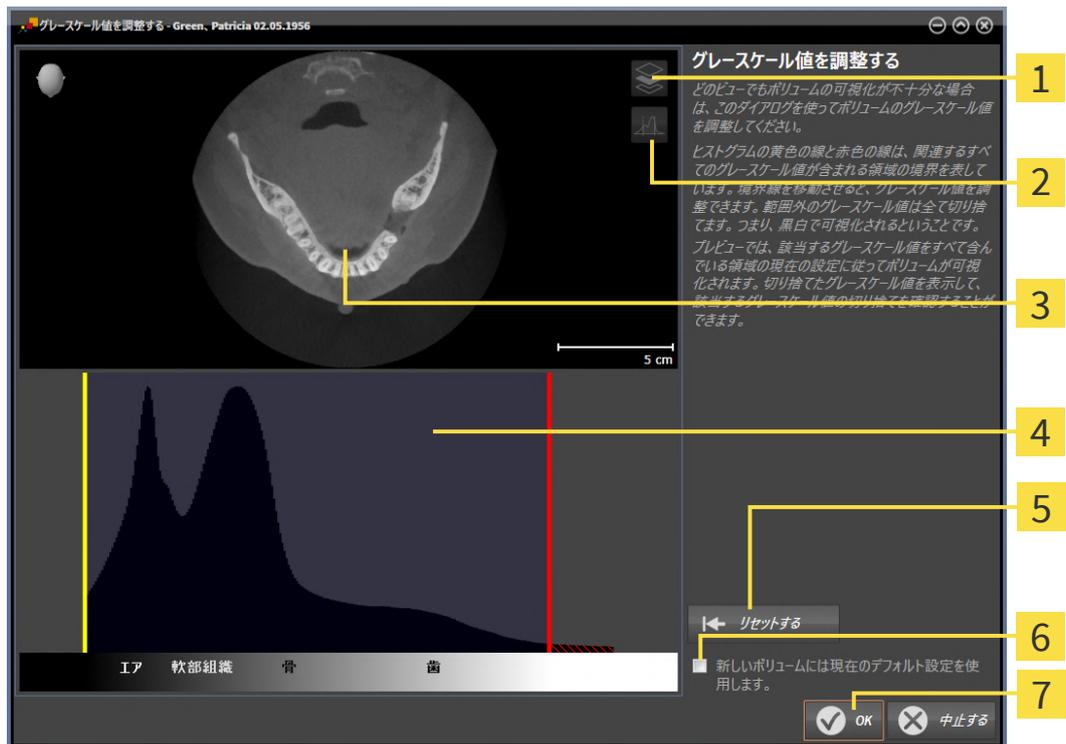
グレースケール値 [▶ ページ 187]に関する一般的な情報は、この節をご覧ください。

ボリュームのグレースケール値を調整するには、次の手順で行います。

- ☑ ワークフロー ステップの準備するは、すでに開いています。



1. グレースケール値を調整するのアイコンをクリックします。
▶ グレースケール値を調整するのウィンドウが開きます。



- 1 冠状の投影モードをアクティブにするアイコンまたは軸方向レイヤーモードをアクティブにするアイコン
- 2 切り捨てたグレースケール値を表示しないアイコンまたは切り捨てたグレースケール値を表示するアイコン
- 3 軸方向レイヤービューまたは冠状投影ビュー。
- 4 ヒストグラム
- 5 リセットするのボタン
- 6 新しいボリュームには現在のデフォルト設定を使用します。のチェックボックス
- 7 OKのボタン

2. 軸方向レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、軸方向レイヤーモードをアクティブにするアイコンをクリックします。

3. 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの下限を調整するには、黄色い線を移動させます。
 - ▶ SICAT Implantは**軸方向**レイヤービューで全てのグレースケール値を適度に調整します。
 - ▶ SICAT Implantは関連する最低グレースケール値より低い全てのグレースケール値を黄色で表示します。
 4. 軸方向レイヤーをスクロールします。関連する全てのグレースケール値が黄色で表示されていないことを確認します。必要に応じて、黄色い線をもう一度移動させます。
 5. 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの上限を調整するには、赤色の線を移動させます。
 - ▶ SICAT Implantは**軸方向**レイヤービューで全てのグレースケール値を適度に調整します。
 - ▶ SICAT Implantは関連する最高グレースケール値より高い全てのグレースケール値を赤色で表示します。
 6. 軸方向レイヤーをスクロールします。関連する全てのグレースケール値が赤色で表示されていないことを確認します。必要に応じて、赤色の線をもう一度移動させます。
 7. **OK**をクリックします。
- ▶ **グレースケール値を調整する**ウィンドウが閉じ、SICAT Implantが調整されたグレースケール値に応じてすべてのビューでボリュームを表示します。

記載されている手順に加え、以下の操作が**グレースケール値を調整する**ウィンドウで使用できます：



- **冠状の投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックして、すべてのレイヤーを一度に判断することもできます。**軸方向レイヤーモードをアクティブにする**アイコンをクリックすることにより、**軸方向レイヤービュー**を再び切り替えることができます。
- 両方の境界を一度に移動させるには、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアをクリックして移動させます。
- 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアを標準設定にリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 切り捨てられたグレースケール値を表示したくない場合、**切り捨てたグレースケール値を表示しない**アイコンをクリックします。
- 設定した範囲を今後のインポートボリュームのデフォルトとして使用するには、**新しいボリュームには現在のデフォルト設定を使用します**。チェックボックスを有効にします。
- 変更内容を保存しない場合、**中止する**をクリックします。

31 ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する



ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部の場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

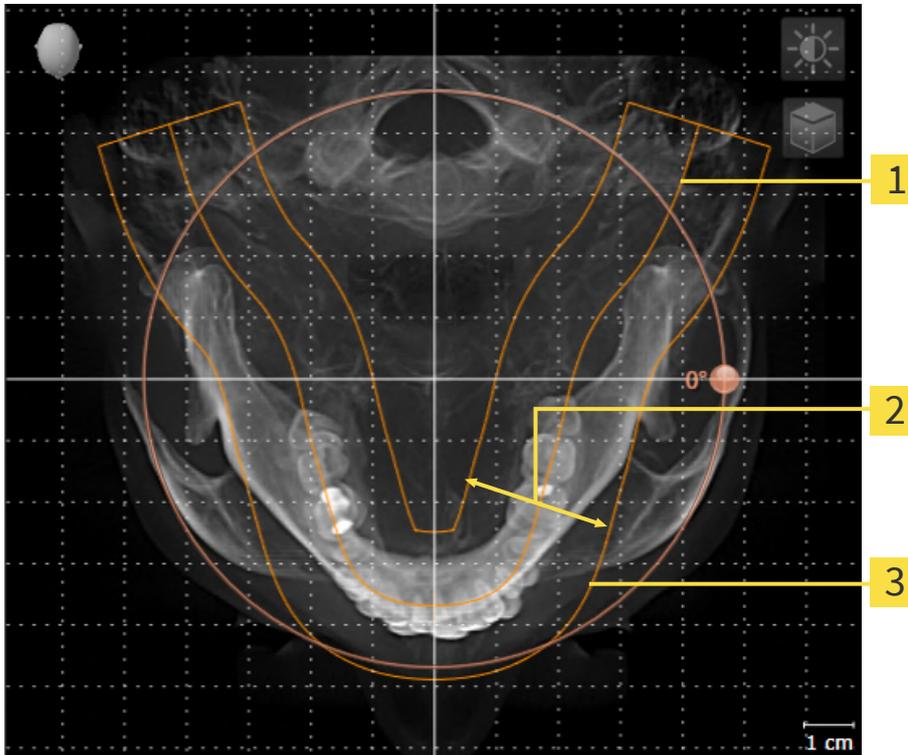
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- パノラマビューの最適化

音量調整をSICAT Implantに合わせると、SICAT Implantは現在開いている計画の設定を引き継ぎます。

ボリュームの配置を調整する手順は、[ボリュームの配置を調整する \[▶ ページ 193\]](#)の節をご覧ください。

パノラマエリア

SICAT Implantでは、ボリュームとパノラマエリアをベースとして計算を行い、パノラマビューを出力します。パノラマビューを最適化するには、パノラマエリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



1 パノラマ曲線

2 厚さ

3 パノラマエリア

パノラマエリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマエリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマエリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマエリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマエリアは、できるだけ薄くしてください。

パノラマエリアをSICAT Implantに合わせると、SICAT Implantは現在開いている計画の設定を転送します。

パノラマエリアを調整する手順は、[パノラマエリアを調整する \[▶ ページ 198\]](#)の節をご覧ください。

31.1 ボリウムの配置を調整する

ボリウムの配置に関する一般的な情報はボリウムの配置およびパノラマエリアを調整する [▶ ページ 191]に記載されています。

ボリウムの配置は、以下の手順で調整を行います。

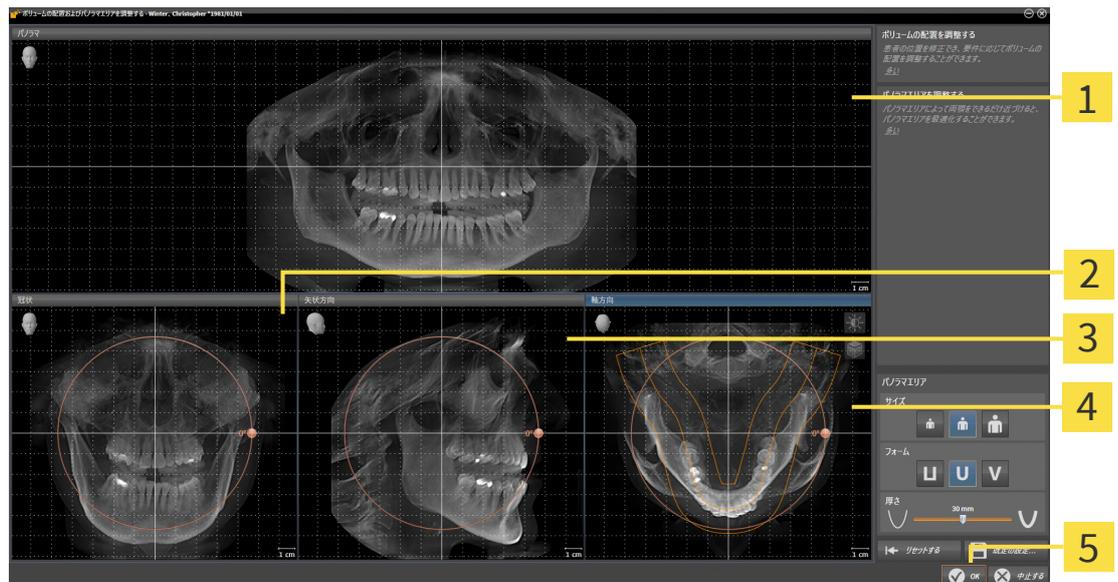
- ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウを開く
- 冠状ビューでボリウムを回す
- 矢状方向ビューでボリウムを回す
- 軸方向ビューでボリウムを回す

「ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

ワークフロー ステップの準備するは、すでに開いています。



- ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウが開きます。



1 パノラマビュー

4 軸方向ビューと回転スライダー

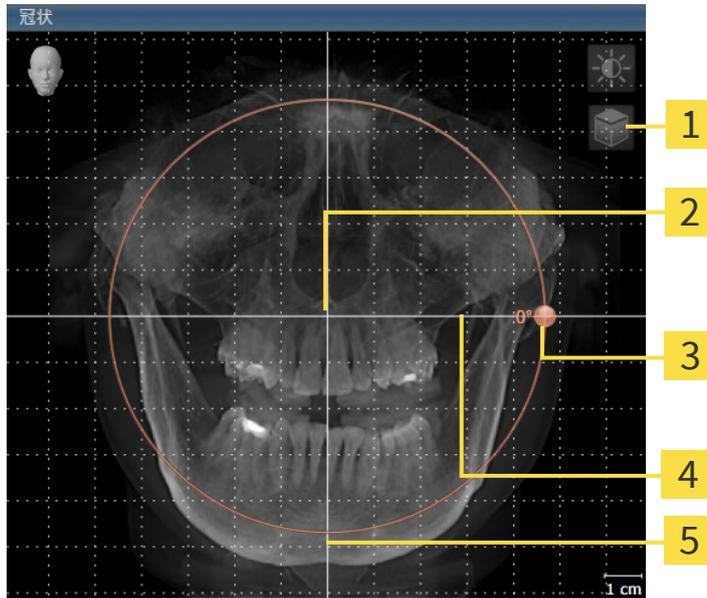
2 冠状ビューと回転スライダー

5 OKのボタン

3 矢状方向ビューと回転スライダー

冠状ビューでボリウムを回す

1. 冠状ビューを有効にします。



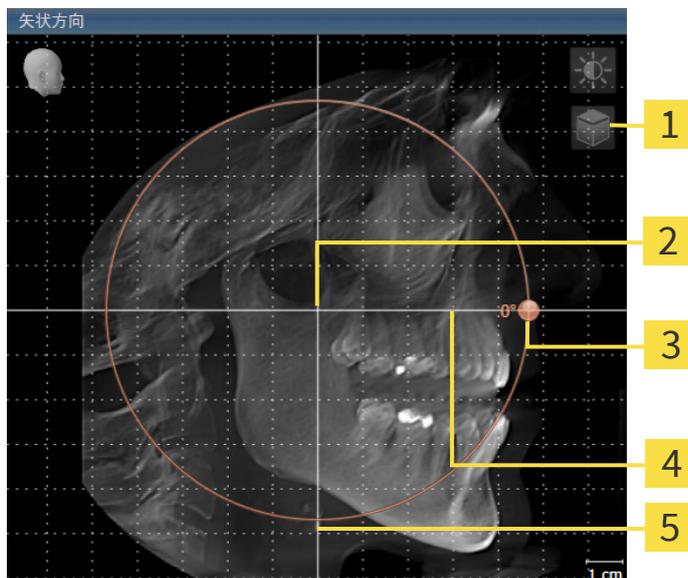
- レイヤーモードをアクティブにするアイコンまたは投影モードをアクティブにするアイコン
- 1 レイヤーモードをアクティブにするアイコン
 - 2 回転中心
 - 3 回転スライダー
 - 4 水平基準線
 - 5 垂直基準線



2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにするアイコン**をクリックしてください。
3. マウスポインタを**回転スライダー**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転スライダー**を移動させます。
 - ▶ SICAT Implantでは、**冠状ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリウムの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリウムを回す

1. 矢状方向ビューを有効にします。



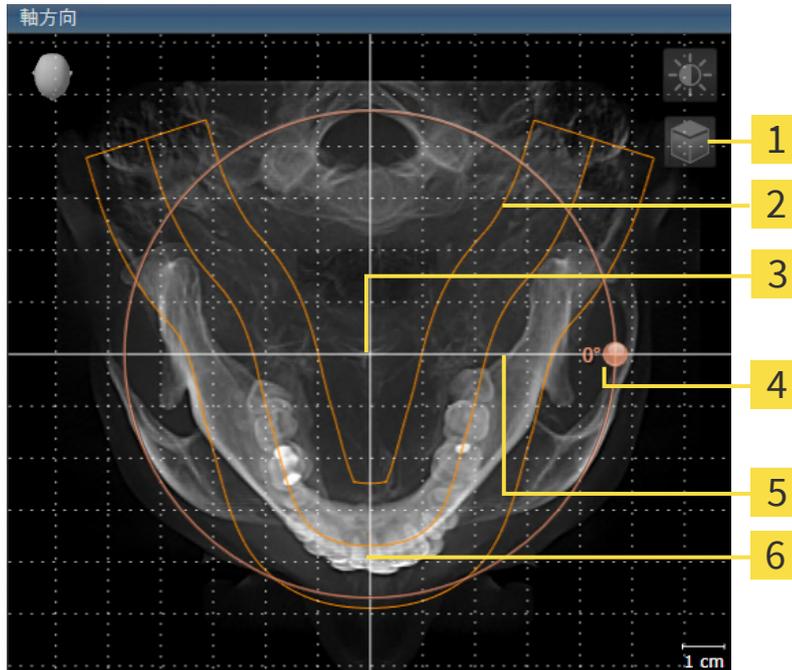
- | | |
|--|----------------|
| 1 レイヤーモードをアクティブにするアイコンまたは投影モードをアクティブにするアイコン | 4 水平基準線 |
| 2 回転中心 | 5 垂直基準線 |
| 3 回転スライダー | |



2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにするアイコン**をクリックしてください。
3. マウスポインタを**回転スライダー**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転スライダー**を移動させます。
 - ▶ SICAT Implantでは、**矢状方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリウムの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリユームを回す

1. 軸方向ビューを有効にします。



- | | | | | | |
|----------------------|---------|-------------------------|------|---------|-------|
| レイヤーモードをアクティブにするアイコン | 1 | コンまたは投影モードをアクティブにするアイコン | 4 | 回転スライダー | |
| 2 | パノラマエリア | 3 | 回転中心 | 5 | 水平基準線 |
| 6 | 垂直基準線 | | | | |



2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにするアイコン**をクリックしてください。
3. その必要があれば、パノラマエリアの移動は、**軸方向ビュー**で行います。このときは、パノラマエリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Implantでは、パノラマエリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。
4. マウスポインタを**回転スライダー**に重ねます。
5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
6. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転スライダー**を移動させます。
 - ▶ SICAT Implantでは、**軸方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
7. 希望するボリユームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマエリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

8. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。
 - ▶ ボリウムの配置を調整すると、それがSICAT Implantに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Implantで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細についてお知らせします。
9. それでもなお、ボリウムの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantは調整されたボリウムの配置を保存し、配置に応じてボリウムをすべてのビューで表示します。



説明のある手順に加えて、**ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整する**ウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューを有効にし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 150]を参照してください。
- ビューでズームすることができます。SICAT Implantは、**冠状**ビュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックして、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存します。
- ボリウムの向きとパノラマエリアを最後に保存したプリセットにリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。
- ビューアモードでデータを開いていた場合、データを閉じた後はカスタマイズが有効になりません。

31.2 パノラマエリアを調整する

パノラマエリアに関する一般的な情報は、[ボリユームの配置およびパノラマエリアを調整する](#) [▶ ページ 191]の節をご覧ください。

パノラマエリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

- **ボリユームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウを開く
- 軸方向ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマエリアを移動する
- 軸方向ビューでボリユームを回す
- サイズ、フォームおよび厚さのパノラマエリアを調整する

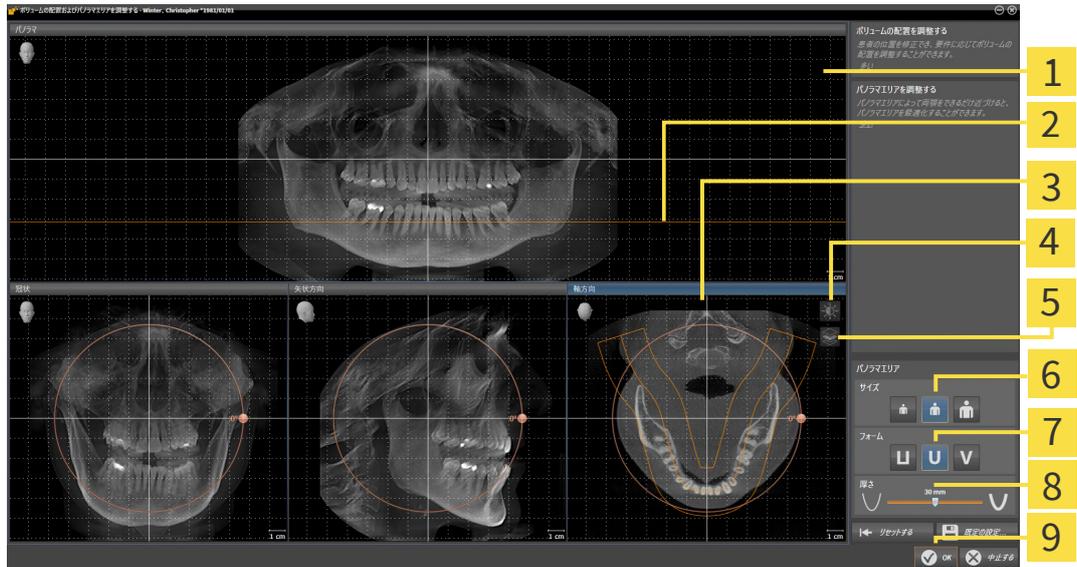
「ボリユームの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

- ☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。



- ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。

▶ ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウが開きます。



1 パノラマビュー

6 サイズのボタン

2 軸方向基準線

7 フォームのボタン

3 軸方向ビューと回転スライダー

8 厚さスライダー

4 輝度およびコントラストの調整アイコン

9 OKのボタン

5 投影モードをアクティブにするアイコン
またはレイヤーモードをアクティブにするアイコン

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する



1. 軸方向ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。投影モードが有効になっている場合は、レイヤーモードをアクティブにするアイコンをクリックします。
2. パノラマビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、軸方向ビューの現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ 軸方向ビューのレイヤーは、パノラマビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ 軸方向ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマエリアを移動する

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタをパノラマエリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Implant では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマエリアの調整が行われます。
4. パノラマエリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ パノラマエリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリウムを回す

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Implant では、**軸方向**ビューで、回転調整つまみに合わせて、立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
4. 下顎骨/歯の根がパノラマエリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

パノラマエリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する



1. パノラマエリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。



2. パノラマエリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。



3. パノラマエリアの**厚さ**を選択は、**厚さ**のスライダー位置を移動させて行います。パノラマエリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。

4. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

▶ SICAT Implantでは、ボリウムの配置とパノラマエリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、**パノラマビュー**は、その調整後のデータにより表示されます。



説明のある手順に加えて、**ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整する**ウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューを有効にし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 150]を参照してください。
- ビューでズームすることができます。SICAT Implantは、**冠状ビュー**、および**矢状方向ビュー**の間でズームを同期します。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックして、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存します。
- ボリウムの向きとパノラマエリアを最後に保存したプリセットにリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。
- ビューアモードでデータを開いていた場合、データを閉じた後はカスタマイズが有効になりません。

32 距離/角度測定

SICAT Implantには2種類の測定タイプがあります：



- 距離測定



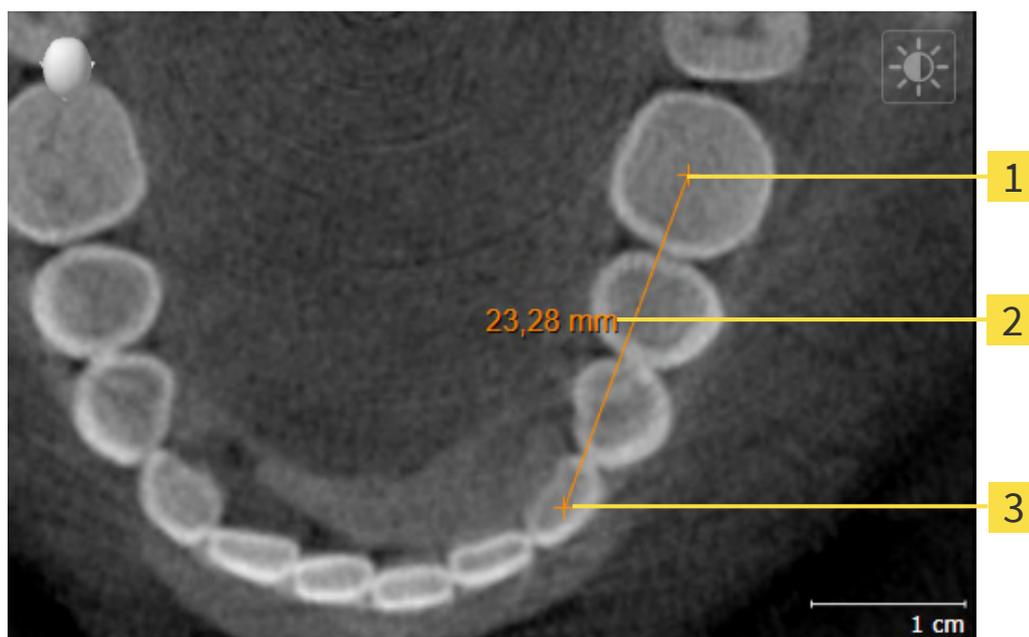
- 角度測定

測定を追加するツールは、ワークフローのツールバーの**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Implantはその測定を**測定**のグループオブジェクトブラウザにも追加します。

測定に使用できる操作：

- [距離測定を追加する \[▶ ページ 203\]](#)
- [角度測定を追加する \[▶ ページ 204\]](#)
- [測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する \[▶ ページ 206\]](#)
- 測定のアクティベーション、非表示および表示に関する情報は**オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 131]**をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 133]**の節をご覧ください。

32.1 距離測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

- ☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。

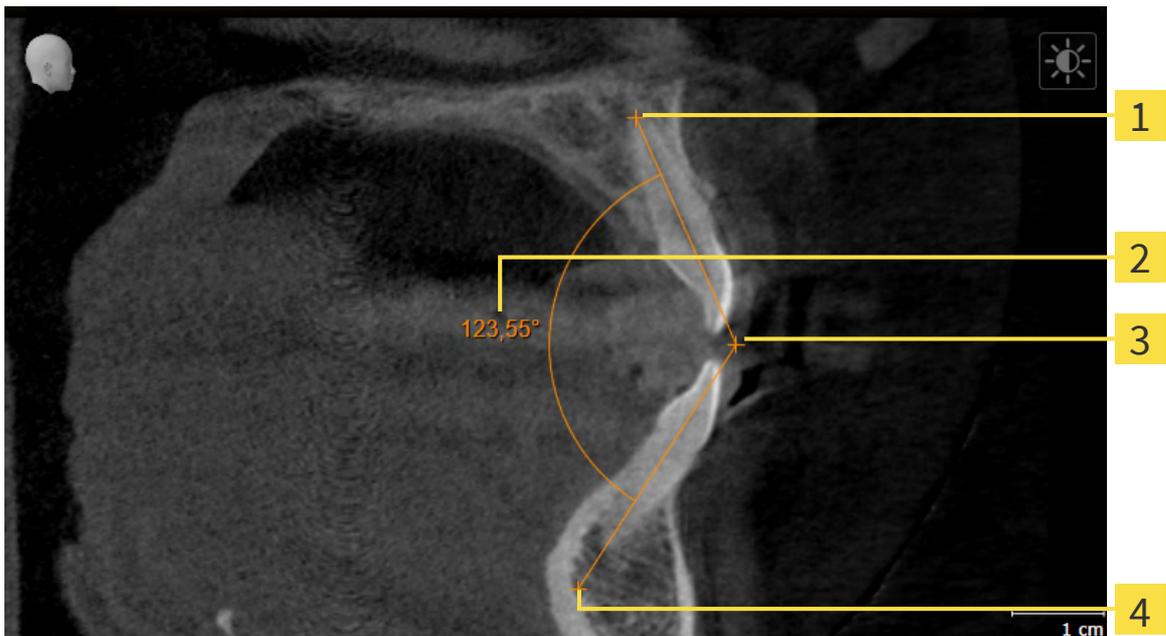


1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implant 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 距離測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Implant は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Implant は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
 - ▶ SICAT Implant 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implant は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

32.2 角度測定を追加する



- 1** 始点
- 2** 測定値
- 3** 頂点
- 4** 終点

角度測定を追加するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ワークフロー ステップの**診断する**は、すでに開いています。



1. ワークフローステップ**診断する**で**角度測定を追加する(A)**アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantは新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Implantは小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Implantは、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantは小さい十字で頂点を表します。
 - ▶ SICAT Implantは、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。

- ▶ SICAT Implantは角度測定の本の間の間およびオブジェクトブラウザに現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを本目の本の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Implantは小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

32.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

☑ SICAT Implant はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 131] と オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 133] を参照してください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Implant は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Implant はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 131] と オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 133] を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Implant は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Implant はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 131] と オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 133] を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
 - ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Implant は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Implant は現在の測定値の位置を保持します。



1回の測定値を移動すると、SICAT Implantはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

33 光学印象

同じ患者について、SICAT Implantは3D X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を重ね合わせる（記録することが）できます。光学印象に加えて、既存のデジタル義歯の提案もまた重ね合わせて表示されます。

表示の重ね合わせは、計画および実施のための追加情報を提供します。デジタル義歯の提案は義歯ベースのインプラント計画を可能にし、3D X線データによる患者の解剖学的構造に加えて、計画された義歯修復を考慮することも可能にします。重ね合わされた表示では、歯茎のプロセスもよりよく認識できます。

重ね合わせでは、光学印象に基づいたドリルガイドを使用することもできます。詳細は次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ ページ 53](#)を参照してください。

たとえば2つの異なる光学撮影画像を比較するために、計画ごとに光学印象と修復を含む複数のCAD/CAMデータセットをインポートできます。インポートされたCAD/CAMデータセット用に、オブジェクトブラウザにあるCAD/CAMの例が作成されます。これに関するその他の情報はSICAT Implantオブジェクト [▶ ページ 135](#)を参照してください。

光学印象を使用するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. 以下のインポートルートによる光学印象のインポート。
 - Hubから光学印象をダウンロードする [▶ ページ 211](#)
 - ファイルから光学印象をインポートする [▶ ページ 215](#)
 - SICATアプリケーションからの光学印象を再利用する [▶ ページ 218](#)
2. 3D X線データによる光学印象の記録（重ね合わせ）。 [光学印象の記録と確認 ▶ ページ 220](#)



SICATアプリケーションからの光学印象を再利用する場合、記録は必要ありません。

SICAT Implant 光学印象および修復用に次のデータ形式に対応しています。

- SIXD上顎、下顎または両方の光学印象を含むデータセット。オプションで、光学印象は、目標のインプラント位置と同様に一つ以上の修復を含む可能性があります。CERECソフトウェアのバージョン5.1以降を使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- STL上顎、または下顎の光学印象を含むデータセット*。修復はサポートされていません。STLフォーマットをサポートする他のCAD/CAMシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- SSI上顎、下顎または両方の光学印象を含むデータセット。オプションで、光学印象は、一本または隣接する複数の歯の修復を含む可能性があります。CERECソフトウェアのバージョン5.1以降、またはinLabソフトウェアを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。

*STLデータセットには、有効になっているSICAT Suite STLインポートライセンスが必要です。さらに、インポートするための追加の手順に従う必要があります。これに関する情報はSTLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ ページ 217](#)を参照してください。

次のアクションは光学印象および修復に使用することができます。

- 光学印象および修復を有効化、非表示、および表示する。オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 131]
- 光学印象や修復に焦点を合わせて削除する。オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 133]
- カラーの光学印象の表示を設定する。光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [▶ ページ 161]

33.1 光学印象をインポートする



注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



注意

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



注意

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。

33.1.1 HUBから光学印象をダウンロードする

光学印象と既存する場合は修復をHubからSIXDフォーマットでダウンロードし、SICAT Implantにインポートできます。

- ☑ Hubへの接続が確立されました。これに関する情報はHubの使用を有効または無効にする [▶ ページ 297]を参照してください。
- ☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報はライセンス [▶ ページ 67]を参照してください。
- ☑ ワークフロー ステップの準備するは、展開させておきます。

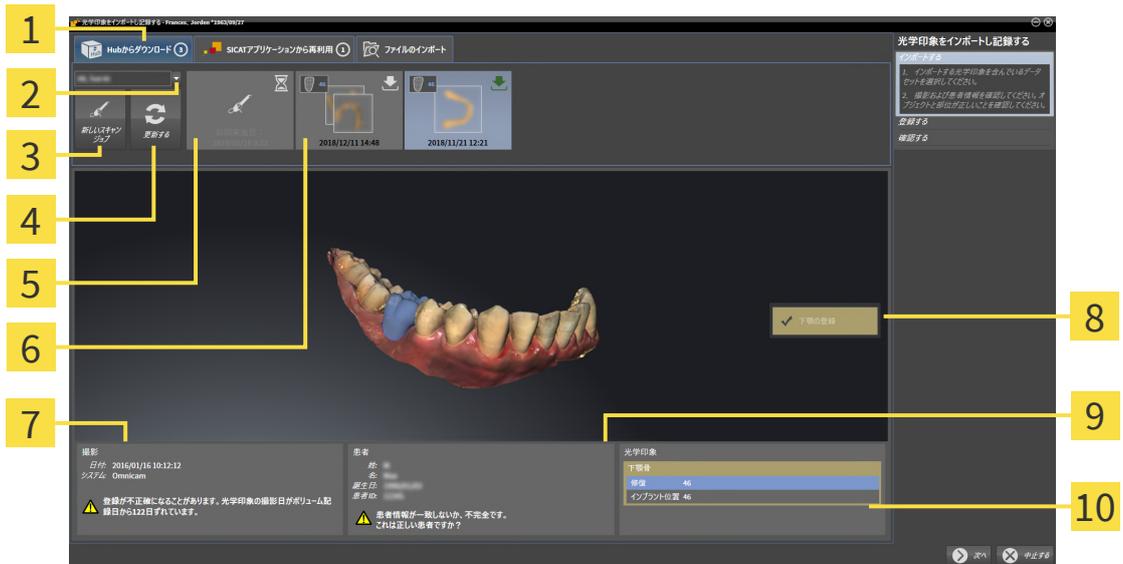


1. 光学印象をインポートし記録するのアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantは、光学印象をインポートし記録するアシスタント機能をインポートするステップで開きます。



2. Hubからダウンロードするのタブをクリックします。
3. 患者1名を選択してください。

▶ SICAT Implant保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。



1 Hubからダウンロードするタブ

2 患者選択のボタン

3 新しいスキャンジョブのボタン

4 更新するのボタン

5 は保留中
は、まだダウンロードされていません

6 一本の歯のデータを含む一回の修復、もしくは複数の歯のデータを含む数回の修復
まだダウンロードされていません
ダウンロード済みです

7 撮影図情報

8 記録の選択

9 患者情報

10 光学印象エリア

ステータス付きの使用できる光学印象。

4. 希望する光学印象をクリックしてください。

▶ SICAT Implant は、印象がまだダウンロードされていない場合は、光学印象をダウンロードします。印象がダウンロードされると、SICAT Implantは印象を3Dビューで表示します。

5. 記録の選択を確認してください。

6. 撮影画像情報と患者情報が一致するか確認してください。

7. 顎とその修復、および目標とするインプラントの位置を光学印象エリアで確認します。

8. 次へをクリックします。

- ▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Implantが異なる患者情報ウィンドウを開きます。



- 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせて調整されていることを確認したらはいボタンをクリックしてください。
 - ▶ **登録するステップ**が最初の光学印象用にかきます。光学印象の記録と確認 [▶ ページ 220] セクションの手順に従ってください。



たとえば、現時点で2番目の顎を他のアプリケーションに記録することが分かっている場合、インポートのために2つの顎で光学印象を選ぶ際に、2番目の顎を記録用に選択できます。上顎または下顎のチェックボックスをオンまたはオフにすることで、記録する顎の選択を変更できます。



これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録するアシスタント機能**が患者データを常時表示し、**匿名にする設定**を無視します。



- 希望する光学印象が表示されない場合は、**更新する**のボタンをクリックして概要を更新できます。あるいは、Hubに光学印象を記録するジョブを送ることができます。これに関する情報は**光学印象のスキャンジョブを作成する** [▶ ページ 214]を参照してください。
- デフォルトでは、Hubへの接続は切断されています。接続の設定に関する情報は、**Hubの使用を有効または無効にする** [▶ ページ 297]を参照してください。
- Hubを使用するための適切なライセンスを有効にしていれば、Hubを使用できます。これに関する情報は**ライセンス** [▶ ページ 67]を参照してください。

33.1.1.1 光学印象のスキャンジョブを作成する

Hubに光学印象をスキャンするジョブを送ることができます。

- ☑ Hubへの接続が確立されました。これに関する情報はHubの使用を有効または無効にする [▶ ページ 297]を参照してください。
- ☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報はライセンス [▶ ページ 67]を参照してください。
- ☑ ワークフロー ステップの準備するは、すでに開いています。



1. 光学印象をインポートし記録するのアイコンをクリックします。

▶ 光学印象をインポートし記録するアシスタント機能はインポートするステップで開きません。



2. Hubからダウンロードするのタブをクリックします。

3. 患者1名を選択してください。

▶ SICAT Implant保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。



4. 新しいスキャンジョブのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implantは、新しいスキャンジョブウィンドウを表示します。スキャンジョブの情報を指定できます。

5. 医師を選択します。

6. 下顎と上顎の歯の位置をそれぞれクリックして義歯の位置を決定します。

7. 必要に応じて、例えば、スキャンの指示といった追加情報を入力してください。

8. スキャンジョブをHubに送信するには、スキャンジョブの作成をクリックし、照会をOKで確定します。

▶ SICAT ImplantはスキャンジョブをHubに送信し、保留中のスキャンジョブをHubからダウンロードするタブに☒アイコンで表示します。

▶ CERECでスキャンジョブを編集し、CERECで光学印象を記録できます。

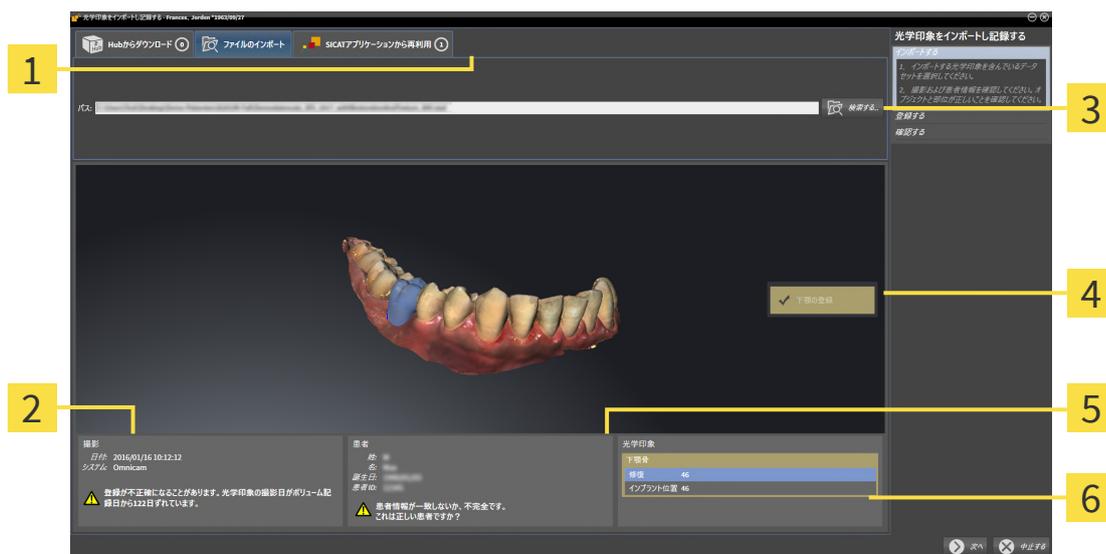
33.1.2 ファイルから光学印象をインポートする

計画ごとに光学印象付きの1つ以上のファイルをインポートできます。

- ☑ ワークフロー ステップの準備するは、展開させておきます。



1. 光学印象をインポートし記録するのアイコンをクリックします。
 - ▶ 光学印象をインポートし記録するアシスタント機能はインポートするステップで開きます。
2. ファイルのインポートのタブをクリックします。



- | | |
|----------------|-----------|
| 1 ファイルのインポートタブ | 4 記録の選択 |
| 2 撮影図情報 | 5 患者情報 |
| 3 検索するのボタン | 6 光学印象エリア |

3. 検索するのボタンをクリックします。
4. ファイルを光学印象で開くウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、開くをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantは、選択したファイルを開きます。
5. STLファイルで顎の割り当てと向きを指定します。上顎または下顎の光学印象付きのSTLファイルを選択すると、顎の割り当てと向きを調整できることにより、SICAT Implantがウィンドウを1つ開きます。STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ ページ 217]の手順に従ってください。

欠如していた上顎または下顎の別のSTLファイルを選択し、顎の割り当てと方向を調整することができます。続いて、次のステップに進んでください。
6. 記録の選択を確認してください。
7. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。

8. 顎とその修復、および目標とするインプラントの位置を**光学印象エリア**で確認します。
9. **次へ**をクリックします。
 - ▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Implantが**異なる患者情報**ウィンドウを開きます。



10. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせて調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ **登録する**ステップが最初の光学印象用にかきます。[光学印象の記録と確認](#) [▶ ページ 220] セクションの手順に従ってください。



たとえば、現時点で2番目の顎を他のアプリケーションに記録することが分かっている場合、インポートのために2つの顎で光学印象を選ぶ際に、2番目の顎を記録用に選択できます。上顎または下顎のチェックボックスをオンまたはオフにすることで、記録する顎の選択を変更できます。



これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

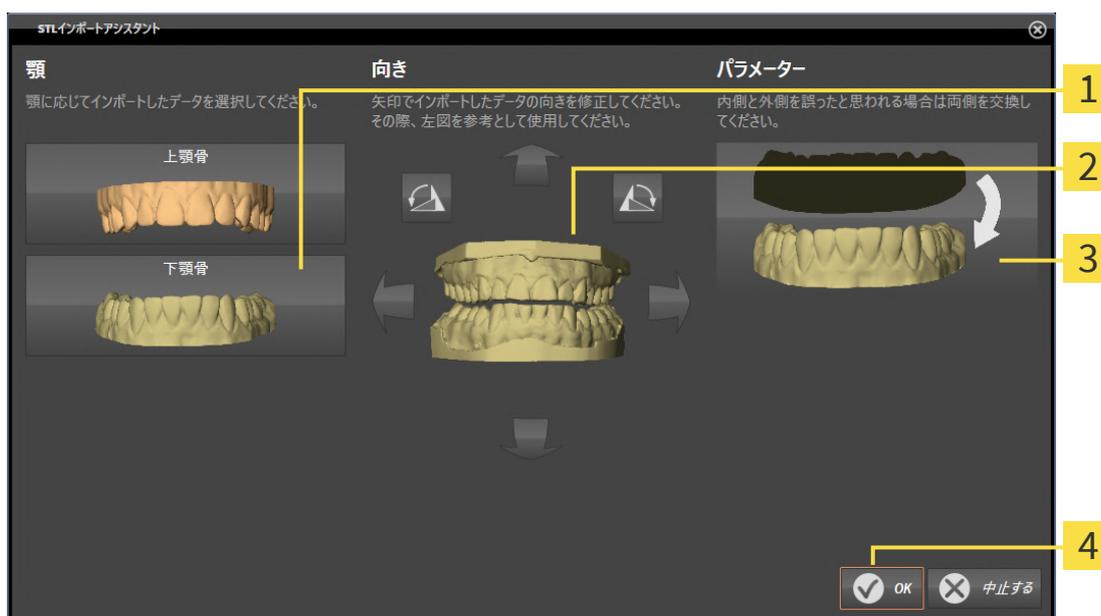
33.1.2.1 STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順

STLファイルに光学印象の位置と向きに関する情報は含まれていません。そのため、位置と向きを必要に応じて調整する必要があります。

☑ **SICAT Suite STL Import**ライセンスは既に有効化済みです。

1. STL形式のファイルから光学印象を開きます。これに関する情報は **ファイルから光学印象をインポートする** [▶ ページ 215]を参照してください。

▶ ウィンドウ**STL Import-Assistent**が開きます。



1 顎の選択

3 内側と外側の交換

2 向きの変更

2. 顎エリアで光学印象が**上顎骨**か**下顎骨**のいずれを含んでいるか、対応するアイコンをクリックして選択してください。



3. 大まかな事前配置のために、**方向**エリアで矢印アイコンまたは回転アイコンをクリックすることで、必要に応じて光学印象の向きを変更してください。

4. **パラメーター**エリアで光学印象表示をクリックすることで、光学印象の内側と外側を必要に応じて交換してください。

5. **OK**のボタンをクリックします。

6. 必要に応じて二つ目のSTLファイルに同様の手順を行ってください。SICAT Implantは、2つ目のSTFファイルをそれぞれ異なる顎に割り当てます。

▶ SICAT Implantは、インポートした光学印象を**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能に表示します。

7. 光学印象のインポートに進みます。これに関する情報は **ファイルから光学印象をインポートする** [▶ ページ 215]を参照してください。

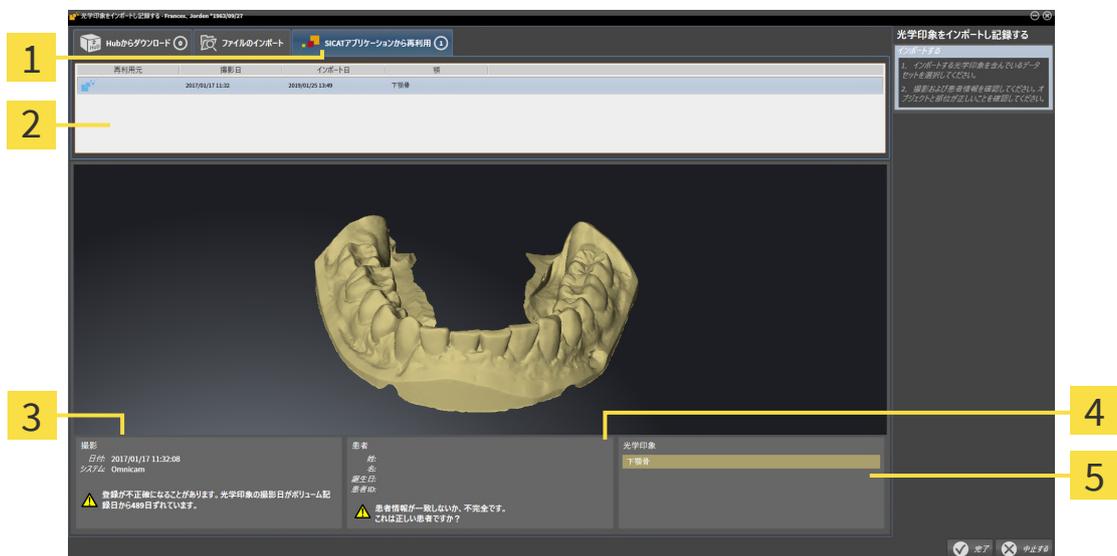
33.1.3 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する

SICATアプリケーションから光学印象を再利用することができます。

- ☑ 開いているスタディのために、SICAT Implantでまだ使用していない、適合する複数の光学印象をSICATアプリケーションにすでにインポートしました。
- ☑ ワークフローステップの**準備するは**、展開させておきます。



1. 光学印象をインポートし記録するのアイコンをクリックします。
 - ▶ 光学印象をインポートし記録するアシスタント機能はインポートするステップで開きます。
2. SICATアプリケーションから再利用のタブをクリックします。
3. 上のエリアにある再利用したい複数の光学印象のラインをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantに選択した複数の光学印象が表示されます。



- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1 SICATアプリケーションから再利用タブ | 4 患者情報 |
| 2 再利用可能な光学印象の一覧 | 5 光学印象エリア |
| 3 撮影画像情報 | |

4. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。
5. 顎とその修復、および目標とするインプラントの位置を**光学印象**エリアで確認します。
6. **完了**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantは**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を閉じます。
 - ▶ SICAT Implantは選択した光学印象と既存の修復を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
 - ▶ SICAT Implantは選択した光学印象と既存の修復を表示します。



これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録するアシスタント機能**が患者データを常時表示し、**匿名にする設定**を無視します。

33.2 光学印象の記録と確認



間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。



過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず正確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。



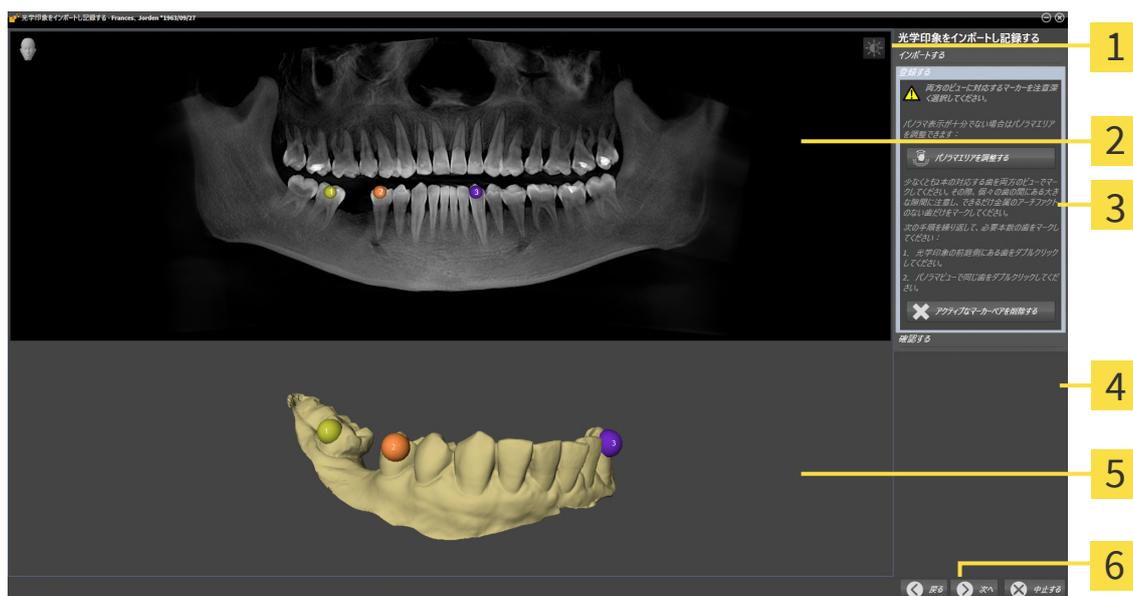
光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。



カラー光学印象は**インポートする**ステップで、3Dプレビューに自動的にカラーで表示されます。**登録する**ステップ、および**確認する**ステップでは、カラーの光学印象はモノクロで表示され、形状とジオメトリをより正確に確認できます。

光学印象を記録および確認するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 光学印象をインポートし記録するアシスタント機能は登録するステップで開いています。



- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 輝度およびコントラストの調整アイコン | 4 アクティブなマーカペアを削除するのボタン |
| 2 パノラマビュー | 5 3Dビューは、最初の光学印象を表示します |
| 3 パノラマエリアを調整するのボタン | 6 次へのボタン |

1. パノラマビューと3Dビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間にある大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が**2本**以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。光学印象が顎弓の3/4以上を覆っている場合は、一致する歯を少なくとも**3本**マークします。
 - ▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、光学印象の割り当てられた歯を示しています。
2. 次へをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantは、X線データによる光学印象の記録を計算します。

▶ **確認する**のステップが開きます。



- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 パノラマビュー | 4 横断ビュー |
| 2 検査ウィンドウ | 5 軸方向ビュー |
| 3 縦ビュー | 6 完了のボタン |

3. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dビューを確認してください。レイヤーを各レイヤービューでスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。
4. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る**のボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで**登録する**の手順を繰り返します。
5. 光学印象がX線データに正確に配置されていて、記録用に2つの光学印象を選択した場合は、**次へ**のボタンをクリックしてください。2回目の光学印象について前の手順を繰り返します。
6. 2回目の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**完了**のボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Implantは**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を閉じます。
- ▶ SICAT Implantは選択した光学印象と既存の修復を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
- ▶ SICAT Implantに記録されている光学印象と既存の修復が表示されます。

記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録するアシスタント機能**で使用できます。



- **輝度およびコントラストの調整**アイコンをクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 150]を参照してください。
- パノラマエリアは、**パノラマエリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 198]を参照してください。
- **登録する**で特定のマーカーペアを削除する場合、両方のビューでペアのマーカーをマウスクリックで選択し、**アクティブなマーカーペアを削除する**のボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する**をクリックします。

34 下顎神経のマーキングと調整

SICAT Implant はインプラント計画時に下顎神経からじゅうぶん安全距離を維持できるようにサポートしてくれます。

インプラントを下顎の側面歯領域に計画し、対応する下顎神経または両側の下顎神経を3Dレントゲンデータにマークしてください。マーキングは点列（神経点列）入力により、SICAT Implant により自動的に一つのチューブを設定します。

マーキング後に下顎神経をインプラント計画の際全ビューではっきり認識できます。インプラントが下顎神経との安全距離内に入ると警告が出ます。これに関する詳細は[距離警告](#) [▶ ページ 243]を参照してください。

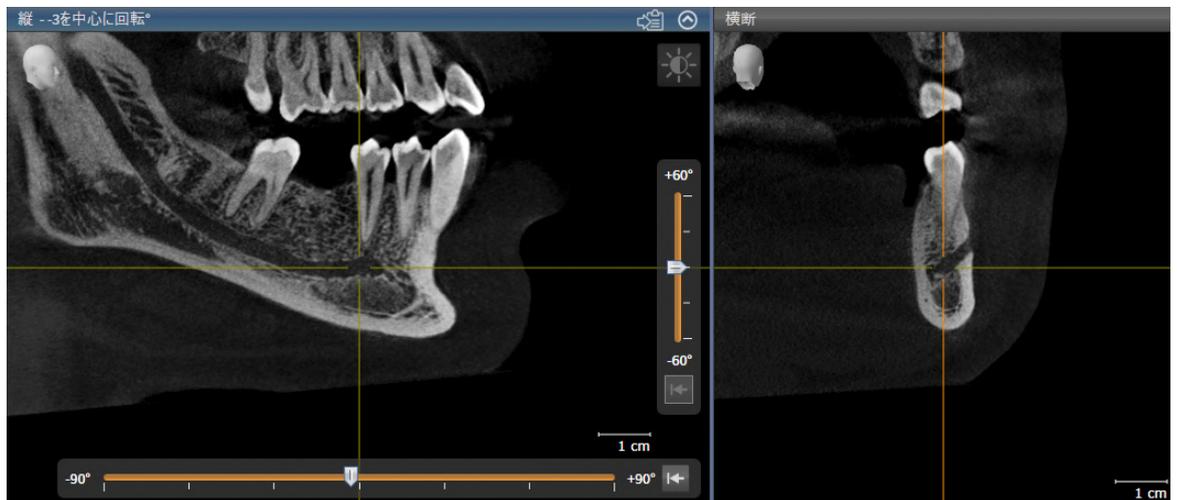
以下の機能は下顎神経のマーキングと調整のために利用できます。

- [下顎神経のマーキング](#) [▶ ページ 225]
- [神経の有効化、非表示および表示](#) - これに関する情報は[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 131]をご覧ください。
- [神経に焦点を当てる、神経を削除する、神経操作を元に戻して再度実行する](#) - この手順に関する情報は[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 133]をご覧ください。
- [神経点の移動、追加、削除](#) [▶ ページ 227]
- [神経直径の変更](#) [▶ ページ 228]

34.1 下顎神経のマーキング

ビューを上下左右に調整する

ビュー**縦**と**横断**は下顎神経が完全に見えるように調整します。



このためには以下の手順に従ってください。

パノラマワークスペースは開いています。

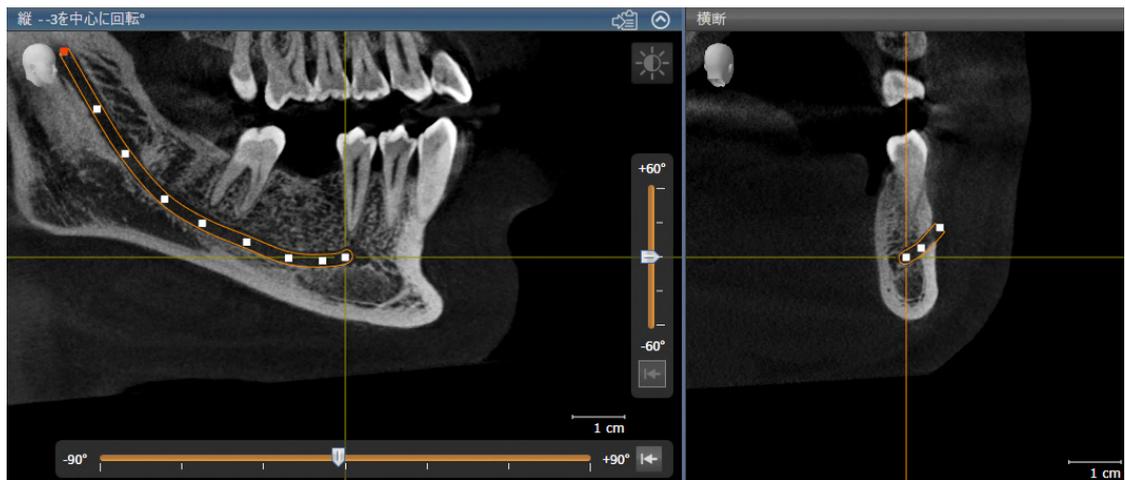
1. 検査ウィンドウはオトガイ孔がビュー**横断**に見えるように移動します。
 - ▶ 次にビュー**横断**で神経経路が神経出口まで見えるはずです。
2. 十字線を**横断**ビューで見えている神経経路の最も深い位置に移動します。こうしてステップ4で使う良好な回転点を設定できます。
3. **縦**ビューを有効にします、このためには例えば**縦**ビューをクリックします。
4. **縦**ビューを回転し、下顎神経の上向き幹が**縦**ビューに見えるようにします。これに関する詳細は**ビューの回転** [▶ ページ 158]を参照してください。

下顎神経のマーキング

ワークフローステップ**準備する**は、展開させておきます。



1. ワークフローステップ準備するで下顎神経のマーキングアイコンをクリックします。



2. ビュー **横断**で神経出口をクリックし最初の神経点を追加します。
3. さらにビュー **横断**をクリックして第2の神経点が見える神経経路の midpoint に追加し、第3の神経点が見える神経経路の最も深い位置に置きます。
4. **縦**の表示に切り替え、再度クリックしてその他の神経点を神経の近心と遠心方向に沿って追加します。
5. 最後の神経点をシングルクリックせずにダブルクリックして追加できます。

▶ 下顎骨神経は全表示でも**オブジェクト**でも表示されます。



神経の位置を特定するために神経のマーキング中でもレイヤー間をスクロールできます。これに関する詳細はレイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ ページ 153] を参照してください。

神経のマーキング中に右クリックするとそれぞれ最後に追加した神経点を削除できます。

下顎神経のマーキングをESCキーまたは **下顎神経のマーキングボタン** を再度クリックして中断できます。

34.2 神経点の移動、追加、削除

神経点の移動

神経点の移動は、以下の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. 2Dレイヤービューで所望の神経点をクリックし、マウス左ボタンを押したままにします。マウスを動かして神経点を移動します。
3. 所望の位置でマウスボタンを放します。

▶ SICAT Implant が神経点を移動します。

神経点の追加

神経点を後から追加するには次の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. **中間点の追加**：2Dレイヤービューで既存の神経点2つの間で所望の神経位置をダブルクリックします。
3. **エンドポイントの追加**：2Dレイヤービューでこれまでの端点近辺にある所望の神経位置をダブルクリックします。

▶ SICAT Implant が神経点を所望の位置に追加します。

神経点の削除

神経点の削除は以下の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
2. 2Dレイヤービューで神経点をクリックして削除する神経点を有効化します。
3. プロパティエリアで**点削除**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Implantは神経点を削除します。

34.3 神経直径の変更

神経直径の変更は以下の手順で行います。

1. **オブジェクト**または任意のビュー神経をクリックして神経を有効化します。
 2. **プロパティ**エリアで所望の神経直径を選択します
- ▶ SICAT Implantが神経の直径を変えます。

35 インプラントの計画



注意

処置の基本とする計画は常法とします。こうしておかないと処置ミスにつながるおそれがあります。

計画は処置の基本となる常法であるように作成してあることが必要です。



注意

SICAT Implant Databaseから出力されるインプラント、アバットメント、スリーブはメーカーの詳細に従って表示されます。メーカーの詳細と実寸が異なると処置ミスにつながるおそれがあります。

表示される寸法がインプラント、アバットメント、スリーブの実寸と一致することを綿密に確認してください。



注意

インプラントは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式的に表示されます。これらの場合には模式的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さ
と直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。

メーカーの公称寸法がインプラントの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

SICAT Implantデータベースには異なるメーカーのインプラントモデルを含んでいます。インプラントモデルは各メーカーごとのインプラントシリーズに組織化されています。

同じインプラントシリーズをお気に入りに設定して治療に使用できます。インプラントの計画時に、お気に入りに設定したインプラントシリーズを標的に絞って提案できます。詳細は優先インプラントシリーズの指定 [▶ ページ 302]を参照してください。

希望のインプラントモデルがまだSICAT Implantデータベースになければ、インプラント計画とインプラント寸法をインプラントメーカーの規定値に従って入力できます。

SICAT Implant はインプラントの回りに安全領域を表示し、インプラントがマークされた下顎神経に近すぎたり相互に近すぎて計画されていれば警告を出します。これに関する詳細は安全範囲の非表示/表示 [▶ ページ 241]および距離警告 [▶ ページ 243]を参照してください。

SICAT Implant はインプラントの咬合延長部に孔を1つ表示します。詳細は孔の非表示/表示 [▶ ページ 242]を参照してください。

SICAT Implantは2分割インプラントと一体インプラントに対応します。2分割インプラント用のアバットメントをインプラントごと計画したり、後から追加できます。アバットメントの計画についての詳細はアバットメントの計画 [▶ ページ 244]をご参照ください。

ドリルテンプレートをインプラント計画のために使用する場合スリーブを計画する必要があります。スリーブはインプラントごと計画したり、後から追加できます。スリーブ計画についての詳細はスリーブの計画 [▶ ページ 251]をご参照ください。

以下の機能をインプラント計画のためにご利用になれます。

- [インプラントの追加](#) [▶ ページ 231]
- [インプラントの有効化、非表示および表示](#) - これに関する情報は[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 131]をご覧ください。
- [インプラントに焦点を当てる、インプラントを削除する、インプラント操作を元に戻して再度実行する](#) - 詳しくは[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 133]をご覧ください。
- [インプラントの移動とアライン](#) [▶ ページ 234]
- [インプラントを軸の回りに回転する](#) [▶ ページ 236]
- [インプラント寸法とインプラントモデルの変更](#) [▶ ページ 237]
- [インプラント固有のアライン](#) [▶ ページ 239]
- [名称（歯の位置）の変更](#) [▶ ページ 240]
- [安全範囲の非表示/表示](#) [▶ ページ 241]
- [孔の非表示/表示](#) [▶ ページ 242]
- [距離警告](#) [▶ ページ 243]

35.1 インプラントの追加



CAD/CAMデータセットに基づく修復に基づくインプラントの自動位置決め及び向き調整は最初のおおまかな位置決め準備と向きを決めるリハーサルにすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。

自動位置決めされたアライン済インプラントを常に点検してください。必要なら、位置と向きを調整します。



複数のインプラントの自動位置決めは最初のおおまかな位置決め準備にすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。

自動位置決めされたインプラントを常に点検してください。必要なら、位置を調整します。

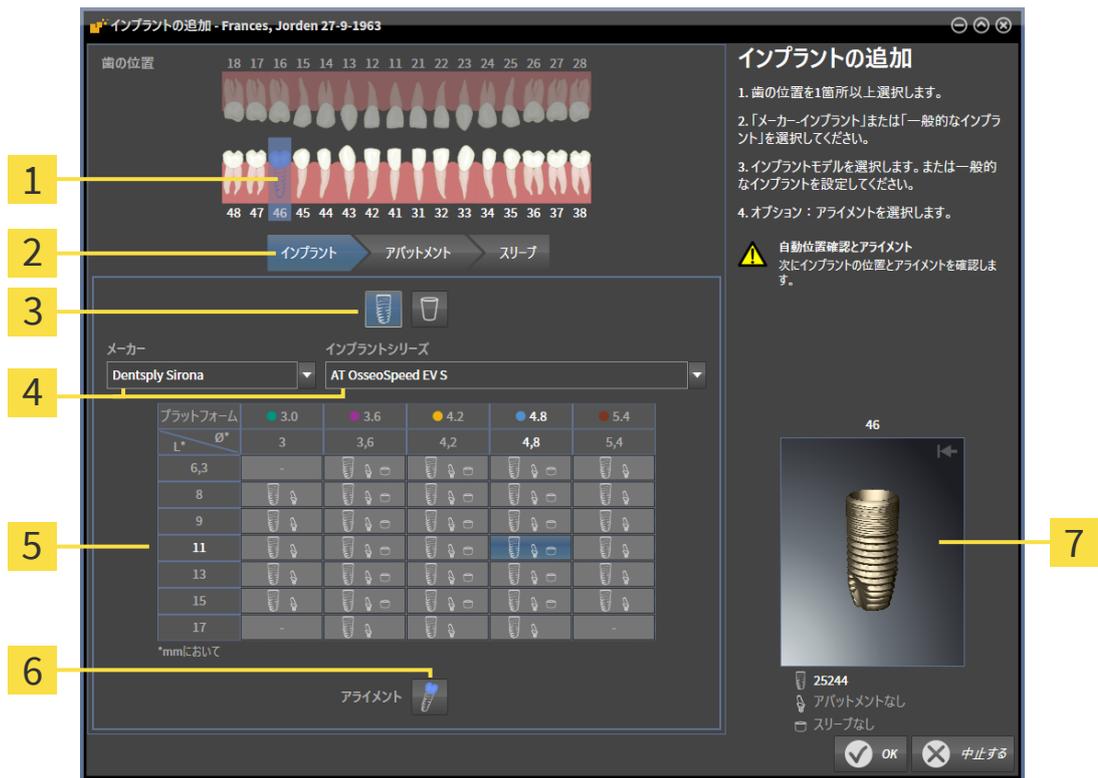
新規インプラントまたは複数の新規インプラントを同じ側の顎で開いた計画に追加するのは次の手順で行います。

- ☑ 所望のドリルテンプレートに応じてインプラントの全位置をカバーする顎の光学印象(場合によっては修復あり)をインポートし登録しました。これに関する情報は次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ ページ 53]と光学印象 [▶ ページ 208]を参照してください。
- ☑ インプラント1つまたは複数のインプラントを下顎横の歯列に計画する場合、対応する下顎神経をマークしました。詳細については下顎神経のマーキング [▶ ページ 225]を参照してください。
- ☑ ワークフロー ステップ計画するは、展開させておきます。



1. ワークフローステップ計画するでインプラントの追加アイコンをクリックします。

▶ インプラント選択ウィンドウが表示されます。



- 1 選択された歯の位置
- 2 インプラント、アバットメント、スリーブ間の切替え用ボタン
- 3 メーカー-インプラントと一般的なインプラント間の切替え用ボタン
- 4 メーカー及びインプラントシリーズの選択用ボタン
- 5 インプラントモデルの選択用表
- 6 アライメントの選択用アイコン
- 7 商品番号付き3Dプレビュー

2. 新規インプラントの歯の位置（複数可能）を選択します。光学印象を修復及び/または予定しているインプラント位置ごとインポートして表示させた場合、歯の位置はすでに自動選択されています。（事前）選択された歯の位置は選択された歯の位置を（再度）クリックすると選択解除できます。

注記：

以下のボタンは少なくとも一つの歯の位置を選択していれば表示されます。

- 3. 所望のメーカーと所望のインプラントシリーズを選択してください。前回使用したメーカーとインプラントシリーズはそれぞれのコンボボックスのいちばん上にあります。
- 4. 表の対応するセルをクリックして所望のインプラントモデルを選択してください。表には選択されたインプラントシリーズの利用可能なインプラントモデルが含まれています。行は異なるインプラントの長さに対応し、列は異なるインプラントの直径(mm)に対応します。2つの直径が出ていれば最初の直径が咬合直径です。小さいアバットメントアイコンとスリーブアイコンが出ていれば、メーカーの適切なアバットメント及びメーカーの一貫ガイド外科システムスリーブを計画できます。

- ▶ 選択されたインプラントモデルは3Dプレビューにある表に対応する商品番号とともに表示されます。マウスボタンを押したままインプラントを3Dプレビューで回転できます。マウスホイールでは3Dプレビューの中でズームできます。
5. **事前アラインの選択**：所望の事前アラインはマウスポインターをアイコン **アライメント** の上にホバーさせ、次のアイコンのどれかをクリックして選択します。
-  - 垂直
 -  - SIXDフォーマットで修復の場合は修復軸に従い、それ以外は垂直。このオプションを選択できるのは少なくとも一つ選択された歯の位置で修復がSIXDフォーマットであり、表示されているときに限られます。
 -  - 計画済み顎のインプラントと平行。このオプションを選択できるのはインプラントを顎に計画済みの場合に限られます。
6. **OK**をクリックしてウィンドウを閉じます。インプラントのおおまかな位置決めはインプラントまたは複数のインプラントを追加するかということと修復と予定のインプラント位置が存在して表示されているかということに依存します。
- ▶ インプラントを修復にも予定インプラント位置にも対応しない一つの歯の位置で追加する場合、インプラントをマウスクリックで2Dビューにある所望の位置におおまかな位置決めします。
 - ▶ インプラントを表示されている修復または予定インプラント位置に対応する歯の位置に追加する際、SICAT Implant はインプラントを自動的におおまかな位置決めします。
 - ▶ 複数のインプラントを追加すると、SICAT Implantがインプラントを先に自動位置決めし、このとき垂直位置が通常は軸レイヤーの現位置に適用されます。
- ▶ 新規インプラント（複数も可）は全ビューでも **オブジェクト**にも表示されます。



優先インプラントシリーズの指定

治療に使用したいメーカーとインプラントシリーズからのみ選択するように設定できます。詳細は**優先インプラントシリーズの指定** [▶ ページ 302]を参照してください。



ジェネリックインプラントの使用

希望のインプラントモデルがSICAT Implantデータベースにまだなければ、ジェネリックインプラントを使用することもできます。このためには**一般的なインプラントボタン**をクリックし、インプラント寸法をインプラントメーカーの規定値に従って入力してください。



アバットメント及び/またはスリーブの同時計画

インプラント（複数あり）と同時にアバットメント及び/またはスリーブも計画する場合、**OK**でウィンドウを閉じる前にボタン**アバットメント**または**スリーブ**をクリックします。これに関する詳細は**アバットメントの追加** [▶ ページ 245]および**スリーブの追加** [▶ ページ 253]を参照してください。



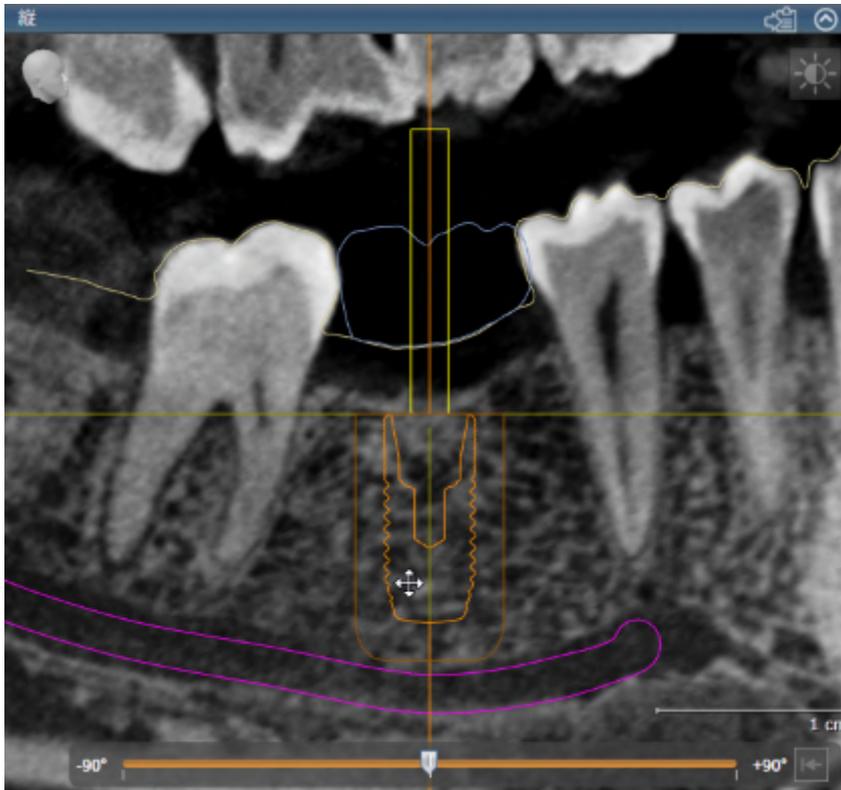
FDI-/ADA歯型図

この取扱説明書ではどの画像でもFDI歯型図を使用しています。SICAT ImplantはADA歯型図にも対応します。歯型図の切替えに関する情報は、**一般設定の使用** [▶ ページ 292]を参照してください。

35.2 インプラントの移動とアライン

インプラントは精緻に移動とアラインできます。

インプラントの移動



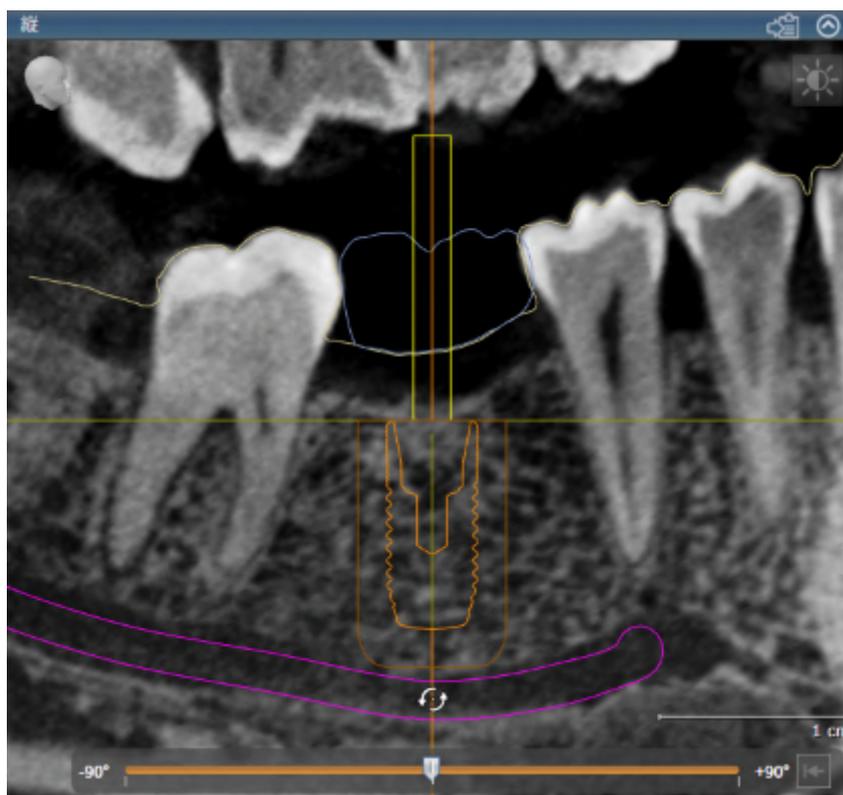
1. 2Dビューの一つでインプラントにマウスポインターを重ねます。
▶ マウスポインタの形がに変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインターをご希望のインプラントの位置に動かします。
▶ SICAT Implantがインプラントをマウスポインターの動きに沿って移動します。
4. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Implantは現在のインプラントの位置を保持します。



ワークスペース インプラントアライン済

インプラントはワークスペースアライン済みインプラントのビュー縦と横断で容易かつ安全に移動して向きを調整できます。ワークスペースアライン済みインプラントに関する情報は、インプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ ページ 140]の節をご覧ください。

インプラントの配置



1. マウスポインターを2Dレイヤービューで軸方向ビューを例外として、インプラント軸の頂点部分へ動かし、インプラントを咬合端点の回りで回転したり、インプラント軸の咬合部分へ動かすとインプラントを咬合端点の回りで回転できます。
▶ マウスポインタの形がに変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインターで円を描きながらインプラントの所望の方向が決まるまで移動します。
▶ SICAT Implantがインプラントをマウスポインターの動きに沿って方向を決めます。
4. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Implantは現在のインプラントの向きを保持します。

**ワークスペース インプラントアライン済**

インプランはワークスペースアライメント済みインプラントのビュー縦と横断で容易かつ安全に移動して向きを調整できます。ワークスペースアライメント済みインプラントに関する情報は、インプラントアライン済みワークスペースの概要 [▶ ページ 140]の節をご覧ください。

35.3 インプラントを軸の回りに回転する

インプラントを自軸の周りに回して例えば角度付きアバットメントを自由に計画することができます。



1. マウスポインターを**軸方向**ビューでインプラントのロータリーグリップの上に置きます。
▶ マウスポインタの形がに変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインターで円を描きながらインプラントの所望の回転位置になるまで移動します。
▶ SICAT Implantがインプラントをマウスポインターの動きに応じて軸の回りに回します。
4. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Implantはその軸の周りのインプラントの現在の回転を保持します。



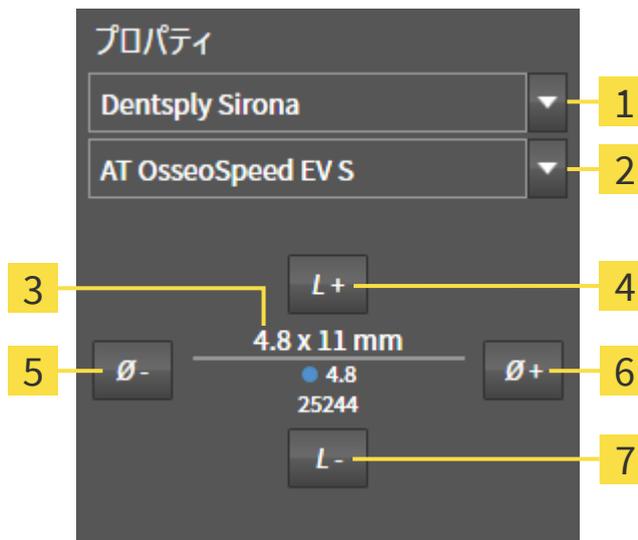
ワークスペースインプラントアライン済

インプラントはワークスペースアライメント済みインプラントの表示**軸方向**で最もシンプルかつ安全にその軸の周りに回せます。インプラントをその軸の周りに回転させる場合はビュー**縦**と**横断**またはビュー**3D**を基準にします。ワークスペースアライメント済みインプラントに関する情報は、**インプラントアライン済みワークスペースの概要** [▶ ページ 140]の節をご覧ください。

35.4 インプラント寸法とインプラントモデルの変更

インプラントの寸法またはモデルを後から変更するには、次の手順で行います。

1. **オブジェクト**でまたは任意の表示でインプラントをクリックして、変更したいインプラントを有効にします。
 - ▶ **プロパティ**エリアでアクティブなインプラントの現在の寸法、現在のモデルが表示されます。



- | | |
|---|--------------------|
| 1 製造元のボタン | 5 より狭いのボタン |
| 2 インプラントシリーズのボタン | 6 より幅広いのボタン |
| 3 現在のインプラントモデル：直径 x 長さ、プラットフォーム、商品番号 | 7 より短いボタン |
| 4 より長いボタン | |

2. **インプラントメーカーとインプラントシリーズの変更**：所望のインプラントメーカーと所望のインプラントシリーズを選択してください。
 - ▶ SICAT Implant はインプラントモデルと場合によってはインプラント寸法も変更します。
3. **インプラント寸法とインプラントモデルの変更**：より幅広いまたはより狭いボタンをクリックし、次に幅広または狭めのモデルを選択されたインプラントシリーズから選択します。より長いまたはより短いボタンをクリックし次に長いまたは次に短いモデルを選択されたインプラントシリーズで選択します。
 - ▶ SICAT Implantがインプラント寸法とインプラントモデルを変更します。



インプラント選択ウィンドウ

インプラントの寸法とモデルをインプラント選択ウィンドウで、**オブジェクト**の下で変更したいインプラントの横のアイコンをクリックして変更します。そこで**メーカー-インプラント**と**一般的なインプラント**の間を切り替えます。詳細はインプラントの追加 [▶ ページ 231](#)を参照してください。

**ジェネリックインプラント**

プロパティエリアでまたはインプラント選択ウィンドウでもジェネリックインプラントの寸法を変更できます。

**アバットメントの自動調整**

インプラントの寸法またはモデルを変更し、対応するアバットメントが変更後に合わなくなる場合、SICAT Implantがアバットメントを自動的に適合します。この際、SICAT Implantは選択したアバットメント系列内部で互換であり、プラットフォームの直径さらに場合によっては排出口直径まで元のアバットメントと一致するアバットメントを選択します。こうしたアバットメントが見つからない場合、SICAT Implantはそのアバットメントを削除します。

**スリーブの自動調整**

インプラントの寸法またはモデルを変更し、その後は対応するスリーブが互換でなくなったりスリーブ位置がもはや許容範囲を超えていれば、SICAT Implantがスリーブ及び/またはスリーブ位置を自動的に調整します。この際、SICAT Implantは選択されたスリーブシステムの中で互換なスリーブ及び/または許容範囲にあるスリーブ位置を自動的に選択します。この種のスリーブを利用できない場合、SICAT Implantがスリーブを削除します。

35.5 インプラント固有のアライン

インプラントを事後的に以下の通り固有アラインできます。

- 垂直
- 修復軸に従ってSIXDフォーマットでの修復
- 同じ顎に計画済みインプラントと平行

このためには以下の手順に従ってください。



1. **オブジェクト**でインプラントの横にあるアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantはインプラント選択ウィンドウを表示します。
2. 所望の固有のアラインを選択します。マウスポインターをアイコン **アライメント** の上に置き、所望の固有アラインメントに対応するアイコンをクリックします。詳細はインプラントの追加 [▶ ページ 231]を参照してください。
 - ▶ SICAT Implant がインプラントの向きを変えます。
3. **OK**をクリックしてウィンドウを閉じます。

35.6 名称（歯の位置）の変更

インプラントの名称（歯の位置）が間違っていれば、名称(歯の位置)を次のようにして変更できます。



1. オブジェクトでインプラントの横にあるアイコンをクリックします。
▶ SICAT Implantはインプラント選択ウィンドウを表示します。
2. 新規歯の位置を選択します。詳細はインプラントの追加 [▶ ページ 231]を参照してください。
▶ SICAT Implant がインプラントの名称（歯の位置）を変更します。
3. **OK**をクリックしてウィンドウを閉じます。

35.7 安全範囲の非表示/表示

SICAT Implant はインプラントの回りに安全領域を表示し、インプラントの計画時に例えば隣接する歯根が隣接するインプラントや歯の縁、下顎神経または洞との一定の最小距離が保たれるかを判断できます。安全範囲に基づいて距離警告も出ます。距離警告について詳しくは[距離警告](#) [▶ ページ 243]を参照してください。

インプラント周囲の安全範囲寸法は設定で調整できます。そこでは新規計画の際に安全範囲を表示させるかの初期設定を行うことができます。これに関する詳細は[安全範囲の設定](#) [▶ ページ 304]を参照してください。

計画中に全インプラントに対して安全範囲を同時に非表示または表示させることができます。

オブジェクトグループインプラントは**オブジェクトブラウザ**に表示されます。これに関する詳細は[SICAT Implantオブジェクト](#) [▶ ページ 135]を参照してください。

安全範囲は現在表示されています。

1. オブジェクトグループ **インプラント**でマウスポインターを**安全範囲表示/非表示アイコン**の上に置きます。

▶ SICAT Implant が安全範囲の非表示/表示用アイコンを表示します。



2. **安全領域を非表示にする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant が安全範囲を非表示します。



3. **安全領域の表示**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant が安全範囲を表示します。



安全範囲表示/非表示アイコンの上にマウスポインターを置いてクリックし、安全範囲の表示/非表示を切り替えられます。再度クリックすると安全範囲の表示か非表示に切り替わります。



安全範囲が非表示されている場合でも、距離警告の際に該当する安全範囲はビューでは表示されています。

35.8 孔の非表示/表示

SICAT Implant はインプラント用のパイロットドリル孔またはインプラント孔を表示できます。これで特に支障なく孔にアクセスできるかを確認できます。パイロットドリル孔はスクリュー孔を表示するのに利用します。

パイロットドリル孔の直径及び両孔の長さを自分で設定できます。インプラント孔の直径は対応するインプラントの最大直径に常に一致します。設定では新規計画でパイロットドリル孔、インプラント孔を表示または孔を表示しないかを指定できます。これに関する詳細は [孔の設定](#) [▶ ページ 305] を参照してください。

計画中にパイロットドリル孔とインプラント孔を全てのインプラントに対して同時に非表示または表示させることができます。

☑ オブジェクトグループインプラントはオブジェクトブラウザに表示されます。これに関する詳細は [SICAT Implant オブジェクト](#) [▶ ページ 135] を参照してください。

☑ パイロットドリル孔は現在表示されています。

1. オブジェクトグループインプラントでマウスポインターを孔表示/非表示アイコンの上に置きます。

▶ SICAT Implant が孔の非表示/表示用アイコンを表示します。



2. 孔を表示しないのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant が孔を非表示します。



3. パイロットドリル孔の表示のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant はパイロットドリル孔を表示します。



4. インプラント孔を表示のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant はインプラントチャンネルを表示します。



アイコン孔表示/非表示の上へマウスポインターをホバーしてクリックし、孔の見え方を切り替えられます。再度クリックすると孔の見え方をアイコンの順序に切り替えられます。

35.9 距離警告



注意

距離警告が表示されるのは、2つのインプラント間または1つのインプラントと1つのマークした下顎神経の間の安全距離より近寄ったときのみです。アバットメントまたはスリーブなど別のオブジェクト間の最小距離より近寄っていると治療ミスの原因となるおそれがあります。

オブジェクト間の距離を常に確認してください。



注意

距離警告は必ずしも不正な計画について示すとは限りません。計画が不正だと治療ミスの原因となるおそれがあります。

オブジェクト間の距離を常に確認してください。

SICAT Implantが以下の対象間の安全距離を検証します。

- マークした下顎神経へのインプラント - 詳細は [下顎神経のマーキングと調整](#) [▶ ページ 224] をご参照ください。
- インプラントへのインプラント

2つのオブジェクト間の安全距離が規定値（[安全範囲の設定](#) [▶ ページ 304] を参照）より短くなると、対応するオブジェクトやその安全範囲はビューに赤く表示されます。さらに該当するオブジェクトは [オブジェクトブラウザ](#) に警告アイコン付きで出ます。

36 アバットメントの計画



注意

SICAT Implant Databaseから出力されるインプラント、アバットメント、スリーブはメーカーの詳細に従って表示されます。メーカーの詳細と実寸が異なると処置ミスにつながるおそれがあります。

表示される寸法がインプラント、アバットメント、スリーブの実寸と一致することを綿密に確認してください。



注意

SICAT Implantデータベースから抽出したアバットメントは実物に近いデータを読み込めないときは赤い円筒形で表示されます。これらのケースでは円筒の寸法は計画したアバットメントの実寸には対応していません。これでは治療ミスの原因となるおそれがあります。

SICAT Implantデータベースを修復や更新するかジェネリックアバットメントをご使用ください。

SICAT Implantデータベースは異なるメーカーのインプラントモデルも含んでいます。インプラントモデルは各メーカーのインプラントシリーズ別で整理されています。

SICAT Implant では直物や角度付き標準アバットメントならびにチタンベースも計画できます。計画したインプラントに対してインプラントと互換なアバットメントモデルのみ提案されます。

希望のアバットメントモデルがまだSICAT Implantデータベースになければ、ジェネリックアバットメントを計画し、角度とアバットメント寸法をインプラントメーカーの規定値に従って入力できます。

以下の機能をアバットメント計画のためにご利用になれます。

- アバットメントの追加 [▶ ページ 245]
- アバットメントの有効化 - これに関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 131]を参照してください。
- アバットメントに焦点を当てる、アバットメントを削除する、アバットメント操作を元に戻して再度実行する - 詳しくはオブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 133]をご覧ください。
- アバットメントをインプラント軸の周りに回す [▶ ページ 247]
- 角度、アバットメント寸法、アバットメントモデルの変更 [▶ ページ 248]
- アバットメントの非表示/表示 [▶ ページ 250]

36.1 アバットメントの追加

計画した2分割インプラントにアバットメントを追加するには、次の手順で行います。

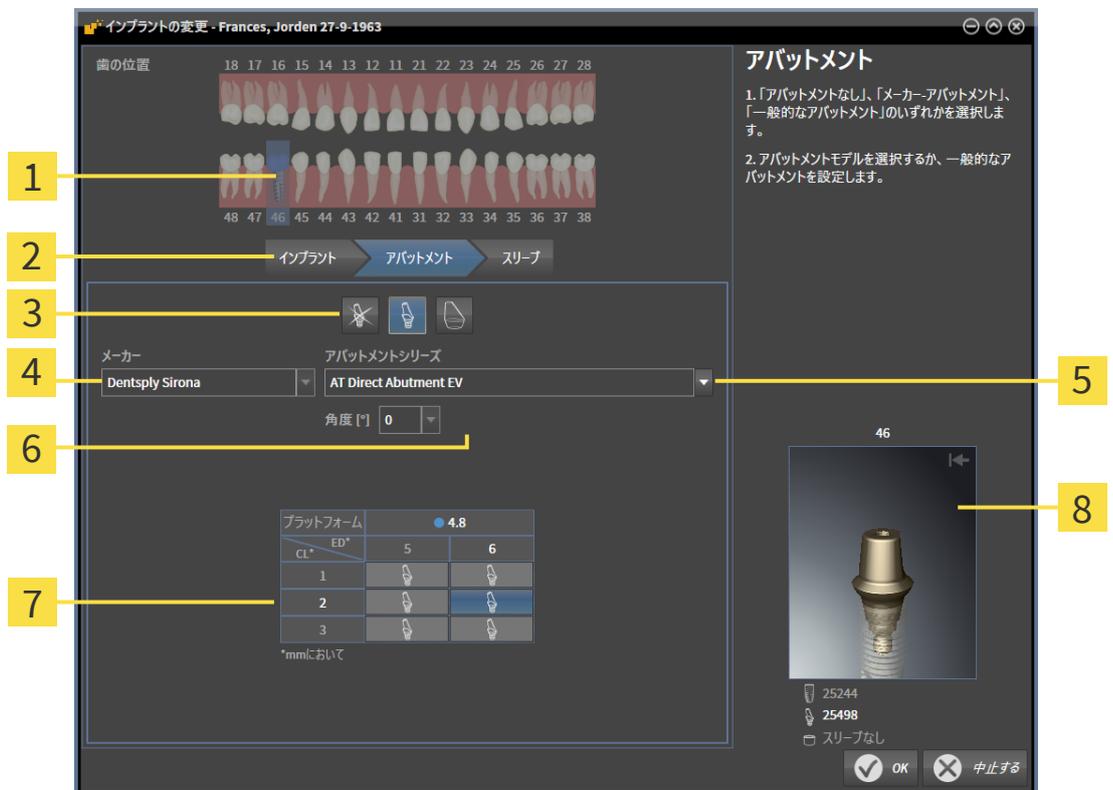
- ☑ 計画したインプラントにはまだアバットメントがない。
- ☑ ワークフロー ステップ**計画する**は、展開させておきます。

1. **オブジェクト**でまたは**任意の表示**でインプラントをクリックして、アバットメントを追加したいインプラントを有効にします。



2. ワークフローステップ**計画する**で**アバットメントを(アクティブな)インプラントに追加する**アイコンをクリックします。

▶ アバットメント選択ウィンドウが表示されます。



- | | |
|--|----------------------------|
| 1 インプラントの歯の位置 | 5 アバットメントシリーズ選択用ボタン |
| 2 インプラント、アバットメント、スリーブ間の切替え用ボタン | 6 角度選択用ボタン |
| 3 アバットメントなし、メーカー-アバットメント、一般的なアバットメント間の切替え用ボタン | 7 アバットメントモデルの選択用表 |
| 4 製造元 | 8 商品番号付き3Dプレビュー |

3. 所望のアバットメントシリーズを選択してください。

4. 所望の角度を選択してください。

注記：

どのアバットメントシリーズにも角度付きアバットメントが含まれるとは限りません。

5. 表の対応するセルをクリックして所望のアバットメントモデルを選択してください。表には選択されたアバットメントシリーズの利用可能な全アバットメントモデルが計画したインプラントと互換な選択された角度付きで含まれ明日。行は異なるカラー部高さ及び/またはボスト部高さに対応し、列は異なる出口直径(mm)に対応します。

- ▶ 選択されたアバットメントモデルは3Dプレビューにある表に商品番号とともに表示されます。マウスボタンを押したままアバットメントを3Dプレビューで回転できます。マウスホイールでは3Dプレビューの中でズームできます。

6. **OK**をクリックし、ウィンドウを閉じます。

- ▶ 新規アバットメントは全ビューで対応するインプラントの咬合延長部及びオブジェクトの下の対応するインプラントの下側に表示されます。

**ジェネリックアバットメントの使用**

希望のアバットメントモデルがSICAT Implantデータベースにまだなければ、ジェネリックアバットメントを使用することもできます。このためには**一般的なアバットメント** ボタンをクリックし、角度とアバットメント寸法をメーカーの規定値に従って入力してください。

**インプラント及び/またはスリーブの同時変更**

アバットメントを追加するときに同時に対応するインプラントまたは対応するスリーブも変更したい場合、**OK**でウィンドウを閉じる前にボタン**インプラント**または**スリーブ**をクリックします。

36.2 アバットメントをインプラント軸の周りに回す

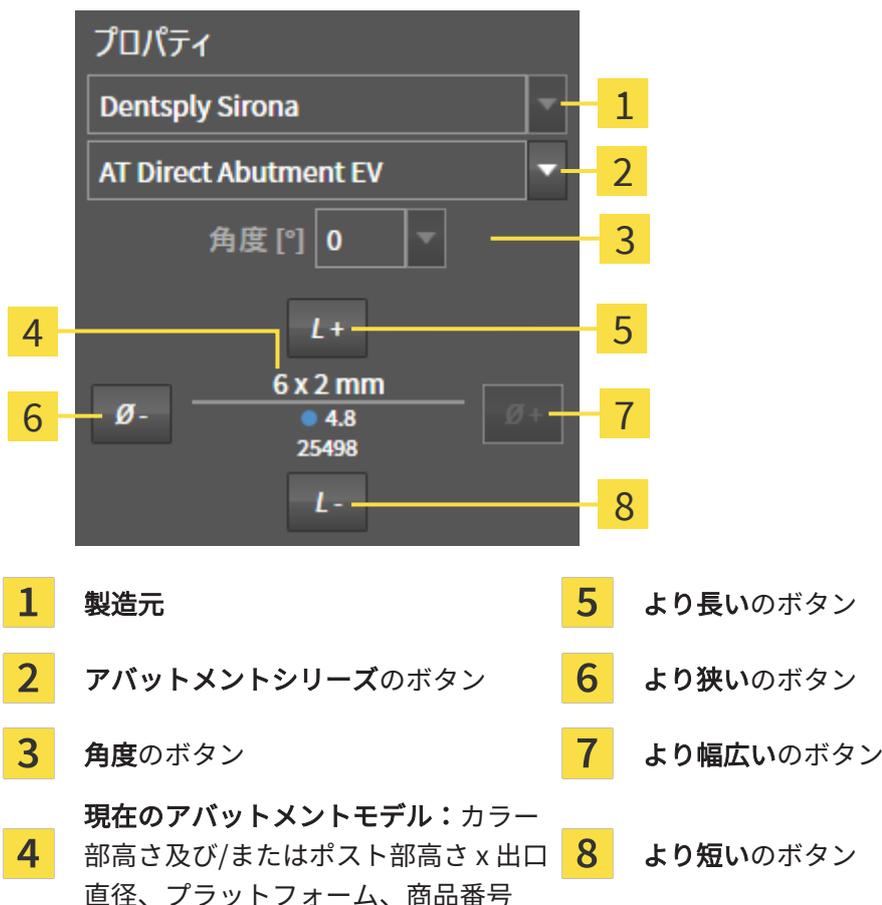
アバットメントをインプラント軸の周りに回して特に角度付きアバットメントを自由に計画することができます。

そのためには対応するインプラントをその軸の周りに回してください。詳細はインプラントを軸の回りに回転する [▶ ページ 236]を参照してください。

36.3 角度、アバットメント寸法、アバットメントモデルの変更

アバットメントの角度や寸法またはモデルを後から変更するには、次の手順で行います。

1. オブジェクトからまたは表示でアバットメントをクリックして変更したいアバットメントを有効にします。
 - ▶ プロパティエリアにアクティブなアバットメントの現在の角度、現在の寸法、現在のモデルが表示されます。



1 製造元

2 アバットメントシリーズのボタン

3 角度のボタン

4 現在のアバットメントモデル：カラー部高さ及び/またはポスト部高さ x 出口直径、プラットフォーム、商品番号

5 より長いボタン

6 より狭いのボタン

7 より幅広いのボタン

8 より短いボタン

2. **アバットメントシリーズの変更**：所望のアバットメントシリーズを選択してください。
 - ▶ SICAT Implant はアバットメントモデル及び場合によっては角度とアバットメント寸法も変更します。
3. **角度の変更**：所望の角度を選択してください。

注記：

どのアバットメントシリーズにも角度付きアバットメントが含まれるとは限りません。

- ▶ SICAT Implant はアバットメントモデルと場合によってはアバットメント寸法も変更します。

4. **アバットメント寸法とアバットメントモデルの変更**：より幅広いまたはより狭いボタンをクリックし、次に幅広または狭めのモデルを選択された角度付きの選択されたアバットメントシリーズから選択します。より長いまたはより短いボタンをクリックし、次に長いまたは次に短いモデルを選択された角度付きの選択されたアバットメントシリーズから選択します。

▶ SICAT Implantがアバットメント寸法とアバットメントモデルを変更します。



インプラント選択ウィンドウ

アバットメントの角度と寸法さらにモデルをアバットメント選択ウィンドウで、オブジェクトの下で変更したいアバットメントの横のアイコンをクリックして変更します。そこでメーカー-アバットメントと一般的なアバットメント、アバットメントなしの間を切り替えます。詳細はアバットメントの追加  ページ 245]を参照してください。



ジェネリックインプラント

プロパティエリアでまたはアバットメント選択ウィンドウでもジェネリックアバットメントの角度と寸法を変更できます。

36.4 アバットメントの非表示/表示

すべてのインプラントのアバットメントは同時に非表示または表示にすることができます。

- ☑ オブジェクトグループインプラントはオブジェクトブラウザに表示されます。これに関する詳細はSICAT Implantオブジェクト [▶ ページ 135]を参照してください。
- ☑ アバットメントは現在表示されています。

1. オブジェクトグループインプラント でマウスポインターをアバットメント表示/非表示アイコンの上に置きます。

▶ SICAT Implant がアバットメントの非表示/表示用アイコンを表示します。



2. アバットメントを表示しないのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant がアバットメントを非表示します。



3. アバットメントの表示のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant がアバットメントを表示します。



アイコンアバットメント表示/非表示の上にマウスポインターを置き、クリックし、アバットメントの見え方を切り替えられます。再度クリックするとアバットメントの表示か非表示に切り替わります。



アバットメントが非表示されているとき、一部のアバットメント計画機能は使えません。機能を再度有効にするにはアバットメントを再び表示してください。

37 スリーブの計画



注意

SICAT Implant Databaseから出力されるインプラント、アバットメント、スリーブはメーカーの詳細に従って表示されます。メーカーの詳細と実寸が異なると処置ミスにつながるおそれがあります。

表示される寸法がインプラント、アバットメント、スリーブの実寸と一致することを綿密に確認してください。



注意

スリーブは、現実的データがなかったり読み込まれていない限り SICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さとして直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。

メーカーの公称寸法がスリーブの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

SICAT Implantデータベースは異なるメーカーのスリーブモデルも含んでいます。スリーブモデルは各メーカーごとのスリーブシステムに整理されています。

ドリルテンプレートをインプラント計画のために使用する場合はスリーブを計画する必要があります。インプラント計画が実際実行可能かを検証してください。例えば、スリーブは隣接する歯やスリーブ、歯茎（歯茎をオペで返さない場合）あるいは骨（歯茎をオペで返す場合）とじゅうぶん距離があることが必要です。

SICAT Implantが対応しているドリルテンプレートとスリーブシステムについて詳しくは次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ ページ 53]をご参照ください。

SICAT Implantはドリルテンプレートの選択後は選択されたドリルテンプレートが対応しており計画したインプラントと互換なスリーブシステムしか提案してきません。例外：CERECガイドドリルキーは全インプラントシステムにCERECガイドドリルキーが対応しているわけではなくてもSICAT Implantで全インプラントと互換です。CERECガイドドリルキーが対応するインプラントシステム/外科キットについて詳しくはCERECガイドの取扱説明書をご参照ください。

一貫ガイドスリーブシステムのスリーブモデルはメーカープロトコルに従ってインプラントと相対的に許容される離間のスリーブ位置で計画できます。それ以外のスリーブシステムのスリーブモデルはインプラントと相対的に入力するスリーブ位置で計画できます。

以下の機能をスリーブ計画のためにご利用になれます。

- スリーブの追加 [▶ ページ 253]
- スリーブの有効化 - これに関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 131]を参照してください。
- スリーブに焦点を当てる、スリーブを削除する、スリーブの操作を元に戻して再度実行する - 詳しくはオブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 133]をご覧ください。
- ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ ページ 256]
- スリーブモデルの変更 [▶ ページ 258]
- スリーブ位置の変更 [▶ ページ 259]
- スリーブの非表示/表示 [▶ ページ 261]

37.1 スリーブの追加

計画したインプラントにスリーブを追加するには、次の手順で行います。

- ☑ ドリルテンプレートもスリーブシステムも選択していない。
- ☑ ワークフロー ステップ計画するは、展開させておきます。

1. オブジェクトでまたは任意の表示でインプラントをクリックして、スリーブを追加したいインプラントを有効にします。



2. ワークフローステップ計画するでスリーブを(アクティブな)インプラントに追加するアイコンをクリックします。

▶ スリーブ選択ウィンドウが表示されます。



1 インプラントの歯の位置

2 インプラント、アバットメント、スリーブ間の切替え用ボタン

3 ドリルテンプレートとスリーブシステムの選択用ボタン

4 スリーブモデルの選択用表

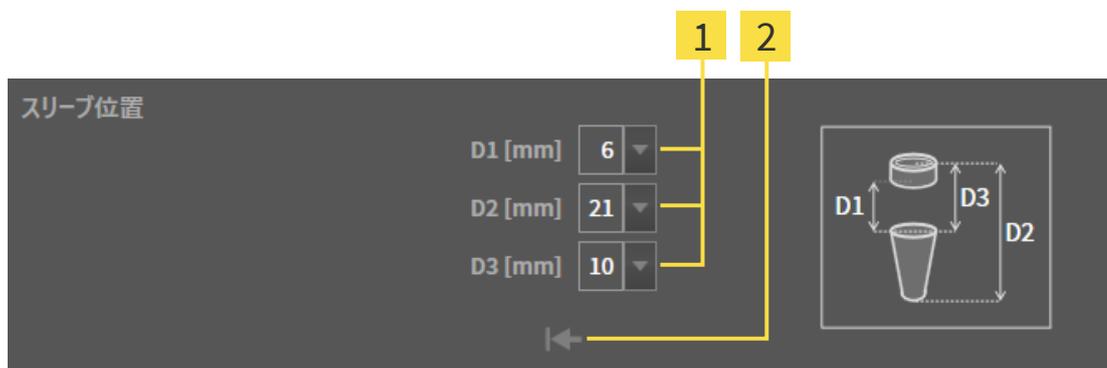
5 スリーブデザイン付き3Dプレビュー

3. 希望するドリルテンプレートを選択してください。SICAT Implantが対応するドリルテンプレートについて詳しくは [次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します](#) [▶ ページ53]をご参照ください。

注記：

以下のボタンは一つのドリルテンプレートを選択していれば表示されます。

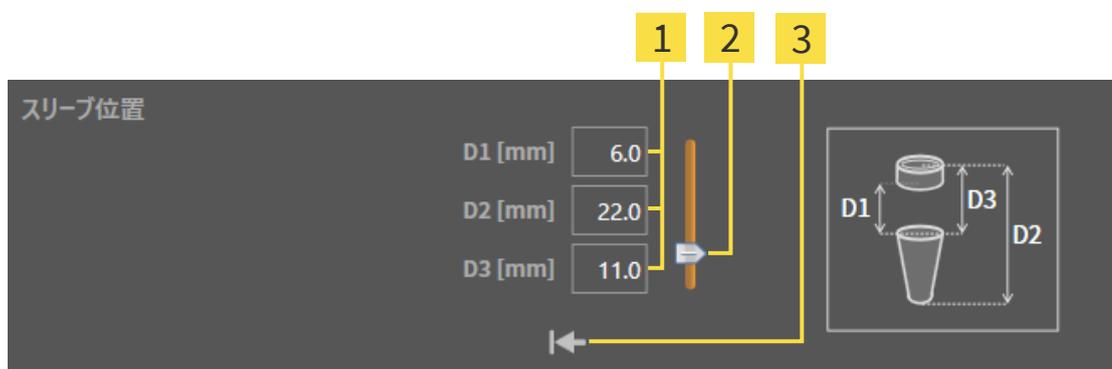
4. 所望のスリーブシステムを選択してください。SICAT Implant が対応するスリーブシステムについて詳しくは次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ ページ 53] をご参照ください。
5. 表の対応するセルをクリックして所望のスリーブモデルを選択してください。表は選択されたスリーブシステムの、計画したインプラントと互換な利用可能な全スリーブモデルを含みます。利用可能な多くのスリーブシステムにおいて各対応インプラントについてそれにぴたりと合うスリーブモデルがあります。行は異なるスリーブ長さに対応しており、列は異なるスリーブ直径(外径 / 内径、mm)に対応します。
 - ▶ 選択されたスリーブモデルは3Dプレビューにある表にその名称とともに表示されます。マウスボタンを押したままスリーブを3Dプレビューで回転できます。マウスホイールでは3Dプレビューの中でズームできます。
6. **スリーブ離間位置の一貫ガイドスリーブシステム**：所望のスリーブ位置を選択してください。選択できるのはメーカー要綱に従って、選択されたインプラントスリーブの組み合わせに認め得る全スリーブ離間位置です。D値の一つを選択すると他の二つのD値も自動調整されます。



1 スリーブ位置の選択用ボタン

2 スリーブ位置のリセットのボタン

7. **スリーブ位置は任意でよいスリーブシステム**：所望のスリーブ位置を欄のどれかに入力する、または所望のスリーブ位置をスライダーで決めることもできます。D値をいずれか入力すると、他の二つのD値も自動調整されます。



1 スリーブ位置の入力欄

3 スリーブ位置のリセットのボタン

2 スリーブ位置調整用スライダー

8. **OK**をクリックしてウィンドウを閉じます。

- ▶ 新規スリーブは全ビューで、設定したスリーブ位置においては対応するインプラントに対して及びオブジェクトの下の対応するインプラントの下側に表示されます。



開いた計画の残りインプラントへの影響

選択されたドリルテンプレートと選択されたスリーブシステムは全体計画つまり開いた計画の全インプラントに関連しています。スリーブシステムを選択または変更したら開いている計画の残りのインプラントのスリーブモデルとスリーブ位置も確認し、必要ならこれらを調整します。これに関する詳細はスリーブモデルの変更 [▶ ページ 258]およびスリーブ位置の変更 [▶ ページ 259]を参照してください。



インプラント及び/またはアバットメントの同時変更

スリーブを追加するとき同時に対応するインプラントまたは対応するアバットメントも変更したい場合、**OK**でウィンドウを閉じる前にインプラントまたはアバットメントボタンをクリックします。

37.2 ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更

ドリルテンプレートまたはスリーブシステムは後からでも変更できます。SICAT Implantが対応しているドリルテンプレートとスリーブシステムについては次のドリルテンプレートとスリーブシステムに対応します [▶ ページ 53]をご参照ください。



1 ドリルテンプレート変更ボタン

2 スリーブシステム変更ボタン

ドリルテンプレート変更

1. オブジェクトバーの計画エリアでドリルテンプレート変更ボタンをクリックします。
▶ SICAT Implantは対応ドリルテンプレートのリストを表示します。
2. インプラント計画の実行に使う新規ドリルテンプレートをクリックします。
▶ SICAT Implantがドリルテンプレートを変更します。
▶ 新規ドリルテンプレートがそれまで選択していたスリーブシステムに対応していない場合、SICAT Implantが新規ドリルテンプレートに対応するスリーブシステムに切り替えます。この場合、開いている計画の全計画済みインプラントのスリーブシステム及びスリーブモデルさらにスリーブ位置を確認し、必要ならこれらを調整します。詳しくはこの節のスリーブシステム変更、スリーブモデルの変更 [▶ ページ 258]、スリーブ位置の変更 [▶ ページ 259]をご参照ください。

スリーブシステムの変更

1. オブジェクトバーの計画エリアでスリーブシステムの変更ボタンをクリックします。

注記：

スリーブシステム変更ボタンが表示されるのはドリルテンプレートの選択後です。

- ▶ SICAT Implantには選択されたドリルテンプレートが対応し、計画したインプラントと互換なスリーブシステムリストが表示されます。

2. 使用したい新規スリーブシステムをクリックします。

- ▶ SICAT Implantがスリーブシステムを変更します。
- ▶ 以前のスリーブシステムの計画したスリーブが削除され、計画したインプランが新規スリーブシステムと互換である限り新規スリーブシステムのスリーブに追加されます。
- ▶ 開いている計画の計画した全インプラントのスリーブモデルとスリーブ位置を確認し、必要ならこれらを調整します。これに関する詳細はスリーブモデルの変更 [▶ ページ 258]およびスリーブ位置の変更 [▶ ページ 259]を参照してください。

37.3 スリーブモデルの変更

計画した一つのインプラントに選択されたスリーブシステムの複数のスリーブモデルが互換な場合、スリーブモデルを後から変更できます。

このためには以下の手順に従ってください。

- ☑ 所望のドリルテンプレートと所望のスリーブシステムをすでに選択したこと。ドリルテンプレートとスリーブシステムの変更についてはドリルテンプレートとスリーブシステムの変更 [▶ ページ 256] をご参照ください。

1. **オブジェクト**からまたは任意の表示でスリーブをクリックして、スリーブモデルを変更したいスリーブを有効にします。

▶ **プロパティ**エリアに現在のスリーブモデルが表示されます。



1 より狭いのボタン

3 より幅広いのボタン

2 現在のスリーブモデル：外径 / 内径 x 長さ及び名称

2. より幅広いまたはより狭いボタンをクリックし、次に幅広または狭めのモデルを選択されたスリーブシステムから選択します。

▶ SICAT Implantがスリーブモデルを変更します。

▶ SICAT Implantが必要ならスリーブ位置を変更します。

3. スリーブ位置を確認し、場合によってはこれを調整します。詳細はスリーブ位置の変更 [▶ ページ 259] を参照してください。



スリーブ選択ウィンドウ

スリーブモデルはスリーブ選択ウィンドウで**オブジェクト**の下のスリーブ横にあるスリーブモデルを変更したいアイコンをクリックして変更します。詳細はスリーブの追加 [▶ ページ 253] を参照してください。

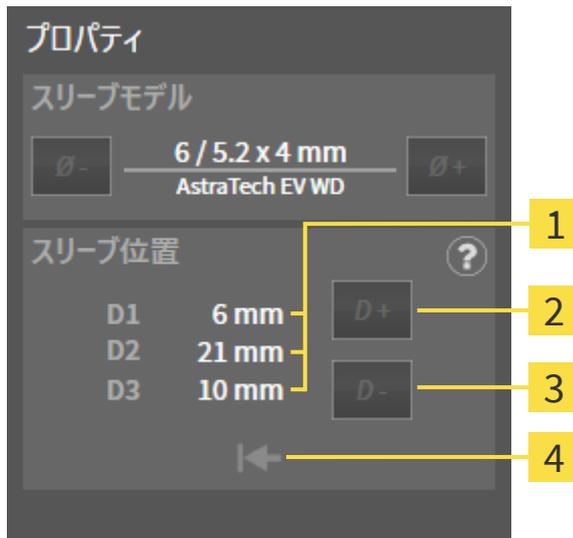
37.4 スリーブ位置の変更

計画したスリーブの位置を後から変更するには次の手順で行います。

- ☑ 任意のスリーブ位置があるスリーブシステムを選択したかスリーブ離間位置による一貫ガイドスリーブシステムを選択しており、インプラントスリーブの組み合わせ用にメーカー要綱に従って複数のスリーブ離間位置が可能です。

1. **オブジェクト**からまたは表示でスリーブをクリックして位置を変更したいスリーブを有効にします。

- ▶ **スリーブ離間位置の一貫ガイドスリーブシステム**：プロパティエリアに下のように現在のスリーブ位置が出ます。



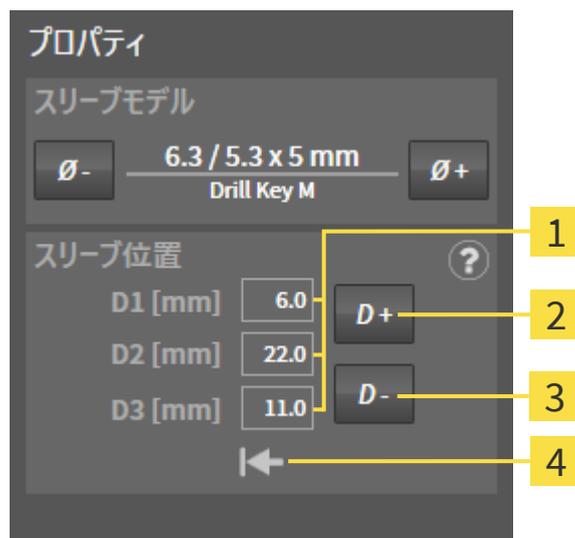
1 現在のスリーブ位置

2 拡大のボタン

3 縮小のボタン

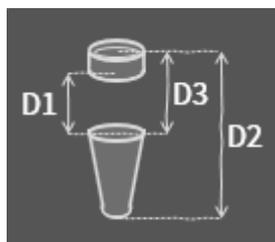
4 スリーブ位置のリセットのボタン

- ▶ スリーブ位置は任意でよいスリーブシステム：プロパティエリアに下のよう現在のスリーブ位置が出ます。



- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 現在のスリーブ位置用入力欄 | 3 縮小のボタン |
| 2 拡大のボタン | 4 スリーブ位置のリセットのボタン |

▶ D値の説明



2. **拡大** または **縮小** ボタンをクリックし次に大きいまたは次に小さいスリーブ位置を選択します。任意のスリーブ位置があるスリーブシステムでは所望のスリーブ位置を欄の一つにも入力できます。D値を調整すると、他の二つのD値も自動調整されます。

- ▶ SICAT Implantはスリーブ位置を変更します。



スリーブ位置をビューで直接変更

スリーブ位置は、所望のスリーブをクリックし、マウスボタンを押したまま上または下にドラッグしてビュー軸方向以外の2Dレイヤービューでも変更できます。スリーブ離間位置を持つ一貫ガイドスリーブシステムではこの方法でもメーカー要綱に従ってのみ可能なスリーブ位置に設定できません。



スリーブ選択ウィンドウ

スリーブ位置はスリーブ選択ウィンドウで、位置を変更したいスリーブ横のオブジェクトでアイコンをクリックして変更できます。詳細はスリーブの追加 [▶ ページ 253]を参照してください。

37.5 スリーブの非表示/表示

スリーブは全インプラントについて同時に非表示/表示できます。

- ☑ オブジェクトグループインプラントはオブジェクトブラウザに表示されます。これに関する詳細は *SICAT Implant* オブジェクト [▶ ページ 135] を参照してください。
- ☑ スリーブは現在表示されています。

1. オブジェクトグループインプラントでマウスポインターをスリーブ表示/非表示アイコンの上に置きます。

▶ SICAT Implant がスリーブ非表示/表示用アイコンを表示します。



2. スリーブを表示しないのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant がスリーブを非表示します。



3. スリーブの表示のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Implant スリーブを表示します。



アイコンスリーブ表示/非表示の上へマウスポインターをホバーしてクリックし、スリーブの見え方を切り替えられます。再度クリックするとスリーブ表示か非表示に切り替わります。



スリーブが非表示されている場合、いくつかのスリーブ計画機能は使えません。機能を再度有効にするにはスリーブを再び有効にしてください。

38 注文プロセス

希望するSICATドリルテンプレートを注文するには、以下の手順に従ってください。

- SICAT Implantにショッピングカート内の計画データを含む希望するSICATドリルテンプレートを入れます。これに関する情報はSICATドリルテンプレートをカートに入れる [▶ ページ 263]を参照してください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。これに関する情報はカートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 267]を参照してください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。これに関する情報はインターネット接続を使用した注文の終了 [▶ ページ 268]もしくはインターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ ページ 272]を参照してください。



様々な患者、3D X線撮影図およびアプリケーションに属する注文をショッピングカートに追加することができます。ショッピングカートの内容は、SICAT Suite終了時も保持されます。



注文プロセス中に、患者データを患者ファイルに保存する必要があります。そのため、他のユーザーが患者ファイルをロックしないでください。そうしないと、患者ファイルのロックが再び解除されるまで、注文プロセスを続けることができません。ロックされた患者ファイルの詳細については、患者ファイル [▶ ページ 103]およびAbgelaufene Sperre einer Patientenakte aufheben [▶ ページ 122]を参照してください。

38.1 SICATドリルテンプレートをカートに入れる



注意

不正計画または不正データに基づく発注が治療ミスの原因となるおそれがあります。

発注が正しい計画に基づくこと、及び注文のために正しいデータを選択し転送しようとしていることを確認してください。

SICAT Implant で最初の注文プロセスでSICATドリルテンプレートをカートに入れます。

- ☑ インプラントは計画済みであること。詳細はインプラントの計画 [▶ ページ 229]を参照してください。
- ☑ 所望のSICAT ドリルテンプレートと所望のスリーブシステムを選択してあり、さらに各インプラントごとにスリーブモデルとスリーブ位置D2を計画してあること。詳細はスリーブの計画 [▶ ページ 251]を参照してください。
- ☑ ワークフロー ステップ治療は、展開させておきます。



1. 開いた計画について選択されたSICAT ドリルテンプレートを発注するには、ワークフロー ステップ 治療でSICATドリルテンプレートを注文するをクリックします。
 - ▶ SICAT OPTIGUIDEまたはSICAT DIGITALGUIDEを発注したいときでまだ光学印象はインポートも登録もしていないとき、次から選択できます。
 - 光学印象をインポートして登録するこれに関する詳細は光学印象 [▶ ページ 208]を参照してください。
 - 光学印象なしで発注する。この場合は対応する顎の石膏モデルをSICATへご送付ください。SICATが石膏モデルを元に必要な光学印象を作成します。
 - ▶ SICATドリルテンプレートを注文するウィンドウが出ます。

SICATドリルテンプレートを注文する

患者		注文の詳細	
姓 Frances	製品 SICAT OPTIGUIDE	スリーブシステム Dentsply Sirona	EV Guided Surgery
名 Jorden	誕生日 1963/09/27	患者 ID 69474173	3D X線撮影画像 2015/09/16 15:45

治療計画

氏名 Plan 17.01.2019 16:51

#	位置	メーカー	インプラントシリーズ	プラットフォーム	Ø [mm]	L [mm]	製品番号	スリーブ	D2 [mm]
1	46	Dentsply Sirona	AT OS EV S	4.8	4.8	11	25244	AstraTech EV WD	21

追加情報

追加情報をSICATに送付するには、この欄を使用してください (オプション)

確認

Dentsply Sirona - EV Guided Surgeryの外科手術キットを所有しています。

私は、「ショッピングカートに追加する」をクリックすることで、プランが正しく、手術に適していることを確認します。

ショッピングカートに追加する 中止する

SICATドリルテンプレートを注文する

1. 患者データ、注文の詳細、計画を確認してください。
 ⚠ 注文が正しい計画に基づいていることを確認してください。
2. オプション：SICATの追加情報を添付してください。
3. 要件を確認してください。
4. 「ショッピングカートに追加する」をクリックしてください。

2. 患者と注文への詳細エリアで患者情報と発注用明細情報が正しいことを確認します。

3. スリーブシステム「SICATスリーブインスリーブ」用内部スリーブを選択する。スリーブシステムに「SICATスリーブインスリーブ」を選択した場合、注文への詳細エリアに第1と第2内部スリーブの内径を選択します。内部スリーブは1つでよければ、内部スリーブ用の二つの欄で「無し」を選びます。
4. 計画を確認してください。発注が正しい計画に基づいたものであることとインプラント、スリーブ、スリーブ位置が正しいことを特に確認してください。
 - ▶ インプラントのための全発注条件が満たされていないと、SICAT Implantがインプラント位置の前に警告アイコン  を表示してそのことを注意します。マウスポインターを警告アイコン  の上に置くと、対応する注記が出ます。発注の前提条件は次の場合は満たされていません。
 - インプラントとスリーブシステムに互換性がない。
 - スリーブシステムとして「CEREC ガイドドリルキー」を選択しており、スリーブ位置はまだ計画していない場合。
安全距離より近い場合。これらの場合は発注を止め、問題を解決してください。安全距離より近ければ、確認エリアで問題を把握しつつもドリルテンプレートをカートに入れることは可能なことも指定できます。
5. 希望する場合、追加情報欄にSICATの追加情報を入力します。
6. 一貫ガイド外科システムを発注のために初めてお使いになる場合、確認エリアで対応する外科キットがあることを確認してください。
7. ショッピングカートに追加するのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantは所望のSICAT ドリルテンプレートを計画データごとSICAT Suiteカートに入れます。
 - ▶ SICAT Implant を計画のコピーを「完結」状態で作成します。SICAT ドリルテンプレートの発注用の基礎とする計画を後から元の状態で検討することができます。
 - ▶ SICAT Implant はSICATドリルテンプレートを注文するウィンドウを閉じます。
 - ▶ SICAT ImplantはSICAT Suiteのカートを開きます。
8. カートをチェックして、注文プロセスを完了する  ページ 267 で続行してください。
9. SICAT CLASSICガイドの発注：レントゲンテンプレートを石膏モデルに固定してSICATへ送ってください。



両顎インプラント計画

上下の顎にインプラントを計画した場合、SICAT Implantに顎選択ウィンドウが表示され、次にSICATドリルテンプレートを注文するウィンドウが出ます。ドリルテンプレートを注文したい顎を選びます。ドリルテンプレートを最初の顎用にカートに入れてから、第2の顎用ドリルテンプレートはSICATドリルテンプレートを注文するボタンを再度クリックしてカートに入れます。

**SICAT CLASSICガイドの発注**

レントゲンテンプレートを石膏モデルに固定してSICATにお送りください。
SICATで小包を受領後初めて受注処理が可能ですのでそれからSICAT
CLASSICガイドの製造を始めます。

38.2 カートを開く



カートアイコンでは、カート内にあるアイテムの数量を示しています。

☑ カートには、製品を1個以上、入れておきます。



- ショッピングカートはまだ開いていない場合、ナビゲーションバーの**カート**のボタンをクリックします。

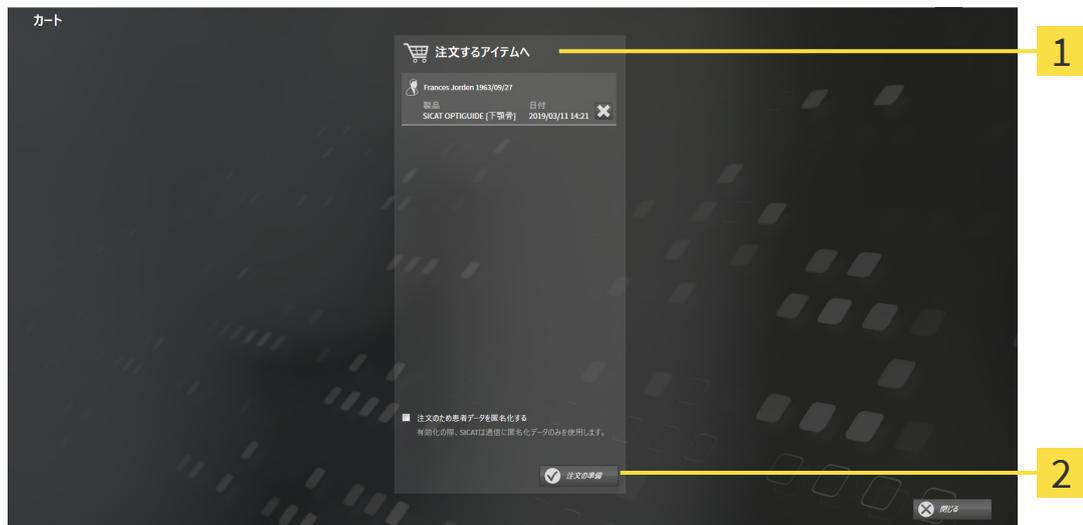
▶ **カート**のウィンドウが開きます。

以下の操作で、処理を続けてください。

- **カート**を**チェック**して、**注文プロセス**を完了する [▶ ページ 267]

38.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

- ☑ カートのウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は**カートを開く** [▶ ページ 266]を参照してください。



1 注文するアイテムへのリスト

2 注文の準備のボタン

1. カートウィンドウで、希望の製品が含まれてるか確認します。
2. **注文のため患者データを匿名化する**のチェックボックスを有効または無効にします。
3. **注文の準備**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文状況を**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICATサーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。



注文を準備している患者ファイルは、注文が最終的に完了するまでロックされます。

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用した注文の終了 [▶ ページ 268]
- インターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ ページ 272]

38.4 インターネット接続を使用した注文の終了



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
 - ☑ チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**は有効になっています。これに関する情報は**一般設定の使用** [▶ ページ 292]を参照してください。
 - ☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。
1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている製品および価格が患者毎にグループ分けして表示されません。
 2. SICATポータルでの**注文手順** [▶ ページ 269]の指示に従ってください。
 - ▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。
 - ▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。
 - ▶ ショッピングカートの注文状況が**アップロードする**に変わります。



SICAT Suiteでは、アップロードが完了するまで、注文内容の表示を続けます。複数のコンピューターで、アクティブな患者データバンクを使用しているときは、注文をアップロードしているのが別のコンピューターであっても、すべてのコンピューターで、その注文内容が表示されます。注文内容のアップロードを開始したコンピューターであれば、そのコンピューターで、注文プロセスを一時停止する、再開する、キャンセルするの各操作を行うことができます。



アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

38.5 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の製品が含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全製品を注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。



患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属スプリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び製品の構成にフルアクセスすることができます。

38.6 SICAT WEBCONNECTOR



SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。これに関する情報はシステム要件 [▶ ページ 11]を参照してください。



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

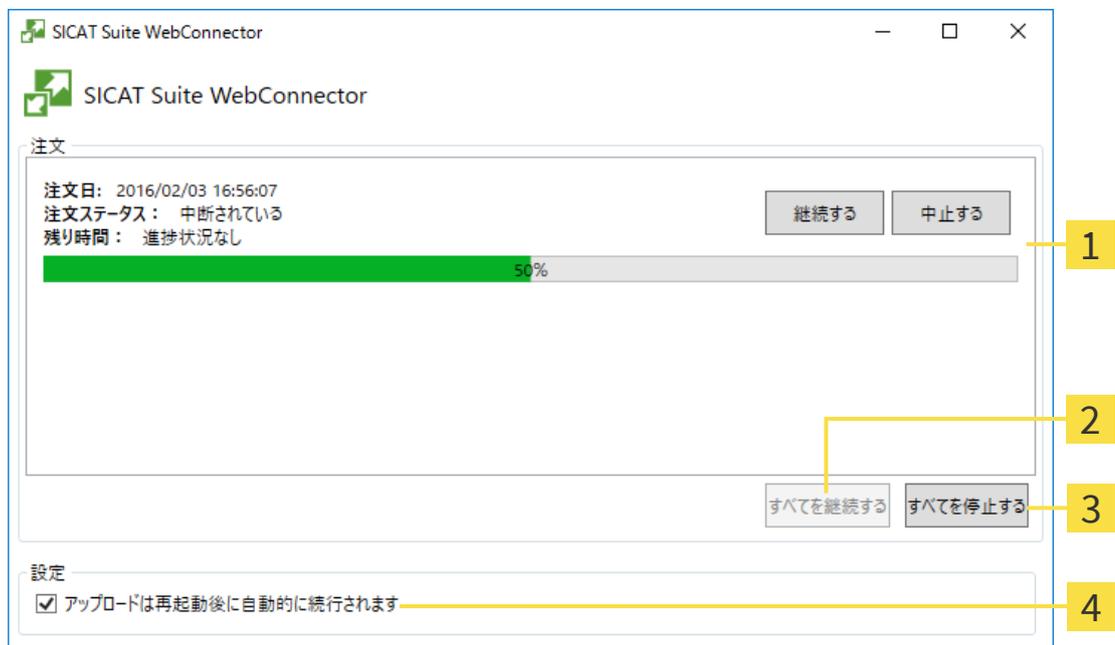
SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Implant 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectorを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われませんが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く



- タスクバーの通知ウィンドウで、SICAT Suite WebConnectorアイコンをクリックします。

▶ SICAT Suite WebConnector のウィンドウが開きます。



1 リスト 注文

2 ボタン すべて再開する

3 ボタン すべて停止する

4 チェックボックス 再起動後にアップロードを自動で再開する

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

SICAT Suite WebConnectorウィンドウはすでに開いています：

1. **すべて停止する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。
2. **すべて再開する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

SICAT Suite WebConnectorウィンドウはすでに開いています：

- **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。
- ▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

38.7 インターネット接続を使用しない注文の終了

SICAT Suiteを起動しているコンピューターにSICATサーバーとの接続が確立できない場合、SICAT SuiteがSICAT Suite - SICAT サーバーに接続できないウィンドウを開きます。ウィンドウは問題に対する以下の原因を表示します。

- インターネット接続が利用できません。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。
- SICATポータルにアクセスできません。
- 「SICATWebConnector」サービスがインストールされていません。
- 「SICATWebConnector」サービスが起動していません。
- 未知のエラーが発生しました。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。

この章ではインターネット接続が使用できない場合のみを対象にスクリーンショットを示しています。

その原因の下で可能な問題を解決できる手順を発見します。

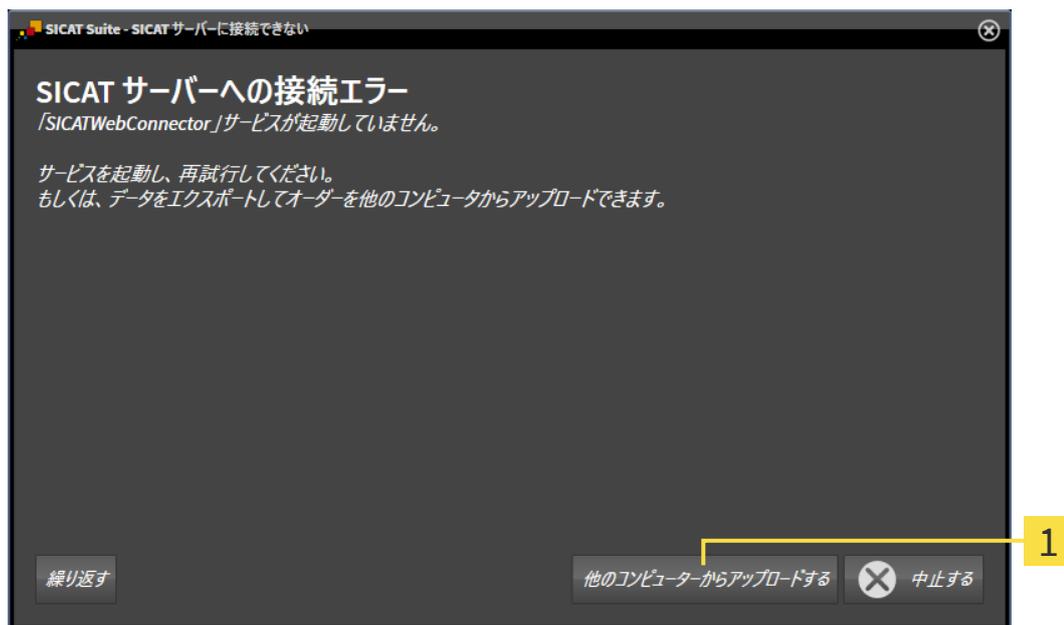
一般タブの設定で、チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**を無効にした場合は、**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウが直接開きます。

トラブルシューティングの代替として、またはインターネットへのアクセスを無効にしている場合は、インターネットに接続されている別のコンピュータのWebブラウザから注文をアップロードできます。ウェブブラウザによる注文に対して、SICAT Suiteは一度に全ての製品をショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。各サブフォルダには注文情報付のXMLファイルと製造に必要なデータが付いているZIPアーカイブがあります。SICATポータルではXMLファイルとZIPアーカイブを連続してアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

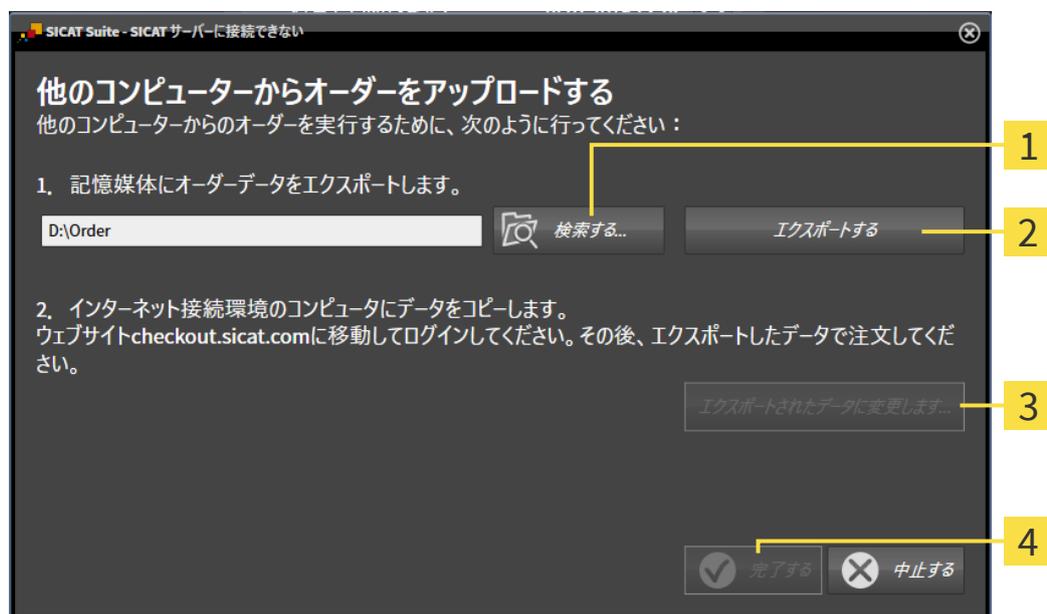
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。

☑ ウィンドウに表示されるメッセージ：SICAT サーバーへの接続エラー

**1** 他のコンピュータからアップロードするのボタン

1. 他のコンピュータからアップロードするのボタンをクリックします。

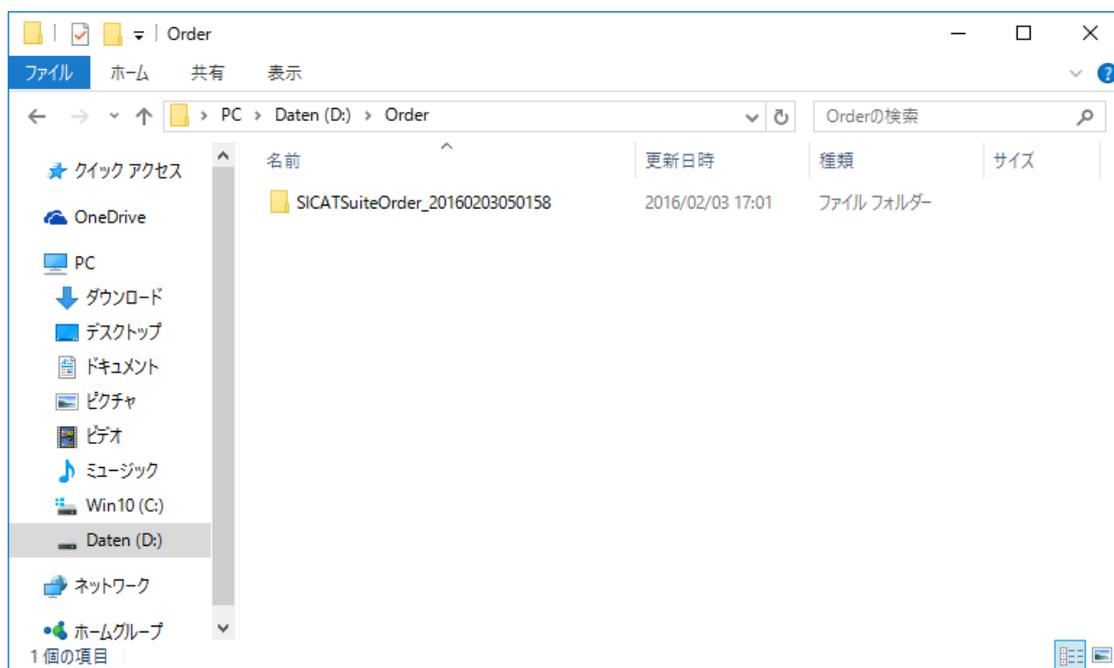
▶ 他のコンピュータからオーダーをアップロードするのウィンドウが開きます。

**1** 検索するのボタン**2** エクスポートするのボタン**3** エクスポートされたデータに変更しますのボタン**4** 完了するのボタン

2. 検索するのボタンをクリックします。

▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。
4. **エクスポートする**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。
5. **エクスポートされたデータに変更します**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。
7. **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウインドウの**完了する**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウインドウを閉じます。
 - ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての製品をショッピングカートから除去します。
8. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページwww.sicat.comを開きます。
9. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。
10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。

11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。
12. インターネットに接続したコンピューターで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の製品および価格が表示されます。
13. *SICAT*ポータルでの注文手順 [▶ ページ 269]の指示に従ってください。
14. 製品の治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。
15. インターネットに接続したコンピューターで適切な製品データを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が**SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。
 - ▶ 注文を実行した場合、ブラウザは製品データが含まれるアーカイブを暗号化された接続経路でSICATサーバーに転送します。



SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

39 CEREC GUIDE用にエクスポート



注意

不正計画またはCEREC ガイド用不正エクスポートデータに基づく CEREC ガイド用のエクスポートにより治療ミスの原因となるおそれがあります。

CERECガイド用エクスポートが正しい計画に基づくこと、及び正しいデータをエクスポートのために選択し転送しようとしていることを確認してください。



注意

CERECガイド用エクスポートの際 SICAT Implant は選択した光学印象のみ考慮します。不正に選択された光学印象では治療ミスの原因となるおそれがあります。

1. 正しい光学印象をエクスポートの際CEREC ガイド用に選択してあることを確認してください。
2. 選択された光学印象が全てのインプラント位置をカバーできることを確認してください。



注意

スリーブ位置を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

スリーブをCEREC ガイドの本番作成と処置要に必要な通りに正確にスリーブの位置を決めてください。計画をCEREC ガイド用に処理継続する際、スリーブ位置は計画した通り正確に使用できます。スリーブ位置はエクスポート後CEREC ガイド用にその後の作業プロセスで変更できません。

SICAT ドリルテンプレートの発注に加え、計画をCEREC ガイドの作成用に光学印象に基づいてエクスポートできます。

SICAT Implant は2種類のエクスポートに1つのCEREC ガイドについて対応します。

- 光学印象に基づくCERECガイドエクスポートをSIXDフォーマットで実行する、*CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする* [▶ ページ 277]の節をご参照ください。CEREC ガイド 3またはCEREC ガイド 2のワークフロー用にCERECソフトウェアのバージョン5.1以降を使用するときはこの方法を取ります。この方法ではデータをHub経由でCERECソフトウェアへ転送できます。
- 光学印象に基づくCERECガイドエクスポートをSSIフォーマットで実行するには*CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする* [▶ ページ 280]の節をご参照ください。CERECソフトウェアのバージョン5.1より前またはinLabソフトウェアを使用している場合は、CERECガイド2ワークフローにこの方法を適用してください。



CERECガイドの取扱説明書を参照し、用途についてのご案内や適合する方法についてご参考になさってください。

39.1 CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXDフォーマットでエクスポートする

エクスポートの基本条件

- ☑ 「CEREC ガイド エクスポート」 ライセンスが有効なこと。詳細はライセンスを参照してください。
- ☑ インプラントの全位置をカバーする光学印象 (場合によっては修復あり)をSIXDフォーマットでインポートして登録済みであること。詳細は[光学印象](#) [▶ ページ 208]を参照してください。
- ☑ インプラントは計画済みであること。詳細は[インプラントの計画](#) [▶ ページ 229]を参照してください。
- ☑ **オプション**：チタンベースを計画した。詳細は[アバットメントの計画](#) [▶ ページ 244]を参照してください。
- ☑ **CEREC ガイド3ワークフロー**：ドリルテンプレートとして「CEREC ガイド」、CEREC ガイド 3が対応する一貫ガイドスリーブシステムを選択してあり、さらにインプラントごとにスリーブモデルとスリーブ位置D2をCEREC規定に従って計画してあること。詳細は[スリーブの計画](#) [▶ ページ 251]を参照してください。
- ☑ **CEREC ガイド2ワークフロー**：ドリルテンプレートとして「CERECガイド」、スリーブシステムには「Dentsply Sirona - CEREC ガイドドリルキー」を選択してあり、さらにインプラント毎にスリーブモデルとスリーブ位置D2をCEREC規定に従って計画してあること。詳細は[スリーブの計画](#) [▶ ページ 251]を参照してください。

注記：

CERECガイドの取扱説明書を参照し、CERECガイド用スリーブモデル及びスリーブ位置D2の計画用詳細説明を把握してください。

- ☑ ワークフロー ステップ**治療**は、展開させておきます。

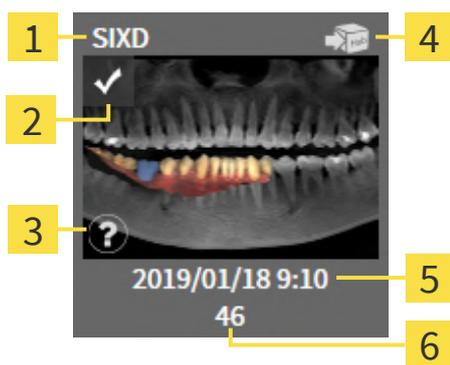


1. 開いた計画をCERECガイド用にエクスポートするには、ワークフローステップ**治療**で**CEREC Guide用にエクスポート**をクリックします。

- ▶ SICAT Implant は光学印象及びスリーブシステムに関してエクスポート前提条件が満たされているかを確認します。前提条件が満たされていない場合は対応する処置指示を記載した注意が出ます。この処置指示に従って進めてください。全前提条件が満たされている場合は、次のウィンドウが出ます。



- 患者データを確認し、必要な場合に**匿名にする**ボタンをクリックしてエクスポート用に匿名処理します。
- エクスポートする光学印象を選択し、確認してください。エクスポートの際SIXDフォーマットの光学的投影に基づいて1つのCAD/CAMケースがSIXDフォーマットで選択されていることを確認してください。Hubアイコンは対応するCAD/CAMケースをHubに送ることが可能なことを表します。



- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1 データフォーマット | 4 Hubアイコン |
| 2 オプションチェックボックス | 5 インポート日とインポート時間 |
| 3 撮影日と撮影システムを記載した情報ウィンドウ | 6 修復 |

4. 計画を確認してください。エクスポートが正しい計画に基づいたものであることとエクスポートするインプラントが「グレイアウト」されていること、インプラント、スリーブ、スリーブの全位置が正しいことを特に確認してください。
 - ▶ 1つのインプラントに関してエクスポートのための全条件が満たされていないと、SICAT Implantがインプラント位置の前に警告アイコン  を表示してそのことを注意します。マウスポインターを警告アイコン  の上に置くと、対応する注記が出ます。エクスポートの前提条件は次の場合は満たされていません。
 - インプラント位置が選択された光学印象の一つによってカバーされていない場合。
 - CERECガイド3ワークフローでインプラントとスリーブシステムが互換でない場合。
 - CERECガイド2ワークフローでスリーブ位置が未計画だった場合。
 安全距離より近い場合。
 この場合は別の光学印象を選択またはエクスポートを中断し、問題を解決します。安全距離より近ければ、**確認**エリアで問題を把握しつつもエクスポートすることは可能なことも指定できます。
5. **Hubへ送る**：Hubに送信をクリックします。HubからこれらのデータをCERECソフトウェアのバージョン5.1以降からはダウンロードできます。
6. **ファイルにエクスポート**：ファイルにエクスポートをクリックし、バージョン5.1以降のCERECソフトウェアからインポート可能なデータをファイルからCMG.DXDフォーマットでエクスポートするターゲットディレクトリを選択します。
 - ▶ エクスポート後にSICAT Implantはエクスポートした計画のコピーを「完結」状態で作成します。エクスポートした計画を後で検討できます。

Hubに送信ボタンはSICAT SuiteがHubと結合され、Hubのライセンスが有効なとき表示されます。

Hubに送信ボタンは特に次の前提が成立しているときに有効です。



- CAD/CAM症例を事前にHubからダウンロードした。
- CAD/CAM事例のワークフローステータスが適していること。
- CAD/CAM事例を含む計画が別の計画の複製ではないこと。
- CAD/CAM事例は別のSICATアプリケーションによって適用されなかったこと。

39.2 CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフォーマットでエクスポートする

エクスポートの基本条件

- ☑ 「CEREC ガイド エクスポート」 ライセンスが有効なこと。詳細はライセンスを参照してください。
- ☑ インプラントのSSISIXDフォーマットでインポートして登録済みであること。詳細は光学印象 [▶ ページ 208]を参照してください。
- ☑ インプラントは計画済みであること。詳細はインプラントの計画 [▶ ページ 229]を参照してください。
- ☑ ドリルテンプレートに「CEREC ガイド」、スリーブシステムに「Dentsply Sirona - CEREC ガイドドリルキー」を選択し、各インプラントについてスリーブモデルとスリーブ位置D2をCEREC規定に従って計画してあること。詳細はスリーブの計画 [▶ ページ 251]を参照してください。

注記：

CERECガイドの取扱説明書を参照し、CERECガイド用スリーブモデル及びスリーブ位置D2の計画用詳細説明を把握してください。

- ☑ ワークフロー ステップ治療は、展開させておきます。



1. 開いた計画をCERECガイド用にエクスポートするには、ワークフローステップ治療でCEREC Guide用にエクスポートをクリックします。

- ▶ SICAT Implant は光学印象及びスリーブシステムに関してエクスポート前提条件が満たされているかを確認します。前提条件が満たされていない場合は対応する処置指示を記載した注意が出ます。この処置指示に従って進めてください。全前提条件が満たされていれば、次のウィンドウが出ます。

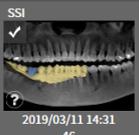
CEREC Guide用にエクスポート
⊖ ⊞

患者

姓 Frances
名 Jordan
誕生日 1963/09/27
患者 ID 69474173
3D X線撮影画像 2015/09/16 15:45

匿名にする

光学印象



SSI
2019/03/11 14:31
46

CEREC Guide用にエクスポート

1. 患者データを確認してください。必要に応じて患者データを匿名化します。
2. エクスポートする光学印象を選択し、確認してください。
⚠ 現在選択中の光学印象のみエクスポートします。選択中の光学印象が計画したすべてのインプラント位置をカバーすることを確認してください。
3. 計画を確認してください。
⚠ エクスポートが正しい計画に基づいていることを確認してください。
スリーブとスリーブ位置を計画どおり正確に実行します。
4. 要件を確認してください。
5. 「ファイルにエクスポート」をクリックしてください。

治療計画

氏名 Plan 17.01.2019 16:51
スリーブシステム Dentsply Sirona - CEREC Guide Drill Keys

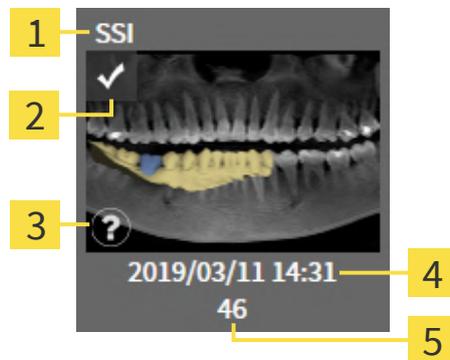
#	位置	メーカー	インプラントシリーズ	プラットフォーム	Ø [mm]	L [mm]	製品番号	スリーブ	D2 [mm]
1	46	Dentsply Sirona	AT OS TX S	● LARGE	5	11	24972	Drill Key L	21

確認

私は、「ファイルにエクスポート」をクリックすることで、プランが正しく、手術に適していることを確認します。

📁 ファイルにエクスポート
⊗ 中止する

2. 患者データを確認し、必要な場合に**匿名にする**ボタンをクリックしてエクスポート用に匿名処理します。
3. エクスポートする光学印象を選択し、確認してください。エクスポートの際、SSIフォーマットで光学的投影に基づいて1つまたは複数のCAD/CAMケースがSSIフォーマットで選択されていることを確認してください。



- | | | | |
|----------|----------------------------|----------|----------------|
| 1 | データフォーマット | 4 | インポート日とインポート時間 |
| 2 | オプションチェックボックス | 5 | 修復 |
| 3 | 撮影日と撮影システムを記載した情報
ウィンドウ | | |

4. 計画を確認してください。エクスポートが正しい計画に基づいたものであることとエクスポートするインプラントが「グレーアウト」されていること、インプラント、スリーブ、スリーブの全位置が正しいことを特に確認してください。

▶ 1つのインプラントに関してエクスポートのための全条件が満たされていないと、SICAT Implantがインプラント位置の前に警告アイコン▲を表示してそのことを注意します。マウスポインターを警告アイコン▲の上に置くと、対応する注記が出ます。

エクスポートの前提条件は次の場合は満たされていません。

- インプラント位置が選択された光学印象の一つによってカバーされていない場合。
- スリーブ位置が未計画な場合。

安全距離より近い場合。

この場合は別の光学印象を選択するかエクスポートを中断し、問題を解決します。安全距離より近ければ、**確認**エリアで問題を把握しつつもエクスポートすることは可能なことも指定できます。

5. **ファイルにエクスポート**をクリックし、CERECソフトウェアまたはinLabソフトウェアからインポート可能なデータをファイルからCMG.DXDフォーマットでエクスポートするターゲットディレクトリを選択します。

▶ エクスポート後にSICAT Implantはエクスポートした計画のコピーを「完結」状態で作成します。エクスポートした計画を後で検討できます。

40 計画レポートの作成



注意

計画レポートは文書化専用です。計画レポートを診断や処置計画に使用すると誤診や処置違いにつながる可能性があります。

診断と治療計画のためにはSICAT Implantのビューのみご使用ください。
これは医療画像データの表示専用です。

インプラント計画は計画レポートとして文書化できます。

SICATドリルテンプレートをご注文の場合、ドリルテンプレートレポートをオペのためにご報告します。CERECガイドをご利用の場合、計画レポートはドリルテンプレートレポートとしてもオペ用にご利用可能です。

計画レポートには全インプラントが記載された概要ページを含むほかインプラント毎の明細ページにインプラントの詳細情報が記載されています。計画レポートはPDFファイルに保存または印刷できます。

「計画レポートの作成」のウィンドウを開く

- インプラントは計画済みであること。詳細はインプラントの計画 [▶ ページ 229]を参照してください。
- ワークフロー ステップ治療は、展開させておきます。



- 開いた計画について計画レポートを作成するには、ワークフローステップ治療で計画レポートの作成をクリックします。

▶ 計画レポートの作成のウィンドウが開きます。



1 内容エリア

3 グローバル設定エリア

2 ページナビゲーション

4 プレビュー

5 結果エリア



両顎インプラント計画

上下の顎にインプラントを計画した場合、SICAT Implantに顎選択ウィンドウが表示され、次に計画レポートの作成ウィンドウが出ます。計画レポートを作成したい顎を選びます。

計画レポート設定の変更

1. **グローバル設定エリア**で希望の用紙サイズのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantが選択した設定に対応して用紙サイズを変更します。
2. **患者情報の匿名化**のチェックボックスを有効または無効にします。
 - ▶ SICAT Implantが、選択した設定に応じて実際の患者情報または匿名化された患者情報を計画レポート上に表示します。

計画レポートをPDFファイルに保存



1. **結果エリア**で、PDFエクスポートのボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
2. 計画レポートの保存先ディレクトリに移ってください。

3. **ファイル名**欄に名前を入力し、**保存**をクリックします。

▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが閉じます。

▶ SICAT Implantは計画レポートをPDFファイルに保存します。



SICAT ImplantはPDFファイルも暗号化して患者ファイルに保存します。

計画レポートの印刷



適切な品質の計画レポートには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。これに関する情報はシステム要件 [▶ ページ 11]を参照してください。



1. **印刷する**のボタンをクリックします。

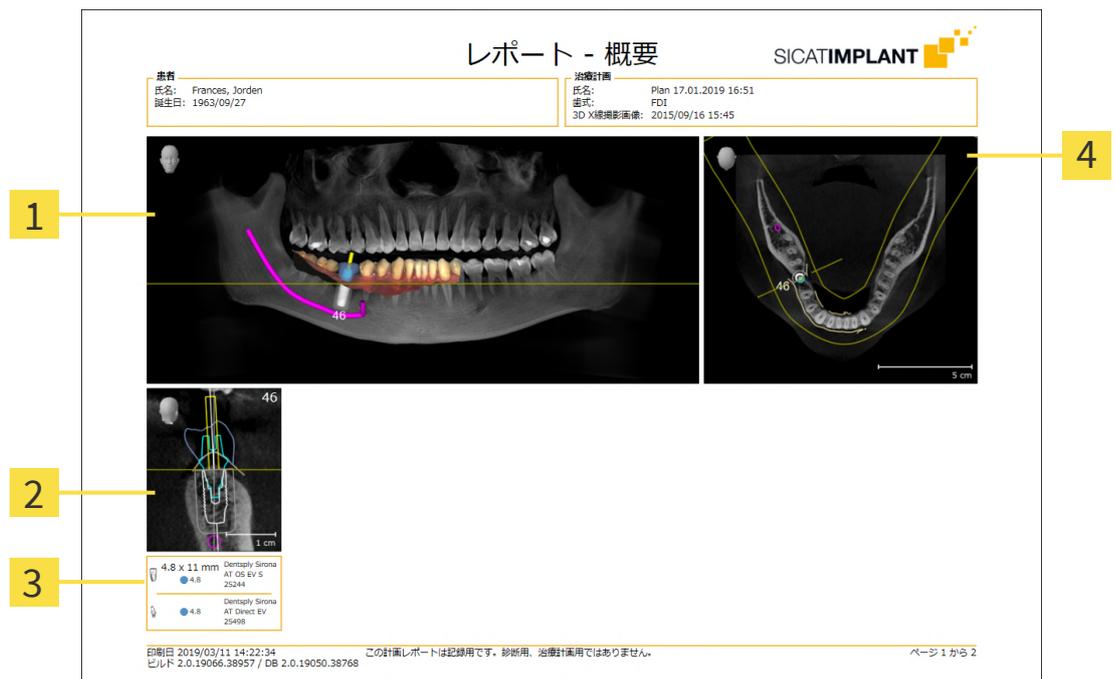
▶ **印刷する**のウィンドウが開きます。

2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。

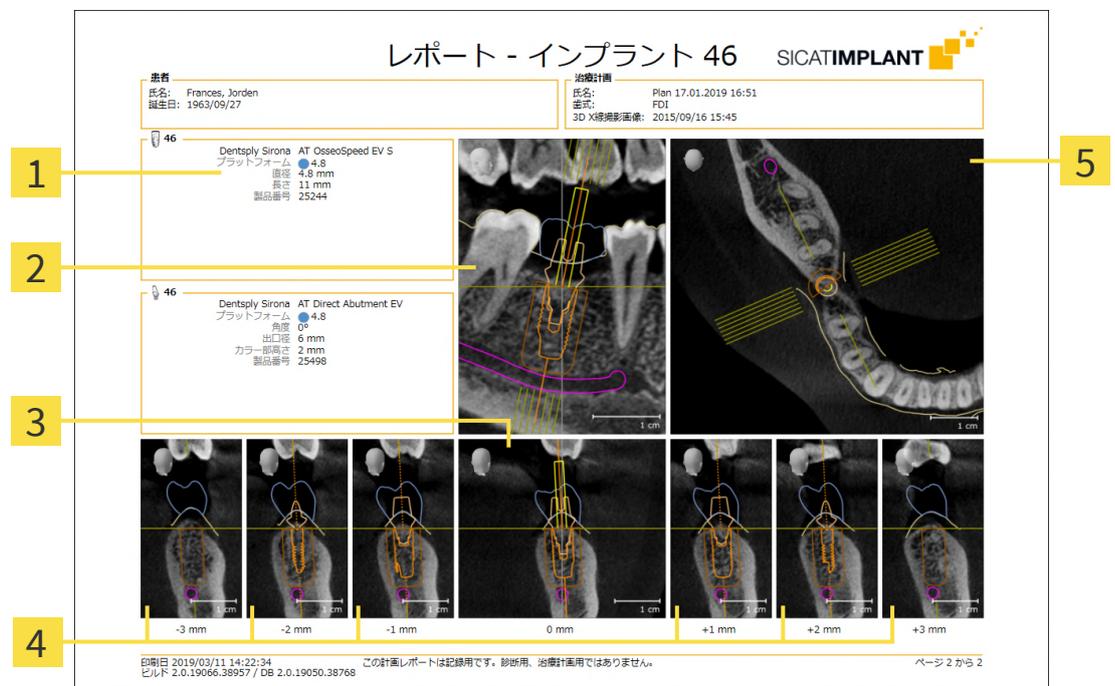
3. **印刷する**をクリックします。

▶ SICAT Implantはプリンターに計画レポートを送信します。

計画レポートの説明



- 1 パノラマビュー
- 3 インプラント毎の寸法とモデル情報
- 2 インプラント毎のインプラントアライン済ビュー 横断
- 4 軸方向ビュー



- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1 寸法とモデル情報 | 4 ビュー 横断と平行なビュー |
| 2 インプラントアライン済ビュー縦 | 5 軸方向ビュー |
| 3 インプラントアライン済ビュー横断 | |



オブジェクトの表示

インプラントは計画レポートでは常時表示されます。スリーブは計画レポートでは、SICATドリルテンプレートとともに入手されるスリーブ情報はSICATドリルテンプレートレポートでは主要な要素なのでSICATドリルテンプレートに対しては表示されません。その他の全オブジェクトは計画レポートの作成時にSICAT Implantに表示されている限り、計画レポートに表示されます。

41 データエクスポート

データをエクスポートすることができます。

現在開いている患者ファイルのスタディをエクスポートすることができます。

SICAT Suiteは以下のデータをエクスポートすることができます。

- 患者ファイル (DICOM)
- 3Dスタディ
- 文書

エクスポートしたデータには次の要素が含まれています。

データタイプ	エクスポートフォーマット
3D撮影画像	DICOM
3Dスタディ	SICAT所有者
文書	PDF

SICAT Suiteでは、3D X線撮影画像とスタディのエクスポートにあたって、ZIP形式の圧縮ファイルか、または、DICOMディレクトリのいずれかを利用します。必要な場合、SICAT Suiteは患者ファイルをエクスポートのために匿名化することができます。

PDF

文書をエクスポートするには、**3D撮影図と計画プロジェクト**エリアの文書を選択し、**データを共有する**のボタンをクリックします。その後、Windows ファイルエクスプローラーウィンドウが開き、エクスポート先のディレクトリを選択することができます。その後、デフォルトのPDFビューアでドキュメントを表示できます。

データをエクスポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- **データを共有する**ウィンドウを開く。これに関する情報は「データの転送」ウィンドウを開く [▶ ページ 288]を参照してください。
- 希望のデータをエクスポートします。これに関する情報は**データのエクスポート** [▶ ページ 289]を参照してください。

41.1 「データの転送」ウィンドウを開く

データをエクスポートするにはまず**データを共有する**ウィンドウを開く必要があります。

データを共有するウィンドウを開くには、次のいずれかの操作を行います。



- 患者ファイルが現在計画のために開いている場合は、**ナビゲーションバーのデータを共有するアイコン**をクリックします。
 - ▶ **データを共有する**のウィンドウが開きます。
- **患者ファイルの概要**ウィンドウで患者ファイルを選択し、選択した患者ファイルを転送する**データを共有する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **データを共有する**のウィンドウが開きます。
- **患者ファイルの概要**ウィンドウで3D X線撮影図、スタディまたは計画プロジェクトを選択し、**データを共有する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **データを共有する**のウィンドウが開きます。



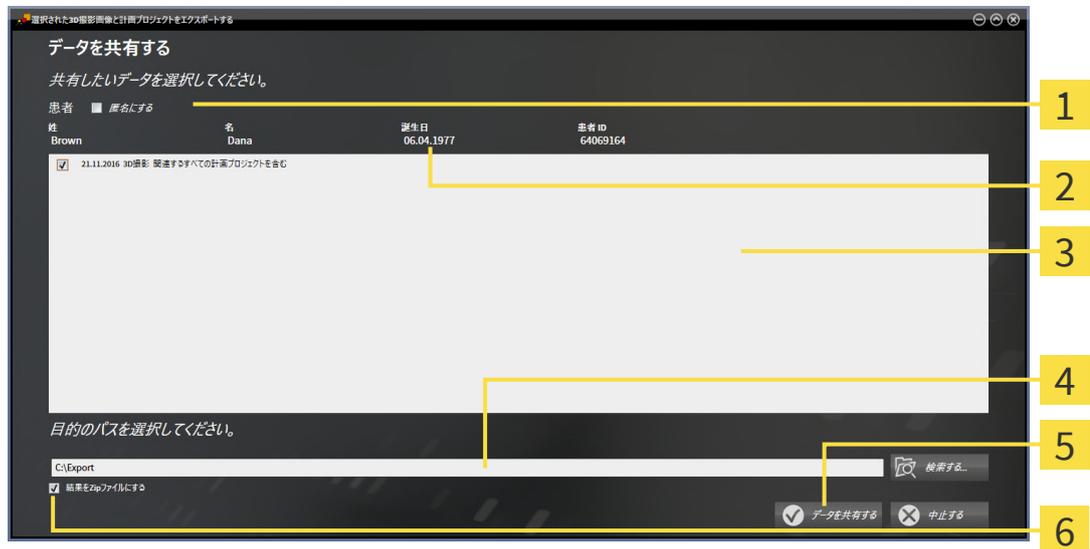
SICAT Suiteは、選択した患者ファイルの3D X線撮影画像と計画プロジェクトのみをエクスポートします。

データのエクスポート [▶ ページ 289]で続行してください。

41.2 データのエクスポート

3D治療計画スタディをエクスポートするには、次の手順で行います。

- ☑ **データを共有する**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「データの転送」ウィンドウを開く [▶ ページ 288]を参照してください。



1 匿名にするのチェックボックス

2 患者ファイルの特性

3 3Dスタディのリスト

4 目的のパスを選択してください。欄

5 データを共有するのボタン

6 結果をZipファイルにするのチェックボックス

- 希望する場合、**データを共有する**ウインドウでの**匿名にする**チェックボックスにチェックを入れます。

▶ エクスポートした患者ファイルの特性は、**患者（姓）**、**匿名（名）**、1月1日（誕生日が誕生年月）に変わります。患者データバンク内の患者ファイルの特性は変更されません。

- 希望の患者の任意の3Dスタディが選択されていることを確認してください。



- 検索する**のボタンをクリックします。

▶ **フォルダを検索する**のウィンドウが開きます。

- フォルダを検索する**ウインドウでエクスポート先フォルダを選択し、**OK**をクリックします。

▶ **フォルダを検索する**ウインドウが閉じ、SICAT Suiteが任意のフォルダへのパスを**目的のパス**を選択してください。欄に転記します。

- 結果をZipファイルにする**チェックボックスを有効または無効にします。



6. データを共有するのボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteは選択したスタディをZIP形式の圧縮ファイルか、または、選択したフォルダにエクスポートします。エクスポートの間、患者ファイルはロックされます。

ZIP形式の圧縮ファイルとフォルダの両者いずれにおいても、それぞれで保存されるのは、DICOM形式の3D X線撮影画像、および、ファイル形式がプロプライエタリ・フォーマットの治療計画データです。3D X線撮影画像は、すべてのDICOMビューワで確認できますが、治療計画データは、SICATの各種アプリケーションのうち、そのデータが関係するものを使用します。

42 設定

設定ウィンドウで一般設定を変更または閲覧することができます。設定アイコンをクリックすると、設定ウィンドウの左側のページにあるオプションバーに次のタブが表示されます。

- **一般** - これに関する情報は一般設定の使用 [▶ ページ 292]を参照してください。
- **患者データバンク** - 患者データベースへの接続を設定することができます。これに関する情報は患者データバンク [▶ ページ 79]を参照してください。
- **ライセンス** - これに関する情報はライセンス [▶ ページ 67]を参照してください。
- **プラクティス** - クリニックのロゴおよび情報テキストを表示または変更します (例えば、プリントアウトして使用するため)。これに関する情報は歯科医院情報の使用 [▶ ページ 296]を参照してください。
- **SIDEXIS 4** - が該当するのは、SIDEXIS 4がシステムにインストールされている場合のみです。
- **Hub** - Hubの使用を有効または無効にします。これに関する情報はHubの使用を有効または無効にする [▶ ページ 297]を参照してください。
- **可視化** - ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。これに関する情報は可視化設定の変更 [▶ ページ 299]を参照してください。
- **SICAT Implant** - アプリケーション固有のSICAT Implant設定内容を変更します。これに関する情報はSICAT Implant設定の変更 [▶ ページ 301]を参照してください。

設定を変更した場合、SICAT Implantが変更をすぐに反映し、お客様のユーザープロフィールに設定を保存します。

42.1 一般設定の使用

一般的な設定内容を開くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



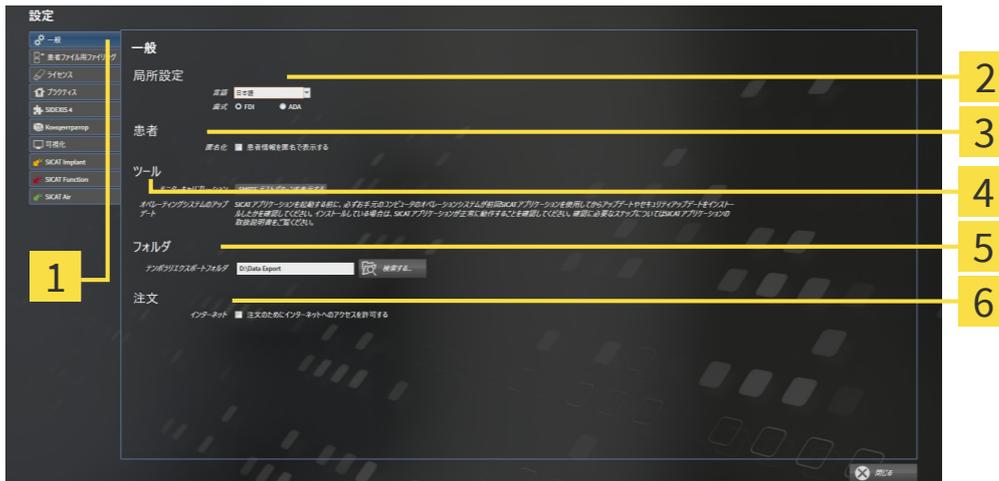
1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **一般**タブをクリックします。

▶ **一般**のウィンドウが開きます。



1 一般のタブ

4 ツールエリア

2 局所設定エリア

5 ディレクトリエリア

3 患者エリア

6 注文エリア

以下の設定を変更することができます。

- **局所設定**エリアでは、**言語**リストからユーザーインターフェースの言語を変更することができます。
- **局所設定**エリアでは、**歯式**で現在の歯型図を変更できます。
- **患者**エリアでは、**患者情報を匿名で表示する**のチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。チェックボックスが選択されている場合、SICAT Suiteでは患者ファイルの属性はナビゲーションバーに**患者は姓、匿名は名、および誕生日では01.01.**と誕生日で表示されます。SICAT Suiteホームウィンドウで、SICAT Suiteは**最後の患者ファイルリスト**を表示しません。
- **ディレクトリ**エリアでは、**テンポラリ エクスポート ディレクトリ**欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスでなくてはなりません。
- **注文**エリアでは、**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**のチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。このボックスがチェックされていると、SICAT Suiteはインターネットに接続して注文します。

一般設定の表示または変更の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- ツール、モニターキャリブレーションでSMPTEテストパターンを表示するのボタンをクリックして、モニターをキャリブレーションします。これに関する情報はSMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション [▶ ページ 294]を参照してください。



対応している歯型図はFDIとADAです。

42.2 SMPTEテスト画像によるモニターのカリブレーション



注意

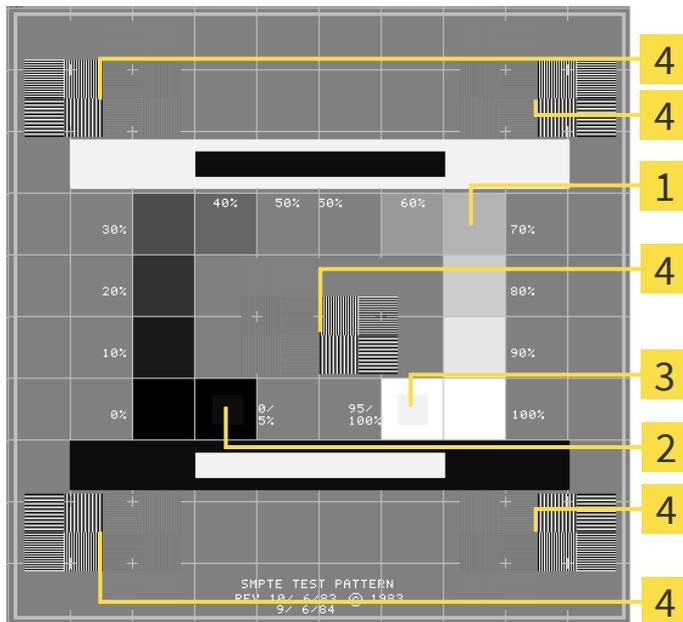
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



1 グレースケールスクエア

3 100%スクエア

2 0%スクエア

4 高コントラストのバーパターンが含まれるスクエア

輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0%～5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95%～100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- SMPTEテスト画像はすでに開いています。
- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。



多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- **ESC**ボタンを押します。
- ▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

42.3 歯科医院情報の使用

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。



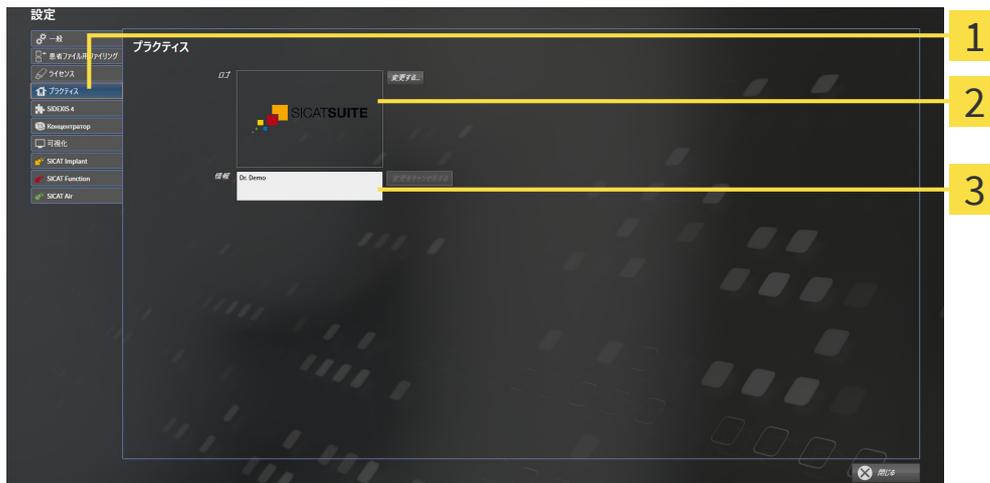
1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **プラクティスタブ**をクリックします。

▶ **プラクティス**のウィンドウが開きます。



1 プラクティスのタブ

2 ログエリア

3 情報エリア

以下の設定を変更することができます。

- **ロゴエリア**では、歯科医院のロゴを設定することができます。**変更する**ボタンで歯科医院のロゴを選択することができます。SICAT Suiteは指定のファイルをSICAT Suiteユーザーディレクトリにコピーします。
- **情報エリア**では、歯科医院を識別するテキスト（名前、住所など）を入力することができます。**Enter**ボタンを押して、行数を最大5行まで増やすことができます。**変更をキャンセルする**ボタンをクリックして、情報テキストの変更を元に戻すことができます。

42.4 HUBの使用を有効または無効にする

設定ではHubの使用を有効または無効にして接続設定を確認します。デフォルトでは、Hubの使用は無効になっています。

HUBの使用を有効にする

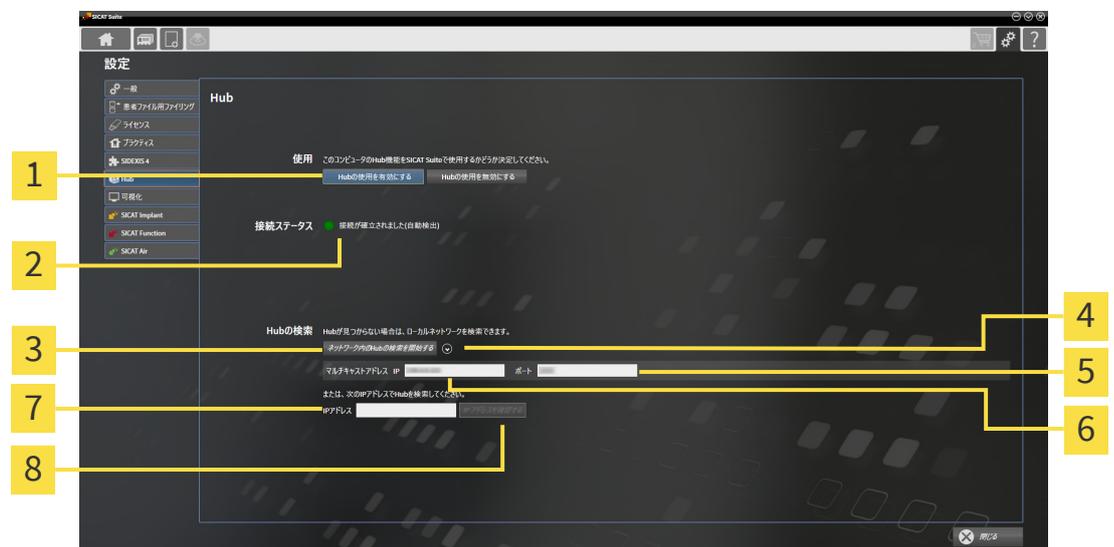
- ☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報はライセンス [▶ ページ 67] を参照してください。



1. ナビゲーションバーで、設定のアイコンをクリックします。
▶ 設定のウィンドウが開きます。



2. Hubのタブをクリックします。
▶ Hubウィンドウが開きます。



1 Hubの使用を有効にするおよびHubの使用を無効にする

5 ポート入力欄

2 接続状況

6 マルチキャストアドレス入力欄 IP

3 ネットワーク内のHubの検索を開始するのボタン

7 IPアドレス入力欄

4 表示および非表示する

8 IPアドレスを確認するのボタン

3. Hubの使用を有効にするのボタンをクリックします。

- ▶ SICAT SuiteはHubへの接続を試みます。
- ▶ 接続状況の他に緑色のアイコンが表示されている場合、SICAT SuiteはHubへの接続を確立できています。
- ▶ 接続状況の他に赤いアイコンが表示されている場合、SICAT SuiteはHubへの接続を確立できませんでした。

4. SICAT SuiteがHubに接続できなかった場合は、ここに表示されているものとは別のマルチキャストアドレスがHubに設定されているかどうかを確認してください。
ネットワーク内のHubの検索を開始するのボタンの横にあるのアイコンをクリックします。
 - **マルチキャストアドレスフィールド**にHubに設定されているマルチキャストアドレスを入力します。デフォルトでは、マルチキャストアドレスは239.0.0.222です。
 - **ポートフィールド**にHubに設定されているポートを入力します。デフォルトでは、ポートは2222です。
 - **ネットワーク内のHubの検索を開始する**のボタンをクリックします。SICAT SuiteがHubを見つけると、緑色のアイコンが表示され、そのHubを使用できるようになります。
5. SICAT Suiteがマルチキャストアドレス経由でHubに接続できなかった場合は、HubのIPアドレスを直接入力して接続してみてください。
 - **IPアドレスフィールド**にHubのIPアドレスを入力して**IPアドレスを確認する**ボタンをクリックします。SICAT Suiteが指定のIPアドレスでHubを見つけた場合は、そのHubを使用できます。
6. SICAT SuiteがHubのマルチキャストアドレスまたはIPアドレスを介してHubに接続できなかった場合は、Hubのサポートに連絡してください。

HUBの使用を無効にする



1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。



2. **設定**ウィンドウで**Hub**をクリックします。
 - ▶ **Hub**ウィンドウが開きます。
3. **Hubの使用を無効にする**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT SuiteはHubの使用を無効にします。

42.5 可視化設定の変更



表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

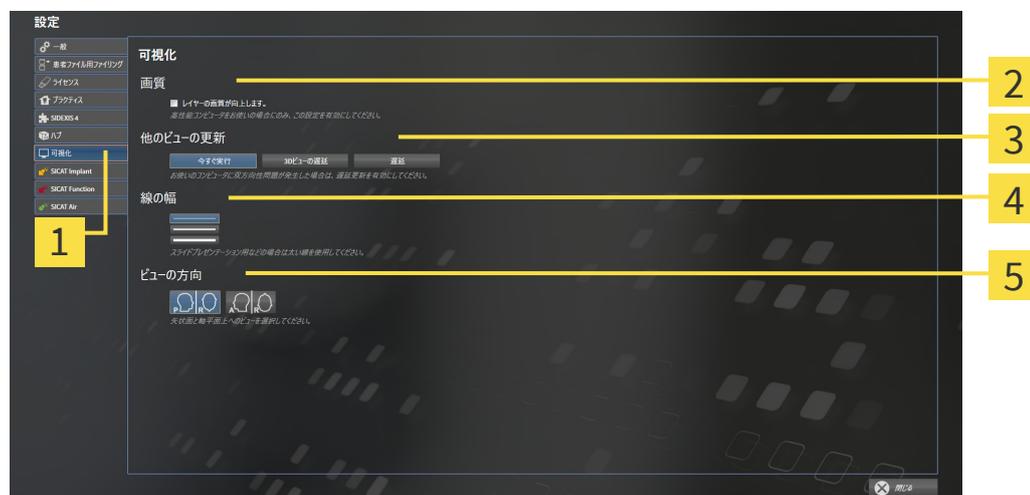
可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



1. 設定のアイコンをクリックします。
▶ 設定のウィンドウが開きます。



2. 可視化タブをクリックします。
▶ 可視化のウィンドウが開きます。



- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 タブ 可視化 | 4 エリア 線の太さ |
| 2 エリア 画質 | 5 エリア 目線 |
| 3 エリア 他のビューの更新 | |

設定：

- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** - 軸方向レイヤービューと矢状方向レイヤービューの目線を切り替えます。

42.6 SICAT IMPLANT設定の変更

以下のSICAT Implant設定を変更することができます。

- **優先インプラントシリーズ** - これに関する情報は**優先インプラントシリーズの指定** [▶ ページ 302]を参照してください。
- **安全領域** - これに関する情報は**安全範囲の設定** [▶ ページ 304]を参照してください。
- **孔** - これに関する情報は**孔の設定** [▶ ページ 305]を参照してください。

42.6.1 優先インプラントシリーズの指定

SICAT Implantデータベースから選ぶ同じインプラントシリーズをお気に入りに設定して治療に使用できます。インプラントの計画時に、お気に入りに設定したインプラントシリーズを絞って提案されます。



1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。

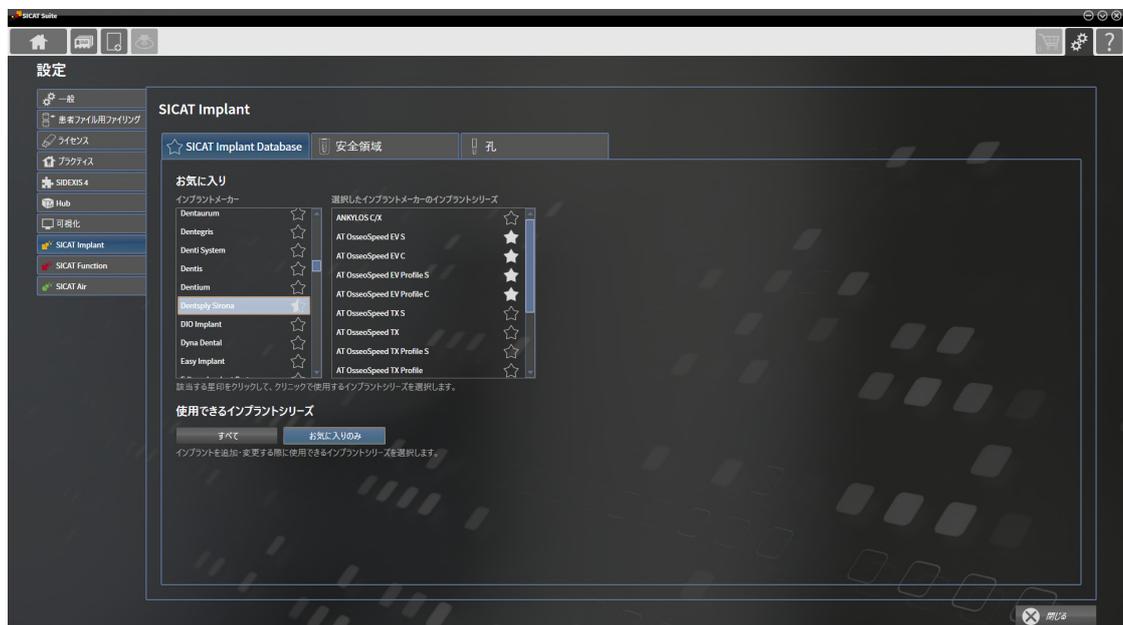


2. SICAT Implantのタブをクリックします。

▶ SICAT Implantのウィンドウが開きます。

3. SICAT Implantデータベースタブをクリックします。

▶ SICAT Implantデータベースページが開きます。



4. 左リストにある治療に使用したい最初のインプラントメーカーをクリックします。

▶ SICAT Implant の右リストに選択されたインプラントメーカーの全インプラントシリーズが出ます。

5. 選択されたメーカーの全インプラントシリーズをお気に入りに選択：アイコンが現れるまでメーカー横のアイコンをクリックします。

6. 選択されたメーカーの全インプラントシリーズをお気に入りから選択解除：アイコンが現れるまでメーカー横のアイコンをクリックします。

7. 選択されたメーカーの一部のインプラントシリーズをお気に入りに選択：アイコンが現れるまでインプラントシリーズ横のアイコンをクリックします。

8. 選択されたメーカーの一部のインプラントシリーズをお気に入りから選択解除：アイコンが現れるまでインプラントシリーズ横のアイコンをクリックします。

9. 左リストにあるクリニックでご利用の次のインプラントメーカーをクリックし、ステップ6に進んでください。
10. 閉じるをクリックします。



全てのインプラントシリーズまたはお気に入りのみを対象とする
インプラント計画ではお気に入りではなく利用可能な全てのインプラントシリーズを検討したい場合、**使用できるインプラントシリーズ**のページでボタン**すべて**をクリックします。

ご自分のインプラント計画ではお気に入りのみ表示させるには、**お気に入りのみ**ボタンをクリックします。

42.6.2 安全範囲の設定

インプラント周囲の安全範囲寸法は調整できます。安全範囲を新規プランニングの際に表示させるかも設定できます。安全範囲について詳しくは[安全範囲の非表示/表示](#) [▶ ページ 241]を参照してください。



1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. SICAT Implantのタブをクリックします。

▶ SICAT Implantのウィンドウが開きます。

3. **安全領域**のタブをクリックします。

▶ **安全領域**のページが表示されます。



4. **安全範囲の寸法設定**：横方向の**最小距離**欄と先端からの**最小距離**欄に距離を直接入力するか、矢印キーで距離を調節します。



5. **新規プランの際の安全範囲の非表示**新しい計画の見え方に関する事前設定で、**安全領域を非表示**にするボタンをクリックします。



6. **新規プランの際の安全範囲の表示**：新しい計画の見え方に関する事前設定で、**安全領域の表示**ボタンをクリックします。

7. **閉じる**をクリックします。



プランニング中に安全範囲を非表示/表示可能です。これに関する詳細は、[安全範囲の非表示/表示](#) [▶ ページ 241]をご覧ください。

42.6.3 孔の設定

パイロットドリル孔の直径及び孔の長さを自分で調節できます。さらに、新規計画でパイロットドリル孔, インプラント孔を表示または孔を表示しないかを設定できます。これについて詳しくは孔の非表示/表示 [▶ ページ 242]を参照してください。



1. ナビゲーションバーで、設定のアイコンをクリックします。

▶ 設定のウィンドウが開きます。

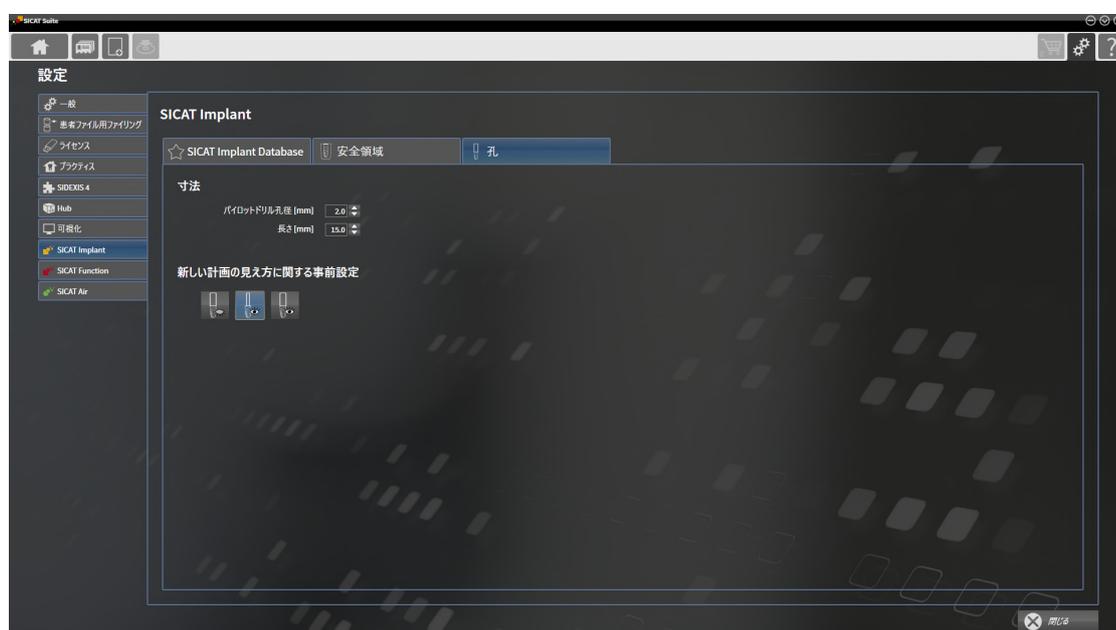


2. SICAT Implantのタブをクリックします。

▶ SICAT Implantのウィンドウが開きます。

3. 孔のタブをクリックします。

▶ 孔のページが表示されます。



4. 孔の寸法設定：パイロットドリル孔径欄と長さ欄に値を直接入力するか、矢印キーで値を調節します。



5. 新規計画の際始めに孔を非表示: 新しい計画の見え方に関する事前設定で、孔を表示しないボタンをクリックします。



6. 新規計画の際のパイロットドリル孔の表示：新しい計画の見え方に関する事前設定で、パイロットドリル孔の表示ボタンをクリックします。



7. 新規計画の際のインプラント孔の表示：新しい計画の見え方に関する事前設定で、インプラント孔を表示ボタンをクリックします。

8. 閉じるをクリックします。

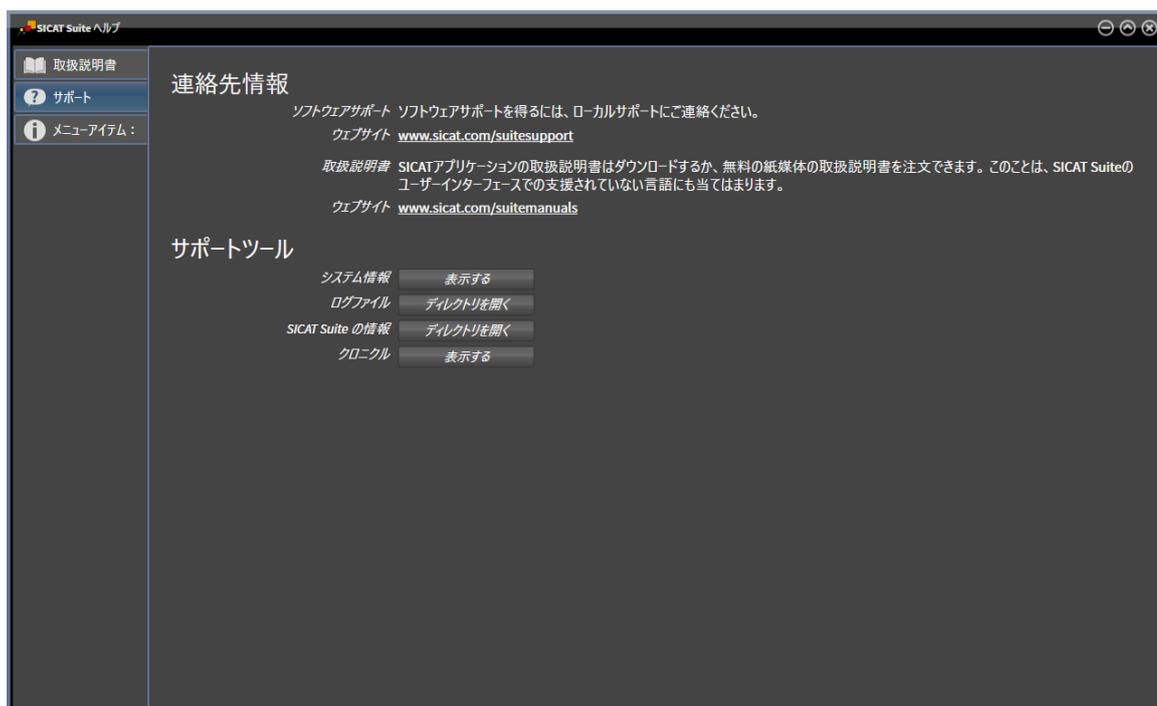


計画中に孔を非表示/表示可能です。これに関する詳細は、*孔の非表示/表示*
[▶ ページ 242]をご覧ください。

43 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- PDFドキュメント
 - 連絡先情報
 - SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内
- 以下の操作で、処理を続けてください。
- サポート態勢のページを開く [▶ ページ 308]



43.1 サポート態勢のページを開く



サポートウィンドウは、サポートのアイコンをナビゲーションバーでクリック、またはF1のボタンを押すことによって開くことができます。

SICAT Suiteサポートウィンドウは次のタブで構成されます。



- **取扱説明書** - これに関する情報は**取扱説明書を開く** [▶ ページ 66]を参照してください。



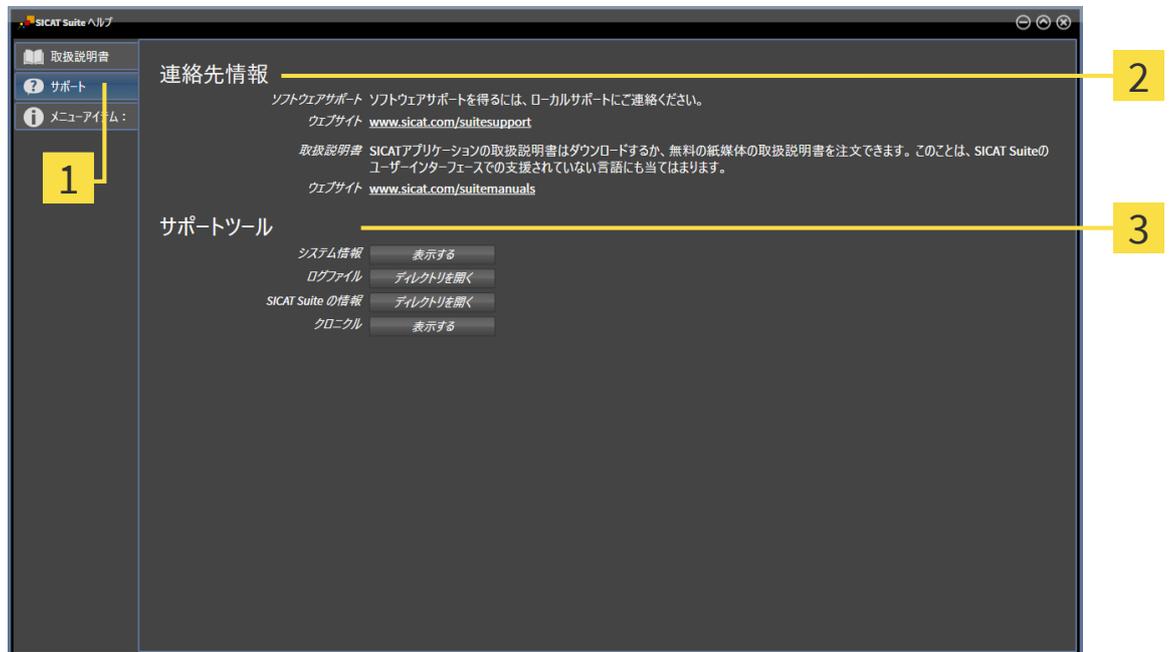
- **サポート** - これに関する情報は**連絡先情報およびサポートツール** [▶ ページ 309]を参照してください。



- **メニューアイテム**： - これに関する情報は**インフォメーション**を参照してください。

43.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウィンドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。



1 サポートのタブ

3 サポートツールエリア

2 連絡先情報エリア

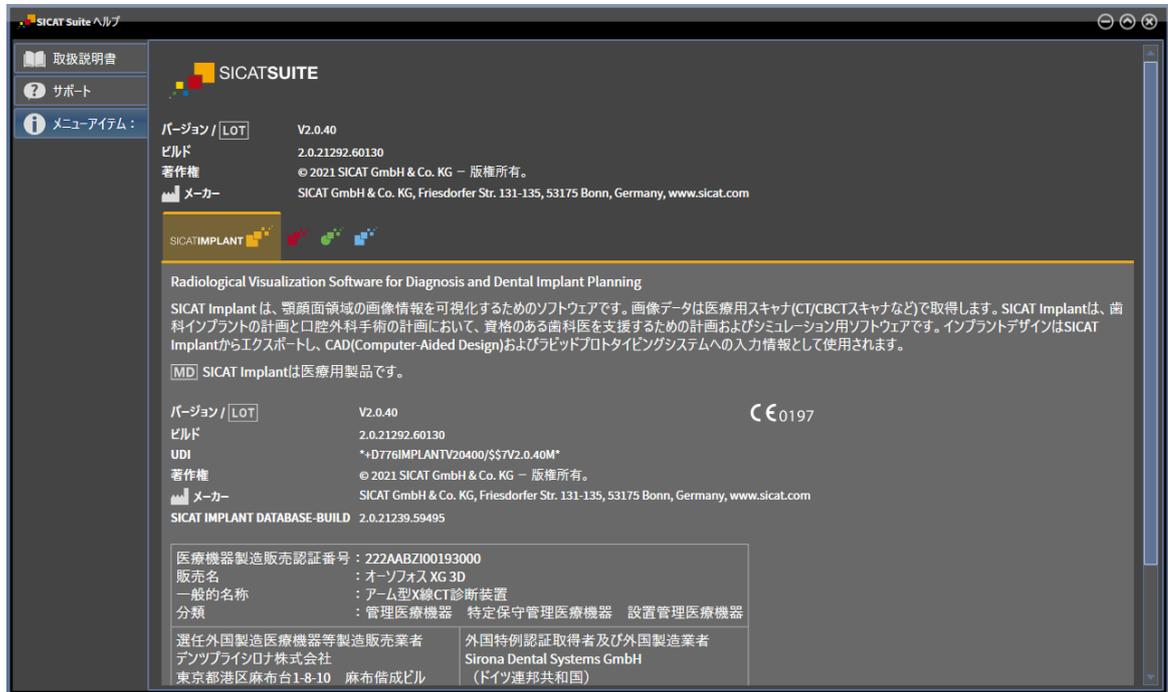
各種の取扱説明書を入手するときのお問い合わせ先は、**連絡先情報**エリアをご覧ください。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Implant では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Implantでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Implant では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。
- **SICAT Suite の情報**エリアでボタン**通知を表示する**をクリックするとSICAT Implantが通知ウィンドウを表示します。

43.3 インフォメーション

メニューアイテム：タブでは、複数のタブにSICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。



44 データを書き込み禁止で開く

データを書き込み禁止で開くことができます。

スタンドアロンバージョンで変更を加えることなく、保存せずに閲覧ができるデータタイプは、ライセンスステータスによって異なります。

SICAT IMPLANTライセンスの種類	変更せずに参照することはできますか？
なし	有、SICATデータ用
ビューア	有
フルバージョン	有、患者記録がロックされている場合

SICAT Implantのフルバージョンライセンスを有効にした場合にのみ、DICOMデータを表示できます。

を参照してください

- ▶ 患者ファイルを扱う [▶ 107]

45 SICAT IMPLANTを終了する

SICAT Implantを閉じるには、次の手順で行います。



- アクティブな患者ファイルエリアで閉じるボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを保存します。
 - ▶ SICAT SuiteはすべてのSICATアプリケーションを閉じます。
 - ▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを閉じます。

46 SICAT SUITEを閉じる



- SICAT Suiteの右上の隅にある閉じるボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteがフルバージョンで作動し、編集権限があり、スタディを開いている場合、全ての計画プロジェクトを保存します。
- ▶ SICAT Suiteが閉じます。

47 ショートカットキー



マウスポインタを特定の機能上に動かすと、SICAT Implantは機能の名称に加えて括弧内にショートカットキーを表示します。

次のショートカットキーはすべてのSICATアプリケーションで使用できます。

ショートカットキー	説明
A	角度測定を追加する
D	距離測定を追加する
F	アクティブなオブジェクトに焦点を合わせる
Ctrl + C	アクティブなビューの内容をクリップボードにコピーする
Ctrl + Z	前回のオブジェクト アクションを元に戻す
Ctrl + Y	前回戻したオブジェクト アクションをもう一度実行する
Del	アクティブなオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除する
ESC	現在の操作を中断する（測定の追加など）
F1	有効なSICATアプリケーションで取扱説明書が開いている場合、サポートウィンドウが開きます。

次のショートカットキーはSICAT Implantに追加で使用できます。

ショートカットキー	説明
E	CEREC Guide用にエクスポート
I	インプラントの追加
N	下顎神経のマーキング
O	SICATドリルテンプレートを注文する
P	アバットメントを(アクティブな)インプラントに追加する
S	スリーブを(アクティブな)インプラントに追加する

48 SICAT IMPLANTデータベースのアンインストール

SICAT Implantデータベースをアンインストールするには、次のように行います。

1. Windowsコントロールパネルで**プログラムおよび機能**をクリックします。
 - ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
2. リストからSICAT Implantのバージョンが含まれる**SICAT Implantデータベース**を選択します。
3. **アンインストール** ボタンをクリックし、確認メッセージで確認してください。
 - ▶ SICAT Implantデータベースアンインストールプログラムが起動します。
 - ▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウィンドウが開きます。
4. **終了する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Implantデータベースのアンインストールプログラムが終了します。



SICAT Implantデータベースのアンインストールプログラムを開くために、SICAT Implant データベースインストールプログラムをSICAT Implantがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。

49 SICAT SUITEのアンインストール



SICAT Suiteアンインストールプログラムは、コンピューターに有効なライセンスを保持します。そのため、SICAT Suiteインストールプログラムはアンインストール前に、ライセンスを自動的に削除しないように警告します。SICAT Suiteを特定のコンピューターで使用するのをやめる場合、アンインストールする前にライセンスを無効にしてください。これに関する情報はワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 75]に記載されています。



アンインストールプログラムは、SICAT WebConnectorを自動的に閉じてしまうため、SICAT Suiteをアンインストールする前に、SICAT WebConnectorがすべての注文を完全にアップロードしているかを確認してください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector* [▶ ページ 270]の節をご覧ください。

SICAT Suiteをアンインストールするには、次のように行います。

☑ SICAT WebConnector はすべての注文を正常にアップロードしました。

1. Windowsコントロールパネルで**プログラムおよび機能**をクリックします。
 - ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
2. リストから、SICAT Suiteのバージョンが含まれる**SICAT Suite**項目を選択します。
3. **アンインストール**ボタンをクリックし、確認メッセージで確認してください。
 - ▶ アンインストールプログラムが起動します。
 - ▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウィンドウが開きます。
4. **終了する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteアンインストールプログラムが閉じます。



SICAT Suiteアンインストールプログラムを開くために、SICAT-SuiteインストールプログラムをSICAT Suiteがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。



SICAT Suiteアンインストールプログラムは、SICAT Suiteと一緒にインストールされたいくつかの前提ソフトウェアのアンインストールプログラムを呼び出します。別のアプリケーションが引き続き前提ソフトウェアを必要としている場合、これらは保持されます。

50 SICAT SUITE患者データベースをアンインストールする

SICAT Suite患者データベースをアンインストールするには、次の手順で行います：

☑ SICAT Suiteは事前にアンインストールされています。

1. Windowsコントロールパネルで**プログラムおよび機能**をクリックします。

▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。

2. リストから**SICAT Suite患者データベース**項目を選択します。この項目には、SICAT Suite患者データベースのバージョン番号が含まれています。

▶ SICAT Suite患者データベースのアンインストールプログラムが起動します。**オプション**のウィンドウが開きます。



3. SICAT Suite患者データベースを完全にアンインストールするには、**完全にアンインストールします**オプション欄を選択するか、**アプリと機能から削除します**オプション欄を選択して、**プログラムおよび機能**にあるSICAT Suite患者データベースの項目のみを削除します。

4. SICAT Suite患者データベースを完全にアンインストールする場合は、患者データを保存したときや不要になったときにこれにより、**私は、患者データバンクのバックアップがあるか患者データバンクが必要とされないことを確認します**。チェックボックスを有効にします。

5. **アンインストール**ボタンをクリックして、プロンプトを確認します。

▶ **進捗状況**のウィンドウが開きます。

- ▶ SICAT Suite患者データベースがアンインストールされます。
 - ▶ アンインストールが完了すると、**要約**のウィンドウが開きます。
6. **終了する**のボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suite患者データベースのアンインストールプログラムが終了します。

51 安全に関する注意事項

3D X線撮影図



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

SICATドリルテンプレートの発注方法



注意

不正計画または不正データに基づく発注が治療ミスの原因となるおそれがあります。

発注が正しい計画に基づくこと、及び注文のために正しいデータを選択し転送しようとしていることを確認してください。

CERECガイド用エクスポート



注意

不正計画またはCERECガイド用不正エクスポートデータに基づくCERECガイド用のエクスポートにより治療ミスの原因となるおそれがあります。

CERECガイド用エクスポートが正しい計画に基づくこと、及び正しいデータをエクスポートのために選択し転送しようとしていることを確認してください。



CERECガイド用エクスポートの際 SICAT Implant は選択した光学印象のみ考慮します。不正に選択された光学印象では治療ミスの原因となるおそれがあります。

1. 正しい光学印象をエクスポートの際CEREC ガイド用に選択してあることを確認してください。
2. 選択された光学印象が全てのインプラント位置をカバーできることを確認してください。



スリーブ位置を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

スリーブをCEREC ガイドの本番作成と処置要に必要な通りに正確にスリーブの位置を決めてください。計画をCEREC ガイド用に処理継続する際、スリーブ位置は計画した通り正確に使用できます。スリーブ位置はエクスポート後CEREC ガイド用にその後の作業プロセスで変更できません。

表示条件



表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

データ管理



患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。



患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。



患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

インプラント計画



処置の基本とする計画は常法とします。こうしておかないと処置ミスにつながるおそれがあります。

計画は処置の基本となる常法であるように作成してあることが必要です。



SICAT Implant Databaseから出力されるインプラント、アバットメント、スリーブはメーカーの詳細に従って表示されます。メーカーの詳細と実寸が異なると処置ミスにつながるおそれがあります。

表示される寸法がインプラント、アバットメント、スリーブの実寸と一致することを綿密に確認してください。



インプラントは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的な表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さや直径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。

メーカーの公称寸法がインプラントの実寸と一致していることを慎重に確認してください。



CAD/CAMデータセットに基づく修復に基づくインプラントの自動位置決め及び向き調整は最初のおおまかな位置決め準備と向きを決めるリハーサルにすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。

自動位置決めされたアライン済インプラントを常に点検してください。必要なら、位置と向きを調整します。



複数のインプラントの自動位置決めは最初のおおまかな位置決め準備にすぎません。治療ミスの原因となるおそれがあります。

自動位置決めされたインプラントを常に点検してください。必要なら、位置を調整します。



距離警告が表示されるのは、2つのインプラント間または1つのインプラントと1つのマークした下顎神経の間の安全距離より近寄ったときのみです。アバットメントまたはスリーブなど別のオブジェクト間の最小距離より近寄っていると治療ミスの原因となるおそれがあります。

オブジェクト間の距離を常に確認してください。



距離警告は必ずしも不正な計画について示すとは限りません。計画が不正だと治療ミスの原因となるおそれがあります。

オブジェクト間の距離を常に確認してください。



SICAT Implantデータベースから抽出したアバットメントは実物に近いデータを読み込めないときは赤い円筒形で表示されます。これらのケースでは円筒の寸法は計画したアバットメントの実寸には対応していません。これでは治療ミスの原因となるおそれがあります。

SICAT Implantデータベースを修復や更新するかジェネリックアバットメントをご使用ください。



スリーブは、現実的データがなかったり読み込まれていない限りSICAT Implantデータベースから模式図的に表示されます。これらの場合には模式図的表示は直径メーカーの名目規定値に従う長さと同径に合わされます。名目寸法の実寸からの偏差があると処置ミスにつながるおそれがあります。

メーカーの公称寸法がスリーブの実寸と一致していることを慎重に確認してください。

ネットワーク



SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

光学印象



3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず正確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。



間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

計画レポート



計画レポートは文書化専用です。計画レポートを診断や処置計画に使用すると誤診や処置違いにつながる可能性があります。

診断と治療計画のためにはSICAT Implantのビューのみご使用ください。これは医療画像データの表示専用です。

計画バリエーション



不正計画は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

正しい計画をエクスポート用を選択するようにしてください。

オペレーターの資格



注意

資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

安全性



注意

情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。



注意

ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

ソフトウェアインストール



注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



SICAT Implantデータベースを変更するとSICAT Implantが仕様通りに機能しなくなる可能性があります。

1. SICAT Implantデータベースに変更を加えないでください。
2. SICAT Implantデータベースのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。



不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。



承認不足の場合、SICAT Implant データベースのインストールまたはアップデートが失敗する場合があります。

SICAT Implant データベースをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な権限があることを確認してください。



OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

52 精度

次の表はすべてのSICATアプリケーションの精度を示しています。

距離測定の精度	< 100 μm
角度測定の精度	< 1度
表示精度	< 20 μm

用語集

3D X線撮影画像

3D X線撮影画像とは容積測定タイプのX線画像のことです。

ADA

American Dental Association（米国歯科医師会）

CAD/CAMデータセット

1つの顎の光学印象または両顎の2つの光学印象と任意の修復を含むCAD/CAMシステムの患者固有のデータセット

CAD/CAM症例

インポートおよび記録されたCAD/CAMデータセットごとに、対応するCAD/CAM症例がオブジェクトブラウザの「光学印象」の下に作成されます。

Clipping

3Dビューでは、ボリュームの一部を一時的に切り取って、残りの部分を調べやすくしたり、ボリューム内の計画オブジェクトの位置を評価しやすくできます。

CMG.DXD

CERECガイドの作成用計画データをエクスポートするためのファイルフォーマット。

FDI

Fédération Dentaire Internationale（国際歯科連盟）

Hub

サーバーとして機能し、ローカルネットワーク上の異なるデバイス間でデータを交換できるようにする外付けストレージ。

SICATポータル

SICATポータルは、SICATにスプリントを注文することのできるインターネットページです。

SIXD

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

SMPTE

Society of Motion Picture and Television Engineers（映画テレビ技術者協会）

SSI

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

STL

Surface Tessellation Language、メッシュデータを交換するための標準ファイルフォーマット（例えば、光学印象を含む）。

アバットメント

インプラントと装具供給間の接続部。

アプリケーション

SICATの各種アプリケーションは、いずれもSICAT Suiteに付属するプログラムです。

インプラント

義歯の固定用に患者の顎に埋め込む人工歯根。

スリーブ

ドリルテンプレートに組み込んだスリーブはお使いの外科機器や場合によってはインプラントをターゲットに対して確実に、計画した位置にガイドしてくれます。

チタンベース

個別の2分割アバットメントの生産用チタンベース。チタンベースは標準アバットメントと同様に計画できます。

ドリルテンプレート

患者別の個別特殊加工。ドリルテンプレートを患者の顎に載せた後、このテンプレートは外科機器と場合によってはインプラントを計画済みの位置に標的に合うようにガイドしてくれます。

ナビゲーションバー

SICAT Suiteの上部にあるナビゲーションバーには、SICAT Suiteの最も重要なアイコンが含まれます。患者ファイルがアクティブになっている場合、ナビゲーションバーを使用して患者ファイルと各種アプリケーション間で切り替えることができます。

フレーム

3Dビューでは、フレームに2Dレイヤービューの位置が表示されます。

患者ファイリング

患者ファイリングには患者ファイルが含まれています。バージョン2.0.20までのSICAT Suiteは、患者ファイリングをローカルファイルシステムまたはネットワークファイルシステム上のフォルダ内に保存します。

患者ファイル

患者ファイルには、特定の患者に属するすべての3D撮影画像および計画プロジェクトが含まれます。SICAT Suiteは、患者ファイルを患者データバンクに保存します。

計画

計画プロジェクトには複数の代替治療計画が含まれます。

計画プロジェクト

計画プロジェクトは、SICATアプリケーションの3D X線撮影画像をベースにした計画データで構成されます。

光学印象

光学印象は、歯、印象材または石膏モデルの3D表面撮影の結果です。

撮影結果

3D治療計画スタディは、3D X線撮影画像と、それに関する治療計画プロジェクトとで構成されます。

修復

修復は光学印象に基づくCAD/CAMシステムにおけるデジタル義歯提案のモデル化の結果です。修復により装具に基づくインプラント計画が可能になります。

十字線

十字線は別のレイヤービューとの交差線です。

通知ウィンドウ

通知ウィンドウとは、完了した手順に関するメッセージを、モニター画面の右下端に表示するものをいいます。

索引

アイコン

ビュー	145	モニターキャリブレーション	294
トリミング部分を移動させる	152	閉じる	313
十字線、フレーム	154	スクリーンショット	
輝度およびコントラスト	150	ビューで作成する	163
最大化と復元	149	ワークスペースを使って作成する	144
スクリーンショットの作成	163	SICAT Implant	
スクロール	153	ユーザーインターフェース	123
ズームング	152	SICAT Implantデータベース	
リセットする	162	アンインストールする	315
アプリケーションを切り替える	65	インストールする	42
ワークスペース		更新する	48
調整する	143	修理する	48
MPR/放射性	141	SICAT Implantデータベースのアンインストール	
パノラマ	139	315	
スクリーンショットの作成	144	SICAT Implantのスタディ	
リセットする	143	スタンドアロン	115
ユーザーインターフェース		SICAT Implantを終了する	312
SICAT Suite	61	SICATポータル	269
このバージョンの特徴	50	SICAT Suite	
注文		ユーザーインターフェース	61
再起動後の自動アップロード	271	閉じる	313
アップロードの中断および続行	271	インストールする	22, 39
SICATポータル	269	開始する	60
CEマーキング	335	更新する	47
データを書き込み禁止で開く	311	修理する	47
データエクスポート	287	SICAT Suite Homeウィンドウ	63
「データの転送」ウィンドウを開く	288	SICAT Suiteの概要	19
データインポート		SICAT Suite患者データベース	
インポート関係の設定内容	98	アンインストールする	317
新規患者ファイルに帰属させる	99	インストールする	30
設定		SICAT Suite患者データベースのアンインストール	
可視化設定の変更	299	317	
Firewallの設定		SICAT WebConnector	270
WebConnector	12	安全に関する情報	14
グレースケール値	187	危険レベル	15
Hub		オペレーター資格	16
使用を有効または無効にする	297	SIXD	208, 277
測定		SMPTEテストパターン	294
距離測定を追加する	203	SSI	208, 280
測定点を移動する	206	STLインポート	217
測定値を移動する	206	サポート	307
概要	202	UDI	335
移動	206	切替	
		アプリケーション	65
		バージョン	

様々な	50	禁忌	8
WebConnector		傾斜	
Firewallの設定	12	ビュー	157
安全領域		計画	
距離警告	243	インポートする	186
設定	304	エクスポートする	183
非表示/表示	241	ブロック	177
横長ビュー		ブロック解除	177
インプラントの回りに回転	159	開く	176
傾斜	157	管理	174
下顎神経		作成	180
マーキング	226	削除する	182
概要	224	切り替える	130
神経直径の変更	228	説明の追加または変更	179
神経点の移動	227	不慮の編集から保護	177
神経点の削除	227	複製	181
神経点の追加	227	名前の変更	178
回す		計画レポート	
ビュー	158	PDFファイルに保存	283
開始する		印刷する	284
SICAT Suite	60	作成	283
患者データバンク	80	検査ウィンドウ	
「患者データバンク」ウィンドウを開く	81	パノラマワークスペースで	138
サーバーへの接続を追加する	85	最大化する	155
ローカル接続を追加する	84	非表示/表示	155
患者ファイリングを転送する	90	言語	19
接続を削除します。	89	光学印象	
接続を追加します	82	CERECガイドのために光学印象に基づいてSIXD	
別の患者データバンクを有効にする	87	フォーマットでエクスポートする	277
患者の対象グループ	8	CERECガイドのために光学印象に基づいてSSIフ	
患者ファイリング	80	ォーマットでエクスポートする	280
転送	90	CERECのスキャンジョブをHubに送信する	214
患者ファイル	103	Hubからダウンロードする	211
「患者ファイル概要」ウインドウを開く	104	STLインポート	217
3D X線撮影画像および計画プロジェクトを削除		インポートルート	208
する	120	インポート形式	208
ブロック	103, 117, 122	カラー表示する	161
ブロック解除	117, 122	ファイルからインポート	215
患者ファイルを扱う	107	概要	208
患者ファイル概要から開く	111	記録と確認	220
検索	106	計画および実施の基礎として	208
更新する	105	他のSICATアプリケーションから再使用する	218
削除	118	孔	
属性を変更する	109	設定	305
適用	90	非表示/表示	242
並び替え分類を行う	106	更新	
編集する	103	SICAT Implantデータベース	48
保存	103	SICAT Suite	47

更新する		スリーブ	231, 253
SICAT Implantデータベース	48	適応症	8
SICAT Suite	47	非表示	
最初のステップ	57	アバットメント	250
最大化する		オブジェクト	132
検査ウィンドウ	155	スリーブ	261
削除する		安全領域	241
オブジェクト	133	検査ウィンドウ	155
使用目的	8	孔	242
取扱説明書		表示	
開く	66	アバットメント	250
記号、スタイル	17	オブジェクト	132
取扱説明書の概要	18	スリーブ	261
修復		安全領域	241
概要	208	検査ウィンドウ	155
修理する		孔	242
SICAT Implantデータベース	48	変更	
SICAT Suite	47	アバットメント	248
縦長ビュー		インプラント	237
インプラントの回りに回転	159	スリーブ	258
回す	158	スリーブシステム	256
傾斜	157	スリーブ位置	259
切替		ドリルテンプレート	256
光学印象のカラー表示	161	パノラマエリア	198
接続設定		ボリュームの配置	193
WebConnector	12	無効にする	
設定		Hubの使用	297
SICAT Implant設定	301	有効にする	
クリニック情報を表示または変更する	296	Hubの使用	297
安全領域	304	容量	
一般的な設定内容を確認する、変更する	292	配置する	193
概要	291	用途	8
孔	305	臨床的有用性	9
測定		数字	
角度測定を追加する	204	3D X線データ	
対象ユーザー	8	配置する	193
注文		3Dビュー	
SICATドリルテンプレートをカートに入れる	263	表示モードを切り替える	167
カートをチェックする	267	3Dビュー	164
データを別のコンピュータから送信する	272	クリッピング領域の固定	172
バックグラウンドでのデータ送信	268	光学印象のカラー表示を切り替える	161
ワークフローの概要	262	構成設定を行う	168
調整する		視線方向を変更する	165
パノラマエリア	198	切り抜きモードを切り替える	170
ボリュームの配置	193		
追加する			
アバットメント	231, 245		
インプラント	231		

あ

アイコン	335
アバットメント	
インプラント軸の周りに回す	247
モデルの変更	248
概要	244
角度の変更	248
寸法の変更	248
追加する	231, 245
非表示/表示	250
アンインストール	316

い

インストール	
SICAT Implantデータベース	42
SICAT Implantデータベースのアンインストール	315
SICAT Suite	39
SICAT Suiteのセットアップ	22
SICAT Suite患者データベース	30
SICAT Suite患者データベースのアンインストール	317
アンインストール	316
システム要件	11
インストールする	
SICAT Implantデータベース	42
SICAT Suite	39
SICAT Suiteのセットアップ	22
SICAT Suite患者データベース	30
システム要件	11
インストールの概要	21
インプラント	
インプラント軸の周りに回す	236
モデルの変更	237
移動	234
概要	229
修復軸に準じて位置決め	231, 239
垂直にする	231, 239
寸法の変更	237
追加する	231
配置する	235
並列させる	231, 239
名称（歯の位置）変更	240

お

オブジェクト

SICAT Implantオブジェクト	135
オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する	133
オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示	132
オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクトティブにする	131
オブジェクトグループの開閉	131
オブジェクトツールバー	133
オブジェクトバー	128
削除する	133
焦点を合わせる	133

か

カート	
開く	266

く

グレースケール値	
調整する	189

さ

サーバー	26, 34
サーバーに基づく患者データバンク	26, 34
サポート	
サポートウィンドウを開く	308
ツール	309
ヘルプを開く	66
製品情報	310
連絡先情報	309

し

システムの必要条件	11
システム要件	11
ソフトウェア要件	12
ハードウェア要件	11
ショートカットキー	314
シングルユーザー	24, 31

す

スタンドアロン	
SICAT Implantのスタディ	115
スリーブ	
スリーブモデルの変更	258
スリーブ位置の変更	259

概要	251
追加する	231, 253
非表示/表示	261
スリーブシステム	
選択	253, 256
対応スリーブシステム	53

そ

ソフトウェアインストール	
SICAT Implantデータベース	42
SICAT Suite	22, 39
SICAT Suite患者データベース	30

て

データインポート	92
データを選択する	96
既存の患者ファイルに追加する	100
データエクスポート	
データのエクスポート	289

と

ドリルテンプレート	
CEREC Guide用にエクスポート	276
SICATドリルテンプレートの発注	263
選択	253, 256
対応ドリルテンプレート	53

は

パノラマエリア	192
調整する	198
パノラマビュー	
光学印象のカラー表示を切り替える	161

ひ

ビュー	
インプラントの回りに回転	159
画像のツールバー	146
回す	159
傾斜	157
検査ウィンドウの移動	155
検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化	
する	155
切替	148
ビルド番号	335

ふ

ブロック	103, 117, 122
------	---------------

ほ

ボリュームの配置	191
調整する	193

ゆ

ユーザーインターフェース	
SICAT Implant	123
SICAT Suite Homeウィンドウ	63

ら

ライセンス	67
ライセンスプールに返却する	75
自動アクティベート	71
手動でアクティブ化する	73
表示する	70

ろ

ローカルな患者データ管理	24, 31
ロックアイコン	103, 117, 122
ロット番号	335, 335

わ

ワークステーション	27
ワークスペース	137
アライメント済みインプラント	140
ワークスペースのツールバー	124
切り替える	142
ワークフロー	58
ワークフロー・ステップ	
計画する	126
治療	127
準備する	126
診断する	125
ワークフローのツールバー	125

記号の説明

アイコン



注意！添付書類を参照してください。



www.sicat.com/suitemanualsで使用するための電子指示に従ってください。

ビルド ビルド番号

UDI 機器固有識別子 (Unique Device Identifier)



メーカー



ロット番号



医療機器

CE₀₁₉₇

TÜVRheinland LGA Products GmbH、Tillystrasse 2、90431ニュルンベルクの届出機関番号を含むCEマーキング

ソフトウェアのロット番号

ソフトウェアに表示されているソフトウェアロット番号。これに関する情報はインフォメーション [▶ ページ 310]を参照してください。

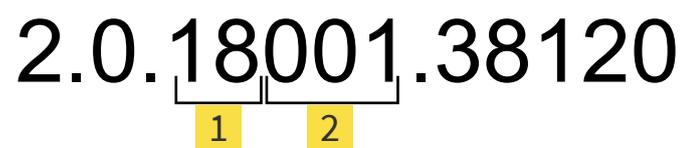
V2.0.40

生産データ

ソフトウェアの製造日は、ソフトウェアに表示されているビルド番号から読み取ることができます。これに関する情報はインフォメーション [▶ ページ 310]を参照してください。

ビルド番号の例：

2.0.18001.38120



1 ソフトウェアの製造年 (18は2018年を表します)

2 ソフトウェアの製造日 (001は1月を表します)

状態: 2025-07-10

お問い合わせ先



メーカー

SICAT GMBH & CO. KG

FRIESDORFER STR. 131-135

53175 BONN、ドイツ

WWW.SICAT.COM

CE0197

文書ID： DA20IFU014

世界各地のサポート

WWW.SICAT.COM/SUITESUPPORT

© 2021 SICAT GmbH & Co. KG

全ての権利は当社に帰属します。この取扱説明書につきましては、翻訳を含め、全部または一部の別を問わず、複写をお断りいたします。ただし、SICAT社が書面により承諾している場合を除きます。

本取扱説明書に記載されている情報は発行当時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

言及または表示されたすべての製品、ブランド、およびロゴはそれらの各所有者に帰属します。

医療機器製造販売認証番号：222AABZI00193000

販売名：オーソフォス XG 3D

一般的名称：アーム型X線CT診断装置

分類：管理医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器

選任外国製造医療機器等製造販売業者

デンツプライシロナ株式会社

東京都港区麻布台1-8-10 麻布偕成ビル

外国特例認証取得者及び外国製造業者

Sirona Dental Systems GmbH

(ドイツ連邦共和国)